

Title	天理大学附属天理図書館蔵『老子道德経河上公解〔抄〕』：翻印並に解題(下)
Sub Title	Roshidotokukyo-kajokokai-sho (老子道德経河上公解[抄]) in the Tenri central library, with transcription and bibliographical notes (part 3)
Author	山城, 喜憲(Yamashiro, Yoshiharu)
Publisher	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫
Publication year	1996
Jtitle	斯道文庫論集 (Bulletin of the Shidô Bunko Institute). No.31 (1996.) ,p.273- 420
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	平澤五郎教授退職記念論集 資料紹介
Genre	Departmental Bulletin Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00106199-00000031-0273

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

資料紹介

天理大
学附属

天理図書館蔵 『老子道德經河上公解〔抄〕』

翻印並に解題（下）

山城喜憲

解題篇

本稿（上）（中）に於いて翻印紹介した資料は、標題からも直ちに了解せられる如く、『老子』経文及びその古注である河上公章句に就いて、邦人によって著述された注釈書である。後に若干触れることであるが、江戸時代前期に遡る『老子』の注釈書は、伝本の現存状況から窺て極めて希な存在と言つてよい。従つて、此処に翻印公表の上、本書の内容性格に就いて鄙見を提示しておくことも、些少なりとも意味あることと考える。唯、深汲綆短、省察未安の念いからは到底逃れ難く、識者の諒恕寛

容と御批正を庶幾う次第である。

以下、既掲翻印の「凡例」に述べた内容と重複する部分もあるが、本書の概要を誌して大方の参考に資したい。

書誌要略

現所蔵者天理図書館に於ける目録題名は、後補表紙の外題を採つて「道德經抄」、請求番号は（12611-19）、昭和五十四年十一月十五日の天理図書館受入れ印を押した紙箋が、副葉に貼付されている。印記は、「天理図書館蔵」（朱長方）の一類のみが鈐され、他には伝領に纏わる識語の類は見当たらず、

伝来の経緯は杳として詳らかにし難い。

老子道德經河上公解〔抄〕（外題）存道經三十七章並附

旧題漢河上公章句 闕名者注 寛永四年（一六一八）写

和大合二冊

後補茶色空押しし繋ぎ牡丹紋表紙（二七・二×二〇・〇糎）、外題「道德經抄上（下）」と打付に墨書。元表紙は本文共紙で、現状では後補表紙の見返しに張り付けられている。上冊の元表紙には、右肩に「寛永四年八月十一日」、中央に「老子道經河上公解／自一至五」（この「五」は、もと「六」とあったものを墨で抹消し右に加筆して訂正されている）と、また下冊には中央に「道德經河上解／自十八至／二十八」と墨書されていることが判明した。両冊共に首に護葉一紙が添えられている。序跋の類は無い。

巻頭、「老子道經上」と本文よりやや大きめの文字で題され、一格を空け「廣聖義曰云々」と直ちに本文注釈に入り、撰者名等は題署されていない。

無辺無界、字面高さ約二二・三糎、每半葉十三乃至十七字、章題及び経文は大字、河上公章句は「注」字を冠して改行、経

文よりやや小さめの文字で書写、行廿三字内外、或いは改行せずに経文下一格を空けて連書される場合も多い。注は低一格、「僕考」「私云」等の撰者按語は二格低げの所もある。また、小字注、小字双行注が混在している。柱題署無し。墨筆の返点、送り仮名、音訓合符、連続符があり、朱の句点、圈点、合点が付され、地名、人名、書名に朱引が施さる。経文頭には、朱の「○」を、章句の一部には朱で「△」の箋符を冠し、章句の全文、或いは注に引用された経文章句の字句の左旁には朱の傍線が施されている。

処々に衍字脱字の訂正、行間眉上等には追補の加筆が見られ、小圈、細線で挿入箇所を指示し、また同様の移行符を以て、注文の箇所を変更訂正した所がある。

この本は、道經為政第三十七に止まって、第三十八章より八十一章迄の徳經部分を欠いている。恐らくは何らかの理由によって続稿を阻まれ、中絶のやむなきに至ったものかと想像される。第三十七章末尾の後ろに、白紙一葉を挟み、以下、主として『道德經廣聖義』より老子の生誕変現等老子老君に纏わる伝承伝説を輯め、次に同書附載の宋程大昌撰「易老通言撮要」の中から、書名の由来、「本易」「有無」「明矯」と題する諸論、及

び「孝宗皇帝御製原道論辨」を移写転載し、その後未書写の白紙廿四葉が綴じ合わされている。

現状は後補表紙を付して二冊に装訂されているが、元表紙の題署及び小口に見られる合綴の痕跡から、元は全六分冊であったと推測される。その分冊の次第は、第一冊首至虚用第五、第二冊成象第六至能為第十、第三冊無用第十一至淳風第十七、第四冊俗簿第十八至反朴第二十八、第五冊無為第二十九至為政第三十七、第六冊廣聖義曰以下の附及び白紙であったと推定可能である。以上の前三冊、後三冊をそれぞれ綴じ合わせ二冊に改装されたもので、現在残存している元表紙は、第一冊及び第四冊の表紙であったことが判明する。その他の原冊の表紙は今は逸失している。

処々に見られる墨格、或いは行間眉上の加筆は、引用文転写に伴う誤写、衍文脱文を訂正したものであって、それに加え本書本文内容に渡る増補加筆の箇所もまた散見している。さらに随所に見られる空行の部分は、追補を予定しての余白と見做され、書写の容態から推察して撰述者自筆の稿本と認めてよいであろう。しかしながらその注釈撰述者が如何なる人物であったかに就いては、追考し得る手掛かりは皆無に近く、遺憾ながら

不明とせざるを得ない。ただ、引用参照図書の豊富さと、注釈内容、引用の的確さから推察すれば、四部にわたる漢籍、仏典にまでも通暁した、相当の学識と相応の学問環境を有した人物であったであろうとは、難無く想像されるのである。

本書は、老子の本文及び河上公注文の全文を標出し、主として『古今韻会舉要』を引証として字義を解明し、語句を訓釈する。文意に渡つては、『道德經廣聖義』をはじめ諸典籍から関連する事項説論を博搜旁引して注解傍証を加えてある。更に、「私云」「僕謂」等を冠し、或いは冠せずに、漢文による撰者自注が付されている。引用漢文を更に敷衍細釈する等、道德經本文の理解という点から観れば冗長散漫と評すべき箇所も幾分存するが、注釈内容は概ね簡要堅実と言えよう。江戸時代初期に於ける、老子解釈の一典型と水準を示す好個の撰述著書と察知されるであろう。

因みに、江戸初期に成立した老子の注釈書としては、次の諸書が知られている。

老子厲案抄 二卷 松平定綱撰 写

大二冊筑波大学附属図書館蔵

〔老子経抄〕 不分卷 闕名者撰〔江戸前期〕写

大一冊神宮文庫蔵

老子諺解(題簽「春老子經諺解」) 三卷 [林羅山]撰 [貞

享二年(一六八五)]刊

大二冊(欠卷三) 山口大学附属図書館蔵

又(改題「老子淺説」) 三卷 林羅山撰 貞享二(一六

八五)刊修(京 富久嶋甚右衛門)

大二冊斯道文庫蔵

又(改題「老子抄解」) 通修(北村堂)

大三冊国立国会図書館蔵

老子 二卷 [林羅山]注 [江戸前期]写

大二冊静嘉堂文庫蔵

老子經抄(題簽・版心、内題「老子虞齋口義發題」) 三卷

[林羅山](道春)撰 承応一年(一六五二)刊

(崑山館道可處士) 大三冊斯道文庫他蔵

又 後印 大三冊無窮会図書館他蔵

又 寛文九年(一六六九)印(京 田原仁左衛門)

大三冊慶応義塾図書館他蔵

この内、『老子厲案抄』の末尾には「慶安二年孟春於東都撰
焉草創潤色源定綱」との撰述識語があり、『老子諺解』には、

「正保二年三月五日老子全部以倭字抄解之早／始于去月二十五

日至此終其章依／鈞命也蓋演希逸口義云／ 羅山子道春」の識

語が見られる。従つて、寛永四年の年記を有する本書の成立は、

定綱、羅山の撰述に先立ち、現存する邦人による老子注釈書と

しては、清原宣賢撰かと予察されている『老子經抄』(斯道文

庫論集第二十六輯に紹介)に次いで古いものである。また、自

筆稿本と推定されるこの本の他には、本書の伝写本は未だ知ら

れておらず、稀少さと相まって宝重すべき稀覯本と言えよう。

書誌上の概略は上述の如くであるが、いまま少し本書の特徴に

立ち入った穿鑿をするために、次の三点に着目しておくことが

肝要であろうかと考える。その第一は、本注釈の対象となされ

た老子道德經のテキスト、即ち本書に掲出された経注本文の底

本を明らかにしておくことであろう。この事は日本に於いて授

受伝習されてきた『老子』本文の実相究明と関わる問題でもあ

る。第二に、本邦に於ける老子講述注釈史上、どの様に評価位

置づけされるかの考察が求められるであろう。更に第三点とし

て、注釈に際して使用された参考書籍即ち本注釈の引用図書に

就いて鳥瞰しておく必要がある。本書の学術面での水準を窺

測するための有効な作業と思われる。以下、順を追つて検討し

ていきたい。

掲出経注文の底本に就いて

既に述べておいた如くに、本書に掲出されている道德経河上公章句の本文は、一字一句も省略されることなく、その全文が写定されている。言うまでもなく、本書の主意はその注釈にあるのではあるが、幸いにして往時の一テキストが残されたのである。老子講述伝習史上に於ける本書の意義如何が問われる為には、この本文を検証することが、前提として先ず要請されるであろう。

諸伝本の残存状況から、江戸時代初期当時において流布通行していた『老子』のテキストは、河上公章句本と虞齋口義本とであったと推定される。上古以来、誦読講述に専ら使用されてきたのは河上公章句本であるが、室町期に至ると、それと併行して虞齋口義本が講誦されるようになる。虞齋口義本は、経学で言うならば所謂宋学に相当する言わば新学を担うテキストであった。此の本は、近世初から江戸時代前期にかけて、河上公章句本を圧倒して普及していく。それに反して、河上公章句本は、現存する古鈔本の数量から見ても、また其の書入れの伝写

の状況から考えても、古来殆ど唯一の老子経テキストとして優位を保ってきたのであったが、室町後期頃を境に衰微の様相を呈している。慶長頃の刊行と見做される古活字版は、伝写継承されてきた此のテキストの収束点、と仮想することも大方の見解として容認されるであろう。事実、同じ慶長頃、虞齋口義本の古活字版は四種もが刊行されており、河上公本古活字版が一種（異植字版一本が知られている）印行されたに止まったのと比較して、明らかにその普及の度合いに於いて逆転した様相が看取れるのである。以後、純粹な形態での河上公章句本は絶えて刊行されることはなく、一方、虞齋口義本は、古活字版の覆刻、林羅山の諺解、首書本の刊行と、通行テキストとしての盤石の優位を保持し続けるにいたるのである。

此の両種のテキストのうち、本書は河上公章句本を採用していることに留意されなければならない。この点に關しては後に注釈史上での位置づけに關連して更めて触れることになろう。此処では、本書が撰述された江戸時代元和寛永年間当時における、河上公章句本諸本の流布状況を概観しておきたい。現在知られている宋刊本は三種であるが、何れも国外に所蔵され、日本に於ける伝承宋刊本は未だ発見せられていない。杏雨書屋

所蔵の〔鎌倉末南北朝初〕写本（零巻）をはじめとする我が旧鈔本には屢々才本との校異の書入れが見られ、鎌倉時代末以前に宋版或いは元版が舶載され、講読に使用されていたことは明らかである。しかしながら、其の本が以後日本において流布しテキストとして定着していった形跡は希薄である。斯道文庫所蔵の〔南北朝〕写本二冊は、当時伝来の宋元版の佛を彷彿とさせるが、古鈔本としては特異な伝本と言えよう。

元刊本として纂圖互註本が現存する。元版その物は未だ確認されていないようであるが、〔明前期〕の覆刻本・明弘治一八年（一五〇五）〔建安〕仁實書堂刊本以下の翻刻本があり、『六子』或いは『四子』の一つとして彼我において通行した。日本に於ける伝承本として天理図書館蔵の〔明前期〕刊本、蓬左文庫及び内閣文庫蔵の明弘治仁實書堂刊本が知られるが、そのうち天理図書館蔵〔明前期〕刊本には近世初期を下らない書入れがあつて、其の伝来は古く室町期に遡るものであろう。此の纂圖互註は本書注釈にも引用参照されている。

明版では明嘉靖一二年（一五三二）の跋を有する世徳堂顧春刊本が、我が国に於いても流布しているが、江戸時代前期に遡る伝来本は未だ窺管に入らない。

朝鮮古刊本は伝存せず、又旧刊本、所謂五山版は知られていない。

宋元明刊本は確かに当時既に渡来して、利用参照されていた。しかし、それがどの程度普及弘通していたか、伝存本の少なから窺察して、ごく狭小な範囲での利用に止まっていたと考えるのが妥当であろう。従つて本書に掲出された経注本文の底本如何を考索するに当たつては、先ずは中世以来の伝写本或いは古活字版を念頭に置くのが筋道である。

〔慶長〕刊古活字版は、東洋文庫蔵本一冊（元和八年へ一六二二）清家点並校合書入本）、同蔵和田維四郎旧蔵本一冊、宮内庁書陵部蔵本一冊、斯道文庫蔵本一冊、陽明文庫蔵本二冊、小島寶素旧蔵成實堂文庫蔵本二冊（経籍訪古志著録本）、久原文庫旧蔵大東急記念文庫蔵本一冊（欠巻上）の一種七部、その異植字版として、天理図書館蔵本二冊一部の伝存本が知られている。^{（註）}

勿論、古活字版が刊行されたことで、写本の時代から、俄に刊本の時代に移行したものと考えることは正しくない。従来からの伝写本が立ちどころに消滅してしまつた訳でもない。古活字版が一般にどれほど普及したのかも関心事ではあるが、恐ら

くはその需要に応じきれぬだけの出版部数ではなかったであろう。殊に、本河上公本の場合、往々事例が指摘されているような、覆刻整版は存在していない。恐らくは虜斎口義本の流行がその要因の一つとして考えられるであろう。従って、なお旧来の伝統を重んじる学者の間では、必要に応じて伝写伝習に相務めたものと想像される。古活字版の刊行と前後するころの或いは、寧ろ後ではないかと判定したい書写本も伝存している。

現在知られている旧鈔本には、奈良聖語藏御物〔鎌倉〕写零本一軸（存徳経二卷、大正一三年へ一九二四）東京佐々木信綱刊の影印複製本有り）、内藤湖南旧蔵杏雨書屋蔵〔鎌倉末南北朝初〕写零本一軸（存卷上有欠）、戸川濱男旧蔵梅沢記念館蔵應安六年（一三七三）写本二冊（昭和五三年へ一九七八）同館刊影印複製本有り）、宮内庁書陵部蔵〔南北朝〕写本二冊（至徳三年へ一三八六）識語清家本、斯道文庫蔵林泰輔令写影写本二冊有り）、斯道文庫蔵〔南北朝〕写本二冊（康應二年へ一三九〇）施入識語）、東洋文庫蔵〔室町〕写本一冊、瀧川君山・武内義雄通蔵〔室町末〕写本一冊、南葵文庫旧蔵東京大学総合図書館蔵〔室町末近世初〕写本一冊、内藤湖南旧蔵杏雨書屋蔵〔室町中期〕写本一冊（存徳経下）、龍門文庫蔵〔室町中期〕写

本一冊（存道経上）、大東急記念文庫蔵〔室町〕写本二冊（外題「換鶴経」）、慶応義塾図書館蔵大永五年（一五二五）写本一冊（存卷上道経）、井上頼圀旧蔵無窮会図書館蔵〔近世初〕写本一冊（伝鈔天文五年へ一五三六）書写清家蔵本、東北大学蔵伝写本一冊あり）、伊藤有不為斎・戸川濱男旧蔵斯道文庫蔵天文一五年（一五四六）写本二冊、筑波大学附属図書館蔵天文二一（一五五二）写本一冊（慶長一七年へ一六一二）伝受識語）、戸川濱男・弘文荘旧蔵〔室町末〕写本合一冊（元和五年へ一六一九）付与識語）、足利学校遺蹟図書館蔵〔室町〕写本一冊、小島實素・森立之旧蔵大東文化大学図書館蔵天正六年（一五七八）足利学校真瑞書写本一冊（經籍訪古志著録本）、戸川濱男旧蔵慶応義塾図書館蔵天正六年（一五七八）足利学校南春書写本一冊、陽明文庫蔵〔室町末近世初〕写本二冊、仁和寺蔵〔室町末近世初〕写本一冊（外題「猶龍録」）、以上二十一本の多きに達している。

かかる河上公本の伝本状況によって、本書書写当時に行っていた諸本の大体が概観される。本書掲出経注文の底本は差し当たってはこれら諸本の内に詮索される必要があるであろう。更に底本如何を追究するに当たっては、先にも述べた如く、や

はり最も流布していたと考えられる中世以来の伝写本を、候補として先ず第一に想定すべきであろう。或いは、寛永四年という本書の成立時期を考慮すれば、当然のこととして二三十年前に刊布された〔慶長〕古活字版は、残存伝本数が意外に少ないものの有力な候補と見做される。しかしながら、現存伝本の多寡が直ちに往時の流布状況に繋がるか否か、流布本故に後代に残されない事例は屢々指摘されてもいる。また、必ずしも流布本が底本として選定されるものとも限らないのであり、あくまでも蓋然性に止まるものと認識しておきたい。

此処では、撰述者が採用した本文の底本を特定することが、望みうる最良の結論であろう。しかし、その事は、現在知られている旧鈔本は、本書書写当時存在したであろう古写本、或いは当時書写されたであろう新写本の氷山の一角にも及ばない数と想察される故を以て、殆ど不可能事である。況んや、撰述者は不明であり、書写状況に関わる識語等は寛永四年月日の他には皆無である。従って、現存古鈔本及び古活字版との異同の様態を検証し、いずれかの本との近縁性を探るに止まることとなる。なお、本書が古活字版刊行以後の成立であつてみれば、当然、古活字版からの直接の転写本に過ぎないことも予想され

る。もしそうであるならば、古活字版の流布状況を窺う為の恰好の事例とはなるものの、本書掲出テキストの特異性は消滅し、更めての考察は不用とならう。結論を先取りして言うならば、古活字版との近縁性は諸伝本に比して極めて高いものの、直接の転写とは考えられないのである。

因みに、既に列挙したように、現存する老子の旧鈔本二十本程が知られているが、従来、通行刊本或いは宋刊本と対峙するものとして、日本古鈔本の総称を以て一括し、恰も同一テキストの如くに取り扱われて来ている。しかし、実際には諸伝本間の字句の異同はけつして少なくはない。伝写の過程において、江家本、中原本、清家本或いは才本等異本との同異が、訓みのみに限らず字句にまで及んで意識され伝習されていることは、それら古写本に遺された校異書入れから明白である。しかしながら、歴代累次の伝写の間には、それら異本は相互に混交し、別本を甄別することは最早不可能な実情に在ったようである。現存する古鈔本は、その様な、諸異本の本文が交雑した様相を呈している。それ故にまた、伝存各本間の異同も複雑を極め、各本の伝系繫累を辿ることは極めて困難な状況に陥っているのである。古活字版もまたかかる混交複雑した伝本を以て写定刊

行された旧鈔本系のテキストと推定される。これら現存古鈔本及び古活字版の実相を掌握する為には、各本の書写状況、本文の同異等に就いて、相互に比較検証する必要がある、詳細は別稿に譲らなければならない。

述べた如くに、現存する古鈔本の本文は諸本を混交雑糅した様相を呈しており、本書が掲出する本文もまた例外ではあり得ない。そういう本文状態にありながらなお、各本は相互に近接する幾つかの群類を生起しているように観じられる。ここで考察すべき問題は、此の本文が、現存する旧鈔本或いは古活字版のうち、どの本と最も近接しているかを指摘立証することである。そのためにはやはり、諸本の本文字句の同異を明らかにしておくことが、必須の要件となるであろう。現存する全ての旧鈔本を対象とすることが要請されるであろうが、三十七章全文の対校を済ませた本のみを提示参校するに止まらざるを得ない。

対校の結果は本稿末に附載した「経注文校異」の通りである。対校本は、先に挙げた本書書写当時通行した蓋然性が認められる伝存諸本の中から、三十七章全文の対比が可能な本を拵んだ。それに現今の主要テキストを加えている。諸本の刊写年代、所在、略称、及び校異作成に当たって直接使用した影印複製本等

に就いては、「経注文校異凡例」を参照して頂きたい。龍門文庫蔵〔室町中期〕写本、小島寶素・森立之旧蔵大東文化大学図書館蔵天正六年（一五七八）足利学校真瑞書写本及び仁和寺蔵〔室町末近世初〕写本は対校未了の為に割愛せざるを得なかった。道蔵・敦煌・六地・陽Ⅱ・治要の五本は本論題とは直接的に関わるテキストでは無いが、異同の諸相を窺測出来ると考え、参考までに取り扱った。異同字句の標記に際しては、此の五本の内の一本のみと相違する場合にも、他の諸本同様に掲出している。

「経注文校異凡例」にも述べておいたが、本書経注文と各本との親疎の関係を数量的に把握しようとの試みで、一便法であるが一異文に対してポイント数①とし、このポイントを異文のあるごとに各本に与えることとする。全文の対校が可能な、活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・斯Ⅱ・足利・弘文・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵各本に与えられた此の数をそれぞれに累計して、その多少を比較することで、本書と各本とのテキスト上の乖離の度合いを察知出来るのではないかという想定の上での模索である。言うまでもないことではあるが、本来ならばそれぞれの異文について、そ

の發生の由来、關係、是非等を個々に考勘し、各本相互の伝系を明らかにした上で、本書を位置づけるのが正条な方法であろう。しかし、実際には限られた伝本をもってしては、論証に資するだけの充分な事例を得ることは殆ど不可能と言ってよい。従つてある蓋然性のもとに類推された結果に当面甘んじざるを得ないのである。新出の一伝本によつて従來の通説を再検討或いは訂正を余儀なくされる事態は常に生じ得る事なのである。

今ここで、本書に標出された經注文の底本如何を、直ちに求めようというのではない。上述したように、それを勘定することは先ず不可能と言つてよい状況にある。ただ、現存諸本の内、相対的に近似する伝本が有るか否かを研討することは可能であろう。かかる意味に於いて、此処で試みる本文異同を計量する方法は、相応の有効性を發揮することが期待されよう。しかしながら、一異文に一ポイントを与えらるゝと言つても、異文には

種々の相があり、またテキスト上に於いて一異文が内包する意味合いは、軽重深淺それぞれ異なっているはずで、それを一律に取り扱えば、結果の信頼性を損なうことは明らかである。單なる誤写誤脱、異体字の使用、助字の有無、脱文、衍文、文辭の相違等を同レベルで比較することの粗雑さは、重々承知の上である。当然此処で計上された数量はかかる認識に立つて慎重に再考裁量されなければならない。要するに此処に示された数量は極めて大雑把な概数であつて、各本との接近乖離の様相を厳密精確に顕出しているものではあり得ない。ただ、極めて近似する本があれば、その概数に反映されるであろうし、諸本との親疎の比較も大局的には可能であらう。

次に、各本について、各章毎にポイント数を加算した総数と、全三十七章の総計を表示してみる。

章次	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	計
活 I	4	4	1	1	1	1	0	0	2	1	7	1	2	7	2	5	3	1	7	4	1	5	4	1	1	4	2	9	1	1	2	1	1	3	3	4	1	98
活 II	3	4	1	1	2	1	0	0	3	1	7	1	2	7	2	5	2	1	3	4	1	6	4	0	3	4	1	9	1	3	1	0	3	3	4	0	93	
陽 I	8	8	5	3	2	3	5	5	1	10	12	3	10	26	10	13	7	2	9	15	7	9	5	7	24	4	9	19	3	3	8	7	5	8	6	5	5	291

道藏	宋版	斯I	東急	梅沢	書陵	無窮	弘文	足利	斯II	筑波	慶II	慶I	東洋	東大	武内
32	29	27	20	17	15	19	23	18	24	19	33	23	24	21	30
18	17	16	15	6	9	4	8	4	12	6	10	11	7	9	11
19	22	16	11	12	7	9	9	13	11	8	7	12	15	8	10
18	27	11	10	7	5	6	7	12	9	5	8	6	10	7	9
15	12	9	8	11	5	7	8	8	8	8	7	9	10	6	7
26	17	11	10	9	9	6	10	12	11	8	10	13	8	6	8
14	10	5	6	5	3	3	6	5	3	7	9	6	4	6	7
11	11	11	8	7	6	7	8	7	8	10	8	10	6	8	7
10	7	6	4	6	7	6	10	9	7	10	5	10	10	3	6
35	38	24	13	15	8	9	24	17	15	15	17	18	15	21	18
28	23	15	16	15	15	13	15	14	15	14	17	19	17	21	20
15	8	6	5	3	4	3	7	7	5	7	6	4	5	7	4
40	28	17	11	12	10	10	14	12	13	12	11	15	14	16	14
58	37	32	28	23	20	26	24	29	25	34	24	39	31	37	35
40	25	18	21	15	20	14	17	22	16	17	16	17	17	17	17
48	37	24	21	23	16	18	17	20	27	26	17	23	27	20	22
20	19	11	13	11	11	5	7	9	11	7	9	7	7	9	11
26	18	6	9	5	5	5	6	4	5	6	7	5	7	6	4
34	28	15	16	13	9	6	6	9	9	14	13	15	17	15	15
54	35	38	30	25	13	16	17	19	21	17	19	17	24	19	19
34	20	18	4	6	7	4	8	7	11	11	18	10	7	6	5
35	23	22	15	15	12	12	12	16	14	10	16	15	15	13	12
37	23	12	14	13	6	9	10	7	8	9	9	9	10	12	9
24	17	9	13	7	8	5	10	11	12	10	7	11	12	10	12
36	35	33	24	14	12	17	12	10	21	24	23	27	31	33	31
23	14	11	10	8	7	6	7	12	10	7	9	8	9	7	8
30	28	22	11	9	6	5	4	5	9	9	11	13	17	18	12
46	43	38	33	26	11	16	20	13	17	19	12	19	30	33	30
22	14	13	9	6	6	9	6	5	7	5	9	7	13	12	11
16	13	10	5	4	7	4	7	6	7	8	7	6	7	6	3
56	32	30	21	14	6	6	11	13	14	20	13	13	29	27	25
26	14	14	10	9	7	5	7	11	8	10	12	13	16	13	17
22	14	14	5	3	4	3	9	5	8	8	8	9	11	8	7
30	24	24	10	13	10	10	13	8	15	11	16	14	17	11	11
24	16	14	12	8	11	6	11	14	11	11	14	13	10	11	13
15	11	8	8	8	8	6	8	9	7	11	6	7	9	8	7
16	15	11	10	7	12	10	11	10	11	12	11	16	7	12	13
1053	804	621	489	410	337	325	409	412	445	445	454	489	525	502	500

此処に表出された数字の多少が、直ちに本書掲出経注文と各本間の親疎の程度を示すもので無いことは、上述した通りであ

る。それを考慮に入れた上でも、尚、古活字版との近似、宋版、道藏本との乖離、更には諸旧鈔本との離反近接の錯綜した関係

を如実に反映していると言えるのではなからうか。旧鈔本の内では陽明文庫蔵〔室町末〕写本が本書に近く、斯道文庫蔵〔南北朝〕写本が最も遠い関係にあるとの認定も許容されるであろう。

古活字版との近接した関係は、本書と古活字版のみ、或いは古活字版を含め一二の少数の本とのみ一致する箇所が縷々指摘されるにもかかわらず、古活字版以外の或本とのみ一致する箇所を見出すことは甚だ困難であるという事実からも、相当の確實性を以て推知せられる。校異表の通し番号で示せば196 199 213 308 332 386 477 498 555 557 605 611 680 710 819 937 983 1027 1043 1045 1096 1211 1214 1218 1263 1436 1461 1527 1553 1577 1583 の三十一の箇所が古活字版との近縁関係を示す、この意味での例となるであろう。

校異の結果、諸伝本と比較して、古活字版と相対的に最も近接する関係にあることが、顕著に示された。しかし一方で、両本の字句には相異なる箇所も少なからず存在する。其の相違が転写に伴って生じがちな誤写誤脱或いは同字・略字・古字・通用字等異体字使用の範囲と見做しうるか否かの検討が須要であろう。若し、悉く誤写或いは誤脱又は異体字使用の範囲内での不同と見做されるのであるならば、本書の掲げる経注文は、古活

字版からの転写に過ぎないと認識せざるを得ないことになる。当然誤写誤脱と認められる箇所も多い。しかし、そうではなく、明らかに古活字版本文とは相違するテキストを参校したか、或いは、古活字版と近似する別の或本に依拠したと考えるべき証例も幾多指摘しうるのである。従って、古活字版と異なる九十の箇所について予め吟味しておく必要がある。

先ず、異体字使用によって生じた異同の類例を指摘しておく。

不弗―88 91、芻藻―175 176、持持―287（異植字版は「特」）

289、皈歸―387 527 529 552 640 644 648 704 822 824 909 942 946 949 1191 1197 1200 1215 1220 1225 1228 1230

1488 1489 1503 1507、没歿―683 688、朴樸―780、殺煞―803、太―1505、

翁噲―1536

以上の三十七例の異同に就いては、本書経注文が古活字版からの転写であることを否定する積極的な証拠とはなりえない。

転写に伴って生じうる異同として充分許容される範囲であろう。

次に、転写の際の単なる誤脱誤衍誤写と認めることが可能である異同箇所を指摘しておく。校異表の通し番号を冠し（）

内に異同文の所在を附記する。尚、以下単に諸本と称する場合は、校異の対象とした全ての本を含めた総称として使用する。

11（體道第一「名可名」下注）謂富貴尊榮高世之名―諸本此

の文末に「也」字が有る。本書のみ脱。

12 (同「非常名」下注) 非自然常在之名―道藏本を除く諸本文末に「也」字有り。本書脱。

154 (無源第四「湛兮似或存」下注) 故長存―諸本「故長」の間に「能」字有り。本書誤脱。

372 (能為第十「為而不恃」下注) 不恃其報也―諸本「恃」字の下に「望」字が有る。本書のみ脱。

385 (無用第十一「三十輻共一轂」下注) 故衆輻湊之―道藏本を除く諸本「輻」字下に「共」字が有る。本書脱。

404 (同「當其無有室之用」下注) 人以得出入觀視―「以得」諸本並びに「得以」に作る。

412 (同「無之以為用」下注) 言虚無者―古活字版及び陽Ⅰ・武内・東大・弘文・斯Ⅱ・書陵・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道藏各本は「無」を「空」に作る。慶Ⅱ・筑波・足利・無窮・東洋各本は「虚無」を「空虚」に作り、慶Ⅰ本は「室虚」に作る。本書のみ「虚無」と為す。

424 (揅欲第十二「五音令人耳聾」下注) 不能聽無声之声―古活字版及び旧鈔諸本、本辭句末に「也」字有り。恐らくは本書誤脱。但、敦煌・宋版・道藏各本には此の「也」字は無い。

479 (厭耻第十三「則可以寄於天下矣」下注) 不可以久―敦煌本を除く諸本、句末に「也」字が有る。

513 (賛玄第十四「故混而為一」下注) 名之為一也―古活字版及び陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道藏の各本は「為」字の上に「而」字有り。敦煌本のみが本書に同じ。

530 (同「復販於無物」下注) 復當販之於無實也―諸本並びに「實」字を「質」に作る。

558 (同「是謂道紀」下注) 謂道之綱紀也―諸本「謂道」兩字の間に「知」字有り。本書誤脱か。

724 (俗薄第十八「大道廢焉有仁義」下注) 戸有忠臣―「臣」諸本並びに「信」に作る、字音が同じことに拠る誤写と思われる。

951 (虚無第二十三「飄風不終朝驟雨不終日」下注) 言疾則不能長―諸本「則」字無し。本書の誤衍か。但、「則」字を有する一本が当時存在し、それに従った可能性も否定出来ない。

978 (同「德亦樂得之」下注) 德亦樂得之―道藏本を除く諸本、本句末に「也」字が有る。道藏本は此の句無し。

980 (同「失亦樂得之」下注) 失亦樂得之―道藏本を除く諸本、

本句末に「也」字が有る。道藏本は此の句無し。

1102 (重徳第二十六「重為輕根」下注) 則去神―「去」字、諸本並びに「失」に作る。

1113 1114 (同「不離輜重」下注) 君子終日行不離靜與重也―諸本並びに「行不」の間に「道」字が有る。又、「靜」字の上、古活字版及び陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・弘文・斯Ⅱ・無窮・書陵・斯Ⅰ・宋版・道藏各本には「其」字が、武内・東大・東洋・梅沢・東急各本には「於」字が有る。本書のみ何れの字も無し。

1128 (同「躁則失君」下注) 王者躁失―「失」字、諸本並びに「疾」に作る。但、斯Ⅱ本は此の句無し。

1242 (反朴第二十八「聖人用之則為官長」下注) 為百官之元長―諸本、此の句末に「也」字有り。

1260 (無為第二十九「執者失之」下注) 強執取之―「取」字、諸本並に「教」に作る。

1479 (任成第三十四「愛養万物而不為主」下注) 不如主人有所収取也―諸本並びに「主人」を「人主」に作る。

1539 (微明第三十六「將欲翕之必固張之」下注) 先開張之者極其奢滂也―諸本並びに「極」字の上に「欲」字が有る。

1548 (同「將欲奪之必固與之」下注) 先與之者欲使其貪心也―諸本並びに「使」字を「極」に作る。

1551 (同「柔弱勝剛強」下注) 柔弱者長久―諸本並びに、「長久」を「久長」に作る。

以上、転写に伴って生じた衍脱誤写として処理可能なところ、二十六箇所が指摘される。この判定の照準は、古活字版を含め対校旧鈔諸本全てと異同が認められるという点に据いた。しかしながら、これらの証例から直ちにそうと即断出来る訳ではない。若し仮に、以上の箇所に於いて、本書掲出文と一致する本文を有する旧鈔本が発見されれば、逆にその本との近縁性を再考しなければならぬ状況が発生する。724を除く何れの事例も、文脈文義の上で齟齬破綻をきたしている箇所は無いと言える。目につく「也」字の欠落も本書著述者の任意に拠るものと言えなくもない。此処では古鈔本中他に同例がある為に取り上げなかったが、古活字版に存する文句末の「也」字を欠く事例として更に、63 396 397 444 511 705 976 1033が認められる。要するに、此の二十六の異同例からは、古活字版の転写であるとの仮設を積極的に否定はできないのであり、また古活字版以外の本が参校された可能性を期待することも当面はできないのである。

次に、古活字版以外の別本に従ったとの認定を可能とする異同の例を挙げる。ここでの挙例の判断基準は、古活字版との異同箇所において、他の対校旧鈔本と一致する場合があるか否かということになる。以下、古活字版と称する時は、原則として異植字版を含めて言う。異植字版に改修箇所がある場合には更めて異植字版との同異に言及する。

37 (體道第一「故常無欲以觀其妙」下注) 可以觀大道之要―古活字版及び陽Ⅰ・東大・足利・筑波・慶Ⅱ・東洋・弘文・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道藏各本「大」字無し。異植字版・武内・慶Ⅰ・斯Ⅱ・無窮・杏雨の各本は「大」字がある。本書は古活字異植字版を含むこれら各本に一致する。但「大」字の有無については是非は判定し難い。異植字版が校改されている点にも注目される。後掲の211 694 750 754 763 779 1004 1075 1357 1427 1436 1569も同様。

63 (同「玄之又玄」下注) 則生貪淫―古活字版及び陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・斯Ⅱ・足利・弘文・慶Ⅱ・無窮・東洋・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版各本は句末に「也」字がある。筑波・道藏本は本書と同じく「也」字は無い。本書誤脱の可能性もある。

86 (養身第二經文) 為而不恃―古活字版及び慶Ⅱ本、「恃」

を「恃」に作る。陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道藏・治要各本は本書と同じく「恃」に作る。字形の類似、或いは通用字の「恃」との混同に拠ってか両様の伝本が生じており、本書は古活字版類とは相違している。

87 (同「為而不恃」下注) 不恃望其報也―古活字版及び慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・書陵各本、「恃」を「特」に作る。陽Ⅰ・武内・東大・筑波・足利・斯Ⅱ・無窮・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・治要各本は本書と同じく「恃」に作る。

108 (安民第三「使民不為盜」下注) 上化清淨―古活字版及び陽Ⅰ・武内・東洋・筑波・慶Ⅱ・慶Ⅰ・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・杏雨・梅沢・東急・治要各本「淨」を「靜」に作る。東大・弘文・斯Ⅰ・宋版・道藏各本は本書と同じ。字形の類似、或いは通用字の「滯」との混用に拠ってか両様の伝本が生じ、本書は古活字版類とは相違している。

211 (成象第六「是謂玄牝」下注) 五味濁辱―古活字版及び陽Ⅰ・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・杏雨・斯Ⅰ・宋版・道藏各本「味」を「性」に作る。異植字版・武内・東大・東洋・梅沢・無窮・敦煌・東急各本は本書と同じく「味」に作

る。文脈からは「味」が優か。

396 (無用第十一「當其無有車之用」下注) 人得載其上―古活字版及び陽Ⅰ・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版各本、此の句末に「也」字有り。武内・足利・敦煌・道藏各本及び本書には無し。但、此の事例は本書誤脱の可能性も存する。

397 (同「埤埴以為器」下注) 為飲食之器―古活字版及び陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急各本は「飲食」を「食飲」に作り、句末に「也」字有り。斯Ⅰ・宋版・道藏各本は本書と同じ。敦煌本は「食飲」に作って「也」字は無い。

444 (厭耻第十三「寵辱若驚」下注) 身辱亦驚―筑波・斯Ⅱ・敦煌・宋版・道藏各本は本書に同じ。古活字版をはじめ陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・足利・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ各本には句末に「也」字が有る。但、此の例も誤脱の可能性も有る。

511 (贊玄第十四「此三者不可致詰」下注) 問而得之―本書は慶Ⅱ本に一致。古活字版及び無窮・東急・斯Ⅰ・宋版の各本、「之」字下に「也」有り。其の他の旧鈔本及び道藏本は「之」

字を「也」に作る。敦煌本は「之」「也」両字共に無い。

577 (頭徳第十五經) 儼兮其若客―武内・東大・筑波・東洋・梅沢・陽Ⅱ・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道藏各本は此れに同じ。古活字版ほか陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・六地各本は「若」を「如」に作る。本書はもと「如」と書しそれを塗抹して右旁に「若」字を加筆し訂正する。

596 (同「曠兮其若谷」下注) 無所不包容也―古活字版は異植字版共に「容」字を「客」に誤植。其の他の諸本は本書に同じく「容」に作る。宋版・道藏兩本は此の字無し。

694 (淳風第十七「太上知有之」下注) 謂上古無名號之君也―古活字版のほか陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・梅沢・東急・宋版・道藏・敦煌の各本は「號」字無し。異植字版及び無窮・斯Ⅰの兩本にはこの字有り。

705 (同「其次悔之」下注) 故欺悔之―古活字版ほか陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・治要各本には「之」字の下に「也」字が有り、東洋本には「者也」の二字が有る。斯Ⅰ・敦煌・宋版・道藏各本が本書に同じ。しかし、此の例も或いは脱字と考えるべきかもしれない。

750 (還淳第十九「絶聖」下注) 反初守元「元」古活字版は「無」に誤る。異植字版はじめ諸本は本書に同じく「元」に作る。

754 (同、同文下注) 蒼頡造書「造」字、古活字版ほか陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅱ・筑波・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵各本「作」に作る。異植字版及び慶Ⅰ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮の各本は本書に同じく「造」字に作る。

763 (同「絶巧」下注) 絶巧言詐偽乱真也「古活字版ほか陽Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・東急・敦煌・治要各本は「言」字無し。異植字版及び武内・東大・慶Ⅰ・筑波・無窮・書陵・東洋・梅沢各本は本書に同じく「言」字が有る。又、道蔵・斯Ⅰ・宋版は「言」を「者」に作る。尚、斯Ⅰ・宋版両本は此注を経文次句「棄利」の下に配す。

765 (同「棄利」下注) 塞貪路「古活字版「貪」字を「貧」に作る。諸本は本書に同じく「貪」に作る。

777 (同「見素抱朴」下注) 見素守貞「古活字版ほか陽Ⅰ・東大・慶Ⅰ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要各本「貞」字を「真」に作る。武内・筑波・慶Ⅱ・無窮・東洋各本は本書に同じく「貞」に作る。

779 (同、同文下注) 當抱其質樸「古活字版ほか陽Ⅰ・書陵・宋版・道蔵・治要各本「抱」字を「見」に作る。異植字版及び武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ各本は本書に同じく「抱」に作る。

829 (異俗第二十「我獨若遺」下注) 似於不足也「古活字版は「似」字を「以」に作る。諸本並びに本書に同じく「似」に作る。もつとも、「以」は「似」に通用される。

868 (虚心第二十一「唯道是從」下注) 不随世俗之所行「古活字版のほか陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵各本は「之」字が無い。武内・東大・東洋の三本には本書と同じく「之」字が有る。

940 (益謙第二十二「豈虚言哉」下注) 正言非虚言也「古活字版ほか陽Ⅰ・慶Ⅰ・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ各本は「虚言」を「虚空」に作る。武内・東大・筑波・弘文・東洋各本は本書に同じ。尚、慶Ⅱ本は「空虚」に、宋版は「虚妄」に作り、道蔵本は「言」字無し。

945 (同「誠全而皈之」下注) 實全其飢體「古活字版ほか陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・道蔵各本は「飢」を「肌」に作る。斯

II・宋版兩本は本書に同じく「飢」字に作る。

976 (虚無第二十三「道亦樂得之」下注) 道亦樂得之―古活字版のほか陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・足利・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯I・宋版各本は本句末に「也」字有り。弘文本は「之」を「也」に作る。道藏本は此の句無し。

斯II本のみ本書に同じ。此れは或いは先に前項で指摘した978 980の例と同様に本書の誤脱と見做すべきか。

1004 (苦恩第二十四「自見者不明」下注) 自見其所行以為應道―古活字版のほか陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・書陵・東洋・梅沢・東急・斯I・宋版・治要各本「其」字無し。異植字版及び無窮・道藏兩本には本書と同じく「其」字が有る。

1003 (象元第二十五「先天地生」下注) 在天地之前―古活字版ほか陽I・武内・東大・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢各本は此の句末に「也」字が有る。慶I・東急・斯I・宋版・道藏各本は本書に同じく「也」字は無い。

1173 (巧用第二十七「不善人者善人之資也」下注) 聖人猶教導使為善―「猶」字、古活字版及び陽I本は「獨」に作る。武内・東大・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東

洋・梅沢・東急・斯I・宋版・道藏の各本は「猶」に作り本書に同じ。尚、治要本はこの字無し。本書は初め書写されていた文字を塗抹し、右旁に加筆訂正して此の字に作る。もと何字であったかは明らかでない。尤もこの場合「猶」「獨」兩字は同義である。

1175 (同、同文下注) 得以為給用也―古活字版及び陽I・慶II・書陵・東急・宋版・道藏各本は「為」字無し。異植字版ほか武内・東大・慶I・筑波・弘文・足利・斯II・無窮・東洋・梅沢・斯I・治要には本書と同じく此の字が有る。

1207 (儷武第三十經文) 故善者果而已―古活字版及び陽I・書陵・六地・斯I・宋版・道藏・治要各本は「故」字無し。武内・東大・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・無窮・東洋・梅沢・陽II・東急各本には本書と同じく「故」字が有る。

1355 (偃武第三十一經文) 則不可得志於天下矣―古活字版のほか陽I・武内・東大・東洋・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・梅沢・六地・陽II・東急・斯I・宋版・道藏・治要の各本は「可得」の間に「以」字が有る。慶I本のみが本書に同じく「以」字が無い。或いは本書の誤脱とも考えられる。

1357 (同、右經文下注) 樂殺人者―古活字版「殺」字を「教」

に誤植。異植字版は「殺」に改正。諸本並びに「殺」に作る。

1477 (聖徳第三十二「猶川谷之與江海」下注) 川谷之與江海流相通也―古活字版及び陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・書陵・斯Ⅰ・宋版・道蔵各本は「之」字が無い。異植字版・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・梅沢・東急・杏雨の各本には、本書と同じく「之」字が有る。

1436 (辨徳第三十三「勝人者有力」下注) 不過以力也―「以」字の下に、古活字版及び陽Ⅰ・慶Ⅰ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・杏雨各本は「盛」字が、武内・東大・東洋・筑波・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵(以字を有に作る)・治要の各本は「威」字が有る。慶Ⅱ本は「盛」或いは「威」字を塗抹した形跡がある。異植字版のみが「盛」「威」の何れの字も無く、本書と同じ。本書の誤脱とも考えられるが、異植字版と一致する事を考慮に入れば、同様の伝写本が存在した可能性を容認しておくべきであろう。

1569 (為政第三十七「侯王若能守之万物将自化」下注) 言侯王若能守道―古活字版及び陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・斯Ⅱ・無窮・書陵・道蔵・治要各本は「若」字を「而」に作る。異植字版・武内・東大・東洋・筑波・足利・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版の各

本は本書と同じく「若」字に作る。

此処に挙げた三十五の箇所を以て、直ちに、本書が古活字版以外の本を参照或いは依用したと即断出来るわけではないことは、先の誤写誤脱の挙例の場合と類同である。本書の如き本文伝写を主たる目的とはしない著述であれば、依拠底本に従つても忠実ではないことも十分に予想される。従つて、63 396 397 444 511 705 868 976 1033 の例に見える「也」字の有無、助辞の選択使用による異同の事例は、別本参照を裏付ける根拠としては薄弱である。また、596 750 829 137 の例は古活字版の明らかな誤植が訂正された場合で、他本を参照する迄もなく改正可能な範疇と認識すべきであろう。

しかし、108 の例等は、別本を参照したことを示す好例と見做されよう。「浄」「静」の不同は、字形の類似の故に、伝写の過程で夙に生じた乖反が、継承された結果と考えられる。伝本はこの両字によって二類に分かれ、本書は、古活字版を含む同類伝本とは別の類の伝本に一致している。また 940 の例は、「虚言」と、「空虚」或いは「虚空」の語の不同によって、旧鈔伝本が両類に分かれ、本書は古活字版を含む類とは別類の伝本と一致している。更に 107 の例では、経文の「故」字の有無に拠つて、

諸伝本が兩類に分かれ、本書は、古活字版の類とは別の類の伝本と一致している。以上の事例に加え、577173の例に見られるように、本書書写者の単なる誤写の訂正ではなく、別本参照による加筆訂正箇所が存在している等の点を勘案すれば、本書に掲出された経注本文は、古活字版とは極めて近接するテキストとは言えるものの、その転写本ではあり得ないと、相当の確実性のもとに危殆なく認定することが可能であろう。

縷述してきたように、諸伝本と比較して古活字版との近接関係は明瞭である。殊に古活字版の内でもその異植字版とより近い関係にある。この事實は、前掲の異同箇所累計の数字から類推され、又、先に指摘したように、古活字版との異同箇所のうち、37 211 694 750 754 763 779 1004 1175 1357 1427 1436 1509の十三の箇所については異植字版との乖違は認められないのであり、古活字版との異同検讎の結果として存疑なく了解されるであろう。但、異植字版は、校改された一方で新たな誤植も所出し、その為に、以上の挙例の他に190 298 901 1079 1089 1307 1323の如き異同が別途生じていることを付言しておく。

本書は、古活字版刊行後三十年に満たない寛永四年の書写年時を志している。そこに標掲された此の老子道德經本文は、上

古以来累次の伝写を経て継承されきたった河上公本テキストの収束期の状況を露呈していると見做すことも可能であろう。古活字版本文もまた、大局的には同様の事態にあったと推察される。寧ろ刊本としての性格から、錯綜雜糅していたテキストをそこに収斂固定化した意義に就いては、更めて考察されるべき内容を孕んでいとも言えよう。然らば古活字版本文と本テキストとの関係はどの様に理解されるべきなのか。古活字版の刊行によって書写承襲の営みが途絶えてしまった訳ではなく、旧来の伝写本が雲散した訳でもない。伝写の営みが継承される過程で、結果として古活字版により近い伝本が孳生したものと推測したい。古活字版から派生した書写本ではなく、近世初期から江戸時代前期頃にかけて通行し、現在は逸失した伝写本の群類を想定した上で、その群類の或る本に拠って書写された本文と推考したのである。そして、古活字版及び此のテキストは、当然その群類の内に包含され、当時のテキストの一樣態を、辛うじて現在に伝えている本文なのである。

此の意味で、本書に写定された老子本文は、旧鈔本を鑿とする諸伝本が錯綜紛糾した様相を生起している実状に鑑み、その紛綸を解きまぐし、各本の先後縦横親近疎遠の関係を詳察細考

するためには無視することのできないテキストである。旧鈔諸本に匹敵する伝本価値を内包する貴重図書として、謹々推重すべきであろう。

注釈史上に於ける位置づけ

邦人の撰述にかかる老子注釈書としては、室町時代中期に遡る伝存本は未だ知られておらず、清原宣賢撰かとされる『老子經抄』が最も古く、本書が、その『老子經抄』に次ぐ注釈撰述書であることは、既述した通りである。

勿論、著述として結実することは無かったが、『老子』の講習誦読の歴史は平安時代以来の事であって、その証跡は、現存する老子道德經旧鈔本への加點並びに累時の標記傍注書入れを尋繹することによって、追考が可能であろう。そして、平安時代に遡る書写本は未だ発見されていないが、これら現存旧鈔本のテキストは、その殆ど全てが河上公章句本である。従って、中古以来室町に至って『老子』の誦読には専ら河上公章句本が依用された事実が、伝本の残存状況から確認されるのである。

また、一方で、中世以後、經学におけると同様に、宋学の影響を受けて、宋林希逸の口義本が新注として併用されるように

なったことも、複数の古鈔本に見られる累加された書入から明らかである。^(注)『老子經抄』もまた、この様な情勢の下に撰述された注釈書であった。龍門文庫には〔室町末近世初〕書写の老子虞齋口義存卷下一冊が架蔵され伝存している。此の虞齋口義本は、慶長から元和年間にかけて、古活字版四種五版が刊行され、本書の書写年である寛永四年（一六一八）には、京都の安田安昌によって〔元和〕刊古活字版の覆刻整版本が刊行されている。近世初頭以後、河上公章句本に取って代わり急速に普及していった有り様が、伝本調査の結果として判明している。本書は、この様な河上公章句本から虞齋口義本への流行に、敢えて抗するかのごとく、河上公章句に旧然拘泥した著述である。かかる観点に於いて、本書は中世以来の老子学の伝統を猶濃厚に遺留した注釈書であって、以後近世に至って簇出する老子注釈とは、一線を画すべき性格を保有していることを認識しておかねばならないであろう。

この事実は、注釈の内容からも窺うことができる。古鈔本の書入、及び『老子經抄』との類似箇所が少なからず認められる。この類似箇所を旧学承伝の例証として提示してみる。

初めに、本書卷末の附載部分（下78才、以下同様に、上冊下

冊の別、本翻印欄脚に記した丁数、表裏、及び表裏内での行数を注記する、行数は空行は員数に入れない)において「事林広記」から引載された「老子変現之図」が注目される。これと内容同形式の図表が、東京大学総合図書館蔵(室町末)写「老子道德經」の巻前の書入にみられ、「老子經抄」では、序の抄の冒頭部分及び頭質章八十一後の補述の部分に於いて、此の図に基づいた講述が展開されている。このことが、先ず第一に指摘される。

次に、本書賛玄第十四經文「是謂無状之状」の章句「言一無形状、而能為万物作形状也」の本書注に「柳為緑、花為紅、松葉細、荷葉圓者、所謂形状也」(上64札)とあるが、「老子經抄」の該当箇所では、「無状之状ト云ハ、无状也、其故ハ、状ナキカトスレハ、為万物、柳ハ緑リ、花ハ紅ト、形ヲナスホトニ、無状之状也」と極めて類似した講述がなされている。「柳緑花紅」とは、宋蘇軾の詩句を典故とすると言われ、意味上では転訛しながら後世まで通行している成語であるが、中世においても流行したもののようである。「老子經抄」では、自然無為を表す語として、屢、実に十箇所に渡って使用されている。本書でも上記の他、養身第二經文

「而不辞」の章句「不辭謝而逆止也」下に「言、柳成緑、花成紅、松葉細、荷葉圓、鳥飛天、魚躍湖、獸走山林、日々夜々、雖千變万化、道以不為方、能受之」(上19札)と、また、賛玄第十四經文「無物之象」の章句「言一無物質、而能為万物、設形象也」の下に「為柳、為花、為松、為荷者、物質也」(上64札)とみえ、修辭上言語基盤の共有性が窺察されるのではなからうか。

更に「老子經抄」との類似点を挙げれば、體道章第一經文、「故常無欲以觀其妙」の章句「道讚叙明是非也」の注として「讚叙 解述之義也、讚解也、叙述也」(上9札)と見えるところ「老子經抄」には、「道讚叙ト云ハ、万物カ、道ヲ讚叙、是テアル、非テアルト明ス也、一睦ハ、讚解ノ字ノ心トアル也、道カ万物ヲ、讚叙ノ、明是非也」とあり、この一睦の説と符合している。

また、養身第二經文「故有無之相生」の章句「見有而為無也」の本書注は「以人我對之、則見有便為無、見無便為有也」(上17札)と、「老子經抄」は「注見有而為無也ト云ハ、見テハ有、無テアルト云、見無有テアルト云、云也」とあつて両注同意であらう。

また、安民第三經文「使_レ心不_レ乱」に対する本書注は「上不_レ見_三可_レ欲_一、則_レ下使_レ心不_レ乱也」(上22ウ)であり、『老子經抄』は「不_レ乱ト云ハ、不_レ見_三可_レ欲_一、使_レ心不_レ乱也」とあつて、殆ど同文である。

また、淳風第十七經文「其次侮_レ之」の章句「禁_レ多令_レ煩」の本書注は「禁者、禁制也、令、號令也」(上75ウ)と、『老子經抄』には「注_二禁ハ々制、令ハ号令也」とあつて此れも同文である。

また、虚無第二十三經文「希言自然」下の本書注に「論語陽貨曰、子曰天何言哉、四時行焉百物生焉、天何言哉」(下20ウ)とあるところ、『老子經抄』は、「希言自然ト云ハ、天何ヲカ言哉、四時行_レ、百物生ル義也」と同文の引証をもつて講釈している。

また、巧用第二十七の經文「常善救_レ物」の章句「教_レ民順_二四_一時_レ者」の本書注釈は「教_レ民順_二四_一時_レ者、春_レ耕、夏_レ耘、秋_レ收、冬_レ藏等_一之謂」(下42ウ)と、『老子經抄』は「教_レ民、順_二四時_一ト云ハ、民ハ、春ハ耕、夏ハ耘、秋ハ收納シ、冬ハ藏ス義教也」と、これも殆ど同文である。

また、同章末の經文「是謂_二要_一妙」の章句「能通_二此意_一」

の本書注には「能通_二此意_一者、能理_三會_{スル}雖_レ智_一、大迷_二之義_一之謂」(下44ウ)とあり、『老子經抄』には「注_二通此意_一ト云ハ、雖_レ智_一ア_レト、大迷ト知タルハ、通_二此意也」と、文意全く同じである。

以上の如くに、注釈の文辭に於いて、古鈔本及び、『老子經抄』と一致若しくは類似する証例として確認されるのである。

しかしながら、本書は、如上の事実とは相反する側面、即ち、中世までの注説とは異なる、言わば近世を關く新機軸とも言える注釈内容をも併有している。

その一つとして、字句の訓義において、従来とは異なった新たな解釈が認められる。『老子經抄』の講説との相違点を抄出例示してみること、その一端が窺えるであろう。

無源第四の經文「同其塵」の章句の「別_レ殊」の二字を、『老子經抄』は「別_レ殊ノ二字ヲ、コトニト一ツニヨム也」と訓釈するのに対し、本書は「ワキコトニス」と訓んでいる(上26ウ)。因みに旧鈔本の加点は「別_二ニ_一殊ニス」(武内・慶一)、「別_二殊ス」(東大)、「別_二ニ_一殊ナル」(斯一)、「別_レ殊ル」(筑波)、「別_二殊ス」(東大)、「別_レ殊セ」(無窮)等であつて本書の訓みと符合する例は無い。東大本は両様に解釈出来ようが「コトニス」

と訓んだものと考えられる。

異俗第二十の經文「我獨若遺」の「遺」字に就いて「老子經抄」は、「若^{イヌルカ}遺ト云ハ、我ハ何ヲモ、ウチワスレテ、アル如クナト也、遺ト云モ同心也」と訓釈しているが、本書は、「ワスレタルカ」とあつた振り仮名を「ステタルカ」と加墨して訂正している(下11頁)。旧鈔本の訓は「ワスレタルカ」(東急・斯I・弘文)、「ワスル、カ」(東洋・斯II・武内)、「ワスル、か」(無窮)、「ハスル、カ」(慶II・東大・筑波)、「ハスル、」(書陵・足利)、「禾^{イヌルカ}タルカ」(無窮)、「ール、か」(無窮)、「イスルカ」(武内)、「ワスレスタル」(梅沢)等である。

苦恩第二十四の經文「跨者不行」^{アフトコフ}、「老子經抄」は「跨^{アフトコフ}者ハ不行者也、跨ト云ハ、ヲコツタル心也、不行ト云ハ道不行ト云心也、句義ニハ、跨マタカルトアリ」と訓釈し、本書は「跨^{アフトコフ}ガル者ハ行カズ」と訓んで、林希逸口義の新義に従っている(下24頁)。旧鈔本は「アトコフ」(梅沢・書陵・陽I)、「アフトコフル」(斯I)、「アフトコフ」(梅沢)、「アフレコフ」(斯II)、「アツ」(東洋)、「アットコフ」(東急)、「アットコフル」(筑波・慶II・弘文)、「ヲコル」(慶I)、「マタカル」(慶I)、「マタガル」(無窮)等と訓む。

無為第二十九の經文「吾見其不得已」^{ヤム}、「老子經抄」は「吾其ノ得ザルヲ見ラク已」と訓み、本書は「其ノ得ヌノ已ヲ見ル」と訓む(下48頁)。旧鈔諸本は概ね「老子經抄」に近く、管見の限りでは「已」を「ヤム」と訓む例は無い。

成象第六の經文「是謂玄牝」下の章句の「五氣」に就いて、「老子經抄」は「五氣ト云ハ、木火土金水ノ五形也」と解し、本書は「風、熱、湿、燥、寒」と解釈している(上33頁)。本書には更に、六箇条に渡つて素問馬蒔注が引用され、この馬注の「在天五氣」説に従つたものと理解される。

揆欲第十二經文「是以聖人為腹」の章句の「五性」を、「老子經抄」は「五性ト云ハ、五藏ノ性也」と解し、本書は「五行之性也」と解す(上57頁)。また、同章句の「節」字を「老子經抄」が「節ハ竹ニ、上下ノフシノアル如ク、次才也」と解するのと異なつて、本書は「操也、又制也」と解している(上57頁)。

還淳第十九經文「絶聖」下の章句中の「聖制作」^{ナリ}、「老子經抄」は、「制作ト云ハ、文書ヲ制作スル義也」と解するのと異なり、本書は「所謂五帝畫象蒼頡造書等也」と解釈する(下4頁)。

異俗第二十の經文及び章句の「偏々」を『老子經抄』は章句の二字を用いて「窮鄙ノ兒也」と解しているのに対し、本書は「無三分別之義、玉篇、偏、相敗也」と解し、「窮鄙」二字に就いては別に「困窮鄙薄之義」と注解を加えている（下119-10）。尚、旧鈔本の東洋・武内・慶Ⅱ各本の書入は『禮記』の「喪客偏々」の注を引証とし「羸兒」或いは「傷心兒」と、また別の解を示している。

偃武第三十一の經文「夫樂殺人者則不可得志於天下矣」の章句の「制人命」に就いて『老子經抄』は「制人命ト云ハ、人ノ命ヲ、助ルモ殺モ、王者ノ禁制ニ在ル故也」と、「制」字を禁制の制と解するのに対し、本書は、説文の「制、裁也」の解に拠り、「裁、制也」として「制人命者、殺人命之義也」と解釈している（下548）。

以上、挙げるべき証例の一端ではあるが、訓義解釈の面に於いて、改旧遷易の蹤迹を感知することができるであろう。

参照引用典籍に就いて

中世以来の伝統的訓釈と、近世的と見做してよいであろう新たに提起された訓解とが、交雜した様相は、証引された諸典籍

の傾向からも容易に察知することが出来よう。後掲の「引用書目篇目一覽」を参照して頂きたい。引用典籍の大半は、室町以来旧刊本或いは古活字版として流布通行し、また諸注釈書或いは書入りに屢々引載されて馴染みのある漢籍である。四書五經の類は、注疏、章句集註、或いは大全からの引用であり、小学書は、古今韻会挙要が殆ど全てであり、史部書は史記、漢書、紹運図、史学提要等、室町期以来の通行漢籍で、子部、集部の書も同様である。

しかし、その一方で、引用された典籍群の中には新渡来の漢籍も混在している。即ち、明国より新しく舶載された幾部かの漢籍が含まれている。この新来漢籍の引証に着目すれば、本書に内在する斬新さが、更めて了解されるであろう。

本著者は、新渡来の明版若しくは朝鮮版等をいち早く、直接に利用したものと推察されるのである。本書の注解は、これら引用書籍に立脚しているのであって、当然の事ながら、加點訓読の作業を経た上で、その新しい学問内容が取り込まれている。この事実は江戸時代初期に於ける漢籍受容の実態を示す恰好の事例としても注目されよう。

具体的には、史部書には、明人王世貞編纂の『鳳洲網鑑』の

引用^(注3)が見られ、また、医書經典である「素問」「靈樞」に対する明人馬蒔の注釈「註證發微」の引用^(注4)がある。何にも増して、本書注釈に精彩を与えているのは、新しく渡来した「老子」注釈書からの引証であろう。古鈔本の書入として前代から伝写承習されてきた、唐賈大隱の「述義」等の引文は全く見られず、「纂圖互註老子道德經」及び新注としての宋林希逸の「虞齋口義」に加えて、唐杜光庭の「道德經廣聖義」、明林兆恩の「釈畧」^(注6)、更に「道書全集」^(注6)所載の元陳致虚上陽子の序並びに注、同じく明張位洪陽の「注解」が撮録されている。中でも「道德經廣聖義」の引文は三百五十条近くに上り、本書注釈文の半ばを占めて根幹を成している。また、「前言」でも触れたことでもあるが、此処に抄録された同書本文は現今通行の道藏本とは明らかに底本を異にし、その道藏本以外には現存伝本は甚だ少ない。従って、この「道德經廣聖義」に就いては特に、その引文並びに同書の伝来、受容承伝に関して若干の検討を加えておく必要がある。

道德經廣聖義

同書は、唐玄宗の御注、御疏を敷衍推広した注釈で、「注」

「疏」と標記して玄宗注疏の全文を分段して掲げ、その下に、「義曰」の二字を冠して杜光庭自注を加えている。「引用書目篇目一覽」に示したように、同書からの引用は、「注曰」と冠する引文が二十四条、「疏曰」九十七条、「廣聖義」或いは「義曰」と称して二百二十二条、その他数条を数える。

編注者杜光庭^(注7)は、字は聖寶（或いは寶聖、寶至とも伝える）、晩年には自ら東瀛子と号した。唐末五代の道士で、唐僖宗、昭宗、前蜀王建の時代、戦乱興起し世情昏迷する間に在って、道書の蒐集整理、道教教理の再建に努め、古典道教学の大成者と評価されている。著作は、神仙道家に関する仮託の書を雜えて夥しく、「杜撰」の語源の譌伝までも生じた。四庫全書は「廣成集」一二卷（道藏本は一七卷）を收入著録し、存目に「杜天師了證歌」一卷（医家類）、「録異記」八卷（小説家類）、「道教靈驗記」十五卷、「神仙感遇傳」五卷、「壩城集仙録」六卷、「洞天福地嶽瀆名山記」一卷（以上道家類）を著録する。

杜光庭自序の末に「天復元年龍集辛酉九月十六日甲子序」と識され、この天復元年（九〇一）が書成年と見做される。

同書は道藏に収められ、明正統刊道藏では羔字号至行字号に収録、「道德真經廣聖義」と題し、五〇卷。此の道藏は江戸時

代に我が国にも舶載され、毛利高標旧蔵高翰献納本として現在
宮内庁書陵部に一本が架蔵されている。此れが国内唯一の伝本
である。此の明正統刊道蔵は、北京白雲觀蔵本（現北京図書館
蔵カ）を底本、上海白雲觀蔵本を対校本とし、上海涵芬樓によつ
て民国一二年（一九二三）から一五年（一九二六）にかけ影印
出版された。その影印本が、所謂上海版道蔵として流布してい
る。同書に就いてみても、その上海版道蔵所収本が、現今殆ど
唯一の通行テキストである。

しかしながら、本書摘録する所の同書引文は、後に例示する
如く、其の道蔵本とは処々字句に異同が見られ、更に道蔵本に
は見えない文辞が存在する。従つて、道蔵本とは系統を異にし
る別本が江戸時代初期に存在した事を想定し、本書の引文はそ
の別本から録出された事実を確認しておかなければならない。

我が国伝来本として、『経籍訪古志』卷五著録の求古楼蔵旧
鈔本が知られている。しかし、現在その本の所在は杳として明
らかでない。『古文旧書考』卷一著録の本は、その求古楼蔵本
の如くで、島田翰は「慶長以上鈔本」と鑑定している。両解題
に拠れば、道蔵本とは明らかに別本である。

筆者は近年、大東文化大学図書館高島蔵書の内に、その求古

楼蔵本の転写と思われる一本を見出した。序跋の内容、分巻の
次第、款式何れも森、島田の題記するところと一致する。概要
は次の如くである。

道德經廣聖義 三〇卷首一卷（唐玄宗）注疏 杜光庭義

写 寄合書 市野迷庵自筆校合書入本

一〇冊

茶色表紙（二六・九×一九・七糎）、「道德經廣聖義一之二（一
廿八之卅終）」と左肩に朱書さる。扉無し。首一卷の次第は以下
の如し、

新編連相搜神廣記（題下に「淮海秦 子晋 編」と、次行低

二格「道教源流」と題す）

唐開元御贊／太上老君（顏真卿書）一丁

太上老君混元上德皇帝瑞像（老子立像）

真宗皇帝御製／太上老君贊并序

真宗皇帝御製太上老君古玉石像贊并序

真宗皇帝御製 太上老君度關銘并序

孝宗皇帝御製原道論辨

侍講程尚書易老通言撮要

道德經廣 聖義序（嘉定甲申四月丁卯朔二／茅山華陽洞天白

雲崇福觀保寧大師賜紫／周觀復序)

進道德經廣聖義狀／廣德先生臣杜光庭(永平三年二月五

日廣德先生臣杜光庭 狀奏)

太上老君道德經廣聖義序／廣德先生杜光庭 上(大蜀

永平三年龍集癸酉正月／日 謹叙)

再雕道德經廣聖義疏後序(道士王洞應後序)

道德經廣聖義卷第一并序／廣德先生杜光庭述(天復元年

竜集辛酉九月十六／日甲子序)

〔目錄〕(首に題目無く、第一卷より第三十卷の細目を記す)

尚、各序毎に改葉はせず、概ね連続して書写されている。ま

た、末の永平三年杜光庭自序、王洞應後序、天復元年自序の三

序の間に錯簡がみられる。

卷末に、次の諸序跋を列載する。

廣聖義印板後序(特進檢校太保／前守眉州保勝軍團練使上柱

國樂安縣開國子食邑五百戸任／知玄叙／永平三年太歲癸

酉二月甲戌朔八日辛巳／以下、左衛天長觀内殿講論大德賜

紫張延光等五名の官銜有り)

嘉定十有七年三月上休／日成紀李 劉謹書の序

嘉定癸未／十一月上休日清江徐天麟書の序

嘉定甲申暮春／既望如是堂韋興宗謹書の序

嘉定十七年／四月丁卯清江張洽題の序

(以上の首序尾跋のほは全文が「古文舊書考」に翻字転載さ

れている)

首序末の目錄後改葉せず直接して再度「道德經廣聖義卷第

一」と題し、次二行低二格に「叙經大意解疏序所引／老君應跡

本起降生祥異」と目錄を掲出して本文に入る。卷二は、「釋

老君應跡本起降生祥異」「釋老君聖唐冊號」、卷三は「釋疏

序上」、卷四は「釋御疏序下」「釋疏題明道德義」で、卷五以下、

道德經注疏文の釋義に入る。

尾題は首題に同じ。

四周単辺(二一・八×一七・三種、版心部分に縦の界線が無

く、小口より測定)無界、每半葉十四行、行十九字、柱題署丁

付け無し。經、注、疏、義等の標字は墨困。処々、青筆の句点

眉上に、青、朱筆の譌脱訂正校語等の書入れ、希に道藏本との

校異書入れがあり、卷三十尾題下に青筆で次の校読識語がある。

文政六年癸未六月廿二日一讀了 光彦

書入れは市野迷庵の自筆と見做して良いであろう。

「江戸市野光彦藏書記」(朱長方)、「高島藏書」(朱長方)。

「大東文／化大学／図書館」（朱方）の印記有り。

同書の成立刊行流伝の経緯は、永平三年正月の杜光庭自序、同年二月の進状、同年同月の任知玄の印板後序、王洞應の再雕後序、宋嘉定十七年四月の周觀復の序に拠って詳らかである。

その梗概を記せば、同書は、唐末天復元年（九〇一）に著述され、前蜀王建の治下、内枢密使檢校太保任知玄が武成二年（九〇九）より五年の歳月を費やして永平三年（九一三）に雕造刊成し、撰者杜光庭自ら上進した。印版共に四百六十餘版であったという。その刊版は、五代擾乱の間に損壞四散したようである。宋代になって道士王洞應が再刻した。その後、歳月を経るとともに、流伝殆ど堪えるに至り、宋末の嘉定十七年（一二二四）に崇福觀保寧大師周觀復が更に重刊した。

以上の五代蜀永平三年任知玄刊本、宋王洞應刊本、宋嘉定十七年周觀復刊本は何れも伝存しないようである。しかしながら、本邦伝来の古抄本である求古樓旧蔵本が、『經籍訪古志』『古文舊書考』に指摘されている如く宋嘉定刊本を藍本としたことは、高島蔵書の伝写本に拠っても傍証され、疑いを入れる余地は無いものと思われる。従ってその古抄本の書写当時、島田翰の鑑定に従えば、慶長以前に、宋嘉定刊本其の物、若しくはその系

統を継ぐ伝本が我が国に存在した事実も当然是認められなければならない。古抄本が失伝した今では、その伝写本と雖も、高島蔵書の一本は、宋刊本の系統を引く天壤間唯一の伝本として、優れて貴重である。

さて、本書に抄写されている『廣聖義』の引文は、道蔵本ではなく、宋刊本系の本文である蓋然性が極めて高い。江戸時代初期以前に、道蔵が舶載された形跡が窺われないこと、近世初期には確かに宋刊本系の古写本が存在し、その伝写本が現存しているという事実は有力な傍証となるであろう。更に、道蔵本、伝写本、本書引文を照校する事によって、宋刊本系本文であることが確認されるはずである。

先ず、本書冒頭の「廣聖義曰書之分卷以為上下云々」（上1 札）の一条及び、卷末附録部分の「道德經」「本易」「有無」「明矯正」の各論は共に「侍講程尚書易老通言撮要」からの摘録である。この「撮要」と、本書末尾に引載されている「孝宗皇帝御製原道論辨」の両篇は、宋嘉定刊本に刊行者周觀復が特に編入付載した言わば参考資料であつて、道蔵本には無い。

また、引文を両本と比較すれば、道蔵本との異同が遙かに顕著である。次に、道蔵本と異同のある箇所につき本書引文を掲

出し、伝写本を含め、三本間の相違を例示してみる。また、掲出文中に於いて、伝写本と異同がみられる場合は、それも併せて示しておく。掲出引文の訓点は省略し、道蔵本文は便宜上通行本即ち涵芬樓影印本に依拠した。

常見庖履為業居於河上(上176)

1 「庖」、伝写本同じ、道蔵本「織」に作る

相生之名、由妄執起、如美惡非自性生(上174)

2 「起」、伝写本「起有無」三字に作る、道蔵本「亦」に作る

亦如工者易於木而難於陶、甄匠易於埴而難於木、故云難易相成(上174)

3 「陶」、伝写本同じ、道蔵本「埴」に作る

4 「甄」、伝写本同じ、道蔵本「陶」に作る

5 「相」、伝写本同じ、道蔵本「於」に作る

見長短相、猶美惡既無定体(上176)

6 「長短」、伝写本同じ、道蔵本「短長」に作る

7 「相」字の下、道蔵本「形」字有り、伝写本無し

8 「猶」字の下、伝写本・道蔵本「如」字有り

故物失冲和之道、必致敗亡(上26ウ)

9 「冲」、伝写本同じ、道蔵本「冲」に作る

10 「敗」、伝写本同じ、道蔵本「害」に作る

言人養氣則与天為徒(上35ウ)

11 「養」、伝写本同じ、道蔵本「食」に作る

卿大夫有一於此、則賊乱其家(上41ウ)

12 「則」、伝写本・道蔵本この字無し

象既有齒而焚其身、鷄亦為犧而断其尾(上42ウ)

13 兩「其」字、伝写本・道蔵本無し

14 「為」、伝写本同じ、道蔵本「畏」に作る

徳、國家之基也、有基無壞、無亦是務乎(上43ウ)

15 「家」、道蔵本同じ、伝写本無し

16 「有基」、伝写本同じ、道蔵本無し

17 「無亦」、伝写本同じ、道蔵本「亦無」に作る

貪利而忘其身、志不及鷄矣(上43ウ)

18 「忘」、道蔵本同じ、伝写本「應」に作る

19 「志」、伝写本同じ、道蔵本「智」に作る

惠照之心照無遠近、煥然四達、所無隔遠(上49ウ)

20 「所無」、伝写本・道蔵本「無所」に作る

21 隔遠の「遠」、伝写本・道蔵本「礙」に作る

當其虛無、方有車之運用（上53㉔）

22 「虚」、伝写本・道蔵本「空」に作る

畫卦觀象、制以文字（上54㉑）

23 「制以」、伝写本同じ、道蔵本「以制」に作る

制為宮室（上54㉒）

24 「為」、伝写本同じ、道蔵本「以」に作る

五味之設、本以調五行之和、以養於人（上56㉑）

25 「調」、伝写本同じ、道蔵本「彰」に作る

々（道）非色声形法、故求竟不得（上62㉑）

26 「色声」、伝写本同じ、道蔵本「聲色」に作る

27 「求竟」、伝写本同じ、道蔵本「竟求」に作る

故謂之希微夷者、所謂明道而非道也（上62㉒）

28 「希微夷者」、伝写本同じ、道蔵本「夷希微矣夷者」に作る

る、但、伝写本は藍色の後筆で「希」字の右旁に「夷」字

を、「微夷」兩字の間右旁に「矣」字を加筆

由此而言、豈隨迎而可得也（上64㉒）

29 「而可」、伝写本「而」字無し、道蔵本此の兩字共に無し

道德微妙、應變玄通、其用冲深、難以智察（上65㉑）

30 「德」、伝写本同じ、道蔵本無し

31 「深」、伝写本同じ、道蔵本「寂」に作る

如彼空谷無不包容（上67㉑）

32 「空」、伝写本同じ、道蔵本「虚」に作る

33 「包」、道蔵本同じ、伝写本「苞」に作る

善士心照清濁、而能容物（上67㉒）

34 「濁」、伝写本同じ、道蔵本「浄」に作る

形曲則影斜、源混則流濁（上76㉑）

35 「斜」、伝写本同じ、道蔵本「邪」に作る

百姓所以親愛君之善仁、称誉君之功業者（上76㉒）

36 「善仁」、伝写本同じ、道蔵本「仁善」に作る

五色不乱、孰為文采（上77㉑）

37 「為」、伝写本・道蔵本「應」に作る

上下等衰以為信也、六粟為圭、十圭為抄（下2㉑）

38 「衰」、伝写本同じ、道蔵本「差」に作る

39 「六粟」、伝写本「六粟」に作る、道蔵本「六十四黍」に作る

作る

上得臨御之美、下尽弼諧之道（下3㉑）

40 「美」、伝写本・道蔵本「宜」に作る

乃翻為盜國之資也、老君戒之（下5㉑）

- 41 伝写本同じ、道蔵本「之資」の間に「盜」字有り
故悦於明者、是滯於見也（下89）
- 42 「見」、伝写本同じ、道蔵本「色」に作る
善惡以之兩相忘也（下92）
- 43 「之兩」の間、道蔵本「謂」字有り、伝写本無し
- 44 「相」、伝写本・道蔵本無し
募多聞而求多、苦志勞神、役心損性、是乖真素也（下101）
- 45 「募」、伝写本同じ、道蔵本「慕」に作る
- 46 「志」、伝写本同じ、道蔵本「忘」に作る
登臺肆目、煦然心蕩矣（下104）
- 47 伝写本同じ、道蔵本「心」字無し
至人能順於道、德乃顯矣（下136）
- 48 「顯」、伝写本・道蔵本「彰」に作る
彼必知慙反自修整者（下161）
- 49 「反」、伝写本同じ、道蔵本「及」に作る
若剛佞躁戾之人、如飄風暴雨之行、即失道矣（下207）
- 50 「若」、伝写本同じ、道蔵本「君」に作る
- 51 「佞」、伝写本同じ、道蔵本「狼」に作る
取其殼則以柔帛拭之（下227）
- 52 伝写本同じ、道蔵本「則」字無し
以器類相感而能生水火（下221）
- 53 「器」、伝写本同じ、道蔵本「氣」に作る
以此功深用廣無狀無形（下2710）
- 54 「無狀無形」、伝写本同じ、道蔵本「無形無狀」に作る
見其包含無體、將欲定其至無之體（下274）
- 55 無體の「體」、伝写本同じ、道蔵本「外」に作る
秋主於成、而無長生閉藏之用（下325）
- 56 「長生」、伝写本・道蔵本「生長」に作る
刑德仁義神之末也、非至人孰能定之（下339）
- 57 「人」、伝写本同じ、道蔵本「仁」に作り、其下に「其」
字有り
運動不息、則健而文明（下335）
- 58 「則」、伝写本・道蔵本「剛」に作る
清以之天、靜以應地（下337）
- 59 「之」、伝写本同じ、道蔵本「則」に作る
四鈞為碩、甘而為銚矣（下415）
- 60 銚の下、伝写本・道蔵本「是」字有り
何用籌算乎、何用計術乎、夫一者道也（下417）

61 「何用籌算乎」、伝写本「籌」、「等」に作る、道蔵本、此の
五字無し

恍惚之象、窈冥之精、皆謂一也（下41ナ）

62 「悦」、伝写本同じ、道蔵本「悦」に作る

63 「窃」、伝写本同じ、道蔵本「查」に作る

有之者必待曆數在躬（下48ナ）

64 「之」、伝写本同じ、道蔵本「道」に作る

若暴乱之人、将欲以力取而為之者（下48ナ）

65 之者の間、伝写本・道蔵本「主」字有り

有一於此、必為敗亡（下49ナ）

66 「敗亡」、伝写本・道蔵本「亡敗」に作る

上將軍却居右者、言用兵之道同於喪禮（下54ナ）

67 「却」、伝写本同じ、道蔵本無し

率土之賓、莫非王臣（下57ナ）

68 「賓」、道蔵本「濱」に作る、伝写本、元「濱」に作り、

胡粉を以てさんずい偏を塗抹

周設五等之爵、有公、侯、伯、子、男也（下57ナ）

69 伝写本同じ、道蔵本「有」字無し

若弃德不讓、是廢先君之舉也（下59ナ）

70 「拳」、伝写本同じ、道蔵本「本」に作る
乃使其子馮出居于鄭以讓輿夷（下59ナ）

71 「使」、伝写本同じ、道蔵本「以」に作る

72 「于」、伝写本・道蔵本共に無し

73 「輿」、伝写本・道蔵本共に「輿」に作る

善養生者、若牧羊者乎、視其後者鞭之（下61ナ）

74 「者乎」、伝写本同じ、道蔵本「然」一字に作る

75 後者の「者」、伝写本・道蔵本共に「而」に作る

自思復其廉矣、此翁歛其心之權也（下66ナ）

76 「復」、伝写本同じ、道蔵本「獲」に作る

77 「翁」、伝写本同じ、道蔵本「歛」に作る

78 「也」、伝写本同じ、道蔵本「矣」に作る

魚之處泉也、失水則死、得水則生（下68ナ）

79 「泉」、伝写本同じ、道蔵本「淵」に作る

起無始者、所言老子者老君也（下72ナ）

80 「老子者」、伝写本同じ、道蔵本此の三字無し

體大無辺、相好兼備、自然之尊（下72ナ）

81 「兼」、伝写本・道蔵本並びに「衆」に作る

美目方口双柱三漏日角月玄（下74ナ）

- 82 「目」、伝写本・道蔵本並びに「眉」に作る
- 83 「玄」、伝写本同じ、道蔵本「淵」に作る
其縣本名苦縣、漢魏以來名穀陽縣（下75レ）
- 84 「穀」、伝写本同じ、道蔵本「谷」に作る
一旦於所居靈竈下迎白日昇天（下75ウ）
- 85 「靈」、伝写本・道蔵本並びに「雲」に作る
因攀李樹生於左脇、生時髮白（下76ウ）
- 86 「時」、伝写本同じ、道蔵本「而」に作る
娶天水尹氏之女生子名利貞（下76ウ）
- 87 「利貞」、伝写本同じ、道蔵本「貞利」に作る
老君以殷陽甲之代、降神寓胎（下76ウ）
- 88 「殷」、伝写本同じ、道蔵本「商」に作る
- 89 「陽」、道蔵本同じ、伝写本「湯」に作る
世人先幼而後老、々君先老而後子（下77ウ）
- 90 「子」、伝写本同じ、道蔵本「幼」に作る
委迹和光以徇於世者、老者、以生而白首（下77ウ）
- 91 「徇」、伝写本同じ、道蔵本「循」に作る
- 92 老者の「者」、伝写本同じ、道蔵本「君」に作る
玄妙玉女元君内傳云（下77ウ）
- 93 「内」、伝写本同じ、道蔵本この字無し
玉女捧接、祥風滿庭、日童散暉、月妃擲華、衆真來集（下77ウ）
- 94 「風」、伝写本同じ、道蔵本「雲」に作る
- 95 「童」、道蔵本同じ、伝写本「星」に作る
- 96 「眞」、伝写本同じ、道蔵本「聖」に作る
眞源舊里累降禎祥（下79ウ）
- 97 「禎」、伝写本同じ、道蔵本「樹」に作る
上元々年枯檜樹於本梯上有朱書（下79ウ）
- 98 「本梯」、伝写本同じ、道蔵本「木枝」に作る
寶應元年有紫氣厲天（下79ウ）
- 99 「氣」、伝写本同じ、道蔵本「雲」に作る
老君應現有黒氣遍州、賊徒迷失道路（下79ウ）
- 100 「州」、伝写本・道蔵本「川」に作る
陰雲斗現、火滅雨降、賊徒奔潰（下79ウ）
- 101 「斗」、伝写本同じ、道蔵本「升」に作る
- 102 「火滅雨降」、伝写本同じ、道蔵本「雨降火滅」に作る
逆賊遍地自圍逼亳州（下79ウ）
- 103 「自」、伝写本同じ、道蔵本「白刃」二字に作る
ここに挙げた一〇三の異同箇所内、本書引文と伝写本が一

致している箇所は 1 3 4 5 6 7 9 10 11 14 16 17 19 23 24 25 26 27 28 30
31 32 34 35 36 38 41 42 43 45 46 47 49 50 51 52 53 54 55 57 59 62 63 64 67 68 69 70
71 74 76 77 78 79 80 83 84 86 87 88 90 91 92 93 94 96 97 98 99 101 102 103 の七二箇
所、伝写本と道藏本が一致する箇所は 8 12 13 20 21 22 23 27 37 40 44 48 56
58 60 65 66 72 73 75 81 82 85 100 の二二箇所である。単純にこの数値か
ら見ても、本書引文が、道藏本に比べて遙かに伝写本に近似し
ていることが了解される。伝写本と道藏本が同様に本書引文と
異なる二二の箇所は、三本それぞれに異同が見られる 2 29 39 61、
伝写本だけが異なる 15 18 33 89 95 を含め、写本の宿命として避け
がたい衍脱誤写を考慮に入れた上で、検討する必要がある。この点を
誤写が生じていれば当然異同は増加する道理であり、この点を
考え合わせれば、ここに示された本書引文と伝写本との異同は、
本来はより少ない蓋然性を孕んでいると考えるべきで、両本の
近似性は更に高いものと認識すべきである。

『廣聖義』の伝本は、現在、道藏本系と本邦に伝来した旧抄
本を含む宋嘉定刊本系との二系統が想定されうる。以上に示さ
れた異同の様相から推察すれば、本書注釈に摘録引載された同
書の本文が、宋刊本系であることはほぼ確実であろう。しかし
また、宋刊本系である伝写本と乖反する箇所も二・三に止まら

ず、本書引文全文を伝写本と対校するならば、更に多くの異同
が指摘されることを予想しなければならぬ。従って、本書引
文の藍本と、伝写本の底本とは、当然別の伝本であったと推定
するのが妥当であろう。近世初、江戸初期に於いて、現在は失
われている宋刊本系の複数の伝本が存在した事実が確認される
のである。

しかしながら、宋本系としては、江戸時代後期の伝写本が唯
一である今日の伝本状況では、本書引文の藍本を特定すること
は不可能である。しかし、失伝している宋版『廣聖義』の本文
を伝えるこの引用は、全三十巻或いは五十巻という浩瀚な原書
に対比すれば、分量的にはごく部分的で数少ない抄録ではある
が、書写年代の古さを勘案するならば、高島藏書の伝写本に勝
とも遜色の無い、貴重な本文資料と言えよう。このことは更に、
本書自体の存在価値を高からしめている。本書の書写年代であ
る寛永四年以前に、『道德經廣聖義』の宋版系伝本（或いは宋
刊本其の物である可能性もある）が日本に実在し、且つ利用さ
れていた事実が、本書が遺存したことに拠って、改めて確認さ
れるのである。

引用書目篇目一覽凡例

- 一、書名、篇名・章題等は引用記載の称名のままに標出する。
- 一、一覽表の形式を整える関係で、記載称名の通りに表記できなない時は、「 」を以て附記したことがある。
- 一、篇名章題等は書名より一字下げて、通行本の目録の順次に従つて排列標出した。
- 一、古今韻會挙用の引文は、同書の聲韻字音の排列の順に従う。

- 一、各書の注釈書末書の類は、更に一字を下げて掲出する。
- 一、引証文中の引用文は「同書（注・疏）引」某書（注・疏）」と標記し、同書（注・疏）の後に低格して掲出した。
- 一、省略、略記された書名、篇名・章題等は「 」内に推定補記したことがある。
- 一、各書・各篇名等の下に、本書に於ける該引用文の所在箇所を以下の要領で示した。

- 「上」「下」は、上冊、下冊の別を示す。
- 「上」「下」の直ぐ下の数字は、本翻印欄脚に記した丁数、次に表裏の別を「オ」「ウ」で表す。
- 「オ」「ウ」に続く数字は、その表裏内での、本翻印に

於ける行数を表す。空行は員数に入れない。

- 「上」「下」、丁数、「オ」「ウ」は、後出引用文に就いて前出のものと同じである場合には適宜省略した。
- 行数下の（ ）内の数字は同行内での同書からの引用文の数を表す。

○「 」は、その前後の箇所引用文が、原書では、連続した一文章であることを示している。

引用書目篇目一覽

易

謙卦

下 16 行、17 行

復卦

上 70 行

繫辭上

下 13 行

繫辭〔下〕

下 5 行

〔王〕 弼注（復卦）

上 70 行

〔孔穎達〕 疏（繫辭下）

下 5 行

〔同疏引〕 鄭康成注

下 5 行

進齋徐氏曰（繫辭上）

下 13 行

書

大禹謨

下 48 ㄱ、50 ㄱ

〔賈公彥〕疏(天官)

下 34 ㄱ

禹貢

下 56 ㄱ(2)

〔秋官〕司寤氏)

下 12 ㄱ

仲虺之誥

下 64 ㄱ

(冬官考工記)

上 52 ㄱ

說命

上 16 ㄱ

〔同疏引〕易說卦(冬官考工記)

上 52 ㄱ

泰誓

上 28 ㄱ、下 48 ㄱ

儀禮

下 28 ㄱ

〔孔〕安國注(禹貢)

下 56 ㄱ

士冠禮

下 28 ㄱ

(仲虺之誥)

下 64 ㄱ

鄉飲酒禮

下 28 ㄱ

〔蔡〕沈氏注(大禹謨)

下 48 ㄱ

〔鄭玄〕註(士冠禮)

下 28 ㄱ

(益稷)

上 24 ㄱ

(士昏禮)

下 29 ㄱ

(泰誓)

上 28 ㄱ、下 48 ㄱ

(鄉飲酒禮)

下 28 ㄱ

詩

詩大序曰(國風周南)

下 37 ㄱ

曲禮

下 32 ㄱ·7

〔孔穎達〕正義引曲禮

下 37 ㄱ

檀弓

下 30 ㄱ·8·31 ㄱ、4

釋詁

下 37 ㄱ

月令

下 34 ㄱ

周禮

天官

下 34 ㄱ

內則

下 27 ㄱ、28 ㄱ·9·11·2·8·

冬官考工記

上 52 ㄱ、下 34 ㄱ、4

玉藻

29 ㄱ·5·7·9·10·11·15、28 ㄱ

〔鄭玄〕注(天官)

下 34 ㄱ

樂記〔禮記十一樂記曰〕

上 22 ㄱ

(冬官考工記)

上 52 ㄱ

雜記

下 30 ㄱ

射義

下 27 ㉗

〔僖公二十四年〕

上 8 ㉗

鄭〔玄〕注〔檀弓〕

上 28 ㉗(2)、下 54 ㉗5

〔襄公九年〕

下 5 ㉗3

(內則)

下 28 ㉗1、9、㉗1、2、8、

襄公三十一年

下 43 ㉗1

29 ㉗2、5、7、9、10、㉗5、28 ㉗10

昭公二十二年

上 43 ㉗8

(玉藻)

下 56 ㉗2

〔杜預〕注〔隱公三年傳〕

下 59 ㉗4・7

注〔非鄭注〕(內則)

下 27 ㉗11

(桓公六年傳)

下 29 ㉗8、9、

〔孔穎達〕正義〔曲禮〕〔曲禮疏〕

上 8 ㉗7

30 ㉗1、3、5、7、8、8、9、9、㉗1、2、3、

(內則)

下 28 ㉗2、㉗2、4、8、29 ㉗5

31 ㉗4、6、8、9、32 ㉗1、2、4

(射義)

下 27 ㉗8

(襄公九年傳)

下 5 ㉗3

〔同正義引〕儀禮注〔內則〕

下 28 ㉗3

(襄公二十四年傳)

下 5 ㉗3

〔陳澧〕集說〔曲禮〕

下 32 ㉗6、7

上 43 ㉗2、3、4 (2)、5、7 (2)

(檀弓)

下 30 ㉗6、9、31 ㉗2、5

(襄公三十一年傳)

下 43 ㉗1 (2)、2

(內則)

下 28 ㉗6、29 ㉗4、6、8、29 ㉗2

(昭公七年傳)

下 56 ㉗7、8、57 ㉗2

大全王氏子墨曰

下 32 ㉗8

(昭公二十二年傳)

上 43 ㉗8、

大全嚴陵方氏曰

下 28 ㉗1、31 ㉗1

44 ㉗1 (2)、2、3、4、6、7

春秋左傳

隱公三年

下 59 ㉗4、7、9、㉗1

〔孔穎達〕正義〔桓公六年傳〕

下 27 ㉗9、

桓公六年

下 29 ㉗7・9・30 ㉗1・3・5・7・8・9・

30 ㉗1、3、5、10 (2)、㉗1、

㉗1・2・3・31 ㉗4・6・8・9・32 ㉗1・2・4

(昭公七年傳)

下 57 ㉗5

〔同正義引〕周本紀

下 30 ㄱ

〔章句第十四章〕

上 60 ㄱ

孔子世家

下 30 ㄱ

〔章句第二十六章〕

下 11 ㄱ

魯世家

下 32 ㄱ

〔朱子〕集註〔第一章〕

上 70 ㄱ

晉語

下 32 ㄱ

朱氏注〔第二十六章〕

下 11 ㄱ

家語本姓篇

下 30 ㄱ

論語

賈逵云

下 27 ㄱ

〔学而第二〕

下 7 ㄱ、9 ㄱ

孝經

〔開宗明義章〕

下 19 ㄱ

八佾〔第三〕

上 16 ㄱ

〔邢昺〕正義〔三才章〕

上 7 ㄱ

雍也〔第六〕

下 60 ㄱ

〔五刑章〕

上 74 ㄱ

述而第七

下 43 ㄱ

〔喪親章〕

下 31 ㄱ

泰伯〔第八〕

下 19 ㄱ

〔同正義引〕孔安國注

上 74 ㄱ、73 ㄱ、
(2)、74 ㄱ

顏淵第十二

上 21 ㄱ

朱子曰

下 19 ㄱ

陽貨第十七

上 10 ㄱ、22 ㄱ、
27 ㄱ、下 20 ㄱ

大學

〔傳之九章〕

下 22 ㄱ

〔何晏〕注〔学而第一〕

下 37 ㄱ

〔朱子〕注〔經一章〕

上 9 ㄱ

〔邢昺〕疏〔序〕

上 2 ㄱ

〔朱子〕集註〔經一章〕

上 9 ㄱ

正義〔学而第一〕

下 37 ㄱ、38 ㄱ

中庸

〔章句第一章〕

上 70 ㄱ

〔同正義引〕爾雅釋文·郭璞注

上 48 ㄱ

〔為政第二〕

上 48 ㄱ

漢書天文志

上 48 ㄩ

(入陌怕)

下 63 ㄩ

集注〔学而第二〕〔朱氏注〕

下 7 ㄩ、9 ㄩ

(入昔益)

下 16 ㄩ

(八佾第三)〔朱注〕

上 16 ㄩ

增韻

下 16 ㄩ

(雍也第六)

下 60 ㄩ

五音韻海

下 31 ㄩ

(述而第七)

下 43 ㄩ

〔古今韻〕會〔舉要〕

(泰伯〔第八〕)〔朱子曰〕

下 19 ㄩ

平東功

上 16 ㄩ、上 19 ㄩ

(顏淵第十二)〔朱注〕

上 21 ㄩ

忠

下 1 ㄩ

(陽貨第十七)

上 10 ㄩ〔集註〕、22 ㄩ

聾

上 55 ㄩ

大全朱子曰(八佾第三)

上 16 ㄩ

窮

上 30 ㄩ

〔大全〕范氏曰(陽貨第十七)

上 22 ㄩ

虛

上 26 ㄩ

大全双峯饒氏曰(陽貨第十七)

上 22 ㄩ

沖

上 26 ㄩ

孟子

支馳

〔梁惠王上〕

下 3 ㄩ

熙

下 10 ㄩ

〔告子下〕

下 21 ㄩ

夷

上 42 ㄩ

梁惠王下

下 64 ㄩ

唯

上 20 ㄩ

爾雅〔釈訓第三〕

上 33 ㄩ

辭

上 19 ㄩ、下 62 ㄩ

玉篇

下 11 ㄩ、63 ㄩ

楣

下 28 ㄩ

廣韻〔去換韻〕

上 62 ㄩ

微歸

上 9 ㄩ

(去過坐)

上 60 ㄩ

魚車

上 52 ㄩ

先權 頑 剛關 寒奸 恩 元魂 芸 文君 仁 臣 眞輪 灰殍 齊谿 呼 芻 夫 虞虞 興 徐

芸（「會平元」と標記、元は文の譌か）

上 21
下 67
下 12
下 41
下 2
下 6
上 33
上 70
上 65
上 73
上 40
上 73
上 53
下 11
下 45
上 36
上 56
上 28
上 20
下 30
上 53
上 67

廳 青經 營 盲 嬰 情 名 庚兵 煌 王 陽堂 邪 麻麻 歌阿 豪韜 超 蕭昭 縣 專

上 10
上 1
上 46
上 55
上 7
下 48
上 16
下 50
上 50
上 71
上 42
〔上 22〕
下 34
下 8
上 37
下 37
上 8
下 45
上 36
〔上 47〕

戸 武 麩 午 語 黍 唯 士 髓 以 侍 止 上紙紀 鹽 狀 姪 侵 音 尤 籌 應 繩 蒸 能 形

上 53 下 50 下 28 下 34 下 8 上 65 上 24 下 12 上 19 上 19 下 62 上 64 上 59 〔上 22 下 27〕 上 18 下 62 下 40 下 8 下 41 上 41 下 10
 下 56 下 41 下 45 下 49 下 48 下 44 下 41 下 42 下 43 下 48 下 41 〔下 27 上 22〕 下 44 下 47 下 48 下 42 下 47

偶 狗 牖 有 有 梗 騁 爽 養 享 果 可 皓 道 巧 巧 夭 篠 兆 銑 喘 礎 混 阮 沌 軫 牝 賄 乃

牖 (「上宥」と標記、宥は有の譌か)
 有 有 (「會上可」と標記、可は可の譌か)

下 11 上 28 上 53 上 19 上 56 上 55 下 10 下 51 上 22 上 1 下 40 下 36 下 10 上 36 下 41 上 67 下 11 上 33 上 71
 下 42 下 44 下 47 下 44 下 47 下 49 下 49 下 42 下 46 下 49 下 41 下 46 下 47 下 47 下 45 下 42 下 43 下 49

隊對 惠 銳 警 制 舞第 遇昨 御豫 屏 未氣 偽 眞寄 用 去宋憇 謙湛 忝儉 琰檢 咸淡 感敢

下 下 上 下 下 上 下 上 下 上 下 上 下 下 下 上 下 下
 8 6 42 28 54 3 28 66 4 4 2 61 43 45 34 50 55 65 51
 ㄨ7 ㄨ3 ㄨ1 ㄨ6 ㄨ8 ㄨ6 ㄨ6 ㄨ8 ㄨ8 ㄨ2 ㄨ1 ㄨ9 ㄨ2 ㄨ6 ㄨ1 ㄨ1 ㄨ2 ㄨ2 ㄨ2

續 濛臟 謝 馮詐 箇貨 號 操 號盜 效孝 妙 要 嘯漂 霰醺 煥 渙 翰觀 願悶 問運 載

上
 19
 ㄨ1、
 下 上 下 下 上 上 下 下 下 上 上 下 下 上 上 下 下 上 上
 56 32 62 2 57 73 24 6 1 8 8 12 36 50 66 36 12 42 46
 ㄨ2 ㄨ7 ㄨ3 ㄨ3 ㄨ9 ㄨ4 ㄨ2 ㄨ10 ㄨ6 ㄨ9 ㄨ9 ㄨ11 ㄨ12 ㄨ2 ㄨ4 ㄨ11 ㄨ6 ㄨ1 ㄨ3

籥	藥約	屑血	黠察	月骨	術	質一	數	覺學	沃欲	肉	復	福	穀	入屋穀	陷汜	姆 (「會去有」 と標記、有は宥の譌か)	宥豈	敬政
									上 8 ㄗ 22 ㄗ					下 34 ㄗ ㄗ				上 6 ㄗ 40 ㄗ
上 29 ㄗ	下 41 ㄗ	上 34 ㄗ	下 12 ㄗ	上 34 ㄗ	上 6 ㄗ	(上 3 ㄗ)	上 30 ㄗ	下 8 ㄗ	上 34 ㄗ	上 70 ㄗ	上 20 ㄗ	上 52 ㄗ			下 62 ㄗ	下 29 ㄗ	下 34 ㄗ	
翁	給	緡汲	賊	德	默	息	職稷	錫戚	怕 (同書「入陌」 には此の字見え ず)	逆	策	脉	麥	革 (「入藥」 と標記、藥は陌 の譌か)	陌魄	索	泊	橐
										上 19 ㄗ ㄗ					上 34 ㄗ ㄗ			
下 66 ㄗ	下 43 ㄗ	上 37 ㄗ	下 6 ㄗ	上 1 ㄗ 20 ㄗ	下 45 ㄗ	上 36 ㄗ	下 34 ㄗ	下 2 ㄗ	下 10 ㄗ	下 62 ㄗ	下 40 ㄗ	上 34 ㄗ	下 34 ㄗ	下 50 ㄗ	下 46 ㄗ	下 41 ㄗ	下 34 ㄗ	上 29 ㄗ

合卷

〔同書引〕書

下 11 札

下 10 札

詩序

上 18 札、62 札

詩注

上 29 札

〔禮記〕祭統・注

上 28 札

禮記注

下 2 札

禮記月令疏

上 18 札、62 札

月令章句

下 34 札

左傳

下 12 札

左傳杜預曰

上 40 札

孝經注疏

上 1 札

孝經說

上 73 札

論語注

下 50 札

孟子（論語の譌力）

上 30 札

同註

上 30 札

爾雅

上 28 札、30 札、下 36 札

廣雅

上 29 札

積名

上 1 札、29 札、34 札、40 札、55 札、下 28 札

說文

上 1 札、4 札、8 札、16 札（2）、

19 札（3）、ウ7、9、22 札、〔ウ7〕、24 札、

26 札、28 札、29 札、4、30 札、34 札、6、

36 札、37 札、ウ2、42 札、50 札、52 札、

53 札（2）、ウ6、55 札、ウ2、56 札（2）、

59 札、65 札、4、66 札、67 札、70 札、71 札、

73 札、5、6、下 1 札（2）、2 札、

8 札、ウ7、10 札、9、11 札、12 札、24 札、

28 札、ウ6、29 札、34 札、9（2）、ウ2、6、

37 札、40 札、41 札（2）、ウ8（3）、43 札、

50 札、54 札、56 札、62 札、ウ3（3）、65 札

〔同書引〕老子

上 52 札

廣韻

上 3 札、〔ウ7〕、4 札、6 札、16 札（2）、

19 札、〔ウ7〕、50 札、56 札、70 札、下 10 札、

12 札、ウ2、28 札、ウ6、40 札、62 札、66 札

增韻

上 8 札、37 札、ウ2、41 札、

〔ウ7〕、56 札、67 札、下 1 札、8 札、ウ7、

11 札、12 札、6、ウ4、24 札、34 札、50 札

漢書注孟康曰

上 3 札

後〔漢書〕馬融傳

上 32 札

〔同注引〕韓氏外傳(氏は詩の譌か)

上 32 行

注〔司馬貞〕索隱(樂毅列傳)

上 1 行

通志

下 34 行

〔張守節正義引〕孔安國尚書序

下 4 行、5 行

古史考

上 52 行

皇甫謐帝王世紀

下 4 行、5 行

通論

上 40 行、73 行

孫子注世本

下 4 行、5 行

三輔黃圖

下 36 行

漢書

白虎通

上 65 行、73 行

武帝紀

下 4 行

老子

上 26 行

輿服志

上 53 行

莊子

上 40 行

翼奉傳

上 49 行

鄭康成曰

上 57 行

注應劭曰

上 49 行、下 4 行

蘇氏瞻詩曰

上 61 行

孟康注引詩內傳

上 49 行

朱氏曰

上 1 行

〔顏〕師古注引白虎通

下 4 行

史記

三皇本紀

下 5 行 (2)

同注

下 73 行

五帝本紀

下 4 行

十八史〔略〕

下 5 行

〔齊悼惠王〕世家

上 2 行

〔歷代帝王〕紹運圖

下 5 行

〔曹相國〕世家

上 2 行 (2)

史學提要

下 26 行

樂毅列傳第二十

上 1 行

歷代叙畧

下 5 行

龜策傳

上 7 行、8 行

〔文獻通考〕經籍考三十八

下 43 行

注〔裴駟集解〕(曹相國世家)

上 2 行

家語

第四（五帝第二十四の譌か）

本命解

下4 ㄱ8

〔文韜、文師〕

上26 ㄱ7

荀子

下11 ㄱ4

〔文韜、大禮〕

下17 ㄱ7

〔修身〕

上8 ㄱ4、下11 ㄱ5

三畧

上26 ㄱ8

〔正名〕

下12 ㄱ9

〔上略〕

下67 ㄱ9

〔楊涼〕注

下12 ㄱ9

〔中略〕

上75 ㄱ5

說苑第一

下55 ㄱ5

〔下略〕

上20 ㄱ6、下53 ㄱ9

〔北溪先生〕性理字義

〔黃帝內經〕素問

〔命字、論人物皆本乎一氣〕

上11 ㄱ9

第一上古天真論

上33 ㄱ8

〔仁義禮智信、論仁統四端〕

下1 ㄱ7

第二陰陽應象大論

上11 ㄱ3、34 ㄱ7

〔道字、題目闕〕論儒者道

上5 ㄱ6

第一六節藏象論

上34 ㄱ10

〔道字〕論老莊〔言〕道〔之差〕

上5 ㄱ1

王〔氷〕注

上11 ㄱ3、33 ㄱ2〔素問注〕

〔道字〕論仙氏〔言〕道〔之差〕

上5 ㄱ3

馬氏〔蒔〕注

上34 ㄱ3、ㄱ7、11、35 ㄱ4、ㄱ7、10

〔道字、論事物皆具此道〕

上5 ㄱ3

〔黃帝內經〕靈樞

上32 ㄱ1

〔德字、論人心有本然之德〕

上9 ㄱ3

第一本神篇

上32 ㄱ1

性理大全〔卷之三十一〕

上12 ㄱ8、14 ㄱ9〔2〕、ㄱ6

馬氏〔蒔〕注

上32 ㄱ6

卷之三十一

上12 ㄱ3、6、

〔同注引〕素問靈蘭秘典論

上33 ㄱ5

六韜

13 ㄱ1、3、6、7、ㄱ3、14 ㄱ2、15 ㄱ4、7

〔素問入式〕運氣論〔奧〕

上46 ㄱ6

淮南子

〔本經訓〕

下 5 ㄱ

徧用第四十三章

下 67 ㄱ

〔主術訓〕

上 46 ㄱ

鑿遠第四十七章

下 40 ㄱ

注許慎曰

下 5 ㄱ

戒強第七十六

下 67 ㄱ

白虎通

上 46 ㄱ、56 ㄱ、
下 37 ㄱ

任信第七十八章

下 67 ㄱ

世說〔德行〕

上 22 ㄱ

〔河上公〕注〔無源〔第四〕章〕

上 42 ㄱ

事文類聚高誘曰

下 5 ㄱ

〔成象第六〕

上 23 ㄱ

韻府〔羣玉〕

上 49 ㄱ

〔俗薄第十八章〕

下 42 ㄱ

事林廣記老子變現之圖

上 1 ㄱ、
下 78 ㄱ

〔道化第四十二章〕

上 9 ㄱ、6 (2)、7

〔老子道德經〕

體道第一章

下 63 ㄱ

〔鑿遠第四十七章〕

下 40 ㄱ

無源〔第四〕章

上 42 ㄱ

纂圖互註〔老子道德經〕上 3 ㄱ、6 ㄱ〔纂圖〕、7 ㄱ〔纂圖〕

易性〔第八〕章

下 13 ㄱ

李氏聖紀圖混元圖

下 78 ㄱ

檢欲第十二章

上 55 ㄱ〔經曰〕、
下 65 ㄱ

〔道德經〕廣聖義

上 2 ㄱ、5、8

〔厭耻第十三〕〔經曰〕

上 59 ㄱ

唐玄宗詔〔叙經大意解疏序所引〕

上 2 ㄱ、5、8

贊元第十四章

上 50 ㄱ、
下 65 ㄱ

〔唐玄宗〕注

上 24 ㄱ

虛無第二十三章

下 50 ㄱ、
60 ㄱ

〔不尚賢章第三〕〔廣聖義曰〕注字無標記

上 24 ㄱ

象元〔第二十五〕章

下 14 ㄱ

〔道冲而用之章第四〕〔同右〕

上 26 ㄱ、27 ㄱ

法本第三十九

上 47 ㄱ

〔天地不仁章第五〕〔同右〕

上 28 ㄱ、29 ㄱ

道化第四十二章

上 9 ㄱ、6

〔上善若水章第八〕〔同右〕

上 40 ㄱ

〔載營魄章第十〕	上 46ウ2、48ウ3	〔持而盈之章第九〕	上 42ウ7
〔寵辱若驚章第十三〕	上 59ウ7	〔載營魄章第十〕	上 47ウ1、48ウ3、ウ4
〔古之善為士章第十五〕	上 67ウ10	〔三十幅章第十一〕	上 53ウ6、ウ1、8
〔致虛極章第十六〕	上 71ウ5、10、ウ6、11	〔寵辱若驚章第十三〕	上 60ウ2
〔絕聖弃智章第十九〕	下 6ウ6	〔視之不見章第十四〕	上 62ウ8、63ウ1、9、ウ8
〔絕學無憂章第二十〕	下 11ウ8、9、12ウ4、7、ウ6	〔古之善為士章第十五〕	上 67ウ1、3、6、ウ4
〔將欲取天下章第廿九〕	下 48ウ6	〔致虛極章第十六〕	上 69ウ8、70ウ6、ウ7、71ウ7、ウ8、72ウ1
〔夫佳兵章第三十一〕	下 53ウ6	〔太上知章第十七〕	上 73ウ8、76ウ3、ウ1、7
〔將欲翕之章第三十六〕	下 68ウ1	〔大道廢章第十八〕	下 2ウ6
〔唐玄宗〕疏		〔絕聖弃智章第十九〕	下 6ウ1、7ウ6
〔道可道章第一〕	上 8ウ11	〔絕學無憂章第二十〕	下 8ウ8、10ウ4、7
〔天下皆知章第二〕	上 16ウ2〔疏〕無標記、11、	〔孔德之容章第二十一〕	下 14ウ1
	17ウ3、8、ウ5、9、18ウ5	〔曲則全章第廿二〕	下 16ウ3、9、18ウ2、4、7、ウ2
〔不尚賢章第三〕	上 23ウ7	〔希言自然章第廿三〕	下 20ウ5、21ウ7、22ウ6
〔道冲而用之章第四〕	上 26ウ2、ウ6、10、27ウ4、9	〔有物混成章第廿五〕	下 26ウ5、27ウ4、34ウ1、ウ3、35ウ2、7
〔天地不仁章第五〕	上 29ウ8	〔重為輕根章第廿六〕	下 36ウ4、ウ5、37ウ7
〔谷神不死章第六〕	上 32ウ3、36ウ9	〔善行無轍跡章第廿七〕	下 40ウ6、ウ2、
〔天長地久章第七〕	上 37ウ4		41ウ5、9、42ウ6、43ウ5
〔上善若水章第八〕	上 40ウ8	〔知其雄章第廿八〕	下 45ウ5、ウ3、9

〔將欲取天下章第廿九〕

下 49 ㄱ、9

〔以道佐人主章第三十〕

下 51 ㄱ

〔夫佳兵章第三十一〕

下 53 ㄱ、ㄴ、8、55 ㄱ、ㄴ

54 ㄱ、ㄴ、8、55 ㄱ、ㄴ

〔道常无名章第三十二〕

下 58 ㄱ

〔知人者智章第三十三〕

下 60 ㄱ、61 ㄱ

〔大道泛兮章第三十四〕

下 62 ㄱ、63 ㄱ

〔執大象章第三十五〕

下 64 ㄱ、65 ㄱ

〔道常无為章第三十七〕

下 69 ㄱ、70 ㄱ

〔同疏引〕詩

上 53 ㄴ

禮記檀弓

下 54 ㄱ

春秋傳

下 51 ㄱ

莊子

下 62 ㄱ

西昇經

下 35 ㄱ

〔杜光庭〕廣聖義

下 76 ㄴ

〔序〕

下 76 ㄴ

〔叙經大意解疏序所引〕

上 1 ㄱ、2 ㄱ、ㄴ、5、8

〔釈老君應跡本義降生祥異〕

下 72 ㄱ、6 ㄱ、ㄴ、5、

73 ㄱ、3、4、5、6、8、ㄴ、4、7、

74 ㄱ、7、8、ㄴ、3、4、6、8、75 ㄱ、

4、ㄴ、76 ㄱ、77 ㄱ、5、7、9、ㄴ、3、79 ㄱ

〔道可道章第一〕

上 11 ㄱ (2)、14 ㄱ

下 46 ㄴ (2)、47 ㄱ (2)

〔天下皆知章第二〕

上 18 ㄱ、ㄴ、20 ㄱ、7

〔不尚賢章第三〕

上 23 ㄱ、9、ㄴ、3、5、10、24 ㄱ、ㄴ

〔道冲而用之章第四〕

上 26 ㄱ、27 ㄱ、6

〔天地不仁章第五〕

上 28 ㄱ、ㄴ、30 ㄱ

〔谷神不死章第六〕

上 32 ㄱ、35 ㄴ

〔天長地久章第七〕

上 37 ㄱ、38 ㄱ

〔上善若水章第八〕

上 39 ㄱ (標記「疏」、譌か)、

7、ㄴ、6、40 ㄱ、5、41 ㄱ、ㄴ

〔持而盈之章第九〕

上 42 ㄱ、ㄴ、9、44 ㄴ、45 ㄱ

〔載營魄章第十〕

上 46 ㄱ、3、47 ㄴ、48 ㄱ、49 ㄴ、50 ㄱ

〔三十幅章第十一〕

上 53 ㄴ、54 ㄴ、8

〔五色令人目盲章第十二〕

上 55 ㄱ、ㄴ

〔寵辱若驚章第十三〕

56 ㄱ、2、ㄴ、57 ㄴ、ㄴ、58 ㄱ、4

〔視之不見章第十四〕

上 62 ㄱ、63 ㄴ、64 ㄱ、10、ㄴ

〔古之善為士章第十五〕

上 65ウ1、66ウ3、7、ウ5、68ウ4

〔致虛極章第十六〕

上 69ウ3、ウ4、70ウ1、5、71ウ3、ウ3

〔太上知章第十七〕

上 73ウ1、

74ウ1、ウ5、75ウ7、ウ2、76ウ5、77ウ1

〔大道癡章第十八〕

下 1ウ4、2ウ1、5、ウ8、3ウ4

〔絕聖弃智章第十九〕

下 5ウ4、6ウ6、7ウ1

〔絕學無憂章第二十〕

下 8ウ9、9ウ8、ウ8、

10ウ1 (標記「疏」、義の譌か)、3、8、12ウ10

〔孔德之容章第二十一〕

下 13ウ6

〔曲則全章第二十二〕

下 16ウ4、ウ1、8、17ウ1、18ウ5、19ウ4

〔希言自然章第二十三〕

下 20ウ3、7、

21ウ3、7、22ウ1、7、ウ7

〔跛者不立章第二十四〕

下 24ウ3、6、25ウ2、6

〔有物混成章第二十五〕

下 26ウ7、ウ2、6、7、9、10、

27ウ3、5、8、ウ1、6、32ウ2、

33ウ2、3、5 (2)、7、8、ウ2、5、9、

34ウ3 (2)、ウ9、35ウ5、9

〔重為輕根章第二十六〕

下 36ウ8、ウ7、37ウ8、38ウ4、39ウ6

〔善行無轍跡章第二十七〕

下 40ウ7、ウ5、41ウ6、

42ウ1、8、ウ7、43ウ7、8

下 45ウ7、ウ5、47ウ3

下 49ウ10

下 52ウ2

下 53ウ2、54ウ10

下 56ウ5 (標記「疏曰」、義の譌か)、

57ウ9、ウ5

下 59ウ3、ウ7、61ウ4、8

下 62ウ7、ウ4

下 66ウ10、ウ2、68ウ3

下 69ウ5、9

〔同義引〕易

下 47ウ1

易乾卦

上 69ウ4

解卦

上 43ウ5

繫辭

上 37ウ6

書

下 16ウ6

禮

上 56ウ10

〔儀禮〕聘禮

下 41ウ3

禮記檀弓

上 28ウ8

禮運		下 1 75	大唐天潢玉牒	下 75 74
王制		下 37 73	李氏大宗譜	下 76 74
春秋〔左傳〕	上 42 79、43 71、76 76、 下 56 77、59 73		玄妙玉女元君內傳	下 77 73
孝經援神契		下 57 75	樓觀先師傳	下 75 76
字林		下 27 75	河圖	下 61 75
德經第四十一章		上 40 71	本記云	下 75 75
太極葛玄仙公道德經序訣		上 1 74	〔侍講程尚書易老通言撮要〕	上 1 71、下 80 73、7、76、81 71
莊子		上 61 72	孝宗皇帝御製原道論辨	下 81 71
齊物篇		下 62 77	〔老子處齋口義〕	
馬蹄篇		上 77 71	林希逸口義序	上 1 76
天道篇		下 33 78	林希逸注	下 66 73
達生篇		下 61 78	道書全集	
列子		上 37 75	金丹正理大全〔金丹大要〕	
冲虛真經		上 75 72	〔虛無卷第一〕上陽子道德經序	上 1 76、3 72、4
鶻冠子		下 57 76	道德經上陽子註	上 4 72、
玄中記		下 75 78		6 77〔上陽子曰〕
西昇經	上 46 71、47 76、7、48 76、 下 22 75		〔上藥卷第二〕精氣神說	上 4 73、6、6 71、8 71、11 78
內觀經		上 23 73	〔同引〕黃庭經	上 6 71
			張洪陽註〔解道德經〕老子經自序	上 1 71〔2〕

〔林子道德經釈略〕〔林兆恩注〕

下 36 10 注

〔同注引〕老子億

下 36 10

莊子

〔内篇〕人間世

下 56 13

外篇天運

上 28 15

山木

下 65 15

〔莊子虞齋口義〕林〔希逸〕注

上 28 15、

下 56 13、61 14、6、62 18・9 (2)

列子黄帝

上 16 15

大惠武庫

上 10 12

文選三十七〔劉越石勸進表〕〔李周〕翰注

下 67 14

山谷詩

上 7 10

1 川瀬一馬『増補古活字版之研究』を参照。同書所載の菊亭家

旧蔵大阪府立図書館所蔵本に就いては同館所蔵漢籍目録、稀書解題目録には著録されておらず、館内備付けのカード目録にも見当たらない。また同館担当者備考の館蔵貴重書関係文献類をも検索させて頂いたが、所蔵を確認することは出来なかつた。

2 虞齋口義の移写書入れが見られる古鈔本としては、杏雨書

屋蔵(内藤湖南旧蔵)〔室町中期〕写本一冊(存徳経下)、東

洋文庫蔵(和田維四郎旧蔵)〔室町〕写本一冊、慶応義塾図

書館蔵大永五年(一五二五)写本一冊(存卷上道経)、瀧川

君山・武内義雄通蔵〔室町末〕写本一冊、慶応義塾図書館蔵

(戸川濱男旧蔵) 天正六年(一五七八) 足利学校南春写本一

冊、大東文化大学図書館蔵(小島寶素旧蔵) 天正六年(一五

七八) 足利学校真瑞写本一冊(経籍訪古志著録本)、東京大

学総合図書館蔵(南葵文庫旧蔵)〔室町末近世初〕写本一冊

の伝本が管見に入る。そのうち、東洋文庫蔵本、慶応義塾図

書館蔵(戸川濱男旧蔵)本及び大東文化大学図書館蔵本には

巻首に林希逸自撰の老子解題を兼ねた序文である「老子経口

義発題」が冠され、また、瀧川君山武内義雄通藏本には、巻首部分の書眉に此の発題の全文が数葉にわたって移写されている。

これら書入れ各条の文頭には、「口義」と標記されていることもあるが、屢々「親」、「新」或いは「新注」との略符が冠される場合がある。旧注即ち河上公章句に対する、新しい釈注であるとの含意が明らかに窺え、時代に於ける新学の潮流を端的に示している。

林注の受容が何時に始まるのか、享受伝授の実相如何に就いては、別途考察されるべき重要な課題であろう。夙に、阿部隆一は口義発題を附す旧鈔老子河上公章句本に着目し、論語発題、孝経直解、輯釈附注学庸朱序本との類型に就いて、足利学校を連環として示唆され、南北朝以来の口義受容の趨勢を洞察された（「室町以前邦人撰述論語孟子注釈書考上」斯道文庫論集第二輯 昭和三十八年）。また、近時、住吉朋彦氏は岐陽方秀の「中峰広録鈔」及び「碧巖録鈔」の中に老子口義からの引用を指摘され、應永年間に遡る受容の事例を具体的に示されている（「不二和尚岐陽方秀の学績―儒道二教に於ける―」書陵部紀要第47号 平成八年）。関連する論

考として注目される。

3 「鳳洲綱鑑」とは、明王世貞（字元美、号弇州山人、又号鳳洲、嘉靖五年（一五二六）―萬曆一八年（一五九〇））纂編年体通史の雅名通称と思われる。世貞撰述の史書としては、「弇山堂別集」一〇〇巻が著名であるが、この「綱鑑」は、明清以来の主要な書目類には著録されていないようである。また、寡聞にして伝本の所在も未だ明らかでない。

明王世貞編と題する編年類通史には、以下の四種九部の伝本が管見に入る。

綱鑑大全三九巻首一卷 明王世貞編 〔明末〕刊〔横秋閣〕

唐大四〇冊東京大学東洋文化研究所蔵

同（改題「綱鑑會纂」、封面・序題「歷朝綱鑑會纂」）

〔清〕刊（或いは〔明末〕刊〔清〕修力）

唐大二二冊合一〇冊東京大学総合図書館蔵（欠巻二）

同 附甲子紀元一卷（附）〔清陳宏謀〕編 〔清乾隆〕刊

唐半二五冊静嘉堂文庫蔵

重訂王鳳洲先生綱鑑會纂四六巻同〔續宋元〕二三巻首一卷

明王世貞編 陳仁錫・呂一經校 〔明末〕刊〔修〕〔湧泉

堂童氏）

唐大三四冊蓬左文庫藏（外題「鳳洲綱鑑」と墨書）

同存〔續宋元〕二三卷〔清〕刊〔覆明末〕刊本

唐大二四冊東京大学東洋文化研究所蔵

王鳳洲先生綱鑑正史全編二四卷附紀一卷綱鑑圖略一卷 明

王世貞撰 陳仁錫評 林夢熊校 張睿卿等編（圖略）

明王光魯等編 明崇禎一二（一六三九）序刊〔清〕修

圖略一部朱墨套印

大一六冊合七冊東京大学総合図書館蔵（有補鈔）

又（封面題「鳳洲綱鑑」）〔後印〕（友益齋）

大一六冊尊經閣文庫蔵

王鳳洲先生綱鑑正約會纂三六卷附記一卷首一卷附通紀會纂

四卷 明王世貞原撰 顧錫疇編注 陳繼儒批點（附）明鍾

惺撰 清康熙三（一六六四）序刊（吳門黃子敬五車樓）

唐半四〇冊尊經閣文庫蔵

しかし、何れも刪繁補要を嘔い、後人の評注標点を附贅して改修再編された俗書の類である。また、書成刊行年代は明末から清代に下り、本書が書写された江戸時代初期寛永年間に舶載されていた可能性は、まず考えられない。従って、当時舶載され通行利用されていた王世貞原撰本或いは其の本に

より近い別本が存在した事実を想定せざるを得ない。

因みに、本書引用の鳳洲綱鑑正文注文各一条は、上記伝本四種ともに削除していて、原文と照らし対校確認することが出来なかった。鳳洲綱鑑佚文として注目されよう。

4 成象第六の経文「谷神不死」及び「是謂玄牝」の両句下に見える。「靈樞第一本神篇」「素問第一六節藏象論」を引き、その引文に続いて「馬氏注」とある（上32㉔、上34㉔、㉕）。明馬蒔撰「黄帝内經素問註證發微」九卷補遺一卷、「黄帝内經靈樞註證發微」九卷補遺一卷合一〇卷からの引用。両書は書成後間もなく、萬曆一四年（一五八六）、同一六年（一五八八）に刊行されたようである。日本へは天正慶長の間にいち早く舶載されていたことは、慶長二三・一四年（一六〇八・〇九）梅壽刊の古活字版（翻明萬曆一四・一六年寶命堂刊本）が現存していることに拠って明らかである（『素問註證發微』には異植字版も存在する）。此の古活字版は更に、寛永五年（一六二八）に京都の書舎〔中野〕道伴によって覆刻されている（京武村市兵衛の刊記を持つ後印本がある）。しかし、両本の藍本となった明原刊本は未だ管見に入らない。内閣文庫蔵多紀氏躋壽館旧蔵の〔明末〕天寶堂刊本は「商船載來書

目』久字號正徳元年の条及び『舶載書目』第九冊に記載されている正徳元年（一七一一）の舶載書であろう。本注撰述者は慶長古活字版若しくは初伝の明版を使用したと考えられる。

5 重徳第二十六冒頭部分書眉に追補加筆されている「林兆恩注曰」の一文は、『林氏道德經釋畧』からの引用である。兆恩、字は懋勛、号は龍江、又子谷子、三教先生と称された。儒道釈三教合一の説を唱導した明代後半期の思想家である。

黄宗羲撰「林三教傳」（南雷文集卷九所収）に従えば萬曆二十六年（一五九八）卒、年八十二。

同書は首に萬曆戊子（十六年）の自序を冠し、同年に成立刊行されたと見做してよいであろう。同版は、兆恩卒後、弟子等によって『林子』或いは『林子全集』として他の著書を集成して合印された。現今目観される伝本は、殆どがその『林子』亨字函所収本である。単行本としては、台北故宫博物院蔵楊氏觀海堂本（阿部隆一「中国訪書志」著録）を知るのみである（但し、此れも『林子』零本である可能性も否定出来ない）。

『林子』の伝本は、内閣文庫に四部架蔵されているのをはじめとして比較的多く、蓬左文庫の一本は、「尾陽文庫」の

印記を有つ寛永七年買本であることから、日本への伝来も江戸初の早い時期に想定出来るであろう。此の引用が『林子』所収本に拠ったか、或いは単行本に依拠したものであるかの判定は困難である。何れにしても、同書が江戸時代初期には舶載され、老子の理解に参照利用された事実が確認される意味において、注目される。

尚、元和戊午（四年（一六一八）孟春林羅山撰「老子口義跋」（『羅山林先生文集』卷五十四所収、同跋文は、『老子虞齋口義』の林家旧蔵国立国会図書館現蔵（慶長）刊古活字版、内閣文庫及び大東文化大学蔵の（江戸初）写本等の巻末に羅山自筆識語として伝存し、また正保四年（一六一八）刊羅山点首書本巻末跋文も同文である）に、当時見存した老子注釈書数種を挙げ、その末に「又有林兆恩所解者」と記されている。当然、この「釋畧」を意味し、羅山も、既に同書を実見していたであろうことを、指摘附贅しておきたい。

6 新刊道書全集（序題） 明閩鶴洲編 明萬曆一九（一五九二）序刊

首に萬曆辛卯歲（一九年（一五九二）中樞日の丁應麟の序を冠し、その年の刊行と見做される。編者名は此の序文の

記載に従う。鶴洲は恐らくは雅号であろう。閻氏の事歴は未考。伝本は少なくはないが、日本伝来本としては、静岡県立図書館葵文庫蔵の一七冊、蓬左文庫蔵三六冊が管見に入る。

尊経閣文庫蔵の四四冊は未見。葵文庫本は「向陽軒」（林鶯峰）、「林氏／蔵書」の印記を有し、又、一部に「秘書監林信言子恭閱了」等と林鳳谷の識語が見え、林家旧蔵本。尚、前注で触れた羅山撰「老子口義跋」に、「余嘗見道書全書、載老子數家注」との記述がある。「道書全書」とは「道書全集」のことではあるまいか。若しそうであるならば、此の羅山跋文は同書初伝の下限を示す文献としても留意される。

7 杜光庭の伝記資料としては、『五代史補』卷一（旧五代史卷一三六僭偽列伝第三王衍伝末に同文を附載）、「蜀檮杌」光天三年八月の条（説郛卷四五）、「歴世真仙體道通鑑」卷四十四（明正統刊道蔵 鱗八）、「四庫全書總目」卷一〇五医家存目杜天師了證歌一卷提要、「欽定全唐文」卷九二九、「全唐詩」卷三十一（巻次は清光緒一三年上海同文書局刊石印本に拠る）、「續刊青城山記」卷上古蹟記・同卷下事實記下方技（重刊道蔵輯要翼集十）等がある。また、吉岡義豊『道教經典史論』第一編第五章第三節、今枝二郎「杜光庭小考」（『吉岡博士還暦記念』道

教研究論集』東京 国書刊行会 昭和五二）の論考がある。

8 上海版道蔵と書陵部蔵明正統刊道蔵との間には、字句その他に少なからず異同が存在し、上海版とその底本と言われる北京白雲館旧蔵本及び書陵部蔵本との関係については、更に書誌学的検討が必要である点、夙に窪徳忠氏が指摘されている。「宮内廳書陵部所蔵の道蔵」（東方宗教第七号 昭和三〇年）、「涵芬樓影印本道蔵校勘記」（同第十号 昭和三一年）を参照。

9 書目上では、伝本として、丁丙『善本書室蔵書志』卷二十三及び莫伯驥『五十萬卷樓蔵書目錄初編』卷十四著録の本が管見に入る。丁志は「明鈔道蔵本」と著録。『江南圖書館善本書目』『江蘇省立國學圖書館圖書總目』卷二十、「江蘇省立國學圖書館現存書目」卷七には六冊と記され、現在は、南京圖書館に架蔵されているものと思われる。莫編は「道德真經廣聖義五十卷 明寫本」と著録。書名卷数からは此れも道蔵本の様である。しかし、解題に「卷前有唐開元御贊、次眞宗皇帝御製像贊并序、次老君度關銘并序、次孝宗皇帝御製原道論辨、次侍講程尚書易老通言撮要、次嘉定甲申周觀復序、第一卷序經大意解疏序所引老君應跡、第二卷叙老君事跡氏族・

降生年代・聖唐冊號、第三卷釋御疏序上、第四卷釋御疏序下・
釋題訓明體用、第五卷已下釋經文」とあることを勘案すれば、
以下に述べる日本伝存の宋刊本系の本に寧ろ一致する。即ち、
上海版道藏本と比べると、此の解題に挙げられた諸序は道藏
本には全て無く、また道藏本では経文の注釈は卷六から始まっ
ている点に於いて径庭が甚だしい。上海版が明正統刊本の忠
実な複製では無い疑いが持たれることは、上記窪氏の報告に
見えることであり、今の時点では莫編著録本の系統を云々は
出来ない。道藏そのものの書誌調査の必要性が痛感される。
但し、此の莫編著録本は現存しないようである。

後書き

今次は、前稿「老子経抄」の紹介に引続かたちで、天理図
書館御所蔵の貴重写本「道德経抄」上下二冊を翻印させて頂
いた。同書は学術上、日本漢学史、漢籍受容史、老子注釈史とい
った観点から、是非とも詳究論討を要する資料であろう。にもか
かわらず、学界未周知の現状で、或いは埋没したままに放擲せ
られ続けるのではとの危惧を懐き、浅陋をも顧みず敢えて翻字

を試みた次第である。今後も、日本人撰述の老子注釈書類の発
掘に心掛け、未完写本の翻印公刊を継続していきたいと願って
いる。

本解題篇での企図は、書誌形態上の概見を補述するとともに、
本書を、日本に於ける老子享受史の中に位置づけるための試案
を提供することにあつた。江戸時代初期に成立した注釈書であ
ること自体、既に稀少価値を有し、推重すべき文献である。し
かし、本書の古文献としての資料的価値は、その稀覯性の一事
を以て尽くされるものではなかった。中世以来の伝統的誦述伝
習の掉尾を飾るとともに、以後近世に於ける老子講学の端緒と
も濫觴ともなる學術著書として、注釈史上評価されるべき側面
を看過してはならない。時代の趨勢に相応し、変容開展してい
く学問の動向を、此の両冊の内に垣間見ることにもまた可能な
である。

拙論を進めていく上で、先ず初めに注目した一点は、全文が
標記掲出されている道德経経注本文であった。此の本文につ
いては、河上公章句本であることを認定し、当時伝存したのであ
る河上公本伝本を概観した上で、本邦伝来の旧鈔本と同系統の
テキストと推定した。更に、諸旧鈔本本文との対校の結果、同

系統上の一伝本として、古活字版と共に最終末期の様態を顕出しているテキストであることを確認した。しかし、校合過程において再三にわたって逢着した、諸本の異同字句を認定することの困難を、間違いなく克服できたか否か、甚だ心もとないということを、此の場を借りて表白しておかなければならない。

加筆された一字を誤写の訂正字として本文と見做すか、或いは異本との校異の書入れであるのかの判定にはしばしば難渋を極め、各伝本に就いて、更に緻密な校勘が先ず必要であることを痛感させられた。今後の課題として銘記しておかなければならない。本論においても、繰言したように、異同字句一々に内在する意義の軽重に関わる判断は、素より厳正を期しがたい。更に、此処で、異同そのものの認定すらも曖昧さを克服できなかった点で、付載した校異表の確実性と、本論において導き出された結果の信頼性は無いとの誹りを受けるかも知れない。しかし、挙例の数量によって不確実性は一部捨象され、また事例の検証によって信頼性も概ね回復されたとの愚考を支えに、最終的な結論には誤りは無いものと確信している。

第二の視点は、本書の本命としての注釈内容にあった。しかし、内容に渡る検証は、比較を必要とする諸伝本及び旧鈔本書

入れ等の考證検討を俟って、完璧を期すべきである。此処では主に、『老子経抄』と比較することで、旧釈、新釈交錯し、両釈包容した性格を有つことを、僅か例示できたに過ぎない。

第三点として、参照引用図書に着目し、引用書の研討によって、旧来よりの伝習に加えて、新渡来の漢籍が消化利用されている事実に着目して指摘した。特に宋本系の伝写本『道德経廣聖義』に注目し、同書の道藏本本文と通校することによって、本引文が現今失伝している宋刊本系本文の断章であることを明らかにした。この点においても、本書の資料価値は高まるであろう。頻見する引用書名は、孫引きの場合が多く、それと弁別することは、必ずしも容易では無い。付載した「引用書名篇目一覧」は、爾雅、廣韻、増韻等一部に未安の所もあるが、この点で配慮したつもりである。本書引文の索引を兼ねるとともに、江戸初の漢学趨勢の一面と、漢籍流通の状況を窺う為の補材ともなるであろう。

以上、浅論ながら、本書に纏着した文献資料としての意義の一端は提示することが出来たのではなからうか。

しかしながら、これはつまるところ側面的価値の指摘に過ぎない。学問上本来的には撰述内容の学術的価値如何の考察が、

須要な課題であるべきであろう。本書に著された老子解釈の是非、優劣、守旧、斬新等の諸問題に立ち入った精察がなされるべきである。嘗々と持続継承されてきた老子への関心に伴い、その成果として累積されてきた著作の、滴露とも言える本書への正当な評価は、かかる学術思想史上の観点をも踏まえた上で下されるべきである。

但、稿者は、其の任を負うべくもなく、僅かに本篇に於いて呈示した書誌学上の鄙見が、更に踏み込んだ理解を得るための一助ともなればと、庶幾する次第である。

本書との邂逅の経緯については、「前言」に於いて述べた如くである。老子道德經及び其の注釈書諸本の書誌調査を継続する過程での、予期せぬ収穫であった。旧鈔本に匹敵する貴重な図書資料であることは直感せられたが、当初、その老子注釈の内容如何に就いて、直ちに認識することは難しかった。河上公章句本を対象としていることは了解出来た。しかし、それまでに知見を得た諸書と照らしても類書は見出せず、学界未紹介の新出本であろうかと期待を懐き、一方で、老子注釈書として、諸伝本の中にどう位置づけ出来るのか皆目見当が付かず、当惑したことであった。後に、引用文を伴って頻出する略書名が、

杜光庭の『道德經廣聖義』の簡称であることに気付いたことによつて、注釈形式の概略が把握せられ、他に類書の知られていない、天下無双の稀覯書であると理解せられたのであった。

また、時を前後して、大東文化大学図書館高島蔵書の老子関係図書を調査する機会を得て、『道德經廣聖義』の伝写本に遭遇したことも、この上もない僥倖であった。

翻印を快諾して下さった天理図書館長、また金子和正先生をはじめとする館員の皆様へは重ね重ね深謝申し上げる。本篇作成に当たっては、関連図書の調査のため大東文化大学図書館、国立国会図書館、東洋文庫、宮内庁書陵部、大阪府立中之島図書館、静岡県立図書館、東京大学総合図書館、同東洋文化研究所、京都大学附属図書館、同文学部閲覧室、同人文科学研究所、筑波大学附属図書館、内閣文庫、名古屋蓬左文庫、静嘉堂文庫、尊経閣文庫、無窮会図書館、陽明文庫、武田科学振興財団杏雨書屋へ閲覧申請願ひ上げた。閲覧に際し担当各位の御高配を忝けなくした。末筆ながら感謝申し上げます。

經注文校異凡例

- 一、此表は、本書「老子道德經河上公解（抄）」に掲出予定された「河上公注老子道德經」の經注文を諸本と比較し、相互に異同のある箇所の全てを、対照表示したものである。
- 一、異同字句は、前後の文意文節を勘案し、適宜断句して標出したが、それぞれの同異に対して、後に述べるようなポイント数を与える関係上、文脈上必ずしも妥当な区切り方にはなっていない場合がある。
- 一、標出字句の漢字は、支障の生じない範囲で、通行字体を用いている。
 - 例：統↓銳 損↓損 損↓損 德↓德 聽↓聽
- 一、その他、本翻印における異体字の取扱いに準じる。本稿（中）巻頭の異体字一覧を参照されたい。
- 一、標出字句の■符は、以下に挙げる諸本異文に照らして、該部分の文字が無いことを示す。
 - 一、異同字句掲出に当たっては、疊字は本の漢字に改めている。
 - 一、標出字句の下、一符に続いて同文を有つ諸本を略称で列挙した。
 - 一、続いて、標出字句と対照し異文を掲げ、同様に同異文を有する諸本を列挙する。□符は、標出字句即ち本書掲出經注文と同字であることを示し、■符は、該当文字が無いことを示す。
 - 一、各異文頭に冠した①②③の数字は、本書本文との隔たりを計量する為当該異文を有つ諸本に便宜上与えたポイントである。原則として一異文に対して一ポイントを与えているが、同文句内の異同の多寡によって、②或いは③を付与した。
 - 一、標出字句に冠した数字並びに符標は、上から、本稿翻印の欄脚に記した原本の葉数、その表裏を「オ」「ウ」で示す（但し、原本には丁付けは無い）。オウに併記された数字は、本翻印の該当葉、表裏内での行数であつて空行は員数に加えていない。次に「經」「注」で經文、章句の別を示し、その下に各標出字句に対して通し番号を与えた。
 - 一、異同字句に就いて、虫損破損等で判読し難い場合は、最も蓋然性が認められる箇所に暫定措入し、該当本略称下に「？」符を付した。
 - 一、己巳巳、未末、且且、日曰、等各字の判別が困難な場合が殆どで、ま

た書写者が明確に弁別使用していたか疑わしい場合も多い。依つて、これらの文字に就いてはその校異は概ね省略した。

一、楊揚、樸樸、樾樾、挺挺、等、てへん、きへんの別も同様で、校異の対象から原則として除いた。

一、ごく一般的な本字、古字、別体字、俗字、誤字等の異体字も、繁雜を避けて、原則として校異の対象から除外した。

例：事支、兒兒、効効、國國、圓圓、壹一、爽爽、姦姦、富富、寵寵、廢廢、弱弱、強強、從從、應應、惡惡、德德、恥恥、拳拳、棄棄、綿綿、氣氣、淵淵、潔潔、爭爭、獨獨、稱稱、答答、第第、綿綿、綵彩、繩繩、聲聲、與與、華華、萬萬、藏藏、處處、號號、讓讓、隨隨、釋釋、隣隣、顯顯、靜靜、飾飾、體體、髓髓等——其の他此処に掲出した字体に相似類型する種々諸様の異体字に就いても同様に取り扱う。

- 一、略称で示した校異対象本、及び校合作業に使用した主たる依据本は次の諸本である。

- 活Ⅰ（慶長）刊古活字版 拠斯道文庫蔵本
- 活Ⅱ（慶長）刊古活字版 異植字版 拠天理図書館蔵本
- 陽Ⅰ 陽明文庫蔵〔室町末〕写本二冊
- 武内 瀧川君山・武内義雄旧蔵〔室町末〕写本一冊
- 東大 東京大学総合図書館蔵〔南葵文庫旧蔵〕〔室町末近世初〕写本一冊 拠本文庫蒐集引伸写真副本
- 東洋 東洋文庫蔵〔室町〕写本一冊 拠本文庫蒐集引伸写真
- 慶Ⅰ 慶應義塾図書館蔵〔戸川濱男旧蔵〕天正六年（一五七八）足利学校南春写本一冊 拠昭和卅七年本文庫撮影引伸写真副本
- 慶Ⅱ 慶應義塾図書館蔵大永五年（一五二五）写本存巻上道經一冊 拠平成五年本文庫撮影引伸写真副本
- 筑波 筑波大学附属図書館蔵天文二十一年（一五五二）写本一冊 拠昭和卅六年本文庫撮影引伸写真副本

斯Ⅱ 斯道文庫藏(伊藤有不為齋・戸川濱男旧蔵)天文一五年(一五四六)写本二冊
 撰本文庫蒐集引伸写真副本
 足利 足利学校遺蹟図書館蔵(室町)写本二冊

撰昭和卅四年本文庫撮影引伸写真副本
 弘文 戸川濱男・弘文莊旧蔵(室町末)写元和五年(一六一九)付与
 識語本合一冊

撰昭和卅五年本文庫撮影引伸写真副本
 無窮 無窮会図書館蔵(井上頼因旧蔵)(近世初)伝写天文五年(一五三六)書写清家本一冊
 撰本文庫蒐集引伸写真副本

書陵 宮内庁書陵部蔵(南北朝)写至徳三年(一一三八六)識語本二冊
 撰昭和四〇年本文庫撮影引伸写真副本

梅沢 梅沢記念館蔵(戸川濱男旧蔵)應安六年(一一三七三)写本二冊
 撰昭和卅五年本文庫撮影引伸写真副本

東急 大東急記念文庫蔵(室町)写本二冊
 撰昭和卅七年本文庫撮影引伸写真副本

斯Ⅰ 斯道文庫蔵(南北朝)写康應二年(一一三九〇)識語本二冊
 宋版 北京図書館蔵(常熟瞿氏鐵琴銅劍樓旧蔵)(南宋)建安虞氏家
 塾刊本 撰(民国)刊上海涵芬樓影印四部叢刊子部所収本

道蔵 明正統刊道蔵本 撰(民国)刊上海涵芬樓影印道蔵舉要本
 敦煌 大英図書館蔵(唐)写零卷(存第三章一二〇章有欠)敦煌出
 土スライン蒐集本(S477)

杏雨 杏雨書屋蔵(内藤湖南旧蔵)(鎌倉末南北朝初)写存卷上道經
 殘卷一軸 撰本文庫蒐集引伸写真副本

治要 羣書治要卷卅四所収本 宮内庁書陵部蔵(鎌倉)写金沢文庫本
 撰昭和一六年宮内省圖書寮刊影印複製本

六地 六地藏寺蔵(室町末近世初)写单経本一冊
 撰昭和四二年本文庫撮影引伸写真副本及

陽Ⅱ 陽明文庫蔵(近世初)写单経本一冊

陽Ⅱ 陽明文庫蔵(近世初)写单経本一冊

陽Ⅱ 陽明文庫蔵(近世初)写单経本一冊

以上の対校諸本のうち、敦煌、杏雨は零卷、治要は節略本であり、校異はそれぞれの残存部分のみに限られる。また、六地、陽Ⅱの二本は単經河上公本であり、当然校異は經文に限られる。

經注文校異 上冊

1 1 老子道經上―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・書陵・東大・筑波・斯Ⅱ・足利・東洋・六地・陽Ⅱ・弘文?」①□□□□上―慶Ⅰ」①□□□□―梅沢・東急・杏雨・斯Ⅰ・宋版」②□□□□經上道―慶Ⅱ」②□□□□―武内」②道德眞經註卷之一―道蔵」

1 03 2 河上公章句□□□―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・東大・筑波・梅沢・東急・六地・陽Ⅱ・道蔵」①□□□□第一―書陵・斯Ⅱ・慶Ⅱ・足利・東洋・弘文・杏雨・斯Ⅰ・宋版」②□□□□第一品―無窮」②□□□□―武内」

3 3 3 體道□□第一―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東洋・梅沢・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□□章□□―武内・東大」②道可道章□□―慶Ⅰ・筑波・慶Ⅱ・弘文」②□□□□―無窮・書陵・斯Ⅱ・足利・東急・杏雨・六地・陽Ⅱ」

6 62 注 4 謂經術政教之道也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・斯Ⅱ・足利・筑波・弘文・慶Ⅱ・無窮・東洋・書陵・梅沢・東急・杏雨・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□□―慶Ⅰ」

6 68 注 5 非自然長生乃道也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・斯Ⅱ・足利・筑波・弘文・慶Ⅱ・無窮・東洋・書陵・梅沢・東急・杏雨・宋版・道蔵」①□□□□―武

6 10 注 6 以無爲養神―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・斯Ⅱ・足利・筑波・弘文・慶Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・杏雨・宋版・道蔵」①□□□□―武内・東大・慶Ⅰ・東洋・斯Ⅰ」

7 無妄安民―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・斯Ⅱ・足利・筑波・弘文・慶Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・杏雨・宋版・道蔵」①无□□□―武内・東大・慶Ⅰ・東洋・斯Ⅰ」

8 含光藏暉―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・斯Ⅱ・足利・

東大・慶Ⅰ・東洋・斯Ⅰ」

東大・慶Ⅰ・東洋・斯Ⅰ」

東大・慶Ⅰ・東洋・斯Ⅰ」

東大・慶Ⅰ・東洋・斯Ⅰ」

東大・慶Ⅰ・東洋・斯Ⅰ」

筑波・弘文・慶Ⅱ・無窮・東洋・書陵・梅沢・東急・杏雨・斯Ⅰ・
宋版①□□□輝道藏

9 滅跡匿端一活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・斯Ⅱ・足利・
筑波・弘文・慶Ⅱ・無窮・東洋・書陵・梅沢・東急・杏雨・斯Ⅰ・
道藏①□□迹□□—宋版

10 不可称道也一活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・斯Ⅱ・足利・
筑波・弘文・慶Ⅱ・無窮・東洋・書陵・梅沢・東急・杏雨・道藏①□□□□—斯Ⅰ・宋版

7 79注11謂富貴尊榮高世之名■—①□□□□□□□□也一活Ⅰ・活Ⅱ・
陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・斯Ⅱ・足利・筑波・弘文・慶Ⅱ・無窮・
東洋・書陵・梅沢・東急・杏雨・斯Ⅰ・宋版・道藏

7 76注12非自然常在之名■—道藏①□□□□□□□□也一活Ⅰ・活Ⅱ・陽
Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・斯Ⅱ・足利・筑波・慶Ⅱ・無窮・東洋・
書陵・梅沢・東急・杏雨・斯Ⅰ・宋版①□□□□□□ノ□也—弘
文

7 77注13當如嬰兒之未言一活Ⅰ・活Ⅱ・武内・東大・斯Ⅱ・足利・筑波・
慶Ⅱ・東洋・書陵・梅沢・東急・杏雨・道藏①□□知□□□□□□—
無窮①□□始□□□□□□—弘文①□□□□□□□□—慶Ⅰ①□□
□□□□□□—陽Ⅰ・斯Ⅰ②愛□櫻□□□□□□—宋版

14 鷄子之未分一活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・無窮・
東洋・書陵・東急①雞□□□□□□—斯Ⅱ・足利・弘文・慶Ⅱ・杏
雨・斯Ⅰ・宋版・道藏②雞□□□□□□—梅沢

15 明珠在蚌中一活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・足利・筑波・
弘文・慶Ⅱ・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・道藏①□□□□□□—無
窮・書陵・梅沢①□□□□□□—斯Ⅱ・杏雨

16 美玉處石間一活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・斯Ⅱ・足利・
筑波・弘文・慶Ⅱ・無窮・東洋・書陵・梅沢・東急・杏雨・斯Ⅰ・
宋版①□□□□□□—道藏

8 31注17内雖昭々一活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・斯Ⅱ・筑波・
東洋・書陵・梅沢・東急・杏雨・斯Ⅰ・宋版・道藏①□□照□□—

弘文・足利・無窮・慶Ⅱ

18 外如愚頑者也■—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・斯Ⅱ・
足利・筑波・弘文・無窮・書陵・梅沢・杏雨①□□□□□□之■—
東急①□□□□□□□□々々—東洋(見消ち有り)①□□□□□□□□
矣—慶Ⅱ(字間に書写)①□□□□□□□□—斯Ⅰ②□□□□□□頭
■—宋版②□□頑愚■—道藏

8 66經19無名一活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東大・慶Ⅰ・斯Ⅱ・足利・筑波・弘文・
慶Ⅱ・無窮・東洋・書陵・梅沢・東急・杏雨・斯Ⅰ・宋版・道藏①无□—武内

8 71注20無名者謂道一活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・足利・筑波・弘文・慶Ⅱ・無窮・
梅沢・杏雨・宋版①无□□□□□□—慶Ⅰ・斯Ⅱ・斯Ⅰ①□□□□
□□—書陵・東急・道藏②无□□□□□□—武内・東大・東洋

21 道無形一活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東大・斯Ⅱ・足利・筑波・弘文・慶
Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・杏雨・宋版・道藏①□无□—武
内・慶Ⅰ・東洋・斯Ⅰ

22 故不可名也一活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・斯Ⅱ・足利・
筑波・弘文・無窮・東洋・書陵・梅沢・東急・杏雨・斯Ⅰ・宋版・
道藏①□□□□□□—慶Ⅱ

8 78注23天地始者一活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・斯Ⅱ・足利・筑波・弘文・慶Ⅱ・
無窮・書陵・杏雨・斯Ⅰ①■□□□□□—武内・東大・慶Ⅰ・東洋
(行間に加筆)・梅沢・東急・宋版・道藏

24 道■吐氣布化一活Ⅰ・活Ⅱ・武内・東大・慶Ⅰ・斯Ⅱ・足利・
筑波・弘文・慶Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・杏雨①□□■也□□□□
□□—陽Ⅰ・東洋・東急・斯Ⅰ②□■本也□□□□—宋版③□
之本也□□□□—道藏

25 出於虛無一活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・足利・筑波・弘文・慶Ⅱ・無窮・
書陵・東急・杏雨・道藏①□□■□□—梅沢①□□□□无—武内・
東大・慶Ⅰ・斯Ⅱ・東洋・斯Ⅰ・宋版

26 爲天地■本始■也■—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東大・慶Ⅰ・筑波・東
洋・書陵・杏雨・斯Ⅰ・宋版①□□□□□□□□—武内①

□□□之□□□□—斯Ⅱ·足利·弘文·慶Ⅱ·無窮·東急①
□□□者□□□—道藏②□□□之□□□□—梅沢

8 卯注27有陰陽—活Ⅰ·活Ⅱ·陽Ⅰ·武內·東大·慶Ⅰ·斯Ⅱ·足利·筑波·弘文·慶Ⅱ·無窮·東洋·書陵·梅沢·東急·杏雨·斯Ⅰ①
①□□□—宋版·道藏①

28有柔剛—活Ⅰ·活Ⅱ·陽Ⅰ·武內·東大·慶Ⅰ·斯Ⅱ·足利·筑波·弘文·慶Ⅱ·無窮·東洋·書陵·梅沢·東急·杏雨·斯Ⅰ·宋版①□□剛柔—道藏①

29是其名也—活Ⅰ·活Ⅱ·陽Ⅰ·武內·慶Ⅰ·斯Ⅱ·足利·筑波·弘文·慶Ⅱ·無窮·東洋·書陵·東急·杏雨·斯Ⅰ·道藏①①□有□□—梅沢·宋版①□□有□□—東大①

8 卯注30万物母者—活Ⅰ·活Ⅱ·陽Ⅰ·武內·東大·慶Ⅰ·斯Ⅱ·足利·筑波·弘文·慶Ⅱ·無窮·東洋·書陵·梅沢·杏雨·斯Ⅰ·宋版·道藏①□□□—東急①

31天地含氣—活Ⅰ·活Ⅱ·武內·東大·慶Ⅰ·斯Ⅱ·足利·筑波·弘文·慶Ⅱ·無窮·東洋·書陵·梅沢·東急·杏雨·斯Ⅰ·宋版·道藏①□□合□—陽Ⅰ①

32長大成就—活Ⅰ·活Ⅱ·陽Ⅰ·武內·東大·慶Ⅰ·筑波·慶Ⅱ·東洋·斯Ⅰ·道藏①□□熟—斯Ⅱ·足利·弘文·無窮·書陵·梅沢·東急·杏雨·宋版①

33如母之養子也—活Ⅰ·活Ⅱ·陽Ⅰ·武內·東大·慶Ⅰ·斯Ⅱ·足利·筑波·無窮·東洋·書陵·梅沢·東急·杏雨·道藏①□□矣—慶Ⅱ①□□如□□□—弘文①□□□—斯Ⅰ·宋版①

8 卯注34故常無欲—活Ⅰ·活Ⅱ·陽Ⅰ·斯Ⅱ·足利·筑波·弘文·慶Ⅱ·無窮·東洋·書陵·梅沢·東急·杏雨·陽Ⅱ·斯Ⅰ·宋版·道藏①□□无□—武內·東大·慶Ⅰ·六地①

8 卯注35妙要也—活Ⅰ·活Ⅱ·陽Ⅰ·武內·東大·慶Ⅰ·筑波·無窮·東洋·書陵·梅沢·東急·杏雨·斯Ⅰ·宋版·道藏①□者□□—斯Ⅱ·足利·弘文·慶Ⅱ①

36人常能無欲—活Ⅰ·活Ⅱ·陽Ⅰ·斯Ⅱ·足利·筑波·弘文·無窮·書陵·梅沢·東急·杏雨·宋版·道藏①□□无□—武內·東大·慶Ⅰ·東洋·斯Ⅰ②□□已无□—慶Ⅱ①

37可以觀大道之要—活Ⅱ·武內·慶Ⅰ·斯Ⅱ·無窮·杏雨①□□□□—活Ⅰ·陽Ⅰ·東大·足利·筑波·慶Ⅱ·東洋·書陵·梅沢·東急·斯Ⅰ·宋版②□□□□—弘文②

38要—活Ⅰ·活Ⅱ·陽Ⅰ·武內·東大·慶Ⅰ·斯Ⅱ·足利·筑波·慶Ⅱ·無窮·東洋·書陵·梅沢·東急·杏雨·斯Ⅰ①□□—弘文①

39謂一也—活Ⅰ·活Ⅱ·陽Ⅰ·武內·東大·慶Ⅰ·斯Ⅱ·足利·筑波·弘文·無窮·東洋·書陵·梅沢·東急·杏雨·斯Ⅰ·宋版·道藏①□□之□□—慶Ⅱ①

40一出布名道—活Ⅰ·活Ⅱ·陽Ⅰ·武內·東大·慶Ⅰ·足利·筑波·無窮·東洋·書陵·梅沢·東急·杏雨·斯Ⅰ·宋版·道藏①□□也—斯Ⅱ·弘文·慶Ⅱ①

41常有欲—活Ⅰ·活Ⅱ·陽Ⅰ·東大·慶Ⅰ·無窮·東洋·書陵·梅沢·東急·杏雨·六地·陽Ⅱ·斯Ⅰ·宋版·道藏①□□故□□□—武內·筑波·弘文·慶Ⅱ·無窮·東洋①

42以觀其微—活Ⅰ·活Ⅱ·陽Ⅰ·武內·東大·慶Ⅰ·斯Ⅱ·足利·筑波·弘文·慶Ⅱ·東洋·書陵·梅沢·東急·杏雨·六地·陽Ⅱ·斯Ⅰ·宋版·道藏①□□—無窮①

43微婦也—活Ⅰ·活Ⅱ·陽Ⅰ·東大·慶Ⅰ·斯Ⅱ·足利·書陵·梅沢·東急·杏雨·斯Ⅰ·宋版·道藏①□□—武內·筑波·弘文·慶Ⅱ·無窮·東洋①

44常有欲之人—活Ⅰ·活Ⅱ·陽Ⅰ·武內·東大·慶Ⅰ·斯Ⅱ·足利·筑波·無窮·東洋·書陵·梅沢·東急·杏雨·斯Ⅰ·宋版·道藏①□□—足利①故□□□□—筑波①

45可以觀—活Ⅰ·活Ⅱ·陽Ⅰ·武內·東大·慶Ⅰ·斯Ⅱ·足利·筑波·弘文·慶Ⅱ·無窮·東洋·書陵·梅沢·東急·杏雨·斯Ⅰ·宋版·道藏①□□—無窮·東洋·書陵·梅沢·杏雨·斯Ⅰ·宋版①

46可以觀—活Ⅰ·活Ⅱ·陽Ⅰ·武內·東大·慶Ⅰ·斯Ⅱ·足利·筑波·弘文·慶Ⅱ·無窮·東洋·書陵·梅沢·杏雨·斯Ⅰ·宋版①

47可以觀—活Ⅰ·活Ⅱ·陽Ⅰ·武內·東大·慶Ⅰ·斯Ⅱ·足利·筑波·弘文·慶Ⅱ·無窮·東洋·書陵·梅沢·杏雨·斯Ⅰ·宋版①

48可以觀—活Ⅰ·活Ⅱ·陽Ⅰ·武內·東大·慶Ⅰ·斯Ⅱ·足利·筑波·弘文·慶Ⅱ·無窮·東洋·書陵·梅沢·杏雨·斯Ⅰ·宋版①

49可以觀—活Ⅰ·活Ⅱ·陽Ⅰ·武內·東大·慶Ⅰ·斯Ⅱ·足利·筑波·弘文·慶Ⅱ·無窮·東洋·書陵·梅沢·杏雨·斯Ⅰ·宋版①

50可以觀—活Ⅰ·活Ⅱ·陽Ⅰ·武內·東大·慶Ⅰ·斯Ⅱ·足利·筑波·弘文·慶Ⅱ·無窮·東洋·書陵·梅沢·杏雨·斯Ⅰ·宋版①

道藏」①則□□□—東急」

46 世俗之所歸趣也—活I·活II·陽I·東大·慶I·斯II·足利·

弘文·書陵·梅沢·東急·杏雨·斯I·宋版·道藏」①□□□□

版□□—武内·筑波·慶II·無窮·東洋」

11 44 經47 此兩者同出而異名—活I·活II·陽I·斯II·足利·筑波·弘文·

慶II·無窮·書陵·梅沢·東急·杏雨·六地·陽II·斯I·宋版·

道藏」①□□□□□□□□—武内·東大·慶I·東洋」

11 45 注48 有欲無欲也—活I·活II·陽I·足利·筑波·弘文·慶II·無窮·

書陵·梅沢·東急·杏雨·宋版·道藏」①□□□□—武内·東

大·慶I·斯II·東洋·斯I」

49 同出者—活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·斯II·足利·筑

波·弘文·無窮·東洋·書陵·梅沢·東急·杏雨·斯I·宋版·

道藏」①□□□□—慶II」

50 同出人之心也—活I·活II·陽I·東大·慶I·足利·無窮·

東洋·書陵·梅沢·東急·杏雨」①□□□□□□□□—斯II·斯I·

宋版」①有□□□□□□—武内·筑波」①□□□□□□□□—慶II」

②□□□□□□□□—弘文」③謂□於□□□□—道藏」

51 而異名者—活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·斯II·足利·

筑波·弘文·慶II·無窮·東洋·書陵·梅沢·杏雨·斯I·宋版·

①□□名異□—東急」①□□□□□□—道藏」

52 所名各異也—活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·足利·筑波·

弘文·慶II·無窮·東洋·書陵·梅沢·東急·杏雨·斯I·宋版·

①□□々□□□—斯II」②□□□□□□—道藏」

11 46 注53 名無欲者長存—活I·活II·陽I·足利·筑波·弘文·慶II·無

窮·書陵·梅沢·東急·杏雨·宋版·道藏」①□□□□□□□□—武

内·東大·慶I·斯II·東洋·斯I」

54 亡身者也—活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·斯II·足利·

筑波·弘文·無窮·東洋·書陵·梅沢·東急·杏雨·斯I」①□

□□□□矣—慶II」①□□□□□□□□—宋版」①□□□□□□□□—道藏」

11 42 注55 玄天也—活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·斯II·足利·

筑波·弘文·無窮·東洋·書陵·梅沢·東急·杏雨·斯I·宋版·

道藏」①□□者□□—慶II」

56 言有欲之人—活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·斯II·足

利·筑波·弘文·慶II·無窮·書陵·梅沢·東急·杏雨·斯I·

宋版」①□□□□□□□□者—東洋」①謂□□□□□□—道藏」

57 与無欲之人—活I·活II·陽I·足利·筑波·弘文·無窮·東洋·書陵·

梅沢·東急·宋版·道藏」①□□□□□□—武内·東大·慶I·斯

II·筑波·慶II·斯I」

58 同受—氣於天也—活I·活II·陽I·武内·東大·斯II·足利·

筑波·弘文·慶II·無窮·東洋·梅沢」①□□愛□□□□—慶I·

書陵」①□□□□於□□□□□□—斯I」①□□□□□□□□—東急·宋版·

道藏」

12 48 注59 稟氣有厚薄—活I·活II·陽I·斯I·宋版·道藏」①□□□□薄

厚—武内·東大·慶I·斯II·足利·筑波·弘文·慶II·無窮·

東洋·書陵·梅沢·東急」

60 夫人得中和滋液—活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·筑波·

東洋·書陵」①□□□□□□□□□□—斯II·足利·弘文·慶II·無窮·

梅沢·東急·斯I·宋版·道藏」

61 則生賢聖—活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·斯II·足利·

筑波·弘文·無窮·東洋·書陵·梅沢·東急·斯I·宋版·道藏」

①□□□□聖賢—慶II」

62 得錯乱濁辱—活I·活II·陽I·梅沢·東急·道藏」①□□□□□□

溲—武内·東大·慶I·斯II·足利·筑波·弘文·慶II·無窮·

東洋·書陵·斯I」①□□□□□□□□—宋版」

63 則生貪淫—活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·斯II·足利·筑波·

弘文·慶II·無窮·東洋·書陵·

梅沢·東急·斯I·宋版」

14 45 注64 稟氣有薄厚—活I·活II·武内·東大·慶I·東洋」①天□□□□

□□—陽I·斯II·足利·筑波·弘文·無窮·書陵·梅沢·東急」

①□□□□□□□□—慶II」①□□□□□□厚薄—宋版·道藏」②天□□厚薄—

斯I

65 謂知道要之門戶者也。活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・斯

II・足利・筑波・弘文・慶II・無窮・東洋・梅沢・東急・斯I

①□□和□□□□□□□□□□書陵①□□□□□□□□□□宋版①

□□□□□□□□□□道藏

16 16 養身章第二。活I・活II・陽I・梅沢・斯I・宋版・道藏①

□□□章□□□□武内・東大・東洋②天下章□□□□慶I②天

下皆章□□□□筑波・弘文・慶II②天下章□□□□慶I②天

無窮・書陵・東急・六地・陽II

16 16 有危亡也。活I・活II・陽I・武内・東大・慶II・筑波・弘文・

足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・宋版・道藏①□□

□□者□慶I①□□□□□□斯I

16 16 人所爭也。活I・活II・陽I・武内・東大・慶II・筑波・

足利・斯II・書陵・東洋・梅沢・東急・斯I・宋版・道藏①□□

□□尚□□弘文①□□□□□□□□□□無窮

16 16 故有無之相生。活I・活II・陽I・東大・慶II・筑波・弘文・足

利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・陽II・東急①□□□□□□

□□□武内・慶I・六地①□□□□□□□□□□□□□□□□□□

17 17 難易之相成。活I・活II・陽I・東大・慶II・筑波・弘文・

足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽II・東急・斯I・

道藏①□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

17 17 長短之相形。活I・活II・陽I・武内・東大・慶II・筑波・

弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽II・東急・

道藏①□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

17 17 見短而為長也。活I・活II・陽I・武内・東大・慶II・筑波・

波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯I・

宋版①□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

17 17 經73 高下之相傾。活I・活II・陽I・武内・東大・慶II・筑波・

弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽II・東急・

道藏①□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

17 17 見高而為下也。活I・活II・陽I・武内・東大・慶II・筑波・

波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・斯I・宋版・

道藏①□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

18 18 音聲之相和。活I・活II・陽I・武内・慶II・筑波・弘文・

足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽II・東急・道藏

①□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

注76 上唱下必和也。活I・活II・陽I・武内・東大・慶II・筑

波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・宋版・

道藏①□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

18 18 前後之相隨。活I・活II・陽I・武内・東大・慶II・筑波・弘文・

足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽II・東急①□□

后□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

注78 上行下必隨也。活I・活II・陽I・武内・東大・慶II・筑

波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯I・

宋版①□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

18 18 處無為之。活I・活II・陽I・東大・慶II・筑波・弘文・足利・

斯II・無窮・書陵・東洋・東急・斯I・宋版・道藏①□□□□□□

□□□武内・慶I・六地・治要①□□□□□□□□□□□□□□□□

18 18 以身師導之也。活I・活II・慶II・筑波・足利・無窮・東洋・梅

沢・斯I・宋版①□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

導□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

19 19 萬物作焉。活I・活II・陽I・武内・東大・慶II・筑波・

弘文・足利・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽II・東急・斯I・

宋版・道藏・治要①□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

19 19 各自動作也。活I・活II・東大・慶II・筑波・弘文・足利・

斯II・無窮・書陵・梅沢・斯I①□□□□□□□□□□□□□□□□

洋・東急・治要・道藏(此の注、次の經文句下に有り)①□□□

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

19 19 經83 而不辭。活I・活II・陽I・武内・東大・慶II・筑波・弘

文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽II・東急・斯I・宋版・道藏」①

19 卅注84 不辭謝而逆止也」活I・活II・東大・慶I・慶II・弘文・足利・斯II・無窮」①

梅沢」①

19 卅注85 元氣生万物而不有也」活I・活II・武内・東大・慶I・筑波・弘文・足利・無窮・東洋」①

東急・斯I・宋版・道藏」治要」①

19 卅注86 為而不恃」陽I・武内・東大・慶I・筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽II・東急・斯I・宋版・道藏」治要」①

特」活I・活II・慶II」①

19 卅注87 不特望其報也」陽I・武内・東大・筑波・足利・斯II・無窮・東洋・梅沢・斯I・宋版・治要」①

特」活I・活II・慶II」①

道藏」②

19 卅注88 功成而不居」弘文・足利・斯II・無窮」①

弗」活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・東急・六地・陽II・斯I・宋版・道藏」①

19 卅注89 功成而退」活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・東急・斯I・宋版・道藏」①

成功」梅沢」①

90 退避不居其位也」活I・活II・陽I・武内・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢」①

辟」①

20 卅注91 夫唯不居」①

弗」活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽II・東急・斯I」①

惟」道藏」②

惟」宋版」②

注92 夫唯功成不居其位也」活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・無窮・書陵・梅沢・斯I」①

惟」②

20 卅注93 不去其身也」活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・斯I・宋版」①

東急・道藏」①

20 卅注94 不言不可知」活I・活II・無窮・東洋・梅沢・宋版・道藏」①

和」陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・書陵・東急・斯I」①

20 卅注95 君開一源」活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯I・宋版」①

若」道藏」①

20 卅注96 生百端百端之變」活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・宋版・道藏」①

斯I」①

97 無不動亂也」活I・活II・筑波・足利・無窮・書陵・梅沢・東急」①

无」陽I・武内・東大・慶I・慶II・弘文・斯II」①

21 卅注98 安民」第三」活I・活II・陽I・梅沢・斯I・宋版・道藏」①

章」武内・東大・東洋」②

21 卅注99 賢謂世俗之賢」活I・活II・陽I・武内・東大・筑波・慶II・慶I・弘文」②

足利」道藏」治要」①

100 辯口明文離道行權」活I・活II・慶I・書陵・東急・宋版・道藏」①

辨」陽I・筑波・慶II・弘文・足利・斯II・無窮・梅沢・斯I」①

弁」武内・東大・東洋」②

去質為文也 | 活 I · 活 II · 陽 I · 武内 · 東大 · 筑波 · 慶 II · 慶 I · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版

101 去質為文也 | 活 I · 活 II · 陽 I · 武内 · 東大 · 筑波 · 慶 II · 慶 I · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版

102 不尚者不貴之以祿 | 活 I · 活 II · 陽 I · 武内 · 東大 · 筑波 · 慶 II · 慶 I · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 道藏

103 不尊之以官也 | 活 I · 活 II · 陽 I · 武内 · 東大 · 筑波 · 慶 II · 慶 I · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 梅沢 · 東急 · 道藏

21 反自然也 | 活 I · 活 II · 陽 I · 武内 · 東大 · 筑波 · 慶 II · 慶 I · 弘文 · 足利 · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 治要

21 言人君不御好珍 | 活 I · 活 II · 陽 I · 武内 · 東大 · 筑波 · 慶 II · 慶 I · 足利 · 斯 II · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急

22 黃金弃於山 | 活 II · 陽 I · 武内 · 東大 · 筑波 · 慶 II · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 活 I ?

107 珠玉捐於湖也 | 活 I · 活 II · 武内 · 東大 · 慶 II · 慶 I · 弘文 · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 杏雨 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 道藏

108 上化清淨 | 東大 · 斯 I · 宋版 · 道藏

23 除嗜欲 | 活 I · 活 II · 陽 I · 武内 · 東大 · 筑波 · 慶 II · 慶 I · 弘文 · 足利 · 斯 II · 書陵 · 東洋 · 杏雨 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版

109 無貪人也 | 活 I · 活 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 杏雨 · 東急

110 放鄭聲 | 活 I · 活 II · 陽 I · 武内 · 東大 · 筑波 · 慶 II · 慶 I · 弘文 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 杏雨 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 道藏

111 遠美人也 | 活 I · 活 II · 陽 I · 弘文 · 斯 II · 無窮 · 杏雨

22 經 113 是以聖人之治 | 活 I · 活 II · 陽 I · 武内 · 東大 · 筑波 · 慶 II · 慶 I · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 杏雨 · 梅沢 · 六地 · 陽 II · 東急 · 斯 I · 道藏

22 謂聖人治國 | 活 I · 活 II · 陽 I · 武内 · 東大 · 筑波 · 慶 II · 慶 I · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 杏雨 · 梅沢

115 猶治身也 | 活 I · 活 II · 陽 I · 武内 · 東大 · 筑波 · 慶 II · 慶 I · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 杏雨 · 斯 I · 治要

23 除嗜欲 | 活 I · 活 II · 陽 I · 武内 · 東大 · 筑波 · 慶 II · 慶 I · 弘文 · 足利 · 斯 II · 書陵 · 東洋 · 杏雨 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版

23 除嗜欲 | 活 I · 活 II · 陽 I · 武内 · 東大 · 筑波 · 慶 II · 慶 I · 弘文 · 足利 · 斯 II · 書陵 · 東洋 · 杏雨 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版

23 除嗜欲 | 活 I · 活 II · 陽 I · 武内 · 東大 · 筑波 · 慶 II · 慶 I · 弘文 · 足利 · 斯 II · 書陵 · 東洋 · 杏雨 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版

23 除嗜欲 | 活 I · 活 II · 陽 I · 武内 · 東大 · 筑波 · 慶 II · 慶 I · 弘文 · 足利 · 斯 II · 書陵 · 東洋 · 杏雨 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版

道藏」①□□慾—無窮」

117 去乱煩也■—活I·活II·陽I·武内·東大·筑波·慶II·慶I·

弘文·足利·斯II·無窮·書陵·杏雨·東急」①□□□□之—梅

沢·東洋」①□□□□■—斯I·宋版」②□□煩亂■—道藏」

23 17 經118 實其腹—活I·活II·陽I·武内·東大·筑波·慶I·弘文·足

利·斯II·無窮·書陵·東洋·杏雨·梅沢·六地·陽II·東急·

斯I·宋版·道藏」①□□陽—慶II」

注119 懷道抱—活I·活II·陽I·武内·東大·筑波·慶II·慶I·

弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·杏雨·梅沢·東急·宋版·

道藏」①□□於□—斯I」

23 96 注120 不處權也—活I·活II·陽I·武内·東大·筑波·慶II·足利·

斯II·無窮·書陵·東洋·杏雨·梅沢·東急·斯I·宋版·道藏」

①□□□□—慶I·弘文·敦煌」

23 98 注121 髓滴骨堅也■—活I·活II·陽I·慶II·無窮·書陵·杏雨·梅

沢·東急·斯I·道藏」①□□□□□□—東洋(見消ち有り)」

①□□□□■—東大·弘文·足利·斯II·宋版」①□□□□陞

■—武内」①□□□□賢■—筑波」②□□□□賢■—慶I」

24 14 注122 反朴守淳■也—活I·活II·陽I·武内·東大·筑波·慶II·無

窮·書陵·東急」①□□樸□□□—慶I·弘文·足利·斯II·杏

雨」①□□□□也—東洋(とに見消ち)」①□□□□■—斯

I·宋版·道藏」②□□撲□□□之—梅沢」②□□樸□□■—治要」

24 15 經123 使夫知者不敢為也—活I·活II·陽I·武内·東大·筑波·慶II·

慶I·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·杏雨·梅沢·六地·陽II·

東急·斯I·宋版·道藏·治要」①□□□□□□□□—東洋」

24 19 注124 不輕言也■—活I·活II·東大·筑波·慶II·慶I·弘文·足利·

斯II·無窮·杏雨·東急」①□□□□□□之—梅沢」①□□□□■—

陽I·武内·書陵·東洋·敦煌·斯I·宋版·道藏·治要」

24 21 經125 為無為—活I·活II·陽I·筑波·慶II·弘文·足利·斯II·無

窮·書陵·東洋·杏雨·梅沢·東急·斯I·宋版·道藏·治要」

①□□无□—武内·東大·慶I·敦煌·六地·陽II」

注126 動因循■也—活I·活II·陽I·武内·東大·慶II·慶I·弘文·

書陵·東洋」①□□□□之—無窮」①□□修■—足利(作「終」)

·斯II(作「脩」)·杏雨」①□□□□■—筑波·梅沢·東急·斯

I·宋版·道藏」②□□脩■—治要」

24 92 經127 則無不治矣—活I·活II·陽I·筑波·慶II·弘文·足利·斯II·

無窮·書陵·杏雨·陽II」①□□无□□□—武内·東大·慶I·六

地」①□□□□■—東洋·梅沢·敦煌(「則無」二字欠)·東急·

斯I·宋版·道藏·治要」

注128 德化厚—活I·活II·陽I·武内·東大·筑波·慶II·慶I·足

利·斯II·無窮·書陵·東洋·杏雨·梅沢·東急·斯I·宋版·

道藏」①惠□□—治要」①□□原—弘文」①□□淳—敦煌」

129 百姓安■也—活I·活II·陽I·東大·筑波·慶II·慶I·弘文·

足利·斯II·無窮·杏雨·斯I·治要」①□□□□之—武内」①

□□□□—梅沢·東急」①□□□□■—書陵·東洋·宋版·道

藏」

26 11 130 無源■第四—活I·活II·陽I·梅沢·斯I·宋版·道藏」①□

□章□□—東大·東洋」②无□章□□—武内」②道冲章□□—慶

I」②道冲章□□—筑波·慶II·弘文」②■—足利·斯

II·無窮·書陵·杏雨·六地·陽II·敦煌·東急」

26 12 經131 道冲而用之—活I·活II·陽I·慶I·斯II·無窮·書陵·梅沢·

六地·陽II·敦煌·東急·斯I·道藏」①□□冲□□□—武内·東

大·筑波·慶II·弘文·足利·東洋·杏雨·宋版」

26 14 注132 冲中也—活I·活II·陽I·慶I·斯II·無窮·書陵·梅沢·敦

煌·東急·斯I·道藏」①冲□□—武内·東大·筑波·慶II·弘

文·足利·東洋·杏雨·宋版」

133 其用在中者也■—活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·筑波·

慶II·弘文·足利·斯II·書陵·東洋·杏雨·斯I」①□□□□

□□□□之—梅沢」①□□□□□□□□—無窮·東急」①□□□□■

■—宋版·道藏」

26 15 注134 或常也—活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·筑波·慶II·弘

文・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・杏雨・敦煌・東急・斯I・
宋版・道藏」①域□□—足利」

135 不盈滿也■—活I・活II・陽I・東大・慶I・筑波・弘文・足利・
斯II・無窮・書陵・杏雨」①□□□□之慶II」①□□□□之—
梅沢」①□□□□—武内・東洋・東急・斯I・宋版・道藏」

26 71 經136 測兮—活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・筑波・慶II・弘文・
足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・杏雨・六地・陽II・東急・
斯I・道藏」①□□乎—宋版」

26 78 注137 道測深—活I・活II・武内・東大・慶I・筑波・慶II・弘文・足利・
斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・杏雨・敦煌・東急・斯I・
宋版・道藏」①□□除—陽I」

138 不可知也—活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・筑波・慶II・
弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・杏雨・斯I・宋版・
道藏」①□□□□—敦煌・東急」

139 似為万物宗祖也—活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・筑波・
慶II・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・杏雨」①□□
□□□□—東急」②□□□□之□□□□—斯I・宋版・道藏」

26 74 注140 欲銳情進取功名—活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・筑波・
慶II・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・杏雨・敦煌・
東急・斯I・道藏」①□□精□□□□—宋版」

141 當挫止之—活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・筑波・慶II・
弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・杏雨・東急・斯I・
道藏」①□□上□□—宋版」

142 法道不自見也—活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・筑波・慶II・
弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・杏雨・東急・
道藏」①(欠) □□—敦煌」①□□□□—斯I」②□□□□

26 75 經143 解其紛—活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・筑波・慶II・弘
文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・杏雨・六地・陽II・
東急・斯I・宋版・道藏」①□□忿—敦煌」

注144 紛結恨也—活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・筑波・慶II・
弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・杏雨・東急・斯I・
道藏」①忿□□□—敦煌」①□□根□□—宋版」

145 以解釋之也—活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・筑波・慶II・
弘文・足利・書陵・東洋・梅沢・杏雨・東急」①□□□□—斯
II・無窮・斯I・宋版・道藏」

26 72 注146 獨見之明—活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・筑波・慶II・
弘文・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・杏雨・敦煌・東急・斯I・
宋版・道藏」①□□□□—足利」

147 當如闇昧—活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・筑波・慶II・
弘文・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・杏雨・東急・斯I・道藏」
①□□知□□—宋版」□□暗□□—足利」

148 不當以曜乱人也—活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・筑波・
慶II・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・梅沢・杏雨・東急・斯I・
道藏」①□□□□—擢□□□—宋版」①□□□□於□□—東洋」
①□□□□□□—敦煌」

26 79 經149 同其塵—活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・筑波・慶II・弘
文・足利・無窮・書陵・東洋・梅沢・杏雨・敦煌・東急・斯I・
宋版・道藏」①□□□□—斯II」

注150 當與衆庶同垢塵—活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・筑波・
慶II・弘文・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯I・宋版」①□□
□□塵□□□—斯II・杏雨」②□□□□塵洞□□—足利(洞右旁見
消ち、眉上に「同」字を加筆)」②□□□□□□—道藏」

151 不當自別殊也—活I・活II・慶I・筑波・弘文・足利・斯II・
無窮・杏雨」①□□□□□□□□—東急」①□□□□□□—陽I・
武内・東大・慶II・書陵・東洋・梅沢・斯I・宋版」②□□□□殊
別—道藏」

26 73 經152 湛兮似或存—活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・筑波・慶II・
弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・杏雨・六地・陽II・
敦煌・東急・斯I」①□□□□若□□—宋版・道藏」

26 74 經153 解其紛—活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・筑波・慶II・弘
文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・杏雨・六地・陽II・
東急・斯I・宋版・道藏」①□□忿—敦煌」

26 75 經154 解其紛—活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・筑波・慶II・弘
文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・杏雨・六地・陽II・
東急・斯I・宋版・道藏」①□□忿—敦煌」

27 卅注153 道湛然安靜一活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·筑波·慶II·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·杏雨·敦煌·東急·斯I·道藏①當□□□□□□一宋版

154 故長存一①□□能□□一活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·筑波·慶II·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·杏雨·東急·斯I·道藏·宋版

155 不亡也一活I·活II·陽I·東大·慶I·筑波·弘文·斯II·無窮·杏雨·東急①□□□□□□之梅沢①□□人□□慶II①□□已□□一足利①□□□□□□一武內·書陵·東洋·斯I·宋版·道藏

27 卅經156 不知其誰之子一活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·筑波·慶II·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·杏雨·六地·陽II·敦煌·東急·斯I·道藏①□□□□□□□□一宋版

27 卅注157 不知道所從生也一活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·筑波·慶II·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·杏雨①□□□□□□□□一慶II之梅沢①□□□□□□□□之也一東急①□□□□□□□□一慶I·斯I·宋版①□□□□□□□□之矣一道藏

27 卅經158 象帝之先一活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·筑波·慶II·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·杏雨·陽II·敦煌·東急·斯I·宋版·道藏①□□常□□一六地

27 卅注159 道似存一活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·筑波·慶II·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·杏雨·東急·斯I①□□在—敦煌②□□自在—宋版·道藏

160 天帝之前一活I·活II·陽I·武內·東大·筑波·慶II·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I·宋版·道藏①□□□□先—慶I·足利·無窮·杏雨②□□者先—弘文·斯II

161 此言一活I·活II·陽I·武內·慶I·筑波·慶II·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·梅沢·杏雨·東急·斯I·宋版·道藏①□□—東大·東洋

162 先天地生也一活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·筑波·慶II·

弘文·足利·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I·宋版·道藏①□□□□□□一斯II·杏雨·敦煌

163 至今存者一活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·筑波·慶II·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·杏雨·東急·斯I①□□在—敦煌·宋版①□□□□□□一道藏

164 以能安靜湛然不勞煩也一活I·活II·陽I·慶I·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·杏雨①似□□□□□□□□一慶II①□□□□□□□□□□一武內·東大·東洋·梅沢·東急·斯I·宋版·道藏

27 卅注165 欲使人脩身法道也一活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·筑波·慶II·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·杏雨·東急①□□□□□□□□一敦煌·斯I·宋版·道藏

28 卅 166 虛用第五一活I·活II·陽I·梅沢·斯I·宋版·道藏①□□章□□一武內·東大·東洋②天地章□□一慶I·筑波·慶II·弘文②□□□□□□一足利·斯II·無窮·書陵·杏雨·六地·陽II·敦煌·東急

28 卅注167 任自然也一活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·杏雨·東急·斯I·宋版·治要①住□□□□一慶II①□□□□□□一道藏

28 卅經168 以万物爲芻狗一活I·活II·陽I·慶I·筑波·慶II·足利·斯II·書陵·杏雨·無窮·六地·敦煌·道藏·治要①□□□□芻

28 卅注169 人最爲貴一活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·筑波·慶II·弘文·足利·斯II·書陵·東洋·梅沢·杏雨·無窮·敦煌·東急·斯I·宋版·道藏①□□□□一治要

28 卅注170 天地視之一活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·筑波·慶II·弘文·足利·書陵·東洋·梅沢·杏雨·敦煌·東急·斯I·宋版·道藏①□□□□一斯II·無窮①□□□□一治要

171 如芻草狗畜一活I·活II·陽I·慶I·筑波·弘文·足利·斯II·書陵·杏雨·無窮·敦煌·道藏·治要①□□芻□□□一武內·東

大・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版①□□□□—慶Ⅱ

172 不責望其報也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武內・東大・慶Ⅰ・筑波・

慶Ⅱ・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・杏雨・無窮・東急・斯Ⅰ①□□□□

□□□□—之—梅沢①□□貴□□□□—宋版①□□□□

於□□□□—弘文①□□□□□□□□—敦煌・道藏・治要

29 材注173 愛養万民—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武內・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・

足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・杏雨・無窮・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・

道藏・治要①□□□□物—筑波・梅沢

174 法天地—行自然者也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武內・東大・筑波・慶

Ⅱ・弘文・斯Ⅱ・書陵・東洋①□□□□□□□□—慶Ⅰ・足

利・梅沢・杏雨・無窮①□□□□□□□□—敦煌・斯Ⅰ・宋

版・治要②□□□□之□□□□—東急②□□□□之□□□□—

道藏

29 材注175 以百姓為芻狗—武內・東大・東洋・梅沢・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋

版①□□□□□□—芻□□—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・筑波・慶Ⅱ・弘

文・足利・斯Ⅱ・書陵・杏雨・無窮・六地・敦煌・道藏・治要

注176 如芻草狗畜—武內・東大・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版①□□

芻□□□—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・筑波・慶Ⅱ・弘文・足利・

斯Ⅱ・書陵・杏雨・無窮・敦煌・道藏・治要

177 不責望其禮意也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武內・東大・慶Ⅰ・慶

Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・杏雨・無窮・東急①□□□□

□□□□—東洋①□□□□□□□□—之—梅沢①□□青□□□□

□□□□—筑波①□□□□□□□□—敦煌・斯Ⅰ・宋版②□□

□□□□於□□□□—道藏

29 材注178 万物自生—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武內・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・

足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・敦煌・東急・斯Ⅰ・

宋版・道藏①□□□□—弘文

29 材注179 人能除情欲—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武內・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・

東洋・無窮・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道藏①□□□□□□—慾—弘

文・足利・斯Ⅱ・書陵・梅沢・杏雨

180 節滋味—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武內・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘

文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・敦煌・東急・

斯Ⅰ・宋版①却□□—道藏

181 清五臟—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・道藏①□□藏—武內・東大・筑波・

慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・

敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版

182 則神明居之也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東大・筑波・慶Ⅱ・弘文・足

利・斯Ⅱ・書陵・梅沢・杏雨・無窮・東急・斯Ⅰ・宋版①□□□□

□□□□矣—東洋①□□□□□□□□—武內・慶Ⅰ・敦煌①□□□□

□□□□—道藏

29 引經183 其猶囊籥乎—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武內・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・

弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・六地・陽Ⅱ・東急・

斯Ⅰ・宋版・道藏①□□囊□□—敦煌①□□□□—今—無窮

注184 囊籥中空虛—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・

足利・書陵・梅沢・杏雨・無窮・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道藏

①□□□□虛空—武內・東大・東洋①□□□□□□—无虚—斯Ⅱ

185 故能有聲氣也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武內・東大・筑波・慶Ⅰ・

慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・杏雨・無窮・東急①□□□□

□□□□—梅沢・東洋①□□□□□□□□—敦煌・斯Ⅰ・道藏②

人□□□□—宋版

30 材注186 無有屈竭—活Ⅰ・活Ⅱ・弘文・書陵・梅沢・杏雨・無窮・東急

①无□□□□—陽Ⅰ・武內・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・足利・斯Ⅱ・

東洋・敦煌・斯Ⅰ・宋版①□□□□—道藏

187 時搖動之益—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武內・東大・慶Ⅱ・弘文・足利・

斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・敦煌・斯Ⅰ①□□搖□□

□□—筑波①□□□□□□—東急①□□□□□□—慶Ⅰ①□□動搖

□□—宋版・道藏

188 出聲氣也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武內・東大・慶Ⅱ・筑波・弘文・

足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・東急・杏雨・無窮・斯Ⅰ・宋版①□□□□

□□□□—之—梅沢①時□□□□□□—慶Ⅰ①□□□□□□—敦煌・道

藏

30 朽經189 多言數窮一活I・活II・陽I・武內・東大・筑波・慶I・慶II・

弘文・斯II・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・六地・陽II・敦煌・

東急・斯I・宋版・道藏①夢□□□一足利

30 朽注190 有禍患也一活I・陽I・武內・東大・筑波・慶I・慶II・弘文・

足利・斯II・書陵・東洋・杏雨・無窮・東急①□□忠□一活

II①□□□□之梅沢①□□□□一敦煌・斯I・宋版・道

30 引注191 愛氣希言也一活I・活II・陽I・武內・東大・筑波・慶I・慶

II・弘文・足利・斯II・書陵・梅沢・杏雨・無窮・東急①□□

□□□□之一東洋①□□□□一敦煌・斯I・宋版・道藏

32 朽 192 成象一活I・活II・陽I・梅沢・斯I・宋版・道藏

①□□章□□一武內・東大・東洋②谷神章□□一慶I

②谷神不死章□□一筑波・慶II・弘文②一足利・

32 朽經193 谷神不死一活I・活II・陽I・武內・東大・筑波・慶I・慶II・

弘文・足利・斯II・東洋・梅沢・杏雨・無窮・六地・陽II・敦煌・

東急・斯I・宋版・道藏①浴□□□一書陵

注194 谷養也一活I・活II・陽I・武內・東大・筑波・慶I・慶II・弘

文・足利・斯II・東洋・梅沢・杏雨・無窮・東急・斯I・宋版・

道藏①浴□□□一書陵①□□神一敦煌

195 則不死也一活I・活II・陽I・武內・東大・筑波・慶I・慶II・

弘文・足利・斯II・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・東急・宋版

①□□□□一敦煌・斯I・道藏

32 朽注196 謂五臟之神也一活I・活II・陽I①□□藏□□□一武內・筑波・

慶I・慶II・弘文・足利・斯II・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無

窮・東急・斯I・宋版②□□藏魂□□一東大②□□藏□□一

敦煌②□□藏□□一道藏

197 腎藏精一活I・活II・陽I・武內・東大・筑波・慶I・慶II・

弘文・斯II・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・敦煌・東急・斯I・

宋版①賢□□□一足利(見消ち有り)②脾□□意一道藏

198 脾藏志一活I・活II・陽I・武內・東大・筑波・慶I・慶II・

弘文・足利・斯II・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・敦煌・東急・

斯I・宋版②腎□精與□一道藏

199 五臟尽傷一活I・活II・陽I①□□藏□□一武內・東大・筑波・

慶I・慶II・弘文・足利・斯II・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・

敦煌・東急・斯I・宋版・道藏

200 則五神去也一活I・活II・陽I・武內・東大・筑波・慶II・無

窮・書陵・東洋・杏雨①□□□□□一慶I・弘文・足利・斯

II①□□□□□矣一梅沢・敦煌・東急・斯I・宋版①□□□

□□□一道藏

33 朽注201 言不死之道一活I・活II・陽I・武內・東大・筑波・慶I・慶II・

弘文・足利・斯II・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・敦煌・東急・

斯I・道藏①□□□□有一宋版

202 在於玄牝一活I・活II・陽I・武內・東大・筑波・慶II・書陵・

東洋・梅沢・無窮・敦煌・東急・斯I・宋版・道藏①□□□□一

慶I・弘文・足利・斯II・杏雨

203 玄天也一活I・活II・陽I・武內・東大・筑波・慶II・弘文・足

利・斯II・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・敦煌・東急・斯I・

宋版・道藏①□□世一慶I

33 朽注204 從鼻入藏於心一活I・陽I・武內・東大・筑波・慶I・慶II・弘

文・足利・斯II・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・東急・敦煌・

斯I・宋版・道藏①徙□□□□一活II

205 五氣清微一活I・活II・陽I・武內・東大・筑波・慶I・慶II・

弘文・足利・斯II・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・敦煌・斯I・

宋版・道藏①□□□微一東急

206 其鬼曰魂一活I・活II・陽I・武內・東大・筑波・慶I・慶II・

弘文・足利・斯II・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・東急・斯I・

宋版・道藏①□□□魄一敦煌

207 魂者雄也一活I・活II・陽I・武內・東大・筑波・慶I・慶II・

足利·斯II·書陵·東洋·梅沢·杏雨·無窮·敦煌·東急·斯I·
宋版·道藏」①□□□□□—弘文」

33 仍注208於人鼻—活I·活II·陽I·武內·東大·筑波·慶I·慶II·弘
文·足利·斯II·書陵·梅沢·杏雨·無窮」①□□□□—東洋·敦
煌·東急·斯I·宋版·道藏」

209 與天通—活I·活II·陽I·武內·東大·筑波·慶I·慶II·
弘文·足利·斯II·書陵·東洋·梅沢·杏雨·無窮·敦煌·東急·
斯I·宋版」①□□□□—道藏」

34 柱注210從□入藏於臍—活I·活II·陽I·東大·筑波·書陵·無窮」①
□□□□□—胃—武內·慶I·慶II·弘文·足利·斯II·東洋·梅
沢·杏雨·敦煌·東急·斯I·宋版·道藏」

211 五味—活II·武內·東大·東洋·梅沢·無窮·敦煌·東急」①□
性—活I·陽I·筑波·慶I·慶II·弘文·足利·斯II·書陵·
杏雨·斯I·宋版·道藏」

212 濁辱—活I·活II·陽I·東大·弘文·敦煌·東急·斯I·宋
版·道藏」①□□□□—梅沢」①□□□□—薄—武內·筑波·慶I·慶II·
足利·斯II·書陵·東洋·杏雨·無窮」

213 為形體—活I·活II·陽I」①□□□□—骸—武內·東大·筑波·慶I·
慶II·弘文·足利·斯II·書陵·東洋·梅沢·杏雨·無窮·敦煌·
東急·斯I·宋版·道藏」

214 骨肉—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·弘文·足利·
斯II·書陵·東洋·梅沢·杏雨·無窮·東急·斯I·宋版·道藏」
①□□□□—筑波」①□□□□—敦煌」

215 魄者雌也—活I·活II·陽I·武內·東大·筑波·慶I·慶II·
弘文·足利·斯II·書陵·東洋·梅沢·杏雨·無窮·敦煌·東急·
斯I·宋版」①□□□□□—道藏」

216 主出入—活I·活II·陽I·武內·東大·筑波·慶I·慶II·弘
文·足利·斯II·書陵·東洋·梅沢·杏雨·無窮·斯I·宋版」
①□□□□—敦煌·東急·道藏」

217 於人口—活I·活II·陽I·武內·東大·筑波·慶I·慶II·弘

文·足利·斯II·書陵·東洋·梅沢·杏雨·無窮·東急·斯I」
①□□□□—敦煌」①□□□□—宋版·道藏」

218 與地通—活I·活II·陽I·武內·東大·筑波·慶I·慶II·
弘文·足利·斯II·書陵·東洋·梅沢·杏雨·無窮·敦煌·東急·
斯I·道藏」①□□□□—宋版」

219 □為牝也—活I·活II·陽I·武內·東大·筑波·慶I·慶II·
弘文·足利·斯II·書陵·東洋·杏雨·無窮·東急·斯I·宋版」
①□□□□□—梅沢」①□□□□□—敦煌·道藏」

36 柱經220謂天地之根—活I·活II·陽I·武內·東大·筑波·慶I·慶II·
弘文·足利·斯II·書陵·東洋·梅沢·杏雨·無窮·六地·陽II·
敦煌·東急·斯I·道藏」①□□□□□—宋版」

36 柱注221根元也—活I·活II·陽I·武內·東大·筑波·慶I·弘文·足
利·斯II·書陵·東洋·梅沢·杏雨·無窮·敦煌·東急·斯I·
宋版·道藏」①□□□□—慶II」

222 是乃—活I·活II·陽I·武內·東大·筑波·慶I·弘文·
足利·斯II·書陵·東洋·梅沢·杏雨·無窮·敦煌·東急·斯I·
宋版」①乃是—道藏」

223 天地之元氣—活I·活II·陽I·武內·東大·筑波·慶I·慶
II·弘文·足利·斯II·書陵·東洋·梅沢·杏雨·無窮·敦煌·東急·
斯I」①通—杏雨·宋版·道藏」

224 所從往來也—活I·活II·陽I·武內·東大·筑波·慶I·慶II·
弘文·足利·斯II·書陵·東洋·梅沢·杏雨·無窮·東急·斯I」
①□□□□□—敦煌·宋版·道藏」

36 柱經225綿々乎若存—活I·活II·陽I·武內·東大·筑波·慶I·弘文·
足利·斯II·書陵·東洋·杏雨·無窮·六地·東急」①□□□□
□—慶I·梅沢·陽II·敦煌·斯I·宋版·道藏」

36 柱注226呼吸喘息—活I·活II·陽I·武內·東大·筑波·慶I·慶II·
弘文·足利·斯II·書陵·東洋·梅沢·杏雨·無窮·東急·道藏」
①□□□□—敦煌·斯I·宋版」

227 復若無有也—活I·活II·筑波·弘文·書陵·杏雨·無窮·

東急 ①□□■无□□—武内·東大·慶I·慶II·足利·斯II·東洋·斯I ①□□□□□□□□□□—梅沢 ②□□□□□□—陽I·敦煌·宋版 ②□□□□□□□□□□—道藏

36 引注 228 急疾勤勞也—活I·活II·陽I·東大·筑波·慶I·慶II·弘文·足利·斯II·書陵·東洋·梅沢·杏雨·無窮·東急·斯I·宋版 ①□□□□□□□□□□—武内·敦煌 ②為□□□□□□—道藏

37 引注 229 輅光 第七—活I·活II·陽I·梅沢·斯I·宋版·道藏 ①□□□□□□□□□□—武内·東大·東洋 ②天長 ③章□□□□—慶I ②天長地久章□□—筑波·慶II·弘文 ②□□□□□□—足利·斯II·書陵·無窮·六地·陽II·敦煌·東急

37 引注 230 論教人也—活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·弘文·斯II·書陵·東洋·梅沢·無窮 ①□□□□□□—筑波 ①論□□□□—足利 ①喻□□□□—東急·斯I·宋版 ②喻□□□□—敦煌 ②教喻□□□□—道藏

37 引注 231 獨長且久者—活I·活II·陽I·武内·東大·筑波·慶I·慶II·弘文·足利·斯II·書陵·東洋·梅沢·無窮·敦煌·東急·斯I·宋版 ①能□□□□□□—道藏

37 引注 232 以其安靜—活I·活II·陽I·筑波·慶I·弘文·足利·斯II·書陵·東洋·梅沢·無窮·敦煌·東急·斯I·宋版 ①□□□□□□—武内·東大·慶II ①□□□□□□—自然—道藏

233 施不求報—活I·活II·陽I·武内·東大·筑波·慶I·弘文·足利·斯II·書陵·東洋·梅沢·無窮·敦煌·東急·斯I·道藏 ①□□□□□□—慶II ①□□□□□□—宋版

37 引注 234 自與也—活I·活II·弘文·足利·斯II·無窮 ①□□□□□□—梅沢 ①□□□□□□—陽I·武内·東大·筑波·慶I·慶II·書陵·東洋 ①與自□□□□—東急 ①□□□□□□—道藏 ①□□□□□□—敦煌·斯I·宋版

37 引注 235 故能長生—活I·活II·陽I·武内·東大·筑波·慶I·慶II·足利·斯II·書陵·東洋·梅沢·無窮·六地·陽II·敦煌·東急·斯I·宋版·道藏 ①□□□□□□—弘文

注 236 長生不終也—活I·活II·陽I·武内·東大·筑波·慶I·慶II·弘文·足利·斯II·書陵·東洋·梅沢·無窮·東急·斯I·宋版·道藏 ①□□□□□□□□□□—敦煌

37 引注 237 後已也—活I·活II·陽I·武内·東大·筑波·慶I·慶II·弘文·足利·斯II·書陵·東洋·梅沢·無窮·東急·斯I ①□□□□□□—敦煌·道藏 ①□□□□□□—者□□—宋版

37 引注 238 天下敬之—活I·活II·陽I·東大·慶I·慶II·弘文·足利·斯II·書陵·東洋·無窮·敦煌·東急·斯I·宋版·道藏 ①□□□□□□—梅沢 ①□□□□□□—欲□□—武内·筑波

239 為官長也—活I·活II·陽I·武内·東大·筑波·慶I·慶II·弘文·足利·斯II·書陵·東洋·梅沢·無窮·東急·斯I ①□□□□□□—敦煌·斯I ②□□□□□□—宋版·道藏

37 引注 240 厚人也—活I·活II·陽I·武内·東大·筑波·慶I·慶II·足利·斯II·書陵·東洋·梅沢·無窮·東急·斯I·宋版 ①原□□□□—弘文 ①□□□□□□—敦煌·道藏

37 引注 241 神明—活I·活II·陽I·武内·東大·筑波·慶I·慶II·弘文·足利·斯II·書陵·東洋·梅沢·無窮·敦煌·東急·斯I·宋版 ①敬之如□□□□—道藏

242 祐之若赤子—活I·活II·陽I·武内·東大·筑波·慶I·慶II·弘文·足利·斯II·書陵·東洋·梅沢·無窮·敦煌·東急·斯I·宋版·道藏 ①□□□□□□□□□□—無窮

243 故身常存也—活I·活II·陽I·武内·東大·筑波·慶I·慶II·弘文·足利·斯II·書陵·東洋·梅沢·無窮·東急·道藏 ①□□□□□□—敦煌·斯I·宋版

38 引注 244 非以其無私耶—活I·活II·筑波·慶II·足利·斯II·書陵·東洋·無窮·東急·斯I·弘文 ①□□□□□□—武内·東大·慶I·敦煌 ①□□□□□□—邪—宋版 ①□□□□□□—梅沢 ②□□□□□□—邪—陽I·六地 ②□□□□□□—陽II ②□□□□□□—道藏

注 245 非以其公正無私所致乎—活I·活II·筑波·弘文·書陵·無窮

宋版·道藏 ① 无 陽 I · 武内 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 足利 · 斯 II · 東洋 · 斯 I · 敦煌 ① 不 梅沢 ② 双 耳 東急

38 引注 246 人所以為私者 活 I · 活 II · 陽 I · 武内 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 弘文 · 足利 · 斯 II · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 無窮 · 東急 · 斯 I ① 和 筑波 ① 敦煌 · 宋版 ② 道藏

247 欲以厚己也 活 I · 活 II · 陽 I · 武内 · 東大 · 筑波 · 慶 I · 慶 II · 足利 · 斯 II · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 無窮 · 敦煌 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 道藏 ① 原 弘文

38 引注 248 無私而已自厚 活 I · 活 II · 筑波 · 斯 II · 書陵 · 梅沢 · 無窮 · 東急 · 斯 I · 道藏 ① 无 陽 I · 武内 · 東大 · 慶 I · 足利 · 東洋 · 敦煌 · 宋版 ① 原 弘文 ② 无 耳 慶 II

249 故能成其私也 活 I · 活 II · 陽 I · 武内 · 東大 · 慶 I · 弘文 · 足利 · 斯 II · 書陵 · 東洋 · 無窮 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 道藏 ① 敦煌 ① 者 筑波 ① 矣 慶 II ① 之矣 梅沢

39 引注 250 易性 第八 活 I · 活 II · 陽 I · 梅沢 · 斯 I · 宋版 · 道藏 ① 上善如水章 武内 · 東大 · 東洋 ② 上善 章 慶 I ② 上善如水章 筑波 · 慶 II · 弘文 ② 足利 · 斯 II · 書陵 · 無窮 · 六地 · 陽 II · 敦煌 · 東急

39 引注 251 上善若水 活 I · 活 II · 陽 I · 武内 · 東大 · 筑波 · 慶 II · 書陵 · 東洋 · 六地 · 陽 II · 敦煌 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 道藏 ① 如 慶 I · 弘文 · 足利 · 斯 II · 梅沢 · 無窮

注 252 如水之性也 活 I · 活 II · 陽 I · 武内 · 東大 · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 無窮 · 東急 ① 姓 慶 II ① 慶 I · 宋版 · 道藏

39 引注 253 水在天為霧露 活 I · 活 II · 陽 I · 武内 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 弘文 · 足利 · 斯 II · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 無窮 · 敦煌 · 東急 · 斯 I

宋版·道藏 ① 露々 筑波

254 在地為泉源也 活 I · 活 II · 陽 I · 武内 · 筑波 · 慶 I · 慶 II · 弘文 · 足利 · 斯 II · 東洋 · 梅沢 · 無窮 · 東急 · 斯 I · 宋版 ① 衆 書陵 ① 而 東大 ① 敦煌 ② 道藏

39 引注 255 而不爭 活 I · 活 II · 陽 I · 筑波 · 慶 I · 慶 II · 弘文 · 足利 · 斯 II · 書陵 · 東洋 · 無窮 · 六地 · 敦煌 · 斯 I · 宋版 · 道藏 ① 又 武内 · 東大 · 梅沢 · 陽 II · 東急

注 256 水獨靜 活 I · 活 II · 武内 · 東大 · 慶 II · 東洋 · 敦煌 · 斯 I · 宋版 · 道藏 ① 爭 陽 I · 梅沢 · 無窮 · 東急 ① 彈 筑波 · 足利 · 斯 II · 書陵 ① 慶 I · 弘文

257 流居之也 活 I · 活 II · 陽 I · 武内 · 東大 · 筑波 · 慶 I · 慶 II · 弘文 · 足利 · 斯 II · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 無窮 · 東急 · 斯 I · 宋版 ① 敦煌 ① 矣 道藏

40 引注 258 故幾於道矣 活 I · 活 II · 陽 I · 武内 · 東大 · 筑波 · 慶 I · 慶 II · 弘文 · 足利 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 無窮 · 六地 · 陽 II · 敦煌 · 東急 ① 斯 II · 斯 I · 宋版 · 道藏

注 259 水性 活 I · 活 II · 陽 I · 武内 · 東大 · 筑波 · 慶 I · 慶 II · 弘文 · 足利 · 斯 II · 書陵 · 東洋 · 無窮 · 敦煌 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 道藏 ① 梅沢

260 幾與道同也 活 I · 活 II · 筑波 · 慶 II · 弘文 · 足利 · 斯 II · 梅沢 · 無窮 · 東急 ① 于 慶 I ① 陽 I · 武内 · 東大 · 書陵 · 東洋 · 敦煌 · 斯 I · 宋版 · 道藏

40 引注 261 水性善喜於地 活 I · 活 II · 陽 I · 武内 · 東大 · 筑波 · 慶 I · 慶 II · 弘文 · 足利 · 斯 II · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 無窮 · 敦煌 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 道藏 ① 喜 無窮

262 在草木之上 活 I · 活 II · 陽 I · 武内 · 東大 · 筑波 · 慶 I · 慶 II · 弘文 · 足利 · 斯 II · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 無窮 · 敦煌 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 道藏 ① 宋版

263 即流而下 活 I · 活 II · 陽 I · 武内 · 東大 · 筑波 · 慶 I · 慶 II

弘文・足利・斯II・書陵・東洋・梅沢・無窮・敦煌・東急・宋版・道藏」①則□□□□—斯I」

40 91注 264 有似—活I・活II・陽I・武内・東大・筑波・慶I・弘文・足利・斯II・書陵・東洋・梅沢・無窮・敦煌・東急・斯I・宋版・道藏」①在□□—慶II」

265 於牝動—活I・活II・陽I・武内・東大・筑波・慶I・慶II・弘文・足利・斯II・書陵・東洋・梅沢・無窮・敦煌・東急・宋版・道藏」①□□□□—斯I」

266 而—下人—也—活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・弘文・足利・斯II・書陵・東洋・東急・斯I・宋版・道藏」①□□□□—筑波・梅沢」①□□□□—無窮」①□□□□—敦煌」

40 92 經 267 心善測—活I・活II・陽I・武内・東大・筑波・慶I・慶II・弘文・足利・斯II・書陵・東洋・梅沢・無窮・六地・陽II・東急・斯I・宋版・道藏」①善心□□—敦煌」

注 268 水性空虛—活I・活II・陽I・武内・東大・筑波・慶I・慶II・弘文・足利・斯II・書陵・東洋・梅沢・無窮」①□□□□—東急・敦煌」①□□□□—斯I・宋版・道藏」

269 測深清明也—活I・活II・陽I・武内・東大・筑波・慶I・慶II・弘文・足利・斯II・書陵・無窮」①□□□□—之—梅沢」①□□□□—者也—東洋」①□□□□—東急・敦煌・斯I・宋版・道藏」

40 94 經 270 與善仁—活I・活II・陽I・武内・東大・筑波・慶I・慶II・弘文・足利・斯II・書陵・東洋・梅沢・無窮・六地・陽II・敦煌・東急・斯I・宋版」①□□□□—人—道藏」

注 271 不與盈也—活I・活II・陽I・武内・東大・筑波・慶I・慶II・弘文・足利・斯II・書陵・東洋・梅沢・無窮・東急・斯I・宋版・道藏」①□□□□—敦煌」

40 96 注 272 水内影—照形—活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・弘文・足利・斯II・書陵・東洋・梅沢・無窮・敦煌・東急・斯I・

宋版・道藏」①□□□□々□□□—筑波」

273 不失其—情也—活I・活II・陽I・武内・東大・筑波・慶I・慶II・弘文・足利・斯II・書陵・東洋・梅沢・無窮・東急・斯I・宋版」①□□□□—道藏」②□□□□物□□—敦煌」

40 99 經 274 政善治—活I・活II・陽I・武内・東大・筑波・慶I・慶II・弘文・足利・斯II・書陵・東洋・梅沢・無窮・六地・陽II・東急・道藏」①正□□□—敦煌・斯I・宋版」

40 90 注 275 無有—活I・活II・陽I・筑波・弘文・足利・斯II・書陵・梅沢・無窮・東急・道藏」①无□□—武内・東大・慶I・慶II・東洋・敦煌・斯I・宋版」

276 不洗清且平也—活I・活II・陽I・武内・東大・筑波・慶I・慶II・弘文・斯II・書陵・東洋・梅沢・無窮・東急・斯I・宋版・道藏」①□□□□□□—足利」①□□□□□□—敦煌」

41 93 注 277 能方能圓—活I・活II・陽I・武内・東大・筑波・慶I・慶II・足利・斯II・書陵・東洋・梅沢・無窮・敦煌・東急・斯I・宋版・道藏」①□□□□—弘文」

278 曲直隨形也—活I・活II・陽I・武内・東大・筑波・慶I・慶II・弘文・足利・斯II・書陵・東洋・無窮」①□□□□□□—之—梅沢」①□□□□—東急・斯I・宋版・道藏」

41 94 注 279 應期而—動—活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・書陵・東洋・梅沢・無窮・敦煌・東急・斯I・宋版・道藏」①□□□□—筑波」①□□□□—能—弘文」①□□□□—足利(右旁に見消ち、眉上に「期」字を加筆)」

280 不失天時也—活I・活II・陽I・武内・東大・筑波・慶I・慶II・弘文・足利・書陵・東洋・梅沢・無窮・東急・道藏」①□□□□—斯II・斯I・宋版」②□□□□—敦煌」

41 97 注 281 壅之則止—活I・活II・陽I・武内・東大・筑波・慶I・慶II・弘文・足利・斯II・書陵・東洋・梅沢・無窮・敦煌・東急・斯I・宋版・道藏」①□□□□—上—陽I」

282 聽從人也—活I・活II・陽I・武内・東大・筑波・慶II・弘文・

足利・斯II・書陵・東洋・梅沢・無窮・東急・斯I・宋版・道藏
①听□□□□慶I」①□□□□□□—敦煌」

41 41 經 283 故無尤—活I・活II・陽I・斯II・書陵・東洋・梅沢・陽II・

東急・斯I・宋版・道藏」①□□□□—武内・東大・慶II・六地・

敦煌」①□□□□矣—筑波・慶I・弘文・足利・無窮」

284 無有—活I・活II・弘文・足利・無窮・書陵・梅沢・杏雨・東急・

道藏」①无□□—陽I・武内・東大・筑波・慶I・慶II・斯II・東

洋・敦煌・斯I・宋版」

285 怨尤水者也—活I・活II・慶I・足利・梅沢・杏雨・無窮・敦煌・

斯I・宋版・道藏」①惡□□□□—陽I・武内・東大・筑波・慶

II・弘文・斯II・書陵・東洋・東急」

42 42 札 286 運夷—第九—活I・活II・陽I・梅沢・斯I・宋版・道藏」

①□□□□章□□—武内・東大・東洋」②侍而—章□□—慶I

②侍而盈之章□□—慶II・弘文」②侍而盈之章□□—筑波」②

足利・斯II・書陵・杏雨・無窮・六地・陽II・敦

煌・東急」

42 42 經 287 持而盈之—陽I・東大・無窮・梅沢・陽II・敦煌・東急・斯I・

宋版・道藏」①侍□□□—活I・武内・慶I・筑波・足利・書陵・

東洋・杏雨・六地」①特□□□—活II・慶II・弘文・斯II」

288 不知其已—活I・活II・陽I・武内・東大・筑波・慶I・慶II・

弘文・足利・斯II・東洋・梅沢・杏雨・無窮・六地・陽II・敦煌・

東急・斯I・宋版・道藏」①□□□□也—書陵」

注 289 持滿必傾—陽I・東大・無窮・梅沢・敦煌・東急・斯I・宋版・

道藏」①特□□□—活I・活II・武内・慶I・筑波・足利・書陵・

東洋・杏雨」①特□□□—慶II・弘文・斯II」

290 不知止也—活I・活II・陽I・武内・東大・筑波・慶I・慶II・

弘文・足利・斯II・書陵・梅沢・杏雨・無窮・東急・斯I・宋版・

道藏」①□□□□者—東洋」①□□□□之—敦煌」

42 42 引 經 291 揣而銳之—活I・活II・陽I・武内・東大・筑波・慶I・慶II・

弘文・足利・斯II・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・六地・陽II・

東急・斯I・宋版・道藏」①□□□□揜□—敦煌」

42 42 注 292 先揣之後—活I・活II・陽I・武内・東大・慶II・弘文・足利・

斯II・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・敦煌・東急・斯I・宋版・

道藏」①□□揣□□—慶I」①□□□□后—筑波」

293 必棄捐也—活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・弘文・

足利・斯II・書陵・杏雨・無窮・東急」①□□指□—筑波」①□

□損□—梅沢・東洋」①□□□□—敦煌・斯I・宋版・道藏」

42 42 注 294 嗜欲傷神—活I・活II・陽I・武内・東大・慶II・弘文・

足利・斯II・書陵・東洋・梅沢・杏雨・敦煌・東急・斯I・宋版・

治要」①□□慾□□—筑波・無窮」①者□□□—道藏」

295 財多—累身也—活I・活II・陽I・武内・東大・筑波・慶I・

慶II・斯II・書陵・杏雨・無窮・東急」①賤□□□□—足利

(左旁に見消ち、眉上に「財」字を加筆)①□□□□□□—梅

沢」①□□□□則□□□—東洋」①□□□□□□—弘文・斯I・

宋版・敦煌・道藏・治要」

44 44 經 296 自遺其咎—活I・活II・陽I・東大・慶II・弘文・書陵・東洋・

梅沢・六地・陽II・敦煌・東急・宋版・道藏」①還□□□□—武

内・筑波・慶I・足利・斯II・無窮・杏雨・斯I」②還□□□□—

治要」

44 44 注 297 夫富—活I・活II・陽I・武内・東大・筑波・慶I・慶II・弘文・

足利・斯II・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・敦煌・東急・斯I・

道藏・治要」①大□□—宋版」

298 當賑貧貴—活I・陽I・武内・東大・筑波・慶I・慶II・弘文・

足利・斯II・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・東急・斯I・宋版・

道藏・治要」①□□貪□—活II」①□□□□—敦煌」

299 當憐賤—活I・活II・陽I・武内・東大・筑波・慶II・足利・斯

II・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・東急・斯I・宋版・治要」

①□□財—弘文」①□□矜□—慶I・敦煌・道藏」

300 被禍患者也—活I・活II・陽I・武内・東大・筑波・慶II・書陵・

梅沢」①□□□□□—慶I・弘文・足利・斯II・無窮・杏雨・東

急・斯I・宋版①□□□□□□—東洋(地脚に「也」字加筆)①□□□□□□—敦煌・治要②□□□□□□—道藏

44 77 經301 退天之道—活I・活II・陽I・武内・東大・筑波・慶I・慶II・弘文・斯II・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・六地・陽II・敦煌・東急・斯I・宋版・道藏①□□□□□□—足利①□□□□□□也—治要

44 78 注302 名跡称遂—活I・活II・陽I・筑波・慶I・慶II・足利・斯II・書陵・杏雨・無窮・敦煌・道藏①□□□□□□—梅沢・武内・東大・東洋・東急・斯I・宋版・治要①□□□□□□—逐—弘文

303 不退身避位—活I・活II・陽I・武内・東大・筑波・慶I・慶II・足利・斯II・東洋・梅沢・杏雨・無窮・敦煌・東急・斯I・宋版・道藏・治要①□□□□□□—弘文①□□□□□□—書陵

304 天之常道也—活I・活II・陽I・武内・東大・筑波・慶I・慶II・弘文・足利・斯II・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・東急・斯I・宋版①□□□□□□—敦煌・道藏・治要

305 譬如—活I・活II・陽I・武内・東大・筑波・慶I・慶II・弘文・足利・斯II・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・敦煌・東急・斯I・宋版・治要①□□□□□□—道藏

306 月滿則虧—活I・活II・陽I・武内・東大・筑波・慶I・慶II・弘文・足利・斯II・書陵・東洋・杏雨・無窮・敦煌・東急・斯I・宋版・道藏・治要①滿月□□□□—梅沢①因□□□□—筑波

44 79 注307 物盛則衰—活I・活II・陽I・武内・東大・筑波・慶I・慶II・弘文・足利・斯II・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・敦煌・東急・斯I・宋版・道藏・治要①□□□□□□—哀—慶I

308 樂極則衰—活I・活II・東急①□□□□□□—陽I・武内・東大・筑波・慶I・慶II・弘文・足利・斯II・書陵・杏雨・無窮・斯I②□□□□□□—哀之□—梅沢②□□□□□□—東洋②□□□□□□—敦煌・宋版・道藏・治要

46 41 309 能為—活I・活II・陽I・梅沢・斯I・宋版・道藏①□□□□□□—武内・東大・東洋②載營—章□□□□—慶I②載

管魄章□□—慶II・筑波・弘文②□□□□□□—足利・斯II・書陵・杏雨・無窮・六地・陽II・敦煌・東急

46 46 注310 管魄魂魄也—活I・活II・陽I・武内・慶I・宋版・道藏①□□□□□□—無窮①□□□□□□—東大・筑波・慶II・弘文・足利・斯II・書陵・梅沢・東洋・東急・杏雨・敦煌・斯I

46 48 注311 當愛養之—活I・活II・陽I・武内・東大・筑波・慶I・慶II・弘文・足利・斯II・書陵・東洋・杏雨・無窮・敦煌・東急・斯I・宋版・道藏①或□□□□□□—梅沢

46 42 注312 喜怒亡魂—活I・活II・陽I・武内・東大・筑波・慶I・慶II・斯II・書陵・東洋・梅沢・杏雨・敦煌・東急・斯I・宋版・道藏①憲□□□□—弘文・無窮②憲□□□□—足利(右旁見消ち「亡」字を加筆)

313 魂在肝—活I・活II・陽I・武内・東大・筑波・慶I・慶II・弘文・足利・斯II・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・敦煌・斯I・宋版・道藏①□□□□□□—肺—東急(右旁見消ち)

314 魄在肺—活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・弘文・足利・斯II・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・敦煌・東急・斯I・宋版・道藏①□□□□□□—肝—筑波

315 美酒甘肴—活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・弘文・足利・斯II・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・敦煌・東急・斯I・宋版・道藏①□□□□□□—者—筑波

316 腐人肝肺—活I・活II・陽I・武内・東大・筑波・慶I・慶II・弘文・斯II・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・敦煌・東急・斯I①□□□□□□—肺—足利①□□□□□□—臍—宋版①傷□□□□—道藏

46 48 注317 魂靜志道—活I・活II・陽I・武内・東大・筑波・慶I・慶II・弘文・足利・斯II・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・敦煌・東急・斯I・宋版・道藏①魄□□□□□□—杏雨

318 魄安修德—活I・活II・陽I・武内・東大・筑波・慶I・慶II・弘文・足利・斯II・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・東急・斯I①□□□□□□—壽—敦煌①□□□□□□—得壽—宋版・道藏

東急・宋版・道藏」①□□□□—武內・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・足利・斯Ⅱ・東洋・斯Ⅰ」②□□□□—敦煌」

338 精神不去也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武內・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・杏雨・無窮・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□□□□□□□—梅沢」①□□□□□□□□—敦煌・道藏」

47 引注 339 使潔清也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武內・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・東急・斯Ⅰ・道藏」①□□□□□□□□—敦煌」①□□□□□□□□—宋版」

340 居玄冥之處—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道藏」①□□□□□□□□—武內」

341 謂之玄覽也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武內・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□□□□□□□—敦煌・道藏」

48 引注 342 能無疵乎—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・筑波・慶Ⅰ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・東急・斯Ⅰ・道藏」①□□□□□□□□—武內・慶Ⅱ・六地・陽Ⅱ・敦煌」①□□□□□□□□—宋版」②无能□□□□—東大」

48 引注 343 文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・敦煌・東急・道藏」①淨能无疵病乎—東大・斯Ⅰ・宋版」

48 引注 344 則國安也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武內・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・東急」①□□□□□□□□—敦煌・斯Ⅰ・宋版・道藏」

48 引注 345 能無知乎—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ」①□□□□□□□□—武內・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・六地・敦煌」①□□□□□□□□—宋版」①□□□□□□□□—道藏」

48 引注 346 治身者—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武內・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・東急・斯Ⅰ・道藏」

宋版・道藏」①□□□□—敦煌」

347 無令耳聞也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・筑波・弘文・書陵・杏雨・無窮・東急」①□□□□□□□□—陽Ⅰ・武內・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・斯Ⅰ・宋版」①□□□□□□□□—道藏」②□□□□□□□□—敦煌」

348 布德施惠—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武內・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・敦煌・東急・斯Ⅰ」①□□□□□□□□—道藏」①□□□□□□□□—宋版」

349 無令下知也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・筑波・弘文・書陵・梅沢・杏雨・無窮・東急」①□□□□□□□□—陽Ⅰ・武內・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・足利・斯Ⅱ・東洋・斯Ⅰ・宋版」①□□□□□□□□—道藏」②□□□□□□□□—敦煌」

48 引注 350 天門—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武內・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・東急・斯Ⅰ・宋版・道藏」①□□□□—敦煌」

351 謂北極紫宮—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武內・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・敦煌・東急」①□□□□□□□□—斯Ⅰ・宋版」②□□□□□□□□—道藏」

352 謂終始五際也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武內・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□□□□□□□—弘文・敦煌」①□□□□□□□□—道藏」

49 引注 353 內・東大・筑波・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・敦煌・斯Ⅰ・宋版」①於身□□□□—東急」②治身之□□□□—道藏」

354 謂鼻孔—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武內・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道藏」①□□□□—弘文」

355 謂呼吸也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武內・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・斯Ⅰ・宋版・道藏」①□□□□—敦煌・東急」

49 72 經 356 能為雌乎一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 筑波 · 慶 I · 慶 II ·

弘文 · 足利 · 斯 II · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 無窮 · 六地 · 陽 II · 敦煌 ·

東急 · 斯 I ① 無窮 道藏 ② 無窮 宋版

49 73 注 357 當如應變一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 筑波 · 慶 II · 書陵 ·

東洋 ① 敦煌 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 道藏 ② 無窮 宋版

和而不唱也一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 筑波 · 慶 I · 慶

II · 弘文 · 足利 · 斯 II · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 無窮 ① 無窮 慶 I · 慶

道藏 ① 無窮 慶 I · 慶 II · 道藏 ② 無窮 宋版

49 76 注 359 言道明白一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 ·

弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 敦煌 · 東急 · 斯 I ① 無窮 宋版

道藏 ① 無窮 宋版 ② 無窮 道藏

49 78 注 360 聽之不聞一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 ·

足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 敦煌 · 東急 · 斯 I · 宋版 ·

道藏 ① 無窮 弘文

361 彰布之於十方一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑

波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 斯 I ·

宋版 ② 無窮 敦煌 ② 無窮 道藏

362 煥々煌々也一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 ·

斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版 ① 煥 ② 煥

道藏 ① 煥 ② 煥 ③ 煥 ④ 煥 ⑤ 煥 ⑥ 煥 ⑦ 煥 ⑧ 煥 ⑨ 煥 ⑩ 煥

道藏 ① 煥 ② 煥 ③ 煥 ④ 煥 ⑤ 煥 ⑥ 煥 ⑦ 煥 ⑧ 煥 ⑨ 煥 ⑩ 煥

50 41 經 363 能無知乎一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 ·

弘文 · 足利 · 斯 II · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 道藏 ① 無窮

道藏 ① 無窮 六地 · 陽 II · 敦煌 ① 無窮 呼一無窮 ① 無窮 宋

版 ① 無窮 六地 · 陽 II · 敦煌 ① 無窮 呼一無窮 ① 無窮 宋

50 42 注 364 無有能知一活 I · 活 II · 弘文 · 足利 · 無窮 · 書陵 · 梅沢 · 東急 ·

道藏 ① 無窮 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 斯 II ·

東洋 · 敦煌 · 斯 I · 宋版

365 道滿於天下者也一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 II · 筑波 ·

無窮 · 書陵 · 東洋 · 東急 ① 無窮 之 梅沢 ① 無窮

道藏 ① 無窮 弘文 · 足利 · 斯 II ① 無窮 道藏

50 48 經 366 生之畜之一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 ·

足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 六地 · 陽 II · 敦煌 · 東急 ·

斯 I · 宋版 · 道藏 ① 無窮 弘文

注 367 道生万物而畜養也一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶

II · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 ① 無窮 慶 I · 慶

道藏 ① 無窮 慶 I · 慶 II · 道藏 ② 無窮 宋版

50 49 經 368 生而不有活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 ·

足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 六地 · 陽 II · 敦煌 · 東急 ·

斯 I · 宋版 · 道藏 ① 無窮 弘文

注 369 道生万物一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 ·

足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 六地 · 陽 II · 敦煌 · 東急 ·

斯 I · 宋版 · 道藏 ① 無窮 弘文

370 無所取有也一活 I · 活 II · 足利 · 無窮 · 書陵 · 東急 ① 無窮

道藏 ① 無窮 陽 I · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 斯 II ① 無窮 道藏

道藏 ① 無窮 武內 · 東洋 · 梅沢 · 斯 I · 宋版 ③ 無有所取 ④ 無

道藏 ① 無窮 弘文

50 410 經 371 為而不恃一活 I · 活 II · 陽 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II ·

無窮 · 書陵 · 東洋 · 六地 · 陽 II · 敦煌 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 道藏

道藏 ① 無窮 時 梅沢 ① 無窮 特 武內 · 東大 · 慶 I

注 372 不恃其報也一活 I · 活 II · 陽 I · 弘文 · 足利 · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 道藏 ② 特

道藏 ① 無窮 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 斯 II ② 無窮 望 ③ 無窮 筑

波 · 敦煌

50 411 注 373 道長養万物一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II ·

筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 斯 I ·

道藏 ① 無窮 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 斯 II ·

道藏 ① 無窮 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 斯 II ·

宋版·道藏」①□□□□長大」敦煌」

374 為器用也」活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急」①□□□□

敦煌·斯I·宋版·道藏」

50 4注 375 道行德」活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·敦煌·東急·斯I·宋版」①□□□□道藏」

376 欲使人如道也」活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I·宋版」①□□□□道藏」

377 無用」第十一」活I·活II·陽I·梅沢·斯I·宋版·道藏」①□□□□道藏」

①□□□□章□□□武內·東大·東洋」②三十幅章□□□慶I·慶II·筑波·弘文」②

六地·陽II·敦煌·東急」

52 4注 378 三十幅」活I·活II·陽I·筑波·弘文·足利·斯II·東急·斯I·宋版·道藏」①卅□□武內·東大·慶I·慶II·無窮·書陵·東洋·梅沢·六地·陽II·敦煌」

379 共一數」活I·活II·武內·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·六地·陽II·敦煌·東急·斯I·宋版·道藏」①□□穀」陽I」

52 4注 380 古者車」活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·敦煌·東急·斯I·宋版·道藏」①□□車者」筑波」

381 三十幅」活I·活II·陽I·筑波·弘文·東急·斯I·宋版·道藏」①卅□□武內·東大·慶I·慶II·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·敦煌」

382 法」月數也」活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·東急·斯I·宋版·道藏」①□□同□□□」筑波」①□□日□□慶II·梅沢」①□□□□」敦煌」

383 共一數者」活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·

弘文·足利·無窮·書陵·東洋·梅沢·敦煌·東急·斯I·宋版·道藏」①□□□□」斯II」

384 穀中有孔」活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·足利·無窮·書陵·東洋·梅沢·敦煌·東急·斯I·宋版」①

□□□□」弘文·斯II·道藏」

385 故衆輻」湊之」道藏」①□□□□共□□」活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·敦煌·東急·宋版」②□□□□共□□也」斯I」

52 4注 386 五臟」活I·活II·陽I」①□□藏」武內·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·敦煌·東急·斯I·宋版·道藏」

387 神乃飯之也」慶II·筑波·東洋」①□□歸□□」活I·活II·陽I·武內·慶I·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·梅沢·東急·斯I·宋版」②□□歸□□」敦煌·道藏」②□□及婦□□」東大」

388 治國者寡能惣衆」活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·敦煌·東急·斯I·宋版」①

389 弱共扶強也」活I·活II·陽I·東大·慶I·慶II·弘文·斯II·無窮·書陵·東洋·敦煌·東急·斯I」①□□□□之□□」武內·筑波·梅沢」①翰供□□□□」足利」②□□□□使□□□□」宋版」②

53 4注 390 當其無」活I·活II·陽I·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I·宋版·道藏」①□□□□无」武內·東大·慶I·慶II·六地·陽II·敦煌」

53 4注 391 无」活I·活II·筑波·弘文·足利·無窮·書陵·梅沢·東急·道藏」①无」陽I·武內·東大·慶I·慶II·斯II·東洋·敦煌·斯I·宋版」

392 謂空虚也」活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急」①□□□□

斯I·宋版·敦煌」②為□□□□」道藏」

393 穀中空虛一活I·活II·武內·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·

足利·斯II·無窮·書陵·梅沢·敦煌·東急·斯I·宋版·道藏

①穀□□□—陽I·東洋

394 輪得轉行一活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·

弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·敦煌·斯I·道藏

①□□□—東急②車□去□—宋版

395 譽中空虛一活I·活II·陽I·東大·慶II·筑波·足利·斯II·

無窮·東洋·梅沢·敦煌·東急·斯I·宋版·道藏①□□□—

武內·慶I·弘文·書陵

396 人得載其上—武內·足利·敦煌·道藏①□□□□□也—活I·

活II·陽I·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·斯II·無窮·書陵·

東洋·梅沢·東急·斯I②□能□□□也—宋版

53 柱注397 為飲食之器—斯I·宋版·道藏①□□□□□—敦煌②□□

食飲□□也—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·

弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急

53 柱注398 當其無有器之用—活I·活II·筑波·足利·斯II·無窮·書陵·

東洋·梅沢·東急·斯I·宋版·道藏①□□□□□—陽I·

武內·東大·慶I·慶II·六地·陽II·敦煌①□□□□□—

弘文

53 柱注399 器中空虛—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·

足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·敦煌·斯I·宋版·道藏

①挺□□□□—東急①□□□□□—弘文

400 故得有所盛受也—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·

筑波·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I①□□

□□□□□—弘文①□□□□□—宋版②□□□□□

□□□□□—道藏

53 柱注401 謂作室屋也—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑

波·弘文·足利·斯II·無窮·東洋·梅沢①□□□□□—書

陵①□□□□□—東急①□□□□□—敦煌·道藏②□□

□□□□□—斯I·宋版

53 柱注402 當其無—活I·活II·陽I·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書

陵·梅沢·東急·斯I·宋版·道藏①□□□□□—武內·東大·慶

I·慶II·東洋·六地·陽II·敦煌

注403 言戶牖空虛—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·

弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·敦煌·東急·斯I·

宋版①□□□□□—道藏

404 人得以出入觀視—①□□□□□—活I·活II·陽I·武內·

東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·

梅沢·敦煌·東急·斯I·宋版②□□□□□—道藏

405 是其用也—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·

弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I①□□

□□□□□—敦煌·宋版①□□□□□—道藏

54 柱注406 物利於形—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑

波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·敦煌·東急·

斯I①利□□也□□□—宋版②利□□也□□□—道藏

407 器中有物—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·

弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·敦煌·東急·斯I

①用□□□□□—宋版①於□□□□□—道藏

408 恐其屋之破壞—活I·活II·陽I·慶I·慶II·弘文·斯II·無

窮·書陵①□□□□□—懷—足利①□□□□□—武內·東大·

筑波·東洋·梅沢·敦煌·東急·斯I·宋版·道藏

409 腹中有神—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·

弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·敦煌·東急·宋版·

道藏①腸□□□□—斯I

410 畏形之消亡也—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·

筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·斯I·宋版①□□

□□□□□—敦煌①□□□□□—東急②□□□□□

□□□□□—其□□□□□—道藏

54 柱注411 無之為用—活I·活II·陽I·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·

斯II·無窮·書陵·梅沢·東急·斯I·宋版·道藏①无□□□□

□—武內·東大·東洋·六地·陽Ⅱ·敦煌
注412言虛無者—①□□空□—活Ⅰ·活Ⅱ·陽Ⅰ·武內·東大·弘文·斯Ⅱ·書陵·梅沢·敦煌·東急·斯Ⅰ·宋版·道藏①□空虛□—

慶Ⅱ·筑波·足利·無窮·東洋①□室虛□—慶Ⅰ—

413乃可用盛受物也—活Ⅰ·活Ⅱ·陽Ⅰ·慶Ⅰ·慶Ⅱ·筑波·弘文·足利·斯Ⅱ·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急①□□□□□□□□

■—斯Ⅰ—①□□□□□□□□—武內·東大·敦煌②□□□□□□
□萬□—宋版③謂□□萬□—道藏

414虛無—活Ⅰ·活Ⅱ·慶Ⅱ·弘文·無窮·書陵·梅沢·東急·道藏
①□无—陽Ⅰ·武內·東大·筑波·慶Ⅰ·足利·斯Ⅱ·東洋·敦煌·斯Ⅰ·宋版

415能制有形—活Ⅰ·活Ⅱ·陽Ⅰ·宋版·道藏①□□□□—武內·東大·慶Ⅱ·斯Ⅱ·無窮·書陵·東洋·梅沢·敦煌·斯Ⅰ①者

□□—筑波·慶Ⅰ·弘文·足利·東急
416道者—空也—活Ⅰ·活Ⅱ·陽Ⅰ·武內·東大·慶Ⅰ·慶Ⅱ·筑波·弘文·足利·斯Ⅱ·無窮·書陵·東洋·梅沢·敦煌·東急·斯Ⅰ·宋版①□□虛□□—道藏

55 41
417檢欲—第十二—活Ⅰ·活Ⅱ·梅沢·斯Ⅰ·宋版·道藏①□慾
弟□□—陽Ⅰ—①□□章□□—武內·東大·東洋②五色章□

□□—慶Ⅱ·筑波·慶Ⅰ·弘文②□□□□—足利·斯Ⅱ·無窮·書陵·六地·陽Ⅱ·敦煌·東急

55 41注418貪淫好色—活Ⅰ·活Ⅱ·陽Ⅰ·武內·東大·慶Ⅰ·慶Ⅱ·弘文·足利·斯Ⅱ·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯Ⅰ·宋版·治要

①□姪□□—筑波·敦煌①□好淫□—道藏

419失明也—活Ⅰ·活Ⅱ·陽Ⅰ·武內·東大·慶Ⅰ·慶Ⅱ·筑波·弘文·足利·斯Ⅱ·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯Ⅰ·宋版

文·足利·斯Ⅱ·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯Ⅰ·宋版
①□□□—敦煌·道藏·治要

55 49經420五音令人耳聾—活Ⅰ·活Ⅱ·陽Ⅰ·武內·慶Ⅰ·慶Ⅱ·筑波·弘文·足利·斯Ⅱ·無窮·書陵·東洋·梅沢·六地·陽Ⅱ·敦煌·東急·斯Ⅰ·宋版·道藏·治要①□□□耳人□—東大

55 41注421好聽五音—活Ⅰ·活Ⅱ·陽Ⅰ·武內·東大·慶Ⅰ·慶Ⅱ·筑波·斯Ⅱ·無窮·書陵·東洋·梅沢·敦煌·東急·斯Ⅰ·宋版·道藏·治要①□聾□□—足利①□听□□—弘文

422不能聽—活Ⅰ·活Ⅱ·陽Ⅰ·武內·東大·慶Ⅰ·慶Ⅱ·筑波·足利·斯Ⅱ·無窮·書陵·東洋·梅沢·敦煌·東急·斯Ⅰ·宋版·道藏①□□听—弘文①□□—治要

423無聲之—活Ⅰ·活Ⅱ·弘文·無窮·書陵·東急·宋版·道藏①无□□—陽Ⅰ·武內·東大·慶Ⅰ·慶Ⅱ·筑波·足利·斯Ⅱ·東洋·梅沢·敦煌·斯Ⅰ①□□—治要

424聲—敦煌·宋版·道藏①□也—活Ⅰ·活Ⅱ·陽Ⅰ·武內·東大·慶Ⅰ·慶Ⅱ·筑波·弘文·足利·斯Ⅱ·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯Ⅰ①也—治要

55 46經425令人口爽—活Ⅰ·活Ⅱ·陽Ⅰ·武內·東大·慶Ⅰ·慶Ⅱ·筑波·足利·斯Ⅱ·無窮·書陵·東洋·梅沢·六地·陽Ⅱ·敦煌·東急·斯Ⅰ·宋版·道藏·治要①□□□—弘文

55 48注426爽妄也—活Ⅰ·活Ⅱ·陽Ⅰ·武內·東大·慶Ⅰ·慶Ⅱ·筑波·弘文·足利·斯Ⅱ·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯Ⅰ·宋版·治要①□亡□—敦煌·道藏

427人嗜於五味—活Ⅰ·活Ⅱ·陽Ⅰ·武內·慶Ⅰ·慶Ⅱ·筑波·弘文·足利·斯Ⅱ·無窮·書陵·東洋·梅沢·敦煌·東急·斯Ⅰ·治要①□奢□□—東大①□□□□—宋版·道藏

428則口妄—活Ⅰ·活Ⅱ·陽Ⅰ·武內·東大·慶Ⅰ·慶Ⅱ·筑波·弘文·足利·斯Ⅱ·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯Ⅰ·治要①□亡□□—敦煌②□□亡—道藏②於□□□亡—宋版

429言失於道也—活Ⅰ·活Ⅱ·陽Ⅰ·武內·東大·慶Ⅰ·慶Ⅱ·筑波·弘文·足利·斯Ⅱ·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯Ⅰ

波·弘文·足利·斯Ⅱ·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯Ⅰ
①□□□□—敦煌·治要①□□□□味□—宋版②□□□

56 46精神散亡—活Ⅰ·活Ⅱ·陽Ⅰ·武內·東大·慶Ⅰ·慶Ⅱ·筑波·弘文·斯Ⅱ·無窮·書陵·東洋·梅沢·敦煌·東急·斯Ⅰ·宋版

□味—道藏

①□□□□—敦煌·治要①□□□□味□—宋版②□□□

①□□□□—敦煌·治要①□□□□味□—宋版②□□□

道藏·治要①□□□□巳—足利

431 故發狂也—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·

弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I·宋版·

道藏·治要①□□□□—敦煌

57 48 注432 難得之貨謂—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·

弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·敦煌·斯I·宋版·

治要①□□□□—東急①□□□□—道藏

433 心貪意欲—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·

弘文·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·敦煌·東急·斯I·

宋版·道藏·治要①□□□□—足利

434 不知厭足—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·

弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·敦煌·東急·斯I·

宋版·道藏①□□□□—治要

435 身辱也—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·

弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·斯I·宋版·道藏·

治要①□□□□矣—東急①□□□□—敦煌

57 74 經436 聖人為腹—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·弘文·

足利·無窮·書陵·東洋·梅沢·六地·陽II·敦煌·東急·宋版·

道藏①□□□□—勝—筑波·斯II·斯I

57 75 注437 養神明也—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·

弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急①□□□□—

敦煌·斯I·宋版·道藏

57 78 注438 不妄視—活I·活II·陽I·武內·慶I·筑波·足利·斯

II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I①□□□□妄視—東

大·慶II·弘文·敦煌·宋版②□□□□妄視則—道藏

439 泄精於外也—活I·活II·陽I·慶I·弘文·足利·斯II·無

窮·斯I①洩□□□□—筑波·梅沢①□□□□者—武內·

東大·慶II·書陵·東洋①□□□□之—東急①□□□□—

敦煌·宋版·道藏

58 73 經440 去彼取—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·

弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·六地·陽II·東急·

斯I·宋版·道藏①□□□□取—敦煌

注441 腹之養性也—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·

弘文·足利·斯II·無窮·書陵·梅沢·東急①腸□□□□—東

洋·斯I①□□□□—敦煌·宋版②□□□□神—道藏

59 41 442 厭耻—活I·活II·陽I·梅沢·斯I·宋版·道藏①

□□章□□□—武內·東大·東洋②龍辱章□□—慶I·慶II·

筑波·弘文②□□□□—足利·斯II·無窮·書陵·六地·

陽II·敦煌·東急

59 43 注443 身龍亦驚—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·

足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·敦煌·東急·斯I·宋版·

道藏①□□□□安—弘文

444 身辱亦驚—筑波·敦煌·宋版·道藏·斯II·弘文①□□□□

□□也—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·足利·無窮·

書陵·東洋·梅沢·東急·斯I

59 44 注445 故皆驚也—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·

足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I·宋版·弘文①

□□□□—敦煌·道藏

59 46 注446 問何謂—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·

弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·敦煌·東急·斯I

①□□□□—宋版①□□□□之—道藏

447 何謂辱—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·

弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·敦煌·東急①□

為—斯I·宋版①□□□□—道藏

448 寵者尊榮—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·

弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·敦煌·東急·斯I·

宋版②□□□□也—道藏

449 辱者耻—及身—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑

波·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·敦煌·東急①□□

之□□—弘文①□□□□辱□□—斯I·宋版②□□□□辱也—

道藏

450 以曉 人也 活 I 活 II 陽 I 武內 東大 慶 I 慶 II 弘文 足利 斯 II 無窮 書陵 東洋 梅沢 東急 宋版 ① 人

筑波 ① 斯 I 敦煌 ③ 為 於 道藏

59 41 經 451 寵 為 上 活 I 活 II 陽 I 武內 東大 慶 I 慶 II 筑波 弘文 足利 斯 II 無窮 書陵 東洋 梅沢 六地 東急 斯 I

① 陽 II 敦煌 宋版 道藏

注 452 寵 為 尊 榮 也 活 I 活 II 筑波 弘文 ① 陽 I 武內 東大 慶 I 慶 II 足利 斯 II 無窮 書陵 東洋 梅沢 東急 斯 I

② 敦煌 宋版 道藏

59 75 注 453 辱 為 下 賤 也 活 I 活 II 武內 東大 慶 I 慶 II 筑波 弘文 足利 斯 II 無窮 書陵 東急 ① 梅沢 ①

① 陽 I 東洋 敦煌 斯 I 宋版 道藏

59 77 注 454 得 寵 榮 驚 者 活 I 活 II 陽 I 武內 東大 慶 I 慶 II 筑波 弘文 足利 斯 II 無窮 書陵 東洋 梅沢 敦煌 東急 斯 I

宋版 ① 者 驚 道藏

455 如 臨 危 也 活 I 活 II 陽 I 慶 I 慶 II 筑波 弘文 足利 斯 II 無窮 書陵 梅沢 斯 I 道藏 ① 武內 東大 東洋 東急 敦煌 ① 深 ① 宋版

① 武內 東大 慶 I 慶 II 筑波 弘文 足利 斯 II 無窮 書陵 東洋 東急 斯 I ① 者 梅沢 ① 武內 ① 慶 I ① 武內 ①

456 富 不 敢 奢 也 活 I 活 II 陽 I 東大 慶 I 慶 II 筑波 弘文 足利 斯 II 無窮 書陵 東洋 東急 斯 I ① 者 梅沢 ① 武內 ① 慶 I ① 武內 ①

① 敦煌 宋版 道藏

60 41 注 457 失 寵 處 辱 也 活 I 活 II 陽 I 慶 I 慶 II 筑波 弘文 足利 斯 II 無窮 書陵 梅沢 敦煌 斯 I 宋版 ① 武內 東大 東洋 東急 道藏

① 武內 東大 慶 I 慶 II 筑波 弘文 足利 斯 II 無窮 書陵 東急 斯 I 宋版 ① 敢 ① 梅沢 ①

458 恐 禍 重 來 也 活 I 活 II 陽 I 慶 I 慶 II 筑波 弘文 足利 斯 II 無窮 東急 斯 I 宋版 ① 敢 ① 梅沢 ①

① 武內 東大 書陵 東洋 敦煌 道藏

60 46 注 459 得 之 而 驚 活 I 活 II 陽 I 武內 東大 慶 I 慶 II 筑波

足利 斯 II 無窮 書陵 東洋 梅沢 敦煌 東急 ① 驚 ① 弘文 ① 斯 I ① 若 ① 宋版 道藏

460 失 之 而 驚 也 活 I 活 II 陽 I 武內 東大 慶 I 慶 II 筑波 書陵 東洋 梅沢 東急 ① 敦煌 ① 者 ① 慶 I 弘文 足利 斯 II ② 者 ① 無窮 ② 斯 I ② 若 ① 宋版 道藏

① 武內 東大 慶 I 慶 II 筑波 弘文 足利 斯 II 無窮 書陵 東洋 梅沢 東急 ① 斯 I ② 若 ① 宋版 道藏

60 47 注 461 何 故 畏 大 患 至 身 也 活 I 活 II 陽 I 武內 東大 慶 I 慶 II 筑波 弘文 足利 斯 II 無窮 書陵 東洋 梅沢 東急 ① 斯 I ② 敦煌 ② 人 若 ① 宋版 ②

① 敦煌 宋版 道藏

60 42 經 462 吾 所 以 有 大 患 者 活 I 活 II 陽 I 武內 東大 慶 I 慶 II 足利 斯 II 無窮 書陵 梅沢 六地 陽 II 敦煌 斯 I 宋版 道藏 ① 五 ① 筑波 ① 東洋 東急 ① 弘文

① 為 ① 宋版 道藏

60 43 注 463 坐 吾 有 身 活 I 活 II 陽 I 武內 東大 慶 I 慶 II 筑波 弘文 足利 斯 II 無窮 書陵 東洋 梅沢 敦煌 東急 斯 I ① 為 ① 宋版 道藏

① 為 ① 宋版 道藏

464 憂 其 勤 勞 活 I 活 II 陽 I 慶 I 慶 II 筑波 弘文 足利 斯 II 無窮 書陵 東洋 梅沢 東急 斯 I ① 有 身 ① 武內 東大 敦煌 宋版 道藏

465 從 欲 活 I 活 II 陽 I 慶 I 慶 II 筑波 弘文 足利 斯 II 無窮 書陵 梅沢 敦煌 東急 斯 I 宋版 ① 縱 ① 武內 東大 東洋 ① 辱 道藏

① 武內 東大 慶 I 慶 II 筑波 弘文 足利 斯 II 無窮 書陵 東急 斯 I 宋版 ① 敢 ① 梅沢 ①

60 48 經 467 及 吾 無 身 活 I 活 II 陽 I 武內 東大 慶 I 慶 II 筑波 東急 斯 I 宋版 道藏 ① 無 吾 ① 筑波 足利 斯 II 無窮 ② 吾 ① 慶 I 弘文 ① 吾 有 何 患 乎 活 I 活 II 陽 I 武內 東大 慶 I 慶 II 筑波

① 武內 東大 慶 I 慶 II 筑波 東急 斯 I 宋版 ① 敢 ① 梅沢 ①

60 48 經 467 及 吾 無 身 活 I 活 II 陽 I 武內 東大 慶 I 慶 II 筑波 東急 斯 I 宋版 道藏 ① 無 吾 ① 筑波 足利 斯 II 無窮 ② 吾 ① 慶 I 弘文 ① 吾 有 何 患 乎 活 I 活 II 陽 I 武內 東大 慶 I 慶 II 筑波

① 武內 東大 慶 I 慶 II 筑波 東急 斯 I 宋版 ① 敢 ① 梅沢 ①

60 48 經 467 及 吾 無 身 活 I 活 II 陽 I 武內 東大 慶 I 慶 II 筑波 東急 斯 I 宋版 道藏 ① 無 吾 ① 筑波 足利 斯 II 無窮 ② 吾 ① 慶 I 弘文 ① 吾 有 何 患 乎 活 I 活 II 陽 I 武內 東大 慶 I 慶 II 筑波

① 武內 東大 慶 I 慶 II 筑波 東急 斯 I 宋版 ① 敢 ① 梅沢 ①

60 48 經 467 及 吾 無 身 活 I 活 II 陽 I 武內 東大 慶 I 慶 II 筑波 東急 斯 I 宋版 道藏 ① 無 吾 ① 筑波 足利 斯 II 無窮 ② 吾 ① 慶 I 弘文 ① 吾 有 何 患 乎 活 I 活 II 陽 I 武內 東大 慶 I 慶 II 筑波

弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·六地·陽II·敦煌·東急·斯I」①□□□□□□□□—宋版·道藏」

60 99注 469 吾無身—活I·活II·無窮·書陵·東急·道藏·弘文?」①□□

无□□—陽I·武內·慶I·慶II·筑波·足利·斯II·東洋·梅沢·斯I」②□□无有□□—東大·敦煌·宋版」

470 體道自然—活I·活II·武內·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·無窮·東洋·梅沢·東急·斯I·道藏」①□□□□□□□□—陽

I·書陵」①□□通□□□□—斯II」①□□得□□□□—敦煌·宋版」

471 出入無間—活I·活II·弘文·足利·無窮·書陵·梅沢·東急·道藏」①□□无□□—陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·斯II·東洋·敦煌·斯I·宋版」

472 當有何患也—活I·活II·武內·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋」①□□□□□□□□之矣—

梅沢」①□□□□□□□□之也—東急」①□□□□□□□□—斯I」①□□□□□□□□—敦煌·宋版·道藏」

61 66經 473 為天下者—活I·活II·武內·東大·慶I·慶II·筑波·足利·斯II·無窮·東洋·梅沢·陽II·敦煌·東急·斯I·宋版·道藏」

①□□□□□□—陽I·弘文·書陵·六地」

474 則可以—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·六地·敦煌·斯I·道藏」①□□□□□□—陽II·東急」□□□□□□—宋版」

475 寄於天下矣—活I·活II·陽I·武內·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·六地·陽II·東急」①□□□□□□—東大·敦煌·宋版·道藏」②□□□□□□—斯I」

61 打注 476 人君自貴其身—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I」

①□□□□□□—敦煌」①□□□□□□□□—宋版·道藏」

477 欲為天下—主—活I·活II·陽I·東急」①□□□□□□□□者—

武內·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·敦煌·斯I·宋版」②□□□□□□□□之□者—道藏」

478 則可寄立—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·敦煌·東急·斯I·宋版」①□□□□□□—梅沢」①□□□□□□止—道藏」

479 不可以—久—敦煌」①□□□□□□也—活I·活II·陽I·武內·東大·書陵·東洋·東急·斯I·宋版」②□□□□□□長□□也—慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·梅沢」③□□□□□□託也—道藏」

61 72經 480 愛—以身—活I·活II·陽I·武內·東大·慶II·無窮·書陵·東洋·梅沢·六地·陽II·東急·斯I·宋版·道藏」①□□身□□—

筑波·慶I·弘文·足利·斯II」②□□身—敦煌」

481 為天下者—活I·活II·武內·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·無窮·書陵·東洋·六地·東急·斯I·宋版·道藏」①□□□□□□—

—陽I」①□□□□□□—足利·斯II·梅沢·陽II·敦煌」

482 乃可以託於天下矣—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·六地·陽II·斯I」①□□□□□□□□—東急」①□□□□□□□□—敦煌·宋版·道藏」

61 93注 483 人君能愛其身—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·敦煌·東急·斯I·宋版·道藏」①□□□□□□—弘文」

484 非為己也—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I·宋版·道藏」①□□□□□□—敦煌」

485 以此德—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·道藏」①□□□□□□—敦煌·斯I·宋版」

486 為天下—主者—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·敦煌·東急·斯I·宋版」②□□□□□□—道藏」

487 乃可以託其身—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·弘

文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·敦煌·東急·斯I·
宋版」①□□□□□□□□—慶II」①□□□□□□□□—道藏」

488 於万民之上—活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·
弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·敦煌·東急·斯I·
宋版」②□□□□□□□□—道藏」

489 長無咎也—活I·活II·弘文·足利·斯II·無窮·梅沢·東急·
道藏」①□□□□□□□□—陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·東洋·
斯I·宋版」①□□□□□□□□—書陵」②□□□□□□□□—敦煌」

62 41 490 贊玄—第十四—活I·活II·陽I·梅沢·斯I·宋版·道藏」
①□□□□□□□□—武内·東大·東洋」②視之不見章□□□□—
慶I·慶II·筑波·弘文」②□□□□□□□□—足利·斯II·無窮·
書陵·六地·陽II·敦煌·東急」

62 43 注491 無色曰夷—活I·活II·慶II·弘文·足利·無窮·書陵·梅沢·
東急·斯I·宋版·道藏」①□□□□□□□□—陽I·武内·東大·慶I·
筑波·斯II·東洋·敦煌」

492 言一無—活I·活II·慶II·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·梅沢·
沢·東急·斯I·宋版·道藏」①□□□□□□□□—陽I·武内·東大·慶
I·筑波·東洋·敦煌」

493 彩色—活I·活II·陽I·慶II·弘文·書陵·道藏」①綵□□—武
内·東大·慶I·筑波·足利·斯II·無窮·東洋·斯I」①采□□—
梅沢·敦煌·東急·宋版」

494 不可得視而見之也—活I·活II·武内·東大·慶I·弘文·足利·
斯II·無窮·東洋」①□□□□□□□□□□—陽I·慶II·筑波·書
陵·梅沢·東急」①□□□□□□□□□□—敦煌·斯I·宋版」②□
□□□□□□□□—矣—道藏」

62 44 注495 無声曰希—活I·活II·慶II·書陵·梅沢·東急·宋版·道藏」
①□□□□□□□□—陽I·武内·東大·東洋·敦煌·斯I」①音□□□—
筑波·弘文·足利·斯II·無窮」②无音□□□—慶I」

496 言一—活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·足利·
斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·敦煌·東急·斯I·宋版·道藏」

①□□□□—弘文」

497 無音声—活I·活II·弘文·足利·無窮·書陵·梅沢·東急·宋
版·道藏」①□□□□□□□□—陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·斯
II·東洋·敦煌·斯I」

498 不可得聽而聞之也—活I·活II·無窮」①□□□□□□□□□□—陽
I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·足利·斯II·書陵·東洋·
梅沢·東急」①□□□□□□□□□□—斯I·宋版」①□□□□□□□□
□□—敦煌」②□□□□□□□□□□—弘文」②□□□□□□□□□□矣—
道藏」

62 47 經499 名曰微—活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·弘
文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·六地·陽II·敦煌·
斯I·宋版·道藏」①□□□□—徵—東急」

注500 無形曰微—活I·活II·慶II·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·
梅沢·宋版·道藏」①□□□□□□□□—陽I·武内·東大·慶I·筑波·
東洋·敦煌·斯I」①□□□□□□□□—徵—東急」

501 言一無形體—活I·活II·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·梅沢·
東急·宋版」①□□□□□□□□—陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑
波·東洋·敦煌·斯I」①□□□□□□□□—道藏」

502 搏持而得之也—活I·活II·陽I·東大·慶I·慶II·筑波·弘
文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢」①□□□□□□□□—也—武
内」①□□□□□□□□—東急」①□□□□□□□□—敦煌·斯I·宋版·
道藏」

62 47 經503 不可致詰—活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·
弘文·斯II·書陵·東洋·梅沢·六地·陽II·敦煌·東急·斯I·
宋版·道藏」①□□□□□□□□—詰—足利·無窮」

注504 謂夷希微也—活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·
弘文·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·敦煌·斯I·宋版」①□
希夷□□□—足利」①□□□□□□□□—東急」①□□□□□□□□—道藏」

505 不可致詰者—活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·
弘文·斯II·書陵·東洋·梅沢·敦煌·東急·斯I·宋版·道藏」

①□□□□詰□—足利·無窮]

506 夫無色—活I·活II·慶II·弘文·斯II·無窮·書陵·梅沢·東

急·宋版] ①□□□□—陽I·武內·東大·慶I·筑波·足利·東

洋·敦煌·斯I] ①□□□□—道藏]

507 無声—活I·活II·筑波·弘文·足利·無窮·書陵·梅沢·東急·

宋版·道藏] ①□□□□—陽I·武內·東大·慶I·慶II·斯II·東

洋·敦煌·斯I]

508 無形—活I·活II·筑波·弘文·無窮·書陵·梅沢·東急·宋版·

道藏] ①□□□□—陽I·武內·東大·慶I·慶II·足利·斯II·東

洋·敦煌·斯I]

62 78 注 509 當受之以靜—活I·活II·陽I·東大·慶II·足利·斯II·無窮·

書陵·東洋·梅沢·敦煌·斯I·宋版] ①□□□□—武內·慶

I·筑波·弘文·東急] ①□□□□—道藏]

510 強詰—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·

斯II·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I] ①□□□□—詰—足利·無窮] ①

□□—敦煌·宋版·道藏]

511 問而得之—慶II] ①□□□□也—活I·活II·無窮·東急·

斯I·宋版] ①□□□□也—陽I·武內·東大·慶I·筑波·

弘文·足利·斯II·書陵·東洋·梅沢] ①□□□□—道藏]

②□□□□能□也—道藏]

63 72 注 512 合於三—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·

足利·斯II·書陵·東洋·梅沢·敦煌·東急·斯I·宋版] ①□

□□□□者—弘文] ①□□□□—無窮] ②□□□□—道藏]

513 名之—敦煌] ①□□□□而—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·

慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·

斯I·宋版] ②□□□□合而—道藏]

514 為一—也—活I·活II·陽I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·

無窮·書陵·東急·斯I] ①□□□□之—慶I] ①□□□□也—梅沢

①□□□□—武內·東大·東洋·敦煌·宋版·道藏]

63 77 經 515 其上不噉—活I·活II·陽I·弘文·斯II·宋版·道藏] ①□□□

□噉—武內·東大·慶I·慶II·筑波·無窮·書陵·東洋·梅沢·

六地·陽II·敦煌·東急·斯I] ①□□□□噉—足利]

注 516 不噉々—活I·活II·陽I·弘文·斯II·宋版] ①□□□□—武內·

東大·慶I·慶II·筑波·無窮·書陵·東洋·梅沢·敦煌·東急·

斯I] ①□□□□噉—足利] ①□□□□—道藏]

517 光明—也—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶

II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·東急] ①□□

□□□□—之—梅沢] ①□□□□—道藏]

63 78 注 518 不昧々有—所闇冥也—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶

II·筑波·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I] ①□□

□□□□—真—足利] ①□□□□—宋版] ②□□□□

□□□□—有—敦煌] ②□□□□—暗—道藏] ②昧々不

□□□□—弘文]

63 75 經 519 繩々—活I·活II·陽I·東大·慶I·慶II·弘文·足利·斯

II·書陵·東洋·梅沢·六地·陽II·東急·斯I·宋版] ①□□

兮—武內·筑波·無窮·敦煌·道藏]

注 520 無窮極也—活I·活II·慶II·筑波·弘文·足利·無窮·書陵·

梅沢·東急·宋版·道藏] ①□□□□—陽I·武內·東大·慶I·

斯II·東洋·斯I] ②□□□□—敦煌]

521 一非色也—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·筑波·足利·

斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I] ①□□□□—危—慶II

①□□□□—弘文] ①非—□□□□—道藏]

522 不可以青黃赤白黑別—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·

慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·斯I] ①□

□□□□—東急·宋版·梅沢?—①□□□□—白黑赤

□□—敦煌] ①□□□□—道藏]

63 76 注 523 一非声也—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·

弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I] ①非

一□□□—敦煌·宋版·道藏]

524 不可以宮商角徵羽聽 活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 II ·

筑波 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 東洋 · 梅沢 · 敦煌 · 東急 · 斯 I · 宋版 ①

弘文 ① 微 慶 I · 書陵 ① 聽 弘文 ①

525 一非形也 活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 筑波 ·

弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 斯 I ① 非

一 敦煌 · 宋版 · 道藏

526 不可以長短大小度也 活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I ·

慶 II · 筑波 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 ①

道藏 ① 少 弘文 ① 小大

道藏

63 77 經 527 復販 慶 II · 筑波 ① 歸 活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶

I · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 六地 · 陽 II ·

敦煌 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 道藏

528 於無物 活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯

II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 陽 II · 東急 · 斯 I · 宋版 · 道藏

① 無 東大 · 慶 I · 六地 · 敦煌

注 529 復當販之 武內 · 東大 · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 東洋 · 斯 I

① 歸 活 I · 活 II · 陽 I · 慶 I · 足利 · 無窮 · 書陵 · 梅沢 ·

敦煌 · 東急 · 宋版 ② 物 歸 道藏

530 於無實也 ① 質 活 I · 活 II · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮

② 無質 筑波 · 慶 I ③ 質 慶 II · 書陵 · 梅沢 · 東急 ·

斯 I · 宋版 ③ 無質 陽 I · 東大 · 東洋 · 敦煌 ③ 無於質 武內 ③ 以質 道藏

利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 六地 · 陽 II · 敦煌 · 東急 ·

64 41 經 531 是 活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足

利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 六地 · 陽 II · 敦煌 · 東急 ·

斯 I · 宋版 · 道藏 ① 以 東大

532 無狀之狀 活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 II · 弘文 · 足利 ·

斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 道藏 ① 无

慶 I · 六地 · 陽 II · 敦煌 ① 將 筑波

注 533 一無形狀 活 I · 活 II · 無窮 · 書陵 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版 ·

道藏 ① 无 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 足利 ·

斯 II · 東洋 · 敦煌 ① 質 弘文

534 作形狀也 活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 ·

足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版 ① 形

狀作 弘文 ① 敦煌 · 道藏

64 43 經 535 無物之象 活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 ·

足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 陽 II · 東急 · 斯 I · 宋版 ·

道藏 ① 无 東大 · 六地 · 敦煌

注 536 言一無物質 活 I · 活 II · 弘文 · 無窮 · 書陵 · 梅沢 · 東急 ① 无 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 足利 · 斯 II ·

東洋 · 敦煌 · 斯 I ① 宋版 · 道藏

537 而能為万物 活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 ·

弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 斯 I ① 敦煌 · 宋版 · 道藏

538 設形象也 活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 ·

弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版 ① 敦煌 · 道藏

64 44 經 539 是謂忽悅 活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 慶 II · 筑波 · 足利 · 斯 II ·

無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 六地 · 陽 II · 東急 · 斯 I · 道藏 · 弘文 ① 恍 東大 · 敦煌 ① 恍 慶 I ② 爲 恍 宋版

64 45 注 540 言一 活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 ·

足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 敦煌 · 東急 · 斯 I · 道藏 ① 宋版

541 忽々恍 活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 ·

斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 道藏 ① 恍 東大 · 敦煌 ① 恍 慶 I ① 恍 者 斯 I ② 恍

恍者 宋版

542 若存若亡 活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 筑波 · 弘文 ·

恍者 宋版

斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯I・宋版・道藏
①□□有□□—慶II ①□□□□已—足利(右旁に見消ち、眉上に「亡」字を加筆)

543 不可見也—活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急 ①□□
道藏 ①□□□□—斯I・宋版 ②□□□□得□□—

64 8 經544 隨之不見其後—活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽II・敦煌・東急 ①迎□□□□首—斯I・宋版・道藏

注545 言一無影迹—活I・活II・慶II・弘文・無窮・書陵・梅沢・東急・宋版 ①□□无□□—陽I・武内・東大・慶I・足利・斯II・東洋・敦煌・斯I ①□□□□跡—道藏 ②□□无景□—筑波

546 不可得—活I・活II・陽I・武内・慶I・足利・斯II・梅沢・斯I・宋版・道藏・弘文? ①□□□□—東大・慶II・筑波・無窮・書陵・東洋・敦煌・東急

547 而隨也—活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・書陵・東洋・梅沢・東急・斯I ①□□□□—無窮 ②□□看—敦煌・宋版 ②□□見—道藏

64 9 經548 迎之不見其首—活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽II・敦煌・東急 ①隨□□□□後—斯I・宋版・道藏

注549 一無端末—活I・活II・弘文・無窮・書陵・梅沢・東急・宋版・道藏 ①□□无□□—武内・東大・慶I・慶II・筑波・足利・斯II・東洋・斯I ②□□无□□—陽I ②□□端无末—敦煌

550 不可預待也—活I・活II・陽I・斯I・宋版・道藏 ①□□□□□□—東洋・東大 ②□□須□□—武内・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・梅沢・東急 ③□□須□□—敦煌

551 除情去欲—活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・東急・斯I・宋版・道藏

①□□□□—梅沢・敦煌

552 一自阪己也—武内・慶II・弘文・東洋・斯I ①□□歸□□—活I・活II・陽I・東大・慶I・筑波・足利・斯II・書陵・梅沢 ②□□日歸□□—無窮 ②□□歸□□—東急・敦煌 ②□□歸之□—宋版 ③□□歸之—道藏

64 9 注553 執守古—活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯I・宋版 ②□□□□—道藏

554 主—活I・活II・陽I・東大・慶I・慶II・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯I・宋版・道藏 ①至□—武内・筑波

555 以御物—活I・活II・斯I・宋版 ①□□□□—陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・敦煌 ①□□萬□—道藏

64 9 經557 能知古始—活I・活II・陽I・慶I・弘文・足利・斯II・無窮・書陵 ①□□□□—武内・東大・筑波・東洋・梅沢・東急・斯I・宋版・道藏 ②□□□□—敦煌

注558 謂道之綱紀也—①□□知□□□□—活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・書陵・東洋・梅沢・東急・斯I・宋版・道藏

②□□知□□□□—宋版 ②□□知□□紀綱□□—道藏 ②□□知□□□□者□—無窮・梅沢・東急 ③□□知□□□□者□—斯I ③□□知□□□□—敦煌

65 1 559 顯德—第十五—活I・活II・陽I・梅沢・斯I・宋版・道藏 ①□□□□□□—武内・東大・東洋 ②古之善—章□□□—慶I・筑波 ②古之善爲士章□□□—慶II・弘文 ②

東急—足利・斯II・無窮・書陵・六地・陽II・敦煌

65 42注560謂得道之君也。活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑

波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯I・
宋版・道藏」①□□□□□□□□□□—敦煌」

65 46注561微妙玄通。活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・

弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽II・敦煌・
斯I・宋版・道藏」①徵□□□□□□—東急」

注562志節微妙。活I・活II・陽I・武内・東大・慶II・筑波・弘文・

足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢」①□□□□□□—東急」①□
□□—敦煌・斯I・宋版・道藏」①□□□□□□—妙—慶I」

563精與天通也。活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・

弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯I・宋版」
①□□□□□□—敦煌・道藏」

65 47注564内視若盲。活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・

弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯I・
宋版」①□□□□□□—道藏」

565反聽若聾。活I・活II・陽I・武内・慶I・慶II・筑波・足利・

斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯I・宋版・道藏」①及
□□□□—東大」①□□□□—弘文」①□□□□—聲—敦煌」

566莫知所長也。活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・

弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急」①□□□□□□
—敦煌・斯I・宋版・道藏」

65 47注567謂下句也。活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・

弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯I・宋版」
①□□□□□□—敦煌・道藏」

66 42注568與。活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・弘

文・斯II・無窮・東洋・梅沢・陽II・斯I・宋版」①興□□—書
陵・六地」①豫□□—東急・敦煌」②与豫□—足利(豫の右旁見
消ちカ)②屯豫□—道藏」

569若冬涉川。活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・弘文・

足利・斯II・無窮・書陵・東洋・六地・陽II・敦煌・東急・斯I・

宋版・道藏」①□□□□□□—河—筑波・梅沢」

注570與々兮。活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・斯

II・無窮・梅沢・斯I・宋版」①□□□□—弘文・東洋」①興□□—
書陵」①与□□—足利」①豫豫□—敦煌・道藏」②豫□—東急」

571若冬涉川。活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・

弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・敦煌・東急・斯I・宋版・
道藏」②□□—河—梅沢」

572心難之也。活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・

弘文・足利・斯II・東洋・梅沢」①□□□□□□—無窮・書陵・斯
I・宋版」①□□□□□□—東急」①□□□□□□—敦煌・道藏」

66 44注573其進退。活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・弘

文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯I・
宋版」①□□□□—道藏」

574猶々拘制。活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・弘文・足利・

無窮・書陵・東洋・梅沢・東急」①□□□□—抱—慶II・筑波」①
□□□□—拍—斯II」①□□□□—如—斯I・敦煌・宋版」①□□□□若
□□—道藏」

575若人犯法。活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・

足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯I・宋版・
道藏」①□□—犯人—弘文」

576畏四隣知之也。活I・活II・無窮・東洋・梅沢・斯I・宋版」①

□□□□□□—陽I・武内・東大・慶I・慶II・弘文・足利・斯
II・書陵」①□□□□□□—敦煌・東急」②□□□□□□—筑波」

66 44注577儼兮其若客。活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・

斯I・宋版・道藏」①□□□□—如—活I・活II・陽I・慶I・慶
II・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・六地」

注578若客因主人。活I・活II・陽I・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・

斯II・無窮」①如□□□□—武内・東大・書陵・東洋・梅沢・敦
煌・東急・斯I」②如□□—畏□□—宋版」②如□□—對□□—道藏」

579 無所造作也—活I·活II·弘文·無窮·書陵·東急·斯I·宋版·道藏」①无□□□□—陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·足利·斯II·東洋·梅沢」①□□□□—道藏」

66 74 經 580 氷之將釋—活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·無窮·梅沢·六地·陽II·敦煌·東急」①冰□□□□—

斯II·書陵·斯I·宋版·道藏」①□□□□—東洋」

注 581 渙者解散—活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·敦煌·東急·斯I·

宋版」①□□□□也—道藏」

582 釋者消亡—活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·敦煌·東急·斯I·

宋版」①□□□□也—道藏」

583 除情去欲—活I·活II·陽I·武内·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·敦煌·東急·斯I·宋版」

①□□□□敬—東大」①謂□□□□—道藏」

584 日以空虚也—活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·東急·道藏」①□□□□

—梅沢·敦煌·斯I·宋版」

66 78 經 585 敦兮其若樸—活I·活II·陽I·筑波·陽II·敦煌·東急·道藏」

①□□□□朴—武内·東大·慶I·慶II·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·六地·斯I·宋版」①□□□□—梅沢」

注 586 敦者質厚—活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·敦煌·東急·斯I·

宋版」①□□□□也—道藏」

587 樸者—活I·活II·陽I·梅沢·敦煌·東急·道藏」①朴□□—武内·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·

東洋·斯I·宋版」

588 形未分—活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·敦煌·東急·斯I·

宋版」①□□□□也—道藏」

589 外無—活I·活II·弘文·無窮·書陵·梅沢·東急·宋版·道藏」①无—陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·足利·斯II·東洋·敦煌·斯I」

67 72 經 591 曠兮—活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·弘文·斯II·無窮·東洋·梅沢·六地·陽II·敦煌·東急·斯I·宋版·道藏」

彩—道藏」

注 592 曠者—活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·斯II·無窮·東洋·梅沢·敦煌·東急·斯I·宋版·道藏」①曠□—筑波·書陵」①曠□—足利」

①曠□—筑波·書陵」①曠□—足利」

593 寬大—活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·敦煌·東急·斯I·

宋版」①□□也—道藏」

594 有德名功—活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·敦煌·東急·斯I·

□功名—斯I·宋版·道藏」

595 無所—活I·活II·弘文·足利·無窮·書陵·梅沢·東急·斯I·道藏」①无□—陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·斯II·東洋·敦煌·宋版」

596 不包容也—陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·東洋·斯I」①□□客□—活I·活II」①苞□□—慶I·足利·斯II·無窮·書陵·梅沢」①□□□□—弘文」①□□□□—宋版·道藏」②苞□□—東急·敦煌」

67 74 注 597 守本真—活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·敦煌·東急·斯I」

①□舉□—宋版」①□□□□也—道藏」

598 不照然也—活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·

①□舉□—宋版」①□□□□也—道藏」

67 74 注 597 守本真—活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·敦煌·東急·斯I」

①□舉□—宋版」①□□□□也—道藏」

弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・斯I・宋版①□□□□
東急・道藏①□□□□■—敦煌②□□□□■—梅沢

599 不自尊也—活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・
弘文・足利・斯II・無窮・書陵・梅沢・斯I①□□□□導□—東洋
(左旁「尊」字加筆)①□□□□■—東急・敦煌・宋版・道藏

600 ■—活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・弘文・
足利・斯II・無窮・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯I・宋版・道藏
①孰能—書陵

67 打經 601 孰能—活I・活II・陽I・東大・慶II・弘文・斯II・梅沢・斯I・
宋版・道藏①敦□—足利①■—武内・慶I・筑波・無窮・
書陵・東洋・六地・陽II・敦煌・東急

602 濁以■靜之—活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・
弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽II・敦煌・
東急・斯I・宋版①□□□□止□□□—道藏

注 603 孰誰也—活I・活II・斯II・斯I・宋版・道藏①■—陽I・
武内・東大・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・無窮・書陵・東洋・
梅沢・敦煌・東急

604 誰能知—活I・活II・斯II・斯I・宋版①□□□□如—道藏①■
■—陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・無窮・
書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急

605 水之濁止—活I・活II・宋版・道藏①□□□□—陽I・武内・
東大・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・
梅沢・東急・斯I①■—敦煌

606 而靜之—活I・活II・陽I・武内・慶I・足利・斯II・無窮・
書陵・東洋・梅沢・東急・斯I・道藏①□□□□—筑波・弘文
①□□□□久—慶II①□□□□—東大①□□□□—宋版①■
■—敦煌

607 徐々—活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・弘
文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯I・宋版
①□□□□—敦煌①□□□□而—道藏

608 自清也—活I・活II・武内・東大・慶I・慶II・筑波・弘文・
足利・斯II・書陵・東洋・東急・斯I・宋版①□□□□之—梅沢
①□□□□之—無窮①□□□□■—陽I・敦煌・道藏

67 打經 609 孰能安—活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・弘
文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽II・東急・
斯I・宋版・道藏①□□□□—敦煌

610 以久—活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・
足利・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・東急・斯I①□□□□
■—陽II①□□□□動□—斯II・敦煌・宋版・道藏①□□□□動々
□—弘文

注 611 ■—活I・活II・宋版・道藏①孰誰也—陽I・武内・東大・
慶I・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・
敦煌・東急・斯I

612 誰能—安靜—活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・
弘文・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯I・宋版・
道藏①□□□□々□□—足利

613 徐々以長生也—活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑
波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・宋版・
道藏①□□□□□□□—敦煌①□□□□□□—斯I

67 打經 614 ■不欲盈—活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・
弘文・足利・斯II・書陵・東洋・梅沢・六地・陽II・敦煌・東急・
斯I・宋版・道藏①動□□□□—無窮

注 615 保此徐生之道者—活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・筑波・
弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急①□
□□□□□□—慶II①□□□□□□□—斯I・宋版②□□□□長
□□□□—道藏

616 不欲奢泰盈溢也—活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・
筑波・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・道藏①□□□□
□□□□—足利①□□□□□□□□—滿□—弘文①□□□□□□
敦煌・斯I・宋版

68 札注 617 不盈滿之人 | 活 I · 活 II · 陽 I · 東大 · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 ·

無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 敦煌 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 道藏 ① □

□ 溢 □ □ | 武内 · 慶 I ① □ □ 清 □ □ | 斯 II

618 能守弊 | 活 I · 活 II · 陽 I · 武内 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘

文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 道藏

① □ 弊守 | 敦煌 ① □ □ 蔽 | 宋版

619 不 為新成 | 活 I · 活 II · 陽 I · 武内 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 ·

弘文 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 道藏

① □ 不 □ □ □ | 足利 (「不」字左旁に見消ち) ① □ □ □ 雜 □ | 敦

煌

620 弊者 | 活 I · 活 II · 陽 I · 武内 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘

文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 敦煌 · 東急 ① □ 蔽

□ | 斯 I · 宋版 ① 守 □ □ | 道藏

621 匿光榮也 | 活 I · 活 II · 陽 I · 武内 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 ·

弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版

① □ □ □ □ | 敦煌 ① □ □ 盈 □ | 道藏

622 新成者 | 活 I · 活 II · 陽 I · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯

II · 無窮 · 書陵 · 梅沢 · 敦煌 · 斯 I · 宋版 · 道藏 ① □ □ □ | 武

内 · 東大 · 東洋 · 東急

623 謂貴功名者也 | 活 I · 活 II · 武内 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘

文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 斯 I ① □ 責

□ □ □ □ | 陽 I ① □ □ □ □ □ □ □ □ | 敦煌 ② □ □ □ □ □ □ □ □ | 道藏

② □ □ □ □ □ □ □ □ | 宋版

69 札

624 皈根 第十六 | 歸 □ □ □ □ □ □ □ □ | 活 I · 活 II · 陽 I · 梅沢 ·

斯 I · 宋版 · 道藏 ① □ □ □ □ □ □ □ □ | 筑波 ① 歸 □ □ □ □ □ □ □ □ |

武内 · 東大 · 東洋 ② 致虛極章 □ □ □ □ | 慶 I · 弘文 ② 至虛極章

□ □ □ □ | 慶 II ② □ □ □ □ □ □ □ □ | 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 六

地 · 陽 II · 敦煌 · 東急

69 札 經 625 至虛極也 | 活 I · 活 II · 陽 I · 武内 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 ·

弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 ① □ □ □ □ □ □ □ □ | 梅沢 · 六地 ·

陽 II · 敦煌 · 東急 · 斯 I · 宋版 ② 致 □ □ □ □ | 道藏

注 626 □ □ □ □ | 活 I · 活 II · 陽 I · 武内 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘

文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 敦煌 · 東急 · 斯 I ·

宋版 ① 致至也 | 道藏

627 道人 | 活 I · 活 II · 陽 I · 武内 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 ·

弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 敦煌 · 東急 · 斯 I ·

道藏 ① 得 □ □ □ | 宋版

628 損情去欲 | 活 I · 活 II · 陽 I · 慶 I · 慶 II · 足利 · 無窮 · 書陵 ① □

捐 □ □ □ | 武内 · 東大 · 慶 I · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 東洋 · 梅沢 ·

東急 · 斯 I · 宋版 · 道藏 ② 能捐 □ □ □ □ | 敦煌

629 五内 | 活 I · 活 II · 陽 I · 武内 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 ·

足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 敦煌 · 東急 · 斯 I · 宋版

① □ 藏 | 道藏

630 清靜 | 活 I · 活 II · 陽 I · 武内 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 斯 II ·

無窮 · 書陵 · 東洋 · 敦煌 · 道藏 ① □ 淨 | 東大 · 足利 · 梅沢 · 東

急 · 斯 I · 宋版

631 至於虛極也 | 活 I · 活 II · 陽 I · 武内 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 ·

弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 道藏

① □ □ □ □ □ □ □ □ | 宋版 ② □ □ □ □ □ □ □ □ | 敦煌

69 札 經 632 守靜篤也 | 活 I · 活 II · 陽 I · 武内 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 ·

弘文 · 足利 · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 六地 · 斯 I ① □ □ □ □ □ □ □ □ | 斯 II ·

梅沢 · 陽 II · 東急 · 宋版 · 敦煌 · 道藏

注 633 守清靜 | 活 I · 活 II · 陽 I · 武内 · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無

窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 敦煌 · 東急 · 道藏 ① □ 精 □ □ | 慶 II ①

□ □ 淨 | 東大 · 慶 I · 斯 I · 宋版

634 行篤厚也 | 活 I · 活 II · 陽 I · 武内 · 東大 · 慶 I · 筑波 · 弘文 ·

足利 · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 斯 I ① □ □ □ □ □ □ □ □ | 慶 II · 斯 II · 梅沢 ·

敦煌 · 東急 · 宋版 · 道藏

69 札 經 635 万物並作 | 活 I · 活 II · 陽 I · 武内 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 弘文 ·

足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 六地 · 陽 II · 敦煌 · 東急 ·

斯 I · 宋版 · 道藏 ① □ □ 煎 □ □ 筑波

注 636 並生也 活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 ·

弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 敦煌 · 東急 · 斯 I · 宋版 ·

道藏 ① □ □ □ □ 之 一 梅沢

69 79 經 637 吾以 觀其復 活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 弘

文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 六地 · 陽 II · 敦煌 ·

東急 · 斯 I · 宋版 ① 五 □ □ □ □ □ □ □ □ 筑波 ① □ □ □ □ 是 □ □ □ □ 道

藏

注 638 吾以 觀見 活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 弘文 ·

足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 敦煌 · 東急 · 斯 I · 宋版

① □ □ □ □ 道藏 ② 五 □ 視 □ □ 筑波

639 無不皆 活 I · 活 II · 弘文 · 無窮 · 書陵 · 梅沢 · 東急 · 宋版 · 道

藏 ① 无 □ □ □ 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 足利 · 斯

II · 東洋 · 敦煌 · 斯 I

640 販復其本 慶 II · 筑波 · 弘文 · 無窮 · 斯 I ① 歸 □ □ □ □ □ □ 活

I · 活 II · 陽 I · 慶 I · 足利 · 斯 II · 書陵 · 東急 ① 復販 □ □ □ □ 一

東大 · 東洋 ② 復歸 □ □ □ □ 武內 · 梅沢 ② 歸 □ □ □ □ 一 敦煌

③ 歸 □ □ □ □ 也 一 宋版 · 道藏

641 念重 本也 活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 ·

弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版

① □ □ □ □ 一 敦煌 ② 其 □ □ □ □ 一 道藏

70 72 注 642 芸々 活 I · 活 II · 陽 I · 慶 I · 慶 II · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無

窮 · 書陵 · 梅沢 · 敦煌 ① □ □ □ □ 者 一 武內 · 東大 · 筑波 · 東洋 · 東

急 · 斯 I · 宋版 · 道藏

643 華葉 盛也 活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑

波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東急 ① □ □ □ □ □ □ 之 一 梅

沢 ① □ □ □ □ 之 □ □ □ □ 一 東洋 ① □ □ □ □ □ □ □ □ 一 敦煌 · 斯 I · 宋版

② 花 □ □ 茂 □ □ 之 貌 一 道藏

70 73 經 644 復販其根 東大 · 慶 II · 筑波 ① □ 歸 □ □ □ □ 活 I · 活 II · 陽 I ·

武內 · 慶 I · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 六地 ·

陽 II · 敦煌 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 道藏

注 645 無不枯落 活 I · 活 II · 慶 II · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 ·

梅沢 · 東急 · 宋版 · 道藏 ① 无 □ □ □ □ 一 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I ·

筑波 · 東洋 · 敦煌 · 斯 I

646 各復反其根 活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 II · 筑波 · 弘文 ·

足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 敦煌 · 東急 · 斯 I · 宋版

① □ □ □ □ 歸 □ □ □ □ 慶 I ② 反復 □ □ □ □ 一 道藏

647 而更生也 活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 ·

弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版

① □ □ □ □ 一 敦煌 · 道藏

70 77 經 648 販根曰 靜 東大 · 慶 II ① 歸 □ □ □ □ □ □ 活 I · 活 II · 陽 I · 武內 ·

慶 I · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 六地 ·

陽 II · 敦煌 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 道藏

注 649 不復死 也 活 I · 活 II · 陽 I · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 ·

斯 II · 無窮 · 斯 I · 宋版 ① □ □ □ □ □ □ 之 □ □ 一 梅沢 ① 復不 □ □ □ □ 一

武內 ① □ □ □ □ □ □ □ □ 一 東大 · 東洋 · 東急 ① □ □ □ □ □ □ □ □ 一 書陵 ·

敦煌 · 道藏

70 71 經 650 靜曰 復命 活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 ·

弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 六地 · 陽 II · 東急 ·

斯 I · 道藏 ① 是謂 □ □ □ □ 一 敦煌 · 宋版

651 言 安靜者 活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 ·

弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版

① 玄 □ □ □ □ □ □ □ □ 一 敦煌 ① □ □ 能 □ □ □ □ □ □ 一 道藏

652 為復還性命 活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 ·

弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 敦煌 · 東急 · 斯 I ·

宋版 ① 謂 □ □ □ □ □ □ □ □ 一 道藏

653 使不死也 活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 ·

弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版

① □ □ □ □ □ □ □ □ 一 敦煌 ② 便 □ □ □ □ □ □ □ □ 一 道藏

70 74 注 654 復命 使不死 活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II ·

足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ ①□□也矣—慶Ⅰ
①□□之□—東洋 ①□□—敦煌・宋版・道藏

71 卍注 674 公正—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・書陵・東洋・
梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道藏 ①□政—弘文・足利・斯
Ⅱ・無窮 ①□王—筑波

71 卍注 675 無私則—活Ⅰ・活Ⅱ・弘文・足利・無窮・書陵・梅沢・東急・斯
Ⅰ・道藏 ①无□□—陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・斯Ⅱ・東
洋・敦煌 ①□□—宋版 ②无和□—筑波

71 卍注 676 可—為天下王—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑
波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・
斯Ⅰ ①□□以□□□□—宋版・道藏

71 卍注 677 形一—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・
弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・
宋版 ①□□而靜—道藏

71 卍注 678 湊己躬—也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・
書陵・東急・斯Ⅰ・宋版 ①□□□□—敦煌・道藏 ①□□□□
之□—梅沢 ①□□□□者□—東洋 ①□□身—弘文・斯Ⅱ・
無窮 ②倭□身—足利

71 卍注 679 則德合神明—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・
弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急 ①□□□□
□—敦煌・斯Ⅰ・宋版 ①□□洽□□—道藏

71 卍注 680 与天通也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ ①乃□□□□—武内・東大・慶
Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・
東急・斯Ⅰ ②乃與□□—敦煌 ②乃與□□矣—道藏 ③乃與
□子—宋版

71 卍注 681 合同也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘
文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・
道藏 ①□□—敦煌

71 卍注 682 長久—也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・
弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東急・斯Ⅰ ①□□也之—梅沢

71 卍注 683 歿身—慶Ⅰ・筑波・無窮・梅沢・陽Ⅱ ①没□—活Ⅰ・活Ⅱ・陽
Ⅰ・武内・東大・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・六地・
敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道藏

71 卍注 684 能公能王—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・
弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・
道藏 ①□□□天—宋版

71 卍注 685 無殃—活Ⅰ・活Ⅱ・弘文・足利・書陵・梅沢・東急・宋版・道藏
①无□—陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・斯Ⅱ・東洋・敦煌 ①
送□—筑波 ①□歿—無窮 ①□殆—斯Ⅰ

71 卍注 686 無咎—活Ⅰ・活Ⅱ・筑波・弘文・足利・無窮・書陵・梅沢・東急・
斯Ⅰ・宋版・道藏 ①无□—陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・斯
Ⅱ・東洋・敦煌

71 卍注 687 乃與天地—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・
弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・
道藏 ①□□—敦煌

71 卍注 688 俱歿—慶Ⅰ・無窮 ①□没—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶
Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・
斯Ⅰ・宋版 ②同没—道藏

71 卍注 689 不危殆也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・
弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版 ①□
□□□—敦煌 ①无□□□—無窮 ①終□□□—道藏

71 卍注 690 淳風—第十七—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・梅沢・斯Ⅰ・宋版・道藏 ①
□□章□□—武内・東大・筑波・東洋 ②太上章□□—慶Ⅰ・
弘文 ②太上章□□—慶Ⅱ ②□□—足利・斯Ⅱ・無
窮・書陵・六地・陽Ⅱ・敦煌・東急

71 卍注 691 太上—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・
足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道藏・
治要 ①大□—梅沢・六地・陽Ⅱ

71 卍注 692 太上—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・

足利・斯II・無窮・書陵・東洋・敦煌・東急・斯I・宋版・道藏・治要」①大□□梅沢」

693 上古一活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢」①大□□東急」①太□□敦煌・斯I・宋版・道藏・治要」

694 無名號之君也一活II・無窮・斯I」①无□□□□□□東洋・筑波」①□□□□□□治要」①□□□□□□一活I・弘文・足利・書陵・梅沢・東急」②无□□□□□□武内・東大・慶I・慶II・斯II・宋版・道藏」③无□□□□□□陽I」③无為□□□□□□敦煌」

695 下知有之一活I・活II・陽I・武内・東大・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯I・宋版・道藏・治要」①□□□□□□無窮」①□□□□□□慶I」

696 不臣吏之一活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・斯I」①□□□□□□東急・敦煌・宋版・道藏・治要」

697 質朴淳也一活I・活II・陽I・東大・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・無窮・書陵・東洋・治要」①利□□□□□□斯II」①□□□□□□書陵・敦煌・道藏」①□□□□□□也一東急」①□□□□□□之梅沢」①□□□□□□斯I・宋版」②□□□□□□武内」

73 71 經 698 親之譽之一活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽II・敦煌・東急・宋版・治要」①□□□□□□斯I」①□□□□□□道藏」

注 699 恩惠可称一活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯I・宋版・道藏・治要」①□□□□□□斯II」

700 而譽之也一活I・活II・陽I・東大・慶I・慶II・弘文・足利・斯II・無窮・書陵」①□□□□□□梅沢」①□□□□□□武内・筑波・東洋・東急・敦煌・斯I・宋版・道藏・治要」

74 71 注 701 設刑法一活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・弘文・斯II・無窮・書陵・東洋・敦煌・東急・斯I・宋版・道藏

治要」①□□形□□足利・梅沢」

702 以治之也一活I・活II・陽I・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・梅沢・東急」①□□□□□□武内・東大・東洋・敦煌・斯I・宋版・治要」①□□□□□□道藏」

75 76 注 703 禁多令煩一活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・無窮・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯I・道藏・治要」①□□命□□書陵」①□□□□□□須一宋版」

704 不可販誠一武内・東大・慶I・慶II・筑波・弘文・斯II・無窮・東洋・斯I」①□□歸□□活I・活II・陽I・書陵・梅沢・敦煌・東急・宋版・道藏・治要」②□□歸識一足利(「識」字に見消ち)」

705 故欺侮之無窮・書陵・梅沢・東急・治要」①□□□□□□也一活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・梅沢・東急・治要」①□□□□□□者也一東洋」

76 71 經 706 信不足於下也一活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽II・敦煌・東急・斯I・宋版・治要」①□□□□□□斯II」①有□□□□□□道藏」

注 707 君信不足於下也一活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東急・斯I・道藏」①□□□□□□之□□梅沢」②□□□□□□宋版・治要」

708 沢・宋版・治要」①則有巧詐民也一武内・慶II・筑波・弘文・斯II・書陵・東急・斯I」①則有巧詐民一東大・敦煌」①下則欺詐於上一道藏」

76 72 經 709 有不信焉一活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽II・斯I・道藏・治要」①□□□□□□東急・敦煌」②□□□□□□宋版」

注 710 東大・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯I・宋版・道藏・治要」

711 下則應之—活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 ·

弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 梅沢 · 敦煌 · 東急 · 斯 I · 宋版 ·

道藏 · 治要 ① 則下 □ □ □ □ — 東洋

712 欺其君也—活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 ·

弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版 ·

治要 ① □ □ □ □ — 敦煌 · 道藏

76 9 經 713 猶兮其實言—活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 ·

弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 東洋 · 梅沢 · 陽 II · 敦煌 · 東急 · 斯 I ·

宋版 · 道藏 ① □ □ □ □ — 書陵 · 六地

注 714 太上之君—活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 ·

足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 敦煌 · 東急 · 斯 I · 宋版

① □ □ □ □ — 東大 ① □ □ □ □ — 道藏

715 猶々—活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘

文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 道藏

① □ □ □ □ — 宋版 ① □ □ □ □ 然—敦煌

716 失自然也—活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 ·

弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 道藏 ① □ □ □ □ — 敦煌 · 斯 I · 宋版

76 9 經 717 成功遂克—活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 ·

弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 六地 · 陽 II · 敦煌 ·

東急 ① 功成事遂—斯 I · 宋版 · 道藏

注 718 謂天下太平也—活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 筑波 · 弘

文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版 ① □ □ □ □ — 慶 II · 書陵 · 敦煌 · 道藏

76 9 注 719 君上之德—厚—活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑

波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 東急 ① □ □ □ □ — 敦煌 ① □ □ □ □ — 淳—梅沢 · 斯 I · 宋版 · 道藏

720 反以為—自當然也—活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 慶 I · 慶 II · 筑波 ·

弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 斯 I ① □ □ □ □ 只 □ □ □ □ — 宋版 ① □ □ □ □ — 東大 ② 乃 □ □ □ □

□ □ □ □ — 敦煌 ③ □ □ □ □ 已 □ □ □ □ — 道藏

經注文校異 下冊

1 札 721 俗薄—第十八—活 I · 活 II · 陽 I · 梅沢 · 斯 I · 宋版 · 道藏

① □ □ □ □ 章 □ □ □ □ — 武內 · 東大 · 筑波 · 東洋 ② 大道—章 □ □ □ □ — 慶 I ② 大道廢章 □ □ □ □ — 慶 II · 弘文 ②

斯 II · 無窮 · 書陵 · 六地 · 陽 II · 敦煌 · 東急

1 札 經 722 大道廢焉—活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 ·

弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 六地 · 陽 II · 東急 · 斯 I ① □ □ □ □ — 敦煌 · 宋版 · 道藏

1 札 注 723 家—有孝子—活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 ·

弘文 · 足利 · 斯 II · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 敦煌 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 道藏 ① □ □ □ □ — 無窮

724 戶有忠臣—① □ □ □ □ 信—活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I ·

慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 敦煌 · 東急 · 斯 I · 宋版 ② 國 □ □ □ □ 信—道藏

725 仁義不見也—活 I · 活 II · 陽 I · 慶 I · 慶 II · 弘文 · 足利 · 斯 II ·

無窮 · 書陵 · 梅沢 · 斯 I · 宋版 ① □ □ □ □ — 武內 · 東大 · 筑波 · 東洋 · 敦煌 · 東急 ② □ □ □ □ — 道藏

726 大道廢—活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑

波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 ① □ □ □ □ 不用—敦煌 · 斯 I · 宋版 ② □ □ □ □ 不用而—道藏

727 有仁義可傳道也—活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II ·

筑波 · 足利 · 斯 II · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 斯 I ① 在 □ □ □ □ — 無窮 ① □ □ □ □ 得 □ □ □ □ — 弘文 ① □ □ □ □ 耳—敦煌 ① □ □ □ □ — 宋版 · 道藏

1 札 經 728 智惠出焉—活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 ·

弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 六地 · 陽 II · 東急 · 斯 I ① □ □ □ □ — 敦煌 · 宋版 · 道藏

1 札 注 729 賤德而貴言—活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 ·

□ □ □ □ — 敦煌 ③ □ □ □ □ 已 □ □ □ □ — 道藏

弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯I・
宋版」①□□□□□□□□—道藏」

730 賤質而貴文—活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・
弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯I・
宋版」①□□□□□□□□—道藏」

731 為大偽奸詐也—活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑
波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯I」
①□□□□□□□□—道藏」

2 和經 732 六親不和焉—活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・
足利・斯II・無窮・書陵・六地」①□□□□□□—道藏」

2 和注 733 六紀廢絕—活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・
弘文・足利・斯II・無窮・東洋」①□□□□□□—道藏」

734 相収養也—活I・活II・陽I・武内・慶I・弘文・足利・斯II・
無窮・東洋・梅沢・東急・斯I」①□□□□□□—道藏」

2 和經 735 國家昏亂焉—活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・
弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・斯I」①□□□□□□—道藏」

2 和注 736 政令不行—活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・
弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯I・宋版・
道藏」①正□□□□—道藏」

737 邪僻爭權—活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・筑波・弘文・
足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯I・宋版」
①□□□□□□—道藏」

738 忠臣—活I・活II・陽I・武内・東大・慶II・弘文・足利・斯II・
無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯I・宋版・道藏」①□□

信—慶I・筑波」

739 匡救其君—活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・
弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急」①□□
□□□□也—斯I・道藏」②正□□□□也—宋版」

3 和注 740 此言—活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・足利・
斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯I・宋版・道藏」
①□□□□—弘文」

741 天下太平—活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・
弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・斯I・宋版・
道藏」①□□□□—東急」

742 人尽無欲—活I・活II・無窮・書陵・梅沢・東急・斯I・宋版・
道藏・弘文？」①□□□□—陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑
波・足利・斯II・東洋・敦煌」

743 各自潔己—活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・
弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯I」
①□□□□—宋版・道藏」

744 大道之世—活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑
波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急」①故□□
□□□□—道藏」①□□□□□□—君—敦煌・斯I」②□□□□□□—君—
宋版」

745 仁義沒孝慈滅—活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑
波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・
斯I・宋版」①孝慈滅仁義沒—道藏」

746 日中盛明—活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・
弘文・足利・斯II・無窮・書陵・梅沢・敦煌・東急・斯I」①□□
□□時—宋版」①□□月□□□□—道藏」①□□□□□□—而—東洋」

747 失光者也—活I・活II・陽I・武内・慶I・筑波・弘文・足利・
無窮・書陵・斯I」①□□□□□□—東大・東洋・東急」①□□□□
□□矣—慶II・斯II・梅沢」①□□□□□□—敦煌・宋版・道藏」

748 還淳—第十九—活I・活II・陽I・梅沢・斯I・宋版・道藏」

①□□■章□□□武內·東大·筑波·東洋 ②絕聖■章□□□慶I ③絕聖棄智章□□□慶II 弘文 ④■足利·斯II·無窮·書陵·六地·陽II·敦煌·東急 4 42注749反初一活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·敦煌·東急·斯I·宋版·道藏 ①復□—筑波·慶II

750 守元一活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·敦煌·東急·斯I·宋版·道藏 ①□無一活I

751 五帝一活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·敦煌·斯I·宋版·道藏 ①□■章—筑波 ①□常□—東急(右旁見消ち力)

752 畫象一活I·活II·陽I·東急·斯I·道藏 ①垂□—宋版 ①□像—武內·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·敦煌

753 蒼頡一活I·活II·陽I·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·斯I·宋版 ①倉□—武內·東大·東洋·梅沢·敦煌·東急·道藏

754 造書一活II·慶I·弘文·足利·斯II·無窮 ①作□—活I·陽I·武內·東大·慶II·筑波·書陵·東洋·梅沢·敦煌·東急·斯I·宋版·道藏

755 無文■也—活I·活II·弘文·斯II·無窮·書陵·斯I ①无□□—陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·足利·東洋 ①□□者■—梅沢 ①□□—東急·宋版 ②无□□—敦煌 ②□□而治□—道藏

5 引經756棄智一活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·六地·陽II·敦煌·斯I·宋版·道藏 ①弄知—東急

注757反■無為也—活I·活II·筑波·弘文·無窮·書陵·梅沢·斯I ①□□无□□—陽I·武內·東大·慶I·慶II·足利·斯

II ①□□□□—東急·道藏 ②□□无□□矣—東洋 ②□□无□□—宋版 ③□□不无□□—敦煌

5 42經758民利百倍一活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·東洋·梅沢·陽II·敦煌·東急·斯I·宋版·道藏 ①昏□□□—六地 ①□□□陪—書陵

注759無私■也—活I·活II·弘文·無窮·書陵·東急·斯I ①无□□—陽I·武內·東大·慶I·慶II·足利·斯II ①□□也—梅沢 ①□□□—宋版·道藏 ②无□□—敦煌 ②无□者□—東洋 ②无和□□—筑波

6 42注760絕仁之■見恩惠也—活I·活II·陽I·武內·東大·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢 ①□□□□—慶I ①□□□□—東急·斯I·宋版 ②□□□□—敦煌 ②□□□□—道藏

761 尚華言也—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·東急·斯I ①□□□□—之—梅沢 ①□□□□—敦煌 ②□□信■—宋版 ②□□□□—道藏

6 42注762德化淳也—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I·宋版 ①□□□□—敦煌 ①□□純□—道藏

6 47注763絕巧言詐偽乱真也—活II·武內·東大·慶I·筑波·無窮·書陵·東洋·梅沢 ①□□□□—活I·陽I·慶II·弘文·足利·斯II·東急 ②□□□□—敦煌 ②□□者□□□□—道藏 ②□□□□—治要 ②□□□□—斯I·宋版

6 48注764慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·敦煌·東急·道藏·治要 ①絕巧者詐偽乱真也棄利者—斯I·宋版

765 塞貪路—陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·敦煌·東急·斯I·宋版·道藏

治要一①□貧□一活I·活II

766 閉權門也一活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·

弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·斯I·宋版一①□□□之

要一梅沢一①□□□□一東急·敦煌·道藏一②□□□□一治

6 91 經767 盜賊無有一活I·活II·陽I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·

無窮·書陵·東洋·梅沢·陽II·東急·斯I·宋版·道藏一①□

□无□一武內·東大·慶I·六地·敦煌·治要一

注768 上化公正一活I·活II·陽I·武內·東大·慶II·筑波·

弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·敦煌·東急·斯I·

治要一①□□□政一宋版·道藏一

769 無邪私也一活I·活II·弘文·足利·書陵·梅沢·東急·治

要一①□□□无□□□一陽I·斯II一①□□□□一無窮一①□

□□□□一斯I一②□□□无耶□□一敦煌一②□□□□一武

6 93 注770 所絕棄也一活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·

弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢一①□□□奇□□一東急

6 94 注771 以為文不足者一活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑

波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·敦煌·東急·

斯I·宋版·道藏一①□□□□一治要一

772 不足以教民也一活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑

波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I·

治要一①□□□□□□一敦煌·宋版一②□□□□化□□一道藏一

6 95 注773 當如下句也一活I·活II·陽I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·

書陵一①□□□□□□一武內·東大·慶I·無窮·東洋·梅沢·敦

6 98 經774 見素抱朴一活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·

弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·六地·斯I·宋版一①□

□□樸一梅沢·陽II·敦煌·東急·道藏·治要一

注775 見素者當一活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·

弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I·宋版·

道藏一①□□□□□一敦煌一①□□□□一治要一

776 見素一活I·活II·陽I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·

無窮·書陵·梅沢·敦煌·東急·斯I一①抱□一武內·東大·東

洋·宋版·道藏·治要一

777 守貞一武內·筑波·慶II·無窮·東洋一①□真一活I·活II·陽

I·東大·慶I·弘文·足利·斯II·書陵·梅沢·敦煌·東急·

斯I·宋版·道藏·治要一

778 抱朴者一活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·筑波·弘文·

足利·斯II·無窮·書陵·東洋·斯I·宋版一①□樸一梅沢·

東急·敦煌·道藏一①□□則一慶II一①□□□□一治要一

779 當抱一活II·武內·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·

無窮·東洋·梅沢·敦煌·東急·斯I一①□見一活I·陽I·書

陵·宋版·道藏一②□見一治要一

780 其實樸一梅沢·敦煌·東急一①□□朴一活I·活II·陽I·武內·

東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·

斯I·道藏·治要一②□篤朴一宋版一

781 以示一法則也一活I·活II·陽I·東大·慶II·筑波·弘

文·足利·斯II·無窮·東急一①□□□□一武內·慶

I·東洋一①□□□天□□□□一梅沢·書陵一②□□□□故下

道藏·治要一①小□一梅沢·斯I一

注783 正無私也一活I·活II·陽I·慶II·弘文·足利·斯II·無窮·

書陵·梅沢·東急一①□无□□一武內·東大·慶I·東洋一②□

无和□一筑波②□无□一敦煌②一斯I·宋版·道藏·治要

7 卅注 784

慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·敦煌·東急·斯I·治要①少私者正無私寡欲者一宋版①少私者正無私也寡欲者一道藏

785 當知足也一活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I·宋版·道藏①□□□□一敦煌①一治要

8 卅

786 異俗■第二十一活I·活II·陽I·斯I·宋版·道藏①□□■廿一梅沢①□□■章□□一武內·東大·東洋①

偽■章□廿一筑波②絕学■章□□一慶I②絕学無憂章□□一慶II·弘文②一足利·斯II·無窮·書陵·六地·陽II·敦煌·東急

8 卅注 787

絕学不真■不合道文也一活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·陽II·東急·斯I·宋版·道藏①无□一六地·敦煌

8 卅經 788

無憂一活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·陽II·東急·斯I·宋版·道藏①无□一六地·敦煌

789 除浮華一活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·敦煌·東急·斯I·宋版·道藏①花浮一弘文

790 無憂患也一活I·活II·弘文·無窮·書陵·梅沢·東急·宋版①无□□□一陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·斯II·東洋·斯I①□□□□一足利①□□□□一慶I②无□□□一敦煌

8 卅經 791

唯之與阿一活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·弘文·無窮·書陵·敦煌·宋版·道藏·梅沢①何一筑波·足利·斯II·東洋·六地·陽II·東急·斯I

8 卅注 792

而相去一活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·東洋·梅沢·敦煌·東急·斯I·宋版·道藏①化□□□一書陵

793 疾時■賤質而貴文也一活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·東急①□□□□之□一梅沢①□□□□賊□□□□一慶II①□□□□一敦煌·斯I·宋版②□□君□□□□一

道藏①□□□□一和□一宋版

9 卅注 794

善者称誉一活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·敦煌·東急·斯I·道藏①□□和□一宋版

795 諫諍也一活I·活II·陽I·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·梅沢①□□■一武內·東大·敦煌·東急·斯I②□靜■一東洋②□爭■一宋版·道藏

796 時■惡忠直一活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·敦煌·東急·斯I·宋版①□君□□□□一道藏

797 用佞邪也一活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急①□□□□者□一筑波①□□□□一敦煌①□邪佞■一宋版②□邪佞■一斯I·道藏

9 卅注 798

謂道人也一活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·宋版·道藏①□□□□一敦煌·斯I

799 人之所畏者一活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·足利·斯II·無窮·書陵·東洋①□□□□一慶II·弘文①□□□□一梅沢·敦煌·東急·斯I·宋版·道藏

800 畏不絕学之君也一活I·活II·武內·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I·宋版①□□□□若□一陽I①□□□□□□一敦煌·道藏

9 74 注 801 弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·敦煌·東急·斯I·道藏

道藏 ①不可不畏 宋版

802 近令色 活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·敦煌·斯I·宋版·道藏

① 活II·陽I·慶I·弘文·足利·書陵·斯I ① 移 ① 無窮 ① 危 梅沢·東急

803 殺仁賢也 武内·東大·筑波·斯II·東洋 ① 然 ① 活 I·活II·陽I·慶I·弘文·足利·書陵·斯I ① 移 ① 無窮 ① 東急·宋版 ② 然 ① 人 ① 道藏 ① 敦煌

9 74 注 804 言 活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·敦煌·東急·斯I·道藏 ① 或 ① 宋版

805 世俗 人 活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·敦煌·東急·斯I·宋版 ① 之 ① 道藏

806 欲進學 文 活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·敦煌·東急·斯I ① 為 ① 宋版 ① 邪 ① 道藏

807 未央止也 活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·敦煌·東急·斯I·宋版·道藏 ① 敦煌

10 74 注 808 熙々 活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·書陵·東洋·梅沢·敦煌·東急·斯I·宋版·道藏 ① 多 ① 無窮

809 多情欲也 活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·書陵·東洋·梅沢 ① 夕 ① 無窮 ① 敦煌·東急 ① 淫放 ① 斯I·宋版·道藏

10 78 經 810 如享大半 活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·

六地 ① 若 ① 梅沢·陽II·東急 ① 太 ① 東洋·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·敦煌·斯I·宋版·道藏

注 811 思大牢之具 活I·活II·陽I·慶I·慶II·弘文·敦煌 ① 太 ① 筑波·足利·斯II·無窮·書陵·斯I·宋版·道藏 ① 食 ① 梅沢 ① 武内·東大·東洋 ② 太 ① 且 ① 東急

812 意無足時也 活I·活II·足利·無窮·書陵·東急·宋版·道藏·弘文? ① 无 ① 陽I·武内·東大·東洋·慶I·慶II·筑波·斯II·斯I ① 梅沢·敦煌

10 72 經 813 如春登臺 活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·六地·敦煌·斯I·宋版·道藏 ① 若 ① 梅沢·陽II·東急

注 814 万物感動 活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I·宋版·道藏 ① 咸 ① 足利

815 志意淫々也 活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·東急 ① 梅沢 ② 意志 ① 然 ① 斯I·宋版·道藏

10 75 注 816 怕然安靜 活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I·宋版 ① 兮 ① 道藏

817 未有情欲之形兆也 活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·斯I·宋版 ① 刑 ① 東急 ③ 無 ① 道藏

11 74 經 818 如嬰兒之 活I·活II·武内·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·無窮·書陵·東洋·六地·道藏 ① 櫻 ① 陽I·宋版 ① 若 ① 斯II·梅沢·陽II·東急 ② 若櫻 ① 斯I

819 未歎 活I·活II·陽I ① 咳 ① 武内·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·六地·陽II·東急·斯I ① 孩 ① 宋版·道藏

10 78 經 810 如享大半 活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·

足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I·宋版·道藏

12 卅注 839 悶々―活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·

足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·斯I·宋版·道藏

■―東急

840 無所割截也―活I·活II·弘文·足利·無窮·書陵·梅沢·東急

①无□□□―武内·東大·慶I·慶II·斯II·東洋

②无□□□―陽I·斯I·宋版

道藏

12 卅注 841 忽々―活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·足

利·斯II·無窮·書陵·東洋·六地·東急·斯I·宋版·道藏

①□□□―弘文

842 若海―活I·活II·陽I·慶I·慶II·弘文·足利·斯II·無

窮·書陵·六地·陽II·東急·宋版·道藏

①其□□―武内·東

大·筑波·東洋·梅沢·斯I

注 843 忽々―活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·弘

文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I·宋版

①忽兮―道藏

844 如江海之流―活I·活II·陽I·慶I·慶II·弘文·足利·無窮·

書陵·斯I·宋版·道藏

①□□□―洗―斯II

845 莫知其所窮極也―活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·筑波·

弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I·宋版

①□□□―慶II

12 卅注 846 漂兮―活I·活II·武内·東大·筑波·東洋·宋版·道藏

①灑

847 若無所止―活I·活II·陽I·武内·筑波·弘文·足利·斯II·

無窮·書陵·東洋·梅沢·陽II·東急·斯I·宋版·道藏

①无□□―慶I·慶II·六地

注 848 我獨漂々―活I·活II·武内·東大·筑波·東洋·宋版·道藏

①□□灑―陽I·慶I·慶II·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·

梅沢·東急·斯I

849 若飛揚―活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·

弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I

①□□―宋版

850 無所止也―活I·活II·慶II·筑波·弘文·足利·書陵·梅沢·

宋版·道藏

①无□□―陽I·武内·東大·慶I·斯II·無窮·

851 在神域也―活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·弘文·

斯II·無窮·書陵·東洋·東急·斯I·宋版

①□□□―筑波·梅沢·道藏

12 卅注 852 以有為也―活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·

足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I·宋版·道藏

①似□□―弘文

12 卅注 853 我獨頑―活I·活II·陽I·書陵·六地

①而□□―武内·

東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·東洋·梅沢·

陽II·東急·斯I·宋版·道藏

注 854 無為也―活I·活II·筑波·弘文·足利·無窮·書陵·東急

①无□□―陽I·武内·東大·慶I·慶II·斯II

①□□之□―

梅沢

①□□―宋版·道藏

②无□□―斯I

②无□也矣―

12 卅注 855 似鄙―活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·

足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I

①鄙似―宋

版·道藏

856 若不逮也―活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·

弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·宋版·道藏

①□□

①建―東急

①□□遠―斯I

12 卅注 857 我獨―活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·

足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I·宋版

①□□

道藏

858 与人異也一活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I·宋版

道藏

12 注859 食用也一活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·書陵·東洋·梅沢·斯I·宋版·道藏

道藏

860 母道也一活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·斯I·宋版·道藏

道藏

861 我獨一活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I·宋版

道藏

862 實用道也一活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I·宋版

13 札

863 虚心第二十一一活I·活II·陽I·斯I·宋版·道藏

② 孔德章一活I·活II·陽I·武内·東大·東洋

② 孔德容章一活I·活II·陽I·武内·東大·東急

② 孔德容章一活I·活II·陽I·武内·東大·東急

13 注864

大德之人一活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·筑波·書陵·東洋·梅沢·東急

道藏

865 無所不容一活I·活II·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·梅沢·東急·宋版·道藏

866 處謙卑也一活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I·宋版

道藏

13 札注867 大德之人一活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·宋版·道藏

道藏

868 世俗之所行一活I·武内·東大·東洋

869 從於道也一活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I·宋版·道藏

道藏

13 經870 道之為物一活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·無窮·書陵·東洋·梅沢·六地·陽II·東急·斯I·宋版·道藏

道藏

871 唯恍唯忽一活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·陽II·東急·斯I·宋版·道藏

道藏

注872 獨恍忽一活I·活II·武内·東大·慶I·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·東洋·梅沢·東急·斯I·宋版·道藏

道藏

873 往來於其所也一活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急

② 恍恍一活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·筑波·書陵·東洋·梅沢·六地

② 恍恍一活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·筑波·書陵·東洋·梅沢·六地

② 恍恍一活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·筑波·書陵·東洋·梅沢·六地

② 恍恍一活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·筑波·書陵·東洋·梅沢·六地

13 經874

忽兮恍兮一活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·陽II·東急·斯I·宋版

道藏

875 其中有象一活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·六地·陽II·東急

② 恍恍一活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·書陵·東洋·梅沢·六地·陽II·東急

② 恍恍一活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·書陵·東洋·梅沢·六地·陽II·東急

② 恍恍一活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·書陵·東洋·梅沢·六地·陽II·東急

② 恍恍一活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·書陵·東洋·梅沢·六地·陽II·東急

② 恍恍一活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·書陵·東洋·梅沢·六地·陽II·東急

② 恍恍一活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·書陵·東洋·梅沢·六地·陽II·東急

② 恍恍一活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·書陵·東洋·梅沢·六地·陽II·東急

② 恍恍一活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·書陵·東洋·梅沢·六地·陽II·東急

①獨□—弘文

877 忽况無形—活I·活II·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·梅沢·東急

東急①□□□□—陽I·武內·東大·慶I·筑波·東洋·斯I·宋版②□□□□—慶II②窈冥□□—道藏

878 無形之中—活I·活II·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·梅沢·東急

①无□□□—陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·東洋·斯I①□□□□—宋版②□□□□其□—道藏

13 879 為万物設法象也—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急

筑波①□□□□□□□□—弘文②□□□□□□□□—像③斯I③□□□□□□—宋版③有□□□□□□—道藏

13 880 况兮忽兮—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·陽II·東急·斯I·宋版

①恍□□□—慶II·六地①忽□□□—道藏

881 其中有物—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·六地·陽II·東急·斯I·宋版

①□□□□象—道藏

注 882 道唯况忽—活I·活II·武內·東大·無窮·東洋·梅沢·東急·斯I·宋版·道藏①□□□□忽况—陽I·慶I·筑波·弘文·足利·斯II·書陵②□□□□忽恍—慶II

883 因氣立質也—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·東急·斯I①□□□□—梅沢①□□□□□□—宋版·道藏

14 884 窈冥無形—活I·活II·慶II·弘文·足利·無窮·梅沢·東急①□□□□—陽I·武內·東大·慶I·筑波·斯II·書陵·東洋·斯I·宋版①□□□□—道藏

14 885 陰陽交會也—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·斯I·宋版①□□□□□□—東急①□□□□□□—道藏

14 886 言道精氣—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波

弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I·道藏①存□□—宋版

887 神妙甚真—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·道藏①□□□□—宋版②道□□□是□—斯I

14 888 道匿功—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I①□□□□藏□—足利·宋版·道藏

889 其信—活I·活II·陽I·武內·東大·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I·宋版①□□□□—慶II·道藏①□□神—慶I

890 在中也—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·東急·斯I·宋版①□□□□—梅沢②□□□□其□—道藏

14 891 從古至今—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·道藏①自□□□□—斯I·宋版

892 不去也—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·梅沢·東急①□□□□者—東洋①□□□□—斯I·宋版·道藏

14 893 道稟與万物—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I·宋版①□□□□—道藏

894 始生—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·無窮·書陵·東洋·東急·斯I·宋版·道藏①万

物□□—梅沢①□□□□—斯II

895 受氣也—活I·活II·陽I·武內·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·無窮·書陵·東急①□□□□—梅沢①□□□□—東大·東洋·斯I·宋版·道藏①□□□□始也—斯II

14 896 我何以知從道受氣也—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II

14 897 注 896 我何以知從道受氣也—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II

14 898 注 896 我何以知從道受氣也—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II

14 899 注 896 我何以知從道受氣也—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II

14 900 注 896 我何以知從道受氣也—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II

14 901 注 896 我何以知從道受氣也—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II

14 902 注 896 我何以知從道受氣也—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II

14 903 注 896 我何以知從道受氣也—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II

斯Ⅱ・無窮・書陵・斯Ⅰ」①受[]武内・東大・東洋・梅沢・東急・道藏・治要」②[]受取[]宋版」

914 則得多也」活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・宋版・道藏」①[]斯Ⅰ・治要」

915 天道祐謙神明託虛也」活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急」①[]斯Ⅰ・宋版」②[]鬼神益[]道藏」②[]治要」

17 45 注 916 財多者」活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道藏・治要」①[]足利(見消ち有り)」

917 惑於[]守身」活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・治要」①[]所[]宋版・道藏」

918 惑於所聞也」活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東急・治要」①[]之[]梅沢」①[]東洋・斯Ⅰ・宋版・道藏」

17 46 經 919 為天下式」活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道藏・治要」①[]弘文・無窮」

注 920 抱守也」活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・道藏・治要」①[]也」筑波」①[]東急・斯Ⅰ・宋版」

921 式法也」活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・斯Ⅰ・道藏・治要」①法式[]東急・宋版」

922 故能為天下」法式也」活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・治要」①[]弘文」②[]之[]

道藏」

17 46 注 923 不以其目視千里之外也」活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・宋版」①[]武内・東大・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・道藏」①[]治要」

924 乃因天下之目」活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道藏」①[]自慶Ⅰ」①[]治要」

925 故能明達也」活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・宋版」①[]斯Ⅰ・道藏・治要」

18 43 經 926 不自是故彰」活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・宋版・道藏・治要」①[]斯Ⅰ」

注 927 聖人不自以為是而非人」活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・宋版・道藏」①[]治要」①[]

928 故」活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅱ・書陵」①[]能武内・東大・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・東洋・梅沢・東急・宋版・道藏・治要」①[]斯Ⅰ」

929 彰顯於世也」活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東急」①[]武内・東大・慶Ⅱ・東洋・梅沢」①[]矣」①[]道藏」①[]宋版・治要」

18 46 經 930 故有功」活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅱ・筑波・弘文・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道藏・治要」①[]巧足利」

注 931 伐取也」活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道藏」

①代□□—筑波①■—治要

932 有功於天下也—活I·活II·陽I·慶I·筑波·弘文·足利·

斯II·無窮·書陵·東急·治要①□□□□□□□□—梅沢①□□□□□□□□—慶II①□□□□□□□□—武内·東大·東洋·斯I·宋版·道藏

I·宋版·道藏

18 矜大也—活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I·宋版·道藏①■—治要

934 不自貴大—活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I·宋版·道藏·治要①□□□□□□—慶II

935 能長久不危也—活I·活II·武内·東大·慶I·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I·治要①□□□□□□□□—慶II①□□□□□□□□—陽I·道藏②□□□□□□□□—宋版

18 夫唯不爭—活I·活II·陽I·武内·東大·慶II·筑波·足利·書陵·東洋·梅沢·六地·陽II·東急·斯I·宋版·治要①□□□□—慶I·弘文·斯II·無窮①□□□□—矜—道藏

937 莫與之爭—活I·活II·慶II①□能□□□—陽I·武内·東大·慶I·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·六地·陽II·東急·斯I·宋版·道藏·治要

注 無能與不爭者爭也—活I·活II·慶II·弘文·無窮·書陵·梅沢①无□□□□□□□□—陽I·武内·東大·慶I·筑波·足利·斯II·東洋·斯I·宋版①□□□□□□□□—東急①□□□□□□□□—道藏②无□□□□□□□□—治要

18 注 939 曲從則全身—活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I·宋版①□□□□□□□□—慶II①□□□□□□□□—筑波①□□□□□□□□—道藏

19 非虛言也—武内·東大·筑波·弘文·東洋①□□□□□□□□—活I·活II·陽I·慶I·足利·斯II·無窮·書陵·梅沢·東急·斯I

①□□空虛□—慶II①□□□□妄□—宋版①□□□□—道藏

19 5 經 941 誠全—活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·六地·陽II·東急·斯I·宋版①故□□□—道藏

942 而取之—慶II·筑波·無窮①□歸□—活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·弘文·足利·斯II·書陵·東洋·梅沢·六地·陽II·東急·斯I·宋版·道藏

注 943 誠實也—活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I·宋版·道藏①□□□□—慶II

944 能行曲從者—活I·活II·陽I·武内·東大·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I·宋版·道藏①已□□□□□□—慶I

945 實全其飢體—斯II①□□□□肌□—活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I①□□□□□□—宋版②□□□□□□—肌□—道藏

946 取之於父母—武内·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·斯I①歸□□□□—活I·活II·陽I·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·宋版·道藏

947 無有傷害之也—活I·活II·弘文·無窮·書陵①无□□□□□□—陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·足利·斯II·東洋①□□□□□□□□—梅沢①□□□□□□□□—東急①□□□□□□□□—宋版·道藏②无□□□□□□□□—斯I

20 虛無—第二十三—活I·活II·陽I·斯I·宋版·道藏①□□□□□□□□—廿三—梅沢①□□□□□□□□—章□□□□—武内·東大·東洋②希言自然章□□□□—慶I②希言自然章□□□□—筑波②希言自然章□□□□—慶II②希言自然章□□□□—足利·斯II·無窮·書陵·六地·陽II·東急

20 注 949 希言謂愛言也—活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·斯I·道藏

①□□□□□□□□—東急①□□□□□□□□—宋版

950 自然之道也—活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急①□□□□□□□□—斯I·宋版·道藏

20 44 注951 言疾則不能長—①□□□□□□□□—活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I·宋版·道藏

952 暴不能久也—活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·東急·斯I·宋版·道藏

治要①□□□□□□□□—梅沢

20 47 經953 天地也—活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·六地·陽II·東急·斯I·治要·梅沢(也、地字下字間に加筆)①□□□□□□□□—宋版·道藏

注954 孰誰也—活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·宋版·治要①□□□□□□□□—東急·斯I·道藏

955 誰為此飄風暴雨者乎—活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I·治要①□□□□□□□□—斯I

宋版①□□□□□□□□—道藏

956 天地之所為也—活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I·治要①□□□□□□□□—梅沢②□□□□□□□□—斯I

東急·道藏②□□□□□□□□—宋版②□□□□□□□□—治要

20 51 注957 不終於朝暮也—活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I·治要②□□□□□□□□—至夕—道藏②□□□□□□□□—治要

20 52 注958 尚不能—活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I·宋版·道藏

治要①□□□□□□□□—筑波

959 使終朝至暮—活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I·宋版·治要①□□□□□□□□—道藏①□□□□□□□□—弘文

960 何況於人—活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·道藏①□□□□□□□□—斯I·宋版②□□□□□□□□—治要

961 欲為暴卒乎—活I·活II·陽I·慶I·慶II·筑波·足利·斯II·無窮·書陵·東急·斯I·宋版①□□□□□□□□—也—弘文①□□□□□□□□—之也—梅沢①□□□□□□□□—者—治要①□□□□□□□□—疾—武内·東大②□□□□□□□□—疾者也—東洋②而—慕—道藏

20 56 經962 從吏於道者—活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·六地·陽II·斯I·宋版·道藏①□□□□□□□□—東急·治要

注963 從為也—活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I·宋版·道藏①□□□□□□□□—治要

964 不當如飄風驟雨也—活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I·治要①□□□□□□□□—者—無窮①□□□□□□□□—也—梅沢①□□□□□□□□—斯II·宋版②□□□□□□□□—暴—道藏

21 42 注965 謂好道人也—活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I·治要①□□□□□□□□—之—道藏②□□□□□□□□—道藏

966 所為—活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I·道藏①□□□□□□□□—宋版

967 與道同也—活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·斯I·道藏①□□□□□□□□—東急·宋版

21 注 968 德者一活 I · 活 II · 陽 I · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 斯 I · 道藏 ① 武內 · 東大 · 梅沢 · 東急 · 宋版

969 謂好德人也一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版 ③ 有之 道藏

970 所為一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 道藏 ① 謂一宋版

971 與德同也一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 斯 I · 宋版 · 道藏 ① 之 梅沢

21 注 972 失者一活 I · 活 II · 陽 I · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 斯 I ① 武內 · 東大 · 弘文 · 梅沢 · 東急 · 宋版 · 道藏

973 謂任己失人也一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版 ② 自而已而 道藏

974 所為與失同也一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 斯 I ① 謂與 宋版 ② 謂與 道藏

21 注 975 道亦樂得之一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 陽 II · 東急 · 斯 I · 宋版 · 道藏 ① 斯 II · 六地

注 976 與道同者道亦樂得之一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 足利 · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版 ① 也 弘文 ② 也 道藏

21 注 977 與德同者一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版 ① 與

得 慶 I ① 道藏

978 德亦樂得之一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版 ② 也 東大 ② 道藏

21 注 979 同於失者失亦樂得之一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 梅沢 · 陽 II · 東急 · 斯 I · 道藏 ① 也 東洋 ① 失 宋版 ① 六地

注 980 與失同者失亦樂得之一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 斯 I ② 也 宋版 ② 道藏

22 注 981 應君以不信也一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 斯 I ① 也 宋版 ② 道藏

22 注 982 有不信一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 六地 · 陽 II · 東急 · 斯 I ① 焉 宋版 · 道藏

注 983 也一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 梅沢 ① 下則應君以不信也 武內 · 東大 · 東洋 ① 下則應君以不信 東急

984 物類相歸一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 ① 也 道藏

985 水流濕一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 道藏 ① 風 梅沢

986 火就燥也一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版 ① 與

987 注 987 與德同者一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版 ① 與

弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急」①□□□□之
□□斯I」①□□□□□□—宋版・道藏」

987 無窮・書陵・梅沢・東急・斯I」①自然之類也—武内・慶
II・東洋・宋版」①自然之數也—道藏」①自然之類也—東大

善思」②廿四—梅沢」②善思」③善思」④善思」⑤善思」⑥善思」⑦善思」⑧善思」⑨善思」⑩善思」⑪善思」⑫善思」⑬善思」⑭善思」⑮善思」⑯善思」⑰善思」⑱善思」⑲善思」⑳善思」㉑善思」㉒善思」㉓善思」㉔善思」㉕善思」㉖善思」㉗善思」㉘善思」㉙善思」㉚善思」㉛善思」㉜善思」㉝善思」㉞善思」㉟善思」㊱善思」㊲善思」㊳善思」㊴善思」㊵善思」㊶善思」㊷善思」㊸善思」㊹善思」㊺善思」㊻善思」㊼善思」㊽善思」㊾善思」㊿善思」

24 經 988 跂者不立—活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・弘文・
斯II・無窮・書陵・六地・陽II・東急」

24 經 989 跂者不立—活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・弘文・
斯II・無窮・書陵・六地・陽II・東急」

注 990 跂進也—活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・弘文・
斯II・無窮・書陵・梅沢・東急・斯I・宋版・道藏」①跋

弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯I・宋版」
①□□□□—道藏」

991 貪權慕名—活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・弘文・
足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯I・宋版」

992 取功榮也—活I・活II・陽I・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・
斯II・無窮・書陵・斯I・宋版」①□□□□—武内・東大・梅沢・
東急・道藏」①□□□□—東洋」

993 則—活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・弘文・
足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・斯I・宋版・道藏」

994 不可—活I・活II・陽I・慶I・慶II・弘文・足利・無窮・書
陵・梅沢・斯I・宋版・道藏」①□□□□—武内・東大・筑波・東
洋・斯II」②□□□□—能以—東急」

995 久立身—活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・弘
文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・斯I・宋版・道藏」

①□□□□—東急」

996 行道也—活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・
弘文・足利・無窮・書陵・梅沢・東急・斯I・宋版」①□□□□—
東洋」①□□□□—斯II・道藏」

24 經 997 跨者不行—活I・活II・陽I・東大・慶I・慶II・筑波・弘文・
足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯I・宋版・道藏」

①跂□□□—武内」

注 998 自以—為貴—活I・活II・陽I・武内・慶I・慶II・筑波・弘文・
足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯I・宋版・道藏」

①□□□□—東大」

999 而跨—於人—活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・
弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯I・宋版」

①□□□□—道藏」

1000 衆共蔽之—活I・活II・陽I・東大・慶I・慶II・筑波・弘文・
足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯I・宋版・道藏」

①□□□□—武内」

1001 使不得行也—活I・活II・武内・東大・東洋・梅沢・東急」①
□□□□—之—陽I・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・無
窮・書陵・斯I」①□□□□—宋版・道藏」

24 引注 1002 人自—活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・弘
文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯I・宋版・
治要」①凡□□—道藏」

1003 見其—形容—活I・活II・陽I・東大・慶I・慶II・筑波・弘文・
足利・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯I・宋版・道藏・治要」

①□□□□—害—武内(右旁容字加筆)」②□□□□—形□□—斯II」

1004 見其所行—活I・活II・無窮・道藏」①□□□□—活I・陽I・武内・
東大・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・書陵・東洋・梅沢・
東急・斯I・宋版・治要」

1005 以為—應道—活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・
弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯I・宋版・

治要 ①□□人□—道藏

1006 殊—活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·

足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I·宋版·道藏

①■—治要

1007 不自知其形醜■操行之鄙■也—活I·活II·陽I·武内·東大·

慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·梅沢·東急·

治要 ①□□□□□□□□□□者□—東洋 ①□□□□□□□□

□□□□□□—斯I·宋版 ②□□□□□□□□□□而□□□□□□—道

藏

24 注1008 而非■人■—活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·

弘文·足利·斯II·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I·宋版·治要

①□□於□□—無窮 ①□□□□者—道藏

1009 衆人共蔽之—活I·活II·武内·東大·慶II·筑波·弘文·足利·

斯II·無窮·東洋·梅沢·治要 ①□□□□□□□□—陽I·慶I·書

陵·東急·斯I·宋版·道藏

1010 使不得彰明也—活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑

波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·東急·斯I·治要·

梅沢(使不字間に「共」字有り) ①□□□□□□□□—宋版 ③□

□□—顯—道藏

25 注1011 自伐者—活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·弘文·足

利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·六地·陽II·東急·斯I·

宋版·道藏·治要 ①□代□—筑波

1012 無功—活I·活II·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·

東洋·梅沢·東急·斯I·宋版·道藏 ①无□—陽I·武内·東

大·慶I·六地·陽II·治要

注1013 所為—活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·

足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I·道藏·治要

①□謂—宋版

1014 伐取其功美—活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·

弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·斯I·宋版·道藏 ①□

□□□—梅沢·東急 ①□□□—治要

1015 則—活I·活II·陽I·慶I·慶II·筑波·弘文·斯II·無窮·

書陵·東洋·斯I ①即—武内·東大·梅沢·東急·宋版·治

要 ①□又—足利 ②即自—道藏

1016 失■功於人■也—活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·

筑波·弘文·斯II·無窮·書陵·梅沢·東急·斯I·宋版 ①□

□□□□□□—足利 ①□□□□□□者□—東洋 ②□有□□□

■—道藏 ②□有□□□□—治要

25 注1017 自矜者不長—活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·

弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·陽II·東急·斯I·

宋版·道藏·治要 ①□務□□□—六地(地脚矜字加筆)

注1018 好自矜大者—活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·

弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I·宋版·

道藏 ①□□□□—治要

1019 不可以久長也—活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·弘

文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢 ①□□□□□□—筑

波 ①□□□□□□—東急·斯I·道藏 ②□□□□□□—治要

②□□□□長久—宋版

25 注1020 其於道也—活I·活II·陽I·武内·東大·慶II·筑波·弘文·

足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·六地·陽II·東急·斯I·

宋版·道藏 ①□□□□—慶I

1021 日餘食贅行—活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·

弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·陽II·東急·斯I

①自□□□□—六地 ①日□□□□—宋版·道藏

注1022 日賦斂—活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·弘

文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I·道藏

①曰然—宋版

1023 餘祿食—活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·足

利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I·宋版·道藏

①□□—弘文

1024 為貪行也。活 I · 活 II · 武內 · 東大 · 筑波 · 無窮 · 東急 ① □

□ □ 者 □ 陽 I · 慶 I · 慶 II · 弘文 · 足利 · 斯 II · 書陵 · 東洋 ·

梅沢 ① □ □ □ □ □ □ 斯 I · 宋版 · 道藏

25 73 注 1025 動欲傷害。活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 ·

足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 道藏

① □ □ □ □ □ □ 弘文

1026 故物無有。活 I · 活 II · 慶 II · 足利 · 無窮 · 書陵 · 梅沢 · 東急 ·

宋版 · 道藏 ① □ □ □ □ □ □ 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 筑波 · 斯 II ·

東洋 · 斯 I ① □ □ □ □ □ □ 弘文

1027 不畏惡之也。活 I · 活 II · 無窮 · 東急 ① □ □ □ □ □ □ 者 □ 陽 I ·

武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 書陵 · 東洋 ·

梅沢 ① □ □ □ □ □ □ □ □ 斯 I ① □ □ □ □ □ □ □ □ 道藏 ② □ □ □ □ □ □

地 宋版

25 74 經 1028 故有道者不處。活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II ·

筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 六地 · 陽 II ·

東急 · 斯 I · 道藏 · 治要 ① □ □ □ □ □ □ □ □ 也 宋版

注 1029 言有道之人不處其國也。活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I ·

慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急

① □ □ □ □ □ □ □ □ 居 □ □ □ □ □ □ □ □ 斯 I · 宋版 ② □ □ □ □ □ □ □ □ 居 □ □ □ □ □ □ □ □ 道藏 ② 治要

26 札 1030 象元 第二十五。活 I · 活 II · 斯 I · 宋版 · 道藏 □ □ □ □ □ □

弟廿五。梅沢 ① □ □ □ □ □ □ □ □ 弟 □ □ □ □ □ □ □ □ 陽 I ① □ □ □ □ □ □ □ □ 章 □ □ □ □ □ □ □ □ 混成章 □ □ □ □ □ □ □ □ 筑波 ② 有物混成章 □ □ □ □ □ □ □ □ 慶 I ② 有物

混成章 □ □ □ □ □ □ □ □ 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 六地 · 陽 II · 東急

26 72 注 1031 謂道。活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 ·

弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版

① □ □ □ □ □ □ □ □ 也道 道藏

1032 無形混沌。活 I · 活 II · 弘文 · 足利 · 書陵 · 梅沢 · 東急 · 宋版 ·

道藏 ① 无 □ □ □ □ □ □ □ □ 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 斯 II ·

東洋 · 斯 I ① □ □ □ □ □ □ □ □ 純 無窮

1033 在天地之前。慶 I · 東急 · 斯 I · 宋版 · 道藏 ① □ □ □ □ □ □ □ □ 也

活 I · 活 II · 陽 I · 東大 · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 ·

書陵 · 東洋 · 梅沢 ② □ □ □ □ □ □ □ □ 也 武內

26 74 經 1034 獨立而不改。活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 ·

弘文 · 足利 · 斯 II · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 六地 · 陽 II · 東急 · 斯 I ·

宋版 · 道藏 ① 猶 □ □ □ □ □ □ □ □ 無窮

注 1035 寂者無音聲。活 I · 活 II · 慶 II · 弘文 · 足利 · 無窮 · 書陵 · 梅沢 ·

東急 · 斯 I · 宋版 · 道藏 ① □ □ □ □ □ □ □ □ 陽 I · 武內 · 東大 · 慶

I · 筑波 · 斯 II · 東洋

1036 寥者。活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 ·

斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 道藏 ① 寂

□ □ □ □ □ □ □ □ 慶 I

1037 空無形。活 I · 活 II · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 梅沢 · 東

急 · 斯 I · 宋版 · 道藏 ① □ □ □ □ □ □ □ □ 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶

II · 筑波 · 東洋

1038 獨立者。活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘

文 · 足利 · 斯 II · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 道藏

① 猶 □ □ □ □ □ □ □ □ 無窮

1039 無匹雙。活 I · 活 II · 弘文 · 足利 · 無窮 · 書陵 · 梅沢 · 宋版 · 道

藏 ① 无 □ □ □ □ □ □ □ □ 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 斯 II · 東

洋 ① □ □ □ □ □ □ □ □ 東急 ① □ □ □ □ □ □ □ □ 斯 I

1040 化有常也。活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 ·

弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 斯 I ① □ □ □ □ □ □ □ □ 宋版 · 道藏

26 78 經 1041 周行而不殆。活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 ·

弘文 · 足利 · 斯 II · 東洋 · 梅沢 · 陽 II · 東急 · 斯 I · 宋版 · 道藏

① 同 □ □ □ □ □ □ □ □ 無窮 · 書陵 · 六地

注 1042 無所不入。活 I · 活 II · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 無窮 · 書陵 ·

梅沢 · 東急 · 斯 I · 道藏 ① 无 □ □ □ □ □ □ □ □ 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I ·

斯Ⅱ·東洋·宋版

1043 在陽不焦—活Ⅰ·活Ⅱ·陽Ⅰ—焦—武內·東大·慶Ⅰ·

慶Ⅱ·筑波·弘文·足利·斯Ⅱ·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·

斯Ⅰ·宋版·道藏

1044 無不貫穿—活Ⅰ·活Ⅱ·慶Ⅱ·筑波·弘文·足利·無窮·書陵·

梅沢·東急——陽Ⅰ·武內·東大·慶Ⅰ·斯Ⅱ·東洋·

斯Ⅰ·宋版——道藏

1045 不危—殆也—活Ⅰ·活Ⅱ——斯Ⅰ·宋版—而

足利·斯Ⅱ·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急——

武內·慶Ⅰ·筑波——

27 21 經 1046 可以為天下母—活Ⅰ·活Ⅱ·陽Ⅰ·武內·東大·慶Ⅰ·慶Ⅱ·筑

波·弘文·足利·斯Ⅱ·書陵·東洋·梅沢·六地·陽Ⅱ·東急·

斯Ⅰ·宋版·道藏——地—無窮

注 1047 如母之養子—也—活Ⅰ·活Ⅱ·陽Ⅰ·武內·東大·慶Ⅰ·慶Ⅱ·

筑波·弘文·足利·斯Ⅱ·無窮·書陵·梅沢·東急——

者—東洋——斯Ⅰ·宋版·道藏

27 16 經 1048 吾不知其名—活Ⅰ·活Ⅱ·陽Ⅰ·武內·東大·慶Ⅰ·弘文·

足利·斯Ⅱ·無窮·書陵·東洋·梅沢·六地·陽Ⅱ·東急·斯Ⅰ·

宋版·道藏——筑波

1049 故字之曰道—活Ⅰ·活Ⅱ·陽Ⅰ·武內·慶Ⅰ·慶Ⅱ·筑波·弘文·

足利·斯Ⅱ·書陵·六地——東大·無窮·東洋·梅

沢·陽Ⅱ·東急·斯Ⅰ·宋版·道藏

注 1050 我不知—活Ⅰ·活Ⅱ·陽Ⅰ·武內·東大·慶Ⅰ·慶Ⅱ·筑波·弘

文·斯Ⅱ·書陵·東洋—見—足利·無窮·梅沢·東急·斯

Ⅰ·宋版·道藏

1051 道之形容—活Ⅰ·活Ⅱ·陽Ⅰ·武內·東大·慶Ⅰ·慶Ⅱ·筑波·

弘文·足利·斯Ⅱ·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急——

斯Ⅰ·宋版·道藏

1052 從道之所生—活Ⅰ·活Ⅱ·陽Ⅰ·慶Ⅰ·慶Ⅱ·筑波·弘文·足利·

斯Ⅱ·無窮·書陵——武內·東大·東洋·梅沢·東

急·斯Ⅰ·宋版—而—道藏

1053 字之曰道也—活Ⅰ·活Ⅱ·陽Ⅰ·武內·東大·慶Ⅰ·慶Ⅱ·筑波·

弘文·足利·斯Ⅱ·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯Ⅰ·宋版

——道藏

27 73 經 1054 強為之名曰大—活Ⅰ·活Ⅱ·陽Ⅰ·武內·東大·慶Ⅰ·慶Ⅱ·筑

波·弘文·足利·斯Ⅱ·無窮·書陵·東洋·梅沢·六地·陽Ⅱ·

東急·斯Ⅰ·宋版——道藏

注 1055 不知其名之—活Ⅰ·活Ⅱ·陽Ⅰ·武內·東大·慶Ⅰ·慶Ⅱ·筑波·

弘文·足利·斯Ⅱ·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急——

斯Ⅰ·宋版·道藏

1056 強—曰大—活Ⅰ·活Ⅱ·陽Ⅰ·武內·東大·慶Ⅰ·慶Ⅱ·筑波·

弘文·足利·斯Ⅱ·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯Ⅰ·宋版

——道藏

1057 大者—活Ⅰ·活Ⅱ·陽Ⅰ·武內·東大·慶Ⅰ·慶Ⅱ·筑波·弘文·

足利·斯Ⅱ·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯Ⅰ——宋

版——道藏

1058 高而無上—活Ⅰ·活Ⅱ·弘文·足利·斯Ⅱ·無窮·書陵·梅沢·

道藏——東急——陽Ⅰ·武內·東大·慶Ⅰ·

慶Ⅱ·筑波·東洋·斯Ⅰ·宋版

1059 羅而無外—活Ⅰ·活Ⅱ·慶Ⅱ·弘文·足利·無窮·書陵·梅沢·

道藏———東大·慶Ⅰ·筑波·斯Ⅱ·東洋·

斯Ⅰ·宋版——東急

1060 無不—活Ⅰ·活Ⅱ·弘文·足利·斯Ⅱ·無窮·書陵·東洋·梅沢·

東急·道藏——陽Ⅰ·武內·東大·慶Ⅰ·慶Ⅱ·筑波·斯

Ⅰ·宋版

1061 包容—活Ⅰ·活Ⅱ·陽Ⅰ·武內·東大·弘文·無窮·東洋·斯Ⅰ·

宋版·道藏——慶Ⅰ·慶Ⅱ·筑波·足利·斯Ⅱ·書陵·梅

沢·東急

1062 故曰大也—活Ⅰ·活Ⅱ·陽Ⅰ·武內·東大·慶Ⅰ·慶Ⅱ·筑波·

弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」
①□□□□—道藏」

32 引注 1063 在上非若地常在下一活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武內・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・

筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・斯Ⅰ・宋版・
道藏」①□□□□—東急」

1064 無常處所也一活Ⅰ・活Ⅱ・慶Ⅱ・弘文・足利・無窮・書陵・梅沢・
東急」①无□□□□—陽Ⅰ・武內・東大・慶Ⅰ・筑波・斯Ⅱ・東
洋・宋版」①□□□□—道藏」②无□□□□—斯Ⅰ」

33 引注 1065 窮於無窮一活Ⅰ・活Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・
道藏」①□□□□—陽Ⅰ・武內・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・東
洋」①□□□□—東急（見消ち有り）」①□□□□—斯Ⅰ・
宋版」

1066 無所不通也一活Ⅰ・活Ⅱ・弘文・足利・無窮・書陵・梅沢・東急・
宋版・道藏」①无□□□□—陽Ⅰ・武內・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑
波・東洋・斯Ⅰ」①无□□□□—斯Ⅱ」

33 引注 1067 遠曰反一活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武內・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘
文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・
宋版・道藏」①□□□□—返一六地」

注 1068 言其遠一活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武內・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足
利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道藏」
①□□□□—弘文」

1069 不超絶一活Ⅰ・活Ⅱ・武內・筑波・東洋」①□□□□—陽Ⅰ・慶Ⅰ・
斯Ⅱ・書陵」①□□□□—東大・慶Ⅱ・弘文・足利・無窮・梅沢・
東急・斯Ⅰ・宋版・道藏」

1070 乃復反一活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武內・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘
文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・道藏」
①□□□□—宋版」

1071 在人身也一活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武內・東大・慶Ⅰ・弘文・足利・
斯Ⅱ・書陵・梅沢・東急・宋版」①□□□□—慶Ⅱ・道藏」①
□□□□—東洋」①□□□□—中□□—筑波・無窮・斯Ⅰ」

33 引注 1072 弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・治要」①包
羅天地一道藏」①包羅諸天地一斯Ⅰ・宋版」

1073 無窮一活Ⅰ・活Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・
東急」①无□□□□—武內・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・東洋・治要」①□□所—
斯Ⅰ・宋版・道藏」②无所一陽Ⅰ」

1074 不容也一活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯
Ⅱ・無窮・書陵・斯Ⅰ・宋版・治要」①□□□□—武內・東大・東
洋・梅沢・東急・道藏」

1075 無窮一活Ⅰ・活Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・
斯Ⅰ」①无□□□□—陽Ⅰ・武內・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・東洋・治
要」①□□所—宋版・道藏」

1076 不蓋一活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武內・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘
文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・道藏・治要」
①□□□□—斯Ⅰ・宋版」

1077 無窮一活Ⅰ・活Ⅱ・弘文・足利・無窮・書陵・梅沢・東急」①无
□□—陽Ⅰ・武內・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・斯Ⅱ・東洋・斯Ⅰ・
治要」①□□所—宋版・道藏」

1078 不載一活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武內・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘
文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・道藏・治要」
①□□□□—斯Ⅰ・宋版」

1079 王 大者一活Ⅰ・陽Ⅰ・武內・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・
足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道藏・
治要」①□□亦□□—活Ⅱ」

1080 無窮一活Ⅰ・活Ⅱ・弘文・足利・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急」
①无□□—陽Ⅰ・武內・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・斯Ⅱ・斯Ⅰ・治
要」①□□所—宋版・道藏」

1081 不制也一活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武內・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘
文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・斯Ⅰ・宋版」①□□
—東急・道藏・治要」

33 勿注 1082

■ 筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・

斯I・道藏・治要①四大道天地王也云々宋版

經 1083 而王居其一焉活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑
波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽II・

東急・斯I・宋版・治要①道藏

注 1084 王居其一也活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑
波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・斯I・宋版・

治要①者東急①道藏

1085 法地安靜和柔也活I・活II・陽I・武内・慶I・慶II・筑波・

足利・斯II・無窮・斯I・道藏・治要①柔和宋版

①東大・弘文・書陵・東洋・梅沢・東急

1086 種之得五穀活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・

弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯I・宋版・

道藏①治要

1087 掘之得甘泉活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・弘文・

足利・斯II・無窮・東洋・梅沢・東急・斯I・宋版・道藏①

衆筑波①耳書陵(右旁甘字加筆訂正)①

治要

1088 活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・筑波・弘文・

足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯I・宋版・道藏

治要①湛泊靜形慶II

1089 勞而不怨活I・陽I・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・

無窮・書陵・梅沢・東急・斯I・道藏・治要①築

活II①有武内・東大・東洋①也

宋版

1090 不宜者也活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・

弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急①

治要①制斯I②制宋版②置道藏

34 勿注 1091 天湛泊不動活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・

弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・宋版・道藏①檐

東急②檐怕梅沢・斯I②治要

1092 施而不求報活I・活II・陽I・慶I・慶II・筑波・足利・

斯II・無窮・書陵・東急・斯I・宋版・治要①於

武内①東大・東洋・梅沢①之

道藏②無所弘文

1093 生長万物活I・活II・陽I・武内・慶I・慶II・筑波・弘文・

足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯I・宋版・道藏

治要①長生東大

1094 無所收取也活I・活II・筑波・弘文・足利・無窮・書陵・梅沢・

道藏①无陽I・武内・東大・慶I・慶II・斯II・東

洋①東急・斯I・宋版②无治要

34 勿注 1095 天道道活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・弘文・

足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽II・東急・斯I・

宋版・道藏・治要①筑波(以下經文二句並注欠)

注 1096 天當法道以活I・活II①道陽I・武内・慶I・慶II・

東大・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・道藏②東大

東洋・梅沢・東急・斯I・宋版②治要

1097 清靜不言活I・活II・陽I・慶I・慶II・弘文・足利・無窮・

書陵・東洋・梅沢・東急・斯I・治要①淨武内・東大

斯II・宋版・道藏

1098 陰行精氣活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・弘文・

足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯I・宋版・道藏

治要

1099 万物自成也活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・弘

文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯I・宋版

治要②然生長道藏

34 勿注 1100 無所法也活I・活II・梅沢・東急・宋版・道藏①无

陽I・東大・慶II・東洋・治要①可弘文・足利

斯II・書陵・斯I②无武内・慶I・無窮

36 41 1101 重德 ■■■ 第二十六 活 I 活 II 陽 I 斯 I 宋版 道藏

■■■ 弟廿六 梅沢 ① ■■■ ■■■ 章 廿六 武内 東大 東洋

② ■■■ 為 ■■■ 章 ■■■ 慶 I ② ■■■ 為 輕根章 ■■■ 筑波 ②

■■■ 為 輕根章 廿六 弘文 ② ■■■ 為 輕根章 廿六 慶 II ②

■■■ ■■■ ■■■ 足利 斯 II 無窮 書陵 六地 陽 II 東急

36 42 注 1102 則去神 ① ■■■ 失 ■■■ 活 I 活 II 陽 I 武内 東大 慶 I 慶

II 筑波 弘文 足利 斯 II 無窮 書陵 東洋 梅沢 東急

斯 I 宋版 道藏 治要

1103 草木之花葉 活 I 活 II 陽 I 武内 東大 慶 I 慶 II 筑波

弘文 足利 斯 II 無窮 書陵 東洋 梅沢 東急 ① ■■■ ■■■

■■■ 道藏 ① ■■■ ■■■ 華 ■■■ 宋版 ② ■■■ ■■■ 本 ■■■ 華 ■■■ 斯 I ② ■■■ ■■■

■■■ 治要

1104 根 ■■■ 重 活 I 活 II 陽 I 慶 II 筑波 弘文 無窮 書陵 梅

沢 東急 斯 I 宋版 道藏 ① ■■■ ■■■ 武内 東大 慶 I 足

利 斯 II 東洋 ① ■■■ ■■■ 治要

1105 故 ■■■ 長存也 活 I 活 II 陽 I 武内 東大 慶 I 慶 II 筑

波 弘文 足利 斯 II 無窮 書陵 東洋 梅沢 斯 I 宋版

① ■■■ ■■■ ■■■ 矣 東急 ① ■■■ ■■■ ■■■ 道藏 ① ■■■ ■■■ ■■■

■■■ 治要

36 43 注 1106 竜静故能变化 活 I 活 II 陽 I 武内 東大 慶 I 慶 II 筑

波 弘文 足利 斯 II 無窮 書陵 東洋 梅沢 東急 斯 I

宋版 道藏 ① ■■■ ■■■ ■■■ 治要

1107 虎躁 ■■■ 活 I 活 II 陽 I 武内 東大 慶 I 筑波 弘文 足

利 斯 II 無窮 書陵 東洋 梅沢 東急 斯 I 宋版 道藏

① ■■■ ■■■ ■■■ 静 慶 II (見消ち有り) ① ■■■ ■■■ ■■■ 治要

1108 故 ■■■ 天虧也 活 I 活 II 陽 I 東大 慶 I 慶 II 筑波 弘文

斯 II 無窮 書陵 東洋 東急 斯 I 宋版 ① ■■■ ■■■ ■■■ 能 ■■■ ■■■

■■■ 活 I 活 II 陽 I 武内 東大 慶 I 慶 II 筑波 弘文

■■■ 道藏 ① ■■■ ■■■ ■■■ 治要

36 44 經 1109 君子終日行 活 I 活 II 陽 I 武内 東大 慶 I 慶 II 筑波

弘文 足利 斯 II 無窮 書陵 東洋 梅沢 六地 陽 II 東急

斯 I ① ■■■ ■■■ ■■■ 宋版 道藏

1110 不離輻重 活 I 活 II 陽 I 武内 東大 慶 I 慶 II 筑波

弘文 足利 斯 II 無窮 書陵 東洋 六地 陽 II 斯 I 宋版

道藏 ① ■■■ ■■■ ■■■ 輻 梅沢 東急

注 1111 輻静也 活 I 活 II 陽 I 武内 東大 慶 I 慶 II 筑波 弘

文 足利 斯 II 無窮 書陵 東洋 斯 I 宋版 道藏 ① 輻 ■■■

■■■ 梅沢 東急

1112 君子終日行 活 I 活 II 陽 I 武内 東大 慶 I 慶 II 筑波

弘文 足利 斯 II 無窮 書陵 東洋 梅沢 東急 斯 I 道藏

① ■■■ ■■■ ■■■ 宋版

1113 ■■■ 不離 ① 道 ■■■ ■■■ 活 I 活 II 陽 I 武内 東大 慶 I 慶

II 筑波 弘文 足利 斯 II 無窮 書陵 東洋 梅沢 東急

斯 I 宋版 道藏

1114 ■■■ 静與重也 ① 其 ■■■ ■■■ ■■■ 活 I 活 II 陽 I 慶 I 筑波

弘文 斯 II 無窮 斯 I 宋版 ① 於 ■■■ ■■■ ■■■ 武内 東大 東

洋 梅沢 東急 ② 其 輻 ■■■ ■■■ ■■■ 足利 ② 其 ■■■ ■■■ ■■■ 慶 II 書

陵 ③ 其 ■■■ ■■■ ■■■ 道藏

36 45 注 1115 謂宮闕 活 I 活 II 陽 I 武内 東大 慶 I 慶 II 筑波 弘文 斯

II 無窮 書陵 東洋 梅沢 東急 斯 I 宋版 道藏 ① ■■■ 官

■■■ 足利 ① ■■■ ■■■ ■■■ 堂 ■■■ ■■■ 慶 II

1116 后妃所居也 活 I 活 II 陽 I 武内 東大 慶 I 慶 II 筑波

弘文 足利 斯 II 無窮 書陵 東洋 梅沢 東急 斯 I 宋版

① ■■■ ■■■ ■■■ ■■■ 道藏

1117 遠避而不處也 活 I 活 II 陽 I 武内 東大 慶 I 慶 II 筑

波 弘文 足利 斯 II 無窮 書陵 東洋 梅沢 東急 斯 I

宋版 ① ■■■ ■■■ ■■■ ■■■ 道藏

36 46 注 1118 疾 ■■■ 時主 活 I 活 II 陽 I 武内 東大 慶 II 筑波 弘文

足利 斯 II 無窮 書陵 東洋 梅沢 東急 斯 I 宋版 治要

① ■■■ ■■■ ■■■ ■■■ 王 ■■■ ■■■ 慶 I ② ■■■ ■■■ ■■■ 道藏

1119 傷痛之也。活 I。活 II。陽 I。慶 I。慶 II。弘文。足利。斯 II。無窮。書陵。東急。①。武內。東大。梅沢。斯 I。治要。①。筑波。②。東洋。宋版。道藏。1120 万乘之主謂王者也。活 I。活 II。陽 I。武內。東大。慶 I。慶 II。筑波。弘文。足利。斯 II。無窮。書陵。東洋。梅沢。東急。①。道藏。②。宋版。②。道藏。治要。

38 經 1121 輕於天下。活 I。活 II。陽 I。武內。東大。慶 I。慶 II。筑波。弘文。足利。斯 II。無窮。書陵。東洋。梅沢。六地。陽 II。道藏。治要。①。東急。斯 I。宋版。

注 1122 王者至尊而以其身行輕躁乎。活 I。活 II。陽 I。武內。東大。慶 I。慶 II。筑波。弘文。足利。斯 II。無窮。書陵。東洋。梅沢。六地。陽 II。道藏。治要。①。東急。斯 I。宋版。

1123 疾時王奢恣輕淫也。活 I。活 II。陽 I。武內。東大。慶 I。慶 II。筑波。弘文。足利。斯 II。無窮。書陵。東洋。梅沢。東急。斯 I。宋版。治要。①。道藏。

39 注 1124 王者輕淫。活 I。活 II。陽 I。武內。東大。慶 I。慶 II。筑波。弘文。足利。斯 II。無窮。書陵。東洋。梅沢。東急。斯 I。道藏。治要。①。宋版。

1125 治身輕淫。活 I。活 II。陽 I。武內。東大。慶 I。慶 II。筑波。弘文。斯 II。無窮。書陵。東洋。梅沢。東急。斯 I。宋版。治要。①。道藏。①。足利。

1126 則失其精也。活 I。活 II。陽 I。武內。東大。慶 I。慶 II。筑波。弘文。足利。斯 II。無窮。書陵。梅沢。東急。道藏。①。東洋。宋版。治要。

39 經 1127 躁則失君。活 I。活 II。陽 I。武內。東大。慶 I。慶 II。筑波。弘文。足利。無窮。書陵。東洋。梅沢。六地。陽 II。東急。斯 I。宋版。道藏。治要。①。斯 II。

注 1128 王者躁失。①。疾。活 I。活 II。陽 I。武內。東大。

慶 I。慶 II。筑波。弘文。足利。無窮。書陵。東洋。梅沢。東急。斯 I。②。行疾。宋版。道藏。治要。②。斯 II。1129 則失其精神也。活 I。活 II。陽 I。武內。東大。慶 I。慶 II。筑波。無窮。書陵。東洋。梅沢。東急。斯 I。宋版。治要。①。足利。①。弘文。道藏。①。斯 II。

40 巧用 第二十七。活 I。活 II。陽 I。斯 I。宋版。道藏。弟廿七。梅沢。①。章。廿七。武內。東大。東洋。②。善行章。①。慶 I。筑波。②。善行章。廿七。慶 II。弘文。②。足利。斯 II。無窮。書陵。六地。陽 II。東急。

40 經 1131 善行者。活 I。活 II。陽 I。武內。東大。慶 I。慶 II。筑波。弘文。足利。斯 II。無窮。書陵。東洋。梅沢。六地。陽 II。東急。斯 I。道藏。①。宋版。

1132 無轍跡。活 I。活 II。陽 I。慶 II。筑波。弘文。足利。斯 II。無窮。書陵。東洋。斯 I。道藏。①。無。六地。①。梅沢。陽 II。東急。①。迹。宋版。③。無轍迹。武內。東大。

注 1133 善行道者。活 I。活 II。陽 I。武內。東大。慶 I。慶 II。筑波。弘文。足利。斯 II。無窮。書陵。東洋。梅沢。斯 I。宋版。道藏。①。東急。

1134 無轍跡也。活 I。活 II。慶 II。弘文。足利。無窮。書陵。①。陽 I。慶 I。筑波。斯 II。①。徹。梅沢。東急。①。道藏。②。无。迹。斯 I。②。迹。宋版。②。无。迹。武內。③。无。迹。東大。③。无。迹者。東洋。

40 經 1135 善言者。活 I。活 II。陽 I。武內。東大。慶 I。慶 II。筑波。弘文。足利。斯 II。無窮。書陵。東洋。梅沢。六地。陽 II。東急。斯 I。①。宋版。道藏。

1136 無瑕譴。活 I。活 II。筑波。弘文。足利。斯 II。無窮。書陵。梅沢。東急。斯 I。宋版。①。无。陽 I。武內。東大。慶 I。慶 II。東洋。六地。陽 II。①。道藏。

注 1137 善言者。活 I。活 II。陽 I。慶 I。慶 II。筑波。弘文。足利。斯

II・無窮・書陵①□□■□—武內・東大・東洋・梅沢・東急・斯
I・宋版・道藏

1138 擇言而出之—活I・活II・陽I・武內・東大・慶I・慶II・筑波・
弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・道藏①□□
□□□■—斯I・宋版

1139 無瑕疵謫過—活I・活II・慶II・筑波・弘文・足利・無窮・書陵・
梅沢・東急①□□□□□□□□—陽I・武內・東大・慶I・斯I・宋
版②□□□□□□—東洋②□□□□□□—斯II②□□□□□□—
道藏

1140 於天下也—活I・活II・陽I・武內・東大・慶I・慶II・筑波・
弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・道藏①□□
□□□■—斯I・宋版

40 經141 善計者—活I・活II・陽I・武內・東大・慶I・慶II・筑波・弘
文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽II・東急・
斯I①□□□■—宋版・道藏

注142 計者—活I・活II・陽I・武內・東大・慶I・慶II・弘文・足
利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯I・宋版・道藏①
①討□□□—筑波

1143 守一不移—活I・活II・陽I・武內・東大・慶I・慶II・筑波・
弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急①□□□□□□
□□—斯I・宋版・道藏

1144 所計不多—活I・活II・陽I・武內・東大・慶I・慶II・弘文・
足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯I・宋版・道藏①
①討□□□—筑波

1145 不用籌策—活I・活II・陽I・武內・東大・慶I・慶II・筑波・
弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急①□□□□□□
□□—斯I・宋版・道藏

1146 而可知也—活I・活II・陽I・武內・東大・慶I・慶II・筑波・
弘文・足利・斯II・無窮・東洋・梅沢・東急・斯I・宋版①□□
□□—書陵①□□□■□□—道藏

41 經147 善閉者—活I・活II・陽I・武內・東大・慶I・慶II・筑波・弘
文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽II・東急・
斯I・道藏①□□□■—宋版

1148 無闕鍵—活I・活II・陽I・武內・筑波・弘文・足利・斯II・書
陵・東洋・梅沢・斯I・宋版①□□□□—東大・慶I・慶II・六
地・陽II①□□開鍵—無窮①□□□■—東急・道藏

注149 門戶—活I・活II・陽I・武內・東大・慶I・慶II・筑波・弘文・
足利・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯I・宋版・道藏①閉
□□—斯II

1150 有闕鍵—活I・活II・陽I・武內・東大・慶I・慶II・筑波・弘
文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・斯I・宋版①□□開□—梅
沢①□□□■—東急①□□□■—道藏

1151 可得開也—活I・活II・陽I・武內・東大・慶I・筑波・弘文・
足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・道藏①不□□□□
□□—慶II①□□□□□□—斯I・宋版

41 經152 善結者—活I・活II・陽I・武內・東大・慶I・慶II・筑波・弘
文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽II・東急・
斯I・道藏①□□□■—宋版

1153 無繩約—活I・活II・陽I・武內・慶II・筑波・弘文・足利・書陵・東
洋・陽II・東急・斯I・宋版・道藏①□□□□—陽I・東大・慶
I①□□□□—斯II・梅沢①□□□□—初—無窮・六地

注154 乃結其心—活I・活II・陽I・武內・東大・慶I・慶II・筑波・
弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・道藏①□□
□□□□—斯I・宋版

1155 可得解也—活I・活II・陽I・武內・東大・慶I・慶II・弘文・
足利・斯II・無窮・書陵・東洋・東急・斯I・宋版①□□□□□□
之—梅沢①□□□□—也—筑波①□□□□□□—道藏

42 經156 聖人—常善救人—活I・活II・陽I・武內・東大・慶I・筑波・
弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽II・東急・
斯I・宋版・道藏・治要①□□□□□□□□—慶II

注1157所以常教人忠孝者—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·筑波·

弘文·足利·斯II·無窮·書陵·梅沢·東急·斯I·宋版·治要

①□□□□□□□□□□—東洋①□□□□□□□□□□—慶II·道藏

1158欲以救人性命也—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·

筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·治要①□□□□□□□□□□

42 47經1159故無棄人—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·

弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I·宋版·

42 74注1160所以常教民—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·

弘文·足利·斯II·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I①□□□□□□□□□□

教—無窮①□□□□□□□□□□—宋版·治要②□□□□□□□□□□

1161順四時者—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·

弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·宋版①□□□□□□□□□□

1162救万物之—殘傷也—活I·活II·陽I·武內·東大·筑波·弘文·

足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·治要①□□□□□□□□□□

之□□□□□□□□□□—慶II·斯I·宋版②□□□□□□□□□□

□□□□□□□□□□—道藏

42 76經1163故無棄物—活I·活II·武內·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·

無窮·書陵·東洋·梅沢·陽II·東急·斯I·宋版·道藏①□□□□□□□□□□

注1164聖人不賤石—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·

弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I·宋版·

道藏①□□□□□□□□□□—治要

1165視之如一—也—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑

波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·梅沢·東急①□□□□□□□□□□

□□—東洋①□□□□□□□□□□—宋版·道藏②□□□□□□□□□□

②□□□□□□□□□□—治要

43 44注1166是謂襲明—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·

弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I·道藏

①□□□□□□□□□□—宋版

1167大道也—活I·活II·陽I·無窮·東急·斯I·宋版①□□□□□□□□□□

足利·斯II·書陵·梅沢②天□□者□—東洋

43 47經1168善人者—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·弘

文·足利·斯II·無窮·書陵·梅沢·六地·陽II·東急·斯I·

宋版·道藏·治要①□□□□□□□□□□—東洋

1169不善人之師也—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑

注1170即以為人師也—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·

筑波·足利·斯II·無窮·書陵·梅沢·東急·治要①□□□□□□□□□□

者□—東洋①□□□□□□□□□□—斯I·宋版①□□□□□□□□□□

1171善人之—資也—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·弘文·足

利·斯II·無窮·書陵·東洋·六地·陽II①□□□□□□□□□□

波①□□□□□□□□□□—慶II①□□□□□□□□□□—梅沢·東急·宋版·

道藏·治要②□□□□□□□□□□—斯I

注1172行不善者—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·

弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急①□□□□□□□□□□

斯I·宋版·道藏·治要

1173聖人猶—武內·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無

窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I·宋版①□□□□□□□□□□

1174教導使為善—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·

弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·宋版·道藏

①□□□□□□□□□□—斯I·治要

1175 得以為給用也―活Ⅱ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・東洋・梅沢・斯Ⅰ―①□□□□□□―活Ⅰ・陽Ⅰ・慶Ⅱ・書陵・東急・宋版―①□□□□□□□□―治要―②□□□□□□―道藏―

44 注1176 獨無輔也―活Ⅰ・活Ⅱ・慶Ⅱ・弘文・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道藏―①□□□□―陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・斯Ⅱ・東洋―①□□□□―足利(此の二字大字經文に書写、右旁に小圈有り、見消ちか)―

44 注1177 無所使也―活Ⅰ・活Ⅱ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道藏―①□□□□―陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・斯Ⅱ・東洋・治要―

44 注1178 雖智大迷―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・治要―①□□□□―道藏―

注1179 乃大迷惑也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・斯Ⅱ・無窮・梅沢・東急・道藏―①□□□□者―東洋―①□□□□或―足利―①□□□□―書陵―①□□□□―東大・斯Ⅰ・宋版・治要―

44 注1180 能通此意―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・治要―①□□□□道―道藏―

1181 謂知微妙要道也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道藏―①□□□□―東大―①□□□□―治要―

45 注1182 反朴―第二十八―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・斯Ⅰ・宋版・道藏―□□□□第廿八―梅沢―①□□□□章―筑波―①□□□□章―廿八―武内・東大・東洋―②知其章―慶Ⅰ―②知其雄章―書陵・六地・陽Ⅱ・東急―

45 注1183 為天下谿―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・

弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・斯Ⅰ・宋版・道藏―①□□□□溪―東急・治要―

注1184 雄以喻尊―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・斯Ⅰ・宋版・道藏・治要―①□□論―武内・東大・筑波・東洋・梅沢・東急―

1185 雌以喻卑―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・斯Ⅰ・宋版・道藏・治要―①□□論―武内・東大・筑波・東洋・梅沢・東急―

1186 自知其尊顯―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・斯Ⅰ・道藏―①□□□□―弘文―①□□□□―梅沢・東急・治要―②知自―宋版―

1187 守之以卑微―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・治要―①□□其―道藏―

1188 去雄之強梁―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・道藏・治要―①□□□□―宋版―

1189 就雌之柔和―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・治要―①□□其―道藏―

1190 如是則―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道藏―①□□□□―治要―

1191 天下飯之―武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・無窮・東洋・斯Ⅰ―①□□歸―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・足利・斯Ⅱ・書陵・梅沢・東急・宋版・道藏・治要―

1192 水之流―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・治要―①□□水―慶Ⅱ―①□□―弘文・斯Ⅰ・宋版―①□□游―道藏―

1193 入深谿也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・

斯II·無窮·書陵·梅沢·斯I·宋版①□□溪□□筑波·東急①□□者□—東洋①□□—東大·治要②■□□

45 列經1194為天下谿—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·

弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·六地·陽II·斯I·宋版·道藏①□□溪—東急·治要

注1195如深谿—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·斯I·宋版·道藏①□□

溪—弘文·東急·治要

1196不離—己也—活I·活II·陽I·慶I·慶II·弘文·足利·斯II·書陵·東急①□□—梅沢①復□□—

武內·東大·筑波·無窮·東洋②復□□—治要②能□於□□—道藏③復□於□□—斯I·宋版

45 列經1197復版—慶II·筑波①歸—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·六地·陽II·東急·斯I·宋版·道藏

1198於嬰兒—活I·活II·武內·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·六地·陽II·東急·道藏①

①殍□—陽I·宋版①櫻□—斯I

注1199復當—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·道藏①常—斯I

1200飯志—武內·東大·慶II·筑波·弘文·東洋①歸□—活I·活II·陽I·慶I·足利·斯II·無窮·書陵·梅沢·東急·斯I·宋版①復□—道藏

1201於嬰兒意然—活I·活II·武內·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I·道藏①

殍□□—陽I·宋版

1202而無所知也—活I·活II·慶II·弘文·足利·無窮·書陵·斯I·宋版①無□□—陽I·武內·東大·慶I·筑波·斯II·東

洋①□□—梅沢·道藏②■□□—東急

45 注1203喻昭々—活I·活II·陽I·慶I·慶II·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·斯I·宋版·道藏·治要①論□□—武內·東大·筑波·東洋·梅沢·東急

1204喻黙々—活I·活II·陽I·慶I·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·斯I·宋版·道藏·治要①論□□—武內·東大·筑波·梅沢·東急①點□—慶II

1205知昭々明達—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I·道藏·治要①□□□□白—宋版

1206復守之—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I·宋版·治要①

1207以黙々—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I·宋版·治要①

1208無所見—活I·活II·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·梅沢·東急·宋版·道藏①無□□—陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·東洋·斯I·治要

1209可以為天下法式也—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·斯I①

1210弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·慶I·慶II·筑波·得常在—斯I·宋版①其德常在—道藏

46 列經1211常德不惑—活I·活II·足利①□□或—陽I·武內·慶I·慶II·筑波·弘文·斯II·無窮·書陵·六地·陽II·東急·斯I·治要·梅沢①□□或—宋版·道藏①□□或—東洋①

1212為天下法式—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·

弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・道藏・治要
①□□□□□□—斯I・宋版

1213 常在於己—活I・活II・陽I・慶I・慶II・弘文・斯II・無窮・書陵・梅沢・斯I・宋版・治要 ①□□□□□□—武內・東大・筑波・足利・東洋・東急・道藏

1214 不復—差惑也—活I・活II・足利 ①□□□□□□或□—陽I・武內・慶I・慶II・筑波・弘文・斯II・無窮・書陵・梅沢・斯I・治要 ①□□□□□□或□—東大 ②□□□□□□或□—東急 ②□□□□□□或□—東洋 ②□□□□□□或□—宋版 ③□□□□□□有□或□—道藏

46 朽經 1215 復飯—慶II・筑波 ①□歸—活I・活II・陽I・武內・東大・慶I・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・陽II・東急・斯I・宋版・道藏 ①□□—六地(以下四十二字欠)

1216 於無極—活I・活II・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・陽II・東急・斯I・宋版・道藏 ①□□—武內・東大・慶I

1217 注 德—活I・活II・陽I・武內・東大・慶I・慶II・筑波・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯I・宋版・道藏 ①復—弘文

1218 不差惑—活I・活II・足利 ①□□或□—陽I・武內・慶I・筑波・弘文・斯II・無窮・書陵・東急・斯I・梅沢? ①□□或□—宋版・道藏 ①□□或□—東洋 ①□□或□—東大 ①□□或□—慶II

1219 長生久壽—活I・活II・陽I・武內・東大・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯I・宋版 ①久壽長生—道藏

1220 復飯身—東大・慶II・筑波・弘文・斯II・書陵・東洋 ①□歸—活I・活II・陽I・武內・慶I・足利・無窮・梅沢・東急 ②歸—斯I・宋版・道藏

1221 於無窮極也—活I・活II・慶II・弘文・足利・無窮・書陵・梅沢・東急・宋版 ①□□□□□□—陽I・武內・東大・慶I・筑波・斯II・東洋・斯I ②□□□□□□—道藏

46 注 1222 喻尊貴—活I・活II・陽I・慶I・慶II・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・斯I・宋版・道藏 ①論□□—武內・東大・筑波・東洋・梅沢・東急 ①□□□□□□—治要(以下九字無し)

1223 喻汗濁也—活I・活II・陽I・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・道藏 ①論□□□—武內・東大・梅沢・東急 ①□□□□□—斯I・宋版

1224 人能知—活I・活II・陽I・武內・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・梅沢・東急 ①□□□□□—東大・東洋・宋版 ②□□□□□—斯I・道藏

1225 天下飯之—武內・東大・慶II・筑波・弘文・斯II・東洋 ①□□歸—活I・活II・陽I・慶I・足利・無窮・書陵・梅沢・東急・斯I・宋版・道藏・治要

1226 水流入於深谷—也—活I・活II・陽I・武內・東大・慶I・慶II・筑波・足利・無窮・書陵・梅沢 ①□□□□□□者□—東洋 ①□□□□□□焉—弘文・斯II ①□□□□□□—東急・斯I・宋版・道藏 ②□□□□□□—治要

46 注 1227 常止於己也—活I・活II・陽I・武內・東大・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急 ①□□□□□—斯I ②□□□□□□—宋版・道藏

46 55 經 1228 復飯—慶II・筑波・書陵 ①□歸—活I・活II・陽I・武內・慶I・弘文・足利・斯II・無窮・東洋・梅沢・陽II・東急・斯I・宋版・道藏 ①德□□—東大

1229 於樸—活I・活II・陽I・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・梅沢・陽II・東急・道藏 ①□□—武內・東大・東洋・斯I・宋版

注 1230 當—飯身—慶II・筑波・斯II・書陵・東洋 ①□歸—活I・活II・陽I・武內・東大・慶I・弘文・足利・無窮・梅沢・斯I・宋版・道藏 ②□常歸—東急

1231 於質樸—活I・活II・陽I・慶I・慶II・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・梅沢・東急・道藏 ①□□—武內・東大・筑波・東

洋・斯I・宋版」

1232 不 活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・筑波・弘文・足利・

斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯I・宋版・道藏」①散
則一慶II」

1233 不 為文飾也一活I・活II・陽I・書陵・東急」①

斯II・東洋」②復不 武内・慶I・筑波・弘文・足利・

②復 梅沢・斯I・宋版・道藏」

46 71 經 1234 樸散則為器一活I・活II・陽I・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・

斯II・無窮・書陵・梅沢・陽II・東急・道藏」①朴 武
内・東大・東洋・斯I・宋版」

注 1235 万物之樸一活I・活II・陽I・慶I・慶II・筑波・足利・斯II・

無窮・書陵・梅沢・東急・道藏」① 弘文」① 朴
武内・東大・東洋・斯I・宋版」

1236 為器用也一活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・

弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯I・宋版」
① 道藏」

1237 道散 為神明一活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑
波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急」①

則 斯I・宋版・道藏」

1238 流為日月一活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・

弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯I・宋版」
① 道藏」

1239 分為五行也一活I・活II・陽I・東大・慶I・慶II・筑波・弘
文・足利・斯II・無窮・書陵・東急・斯I・宋版」①

武内・梅沢・道藏」① 者 東洋」

47 打 經 1240 用之則為官長一活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑
波・足利・斯II・無窮・書陵・東急・斯I・宋版・道藏」①

弘文・東洋・梅沢・陽II」

注 1241 聖人升用一活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・

弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・宋版・道藏」

① 外 斯I」

1242 為 百官之元長 一 武内・東大・慶I・慶II・筑波・足利・無窮・書陵・東洋・梅沢・

東急・斯I・宋版・道藏」② 散 弘文」②

47 71 注 1243 制御天下 一 活I・活II・陽I・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・

斯II・無窮・書陵・梅沢・斯I・宋版・道藏」① 御制 武内・

東大・東洋・東急」

1244 無所傷割一活I・活II・慶II・弘文・足利・無窮・書陵・梅沢・

東急」① 无 陽I・武内・東大・慶I・筑波・斯II・東洋・

1245 治身則以大道一活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑
波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・道藏」

① 天 斯I・宋版」

1246 制 情欲一活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・

弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯I・宋版」
① 御 道藏」

1247 不害 精神也一活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑
波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯I・

宋版」② 於 道藏」

48 41 注 1248 無為 第二十九 一 活I・活II・陽I・斯I・宋版・道藏」

廿九 梅沢」① 章 廿九 武内・東大・東洋」② 將欲章

48 42 注 1249 欲為天下主也 一 活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑
波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・六地・陽II・東急」

宋版・治要」① 道藏(次經文句下有、次項參
照)」

48 43 注 1250 一 活I・活II・陽I・武内・東大・

慶Ⅰ·慶Ⅱ·筑波·弘文·足利·斯Ⅱ·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯Ⅰ·宋版·治要」①將欲取天下欲為天下主也而為之一道藏」

1251 欲以有為治民也一活Ⅰ·活Ⅱ·陽Ⅰ·慶Ⅱ·筑波·弘文·足利·斯Ⅱ·無窮·書陵·梅沢·治要」①

慶Ⅰ·東洋·東急·斯Ⅰ·宋版·道藏」

48 41 注 1252 天道惡煩濁一活Ⅰ·活Ⅱ·陽Ⅰ·武內·東大·慶Ⅰ·慶Ⅱ·筑波·弘文·足利·斯Ⅱ·書陵·東急·斯Ⅰ·宋版·道藏」

道藏·治要」①

1253 人心惡多欲也一活Ⅰ·活Ⅱ·陽Ⅰ·慶Ⅰ·慶Ⅱ·筑波·足利·斯Ⅱ·無窮·書陵·梅沢·東急·道藏」①

大·弘文·東洋·斯Ⅰ·宋版·治要」

48 41 經 1254 不可為也一活Ⅰ·活Ⅱ·陽Ⅰ·武內·東大·無窮·東洋·梅沢·陽Ⅱ·斯Ⅰ·宋版·道藏·治要」①

弘文·足利·斯Ⅱ·書陵·六地·東急」

注 1255 天下之神物也一活Ⅰ·活Ⅱ·陽Ⅰ·慶Ⅰ·慶Ⅱ·筑波·弘文·足利·無窮·書陵·梅沢·東急·斯Ⅰ·宋版·道藏·治要」①

利·無窮·書陵·梅沢·東急·斯Ⅰ·宋版·道藏·治要」①

1256 神物好安靜一活Ⅰ·活Ⅱ·陽Ⅰ·武內·東大·慶Ⅰ·慶Ⅱ·筑波·弘文·足利·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯Ⅰ·宋版·道藏·治要」①

不可有為治也一活Ⅰ·活Ⅱ·陽Ⅰ·慶Ⅰ·慶Ⅱ·筑波·弘文·足利·斯Ⅱ·無窮·書陵·東急·治要」①

足利·斯Ⅱ·宋版·道藏」①

武內」

48 41 經 1258 為者則敗之一活Ⅰ·活Ⅱ·陽Ⅰ·武內·東大·慶Ⅰ·慶Ⅱ·筑波·弘文·足利·斯Ⅱ·書陵·東洋·六地」①

無窮·梅沢·陽Ⅱ·東急·斯Ⅰ·宋版·道藏·治要」

注 1259 敗其質性也一活Ⅰ·活Ⅱ·陽Ⅰ·武內·東大·慶Ⅰ·慶Ⅱ·筑波·弘文·足利·斯Ⅱ·無窮·書陵·梅沢·東急·斯Ⅰ」①

筑波·弘文·足利·斯Ⅱ·無窮·書陵·梅沢·東急·斯Ⅰ」①

者一東洋」①

48 46 注 1260 強執取之一一活Ⅰ·活Ⅱ·陽Ⅰ·武內·東大·慶Ⅰ·慶Ⅱ·筑波·弘文·足利·斯Ⅱ·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯Ⅰ·宋版·道藏·治要」

則一活Ⅰ·活Ⅱ·陽Ⅰ·武內·東大·慶Ⅰ·慶Ⅱ·筑波·弘文·足利·斯Ⅱ·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·道藏·治要」①

人斯Ⅰ·斯Ⅱ·宋版」

1262 失其情實一活Ⅰ·活Ⅱ·武內·東大·慶Ⅰ·慶Ⅱ·筑波·弘文·足利·斯Ⅱ·無窮·東洋·梅沢·斯Ⅰ·治要」①

情一宋版」②

1263 生詐偽也一活Ⅰ·活Ⅱ」①

奸一陽Ⅰ·武內·東大·慶Ⅰ·筑波·弘文·足利·斯Ⅱ·無窮·書陵·梅沢·東急」①

於一慶Ⅱ」②

於一斯Ⅰ」②

49 41 經 1264 故物或行或隨一活Ⅰ·活Ⅱ·陽Ⅰ·武內·東大·慶Ⅰ·慶Ⅱ·筑波·弘文·足利·斯Ⅱ·無窮·書陵·東洋·梅沢·六地·陽Ⅱ·東急·宋版·道藏」①

夫一斯Ⅰ」

注 1265 上所行一活Ⅰ·活Ⅱ·陽Ⅰ·武內·東大·慶Ⅰ·慶Ⅱ·筑波·弘文·足利·斯Ⅱ·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯Ⅰ·宋版」

道藏」

1266 下必隨之也一活Ⅰ·活Ⅱ·陽Ⅰ·武內·東大·慶Ⅰ·慶Ⅱ·筑波·弘文·足利·斯Ⅱ·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯Ⅰ·宋版」

道藏」

49 42 經 1267 或响或吹一活Ⅰ·活Ⅱ·陽Ⅰ·慶Ⅰ·慶Ⅱ·筑波·弘文·足利·斯Ⅱ·書陵·六地·陽Ⅱ·東急·斯Ⅰ·宋版·道藏」①

武內·東大·無窮·東洋·梅沢」

注 1268 响温也一活Ⅰ·活Ⅱ·陽Ⅰ·慶Ⅰ·慶Ⅱ·筑波·弘文·足利·斯

II·書陵·斯I·宋版·道藏」①□□□□—東急①响□□□—武內·無窮·東洋·梅沢」②煦湿□□—東大」

1269 有所温—活I·活II·陽I·武內·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I·宋版·道藏」
①□□□□—東大」

1270 必有所寒也—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I·宋版」
①□□□□—道藏」

49 43注 1271 有所強大—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I·宋版·道藏」
①□□□□—慶II」

1272 有所羸弱也—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I·宋版」
①□□□□—道藏」

49 44注 1273 有所危也—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急」①□□□□—斯I·宋版·道藏」

49 46注 1274 與治身也—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I·宋版」
②□□□□—道藏」

49 47注 1275 謂貪淫声色也—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·治要」
①□□□□—斯I·宋版·道藏」

1276 謂服飾飲食也—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I·治要」
①□□□□—飯□□□—慶II」①□□□□—宋版·道藏」

1277 謂宮室臺榭也—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·治要」①□□□□—無窮」①□□□□—斯I·宋版·道藏」

1278 行無為—活I·活II·陽I·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I·宋版·道藏」

陵·梅沢·東急·斯I·宋版·道藏」①□□□□—東大·慶I·慶II·東洋·治要」②得天□□—武內」

1279 天下自化—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·梅沢·東急·治要」①□□□□—者□□—東洋」①□□□□—斯I·宋版·道藏」

50 41 1280 儉武—第三十一—活I·活II·陽I·梅沢·斯I·宋版·道藏」①□□□□—章□□□□—武內·東大·東洋」②以道佐—章□□□□—慶I」②以道佐人主章□□□□—慶II·筑波·弘文」②

50 43經 1281 佐人主者—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·六地·陽II·東急·斯I·宋版·道藏」①□□□□—治要」

注 1282 人主能以道—活I·活II·陽I·武內·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·梅沢·東急·斯I·宋版·道藏·治要」
①□□□□—東大·東洋」

1283 自輔佐也—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I·宋版」①□□□□—化□□□—筑波」①□□□□—之矣—道藏」①□□□□—治要」

50 45經 1284 強於天下—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·六地·陽II·東急·斯I·道藏·治要」①□□□□—宋版」

注 1285 以道自佐之主不以兵革—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I·宋版·道藏」①□□□□—章—筑波」①□□□□—治要」

1286 敵人自服也—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急」①□□□□—斯II」①□□□□—斯I·宋版·道藏·治要」

50 44注 1287 不怨於人也—活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東洋·梅沢·東急·斯I·宋版」

①□□□□□道藏

50 66 經 1288 師之所處一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 筑波 · 弘文 · 足利 ·

斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 六地 · 陽 II · 東急 · 宋版 · 道藏 ·

治要 ①帥□□□慶 I · 慶 II ①歸□□□斯 I

注 1289 農叟廢一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 ·

弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版 ·

治要 ①謂□□□道藏

1290 田不修也一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 ·

足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 東急 · 斯 I ①而□□□弘

文 ①□□□□之梅沢 ①□□□□宋版 · 道藏 · 治要

50 78 經 1291 大軍之後一活 I · 活 II · 陽 I · 慶 I · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II ·

無窮 · 書陵 · 梅沢 · 六地 · 陽 II · 東急 · 斯 I · 宋版 · 道藏 · 治要

①□□□□武內 · 東大 · 東洋 ①□□□□后慶 II

1292 必有凶年一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 ·

足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 六地 · 陽 II · 東急 · 斯 I ·

宋版 · 道藏 · 治要 ①□□□□弘文

注 1293 以惡氣一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 弘文 · 足

利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 治要

①□□□鬼一筑波 ①□□□殺□道藏

1294 害五穀一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘

文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版 ·

治要 ①傷□□道藏

1295 五穀尽一活 I · 活 II · 武內 · 東大 · 慶 I · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 無

窮 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 宋版 · 道藏 ①□□□陽 I · 慶 II · 足

利 · 書陵 · 斯 I ①□□□道藏

1296 則傷人也一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 ·

弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 梅沢 · 東急 ①□□□者□東

洋 ①□□□□斯 I · 宋版 ①即□□□道藏 ①□□□

51 1 經 1297 故善者一武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無

窮 · 東洋 · 梅沢 · 陽 II · 東急 ①□□□活 I · 活 II · 陽 I · 書

陵 · 六地 · 斯 I · 宋版 · 道藏 · 治要

1298 果而已一活 I · 活 II · 武內 · 東大 · 無窮 · 東洋 · 梅沢 · 陽 II ·

東急 · 斯 I · 宋版 · 道藏 · 治要 ①□□□矣陽 I · 慶 I · 慶 II ·

筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 書陵 · 六地

注 1299 行善者一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 ·

弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 治要

②□□□兵□宋版 ②□□□用兵道藏

1300 不休也一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 ·

足利 · 斯 II · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 治要 ①□□□弘文

①□□□之□無窮 ①□□□□斯 I · 宋版 ②□□□美之道藏

51 16 經 1301 不敢以取強焉一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 II · 筑波 · 弘

文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 六地 · 陽 II · 斯 I

①敢不□□□慶 I ①□□□□東急 ①□□□□

宋版 · 道藏 · 治要

注 1302 不以一活 I · 活 II · 陽 I · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯

II · 無窮 · 書陵 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 道藏 ①敢□□武

內 · 東大 · 東洋 · 治要

1303 取強大之名也一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II ·

筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版 ·

道藏 ①□□□□者□東洋 ①□□□□道藏

51 17 經 1304 果而勿矜一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 ·

足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 六地 · 陽 II · 東急 · 斯 I ·

宋版 · 道藏 · 治要 ①□□□矜勿東大

注 1305 當果敢謙卑一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 ·

弘文 · 足利 · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 道藏 ·

治要 ①□□□謹□斯 II

1306 勿自矜大也一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 筑波 · 弘

文 · 足利 · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 道藏

①忽□□□□斯 II ①□□□□慶 II ①□□□□

治要

51 72 經 1307 果而勿伐 | 活 I · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 ·

足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 六地 · 陽 II · 東急 · 斯 I · 宋版 · 道藏 · 治要 ① □ □ □ □ 代 | 活 II ①

注 1308 勿自伐取其美也 | 活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 慶 I · 慶 II · 筑波 ·

弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 道藏 ① 乃 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ 宋版 ① □ □ □ □ 甚 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ 義 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ 東大 · 書陵 · 東洋 · 梅

沢 ① □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ 東急 ① □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ 治要 ①

51 73 注 1309 驕欺也 | 活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘

文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 道藏 ① □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ 治要 ①

1310 果敢勿以驕欺也 | 活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II ·

弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 ① □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ 治要 ① □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ 筑波 ① □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ 人 | 斯

I · 宋版 · 道藏 ①

51 74 注 1311 當果敢至誠 | 活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 筑波 · 弘文 ·

足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 道藏 ① □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ 慶 II ①

1312 不當 | 活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 ·

弘文 · 足利 · 斯 II · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版 ① □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ 道 | 無窮 ① □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ 道藏 ①

1313 不得已也 | 活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 ·

弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版 ① □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ 書陵 · 道藏 ①

51 76 注 1314 勿以 | 活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘

文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 ① □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ 為 | 斯

I · 宋版 · 道藏 · 治要 ①

1315 強兵堅甲 | 活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 ·

弘文 · 足利 · 斯 II · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 道藏 ① □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ 牢 | 無窮 ① □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ 治要 ①

1316 侵凌 | 人也 | 活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 慶 I · 慶 II · 書陵 · 東急 ① 以

□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ 武內 · 東大 · 慶 I · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 無窮 · 梅沢 · 斯 I · 宋版 · 道藏 · 治要 ② 以 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ 東洋 ③ 以備 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ 足利 ①

51 78 經 1317 物壯則老 | 活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 ·

足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 六地 · 陽 II · 東急 · 斯 I · 宋版 · 道藏 ① □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ 慶 I ①

注 1318 草木壯極 | 活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 ·

斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 道藏 ① □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ 武內 · 慶 I ①

1319 則衰老也 | 活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 ·

弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版 ① □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ 道藏 ①

1320 不可以 | 久也 | 活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 慶 I · 慶 II · 書陵 · 東急 · 斯 I ·

道藏 ① □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ 武內 · 東大 · 慶 I · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 無窮 · 梅沢 ② □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ 東洋 ② □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ 長 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ 足利 ②

② □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ 宋版 ①

51 79 注 1321 不行道也 | 活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 ·

弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 斯 I · 宋版 ① □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ 東急 · 道藏 ①

52 杜經 1322 不道早已 | 活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 ·

弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 東洋 · 六地 · 陽 II · 東急 · 宋版 · 道藏 ① □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ 書陵 ① □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ 亡 | 梅沢 · 斯 I ①

注 1323 早死也 | 活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足

利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 ① 甲 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ 活 II ① □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ 斯 I · 宋版 · 道藏 ①

53 杜 1324 偃武 | 第三十一 | 活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 慶 I · 慶 II · 筑波 ·

□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ 卅一 | 梅沢 ① □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ 東大 ① □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ 武內 · 東洋 ② 夫飾章 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ 慶 I · 筑波 ② 夫佳章 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ 弘文 ② 夫佳兵章 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ 慶 II ②

53 42 經 1325 夫飭兵者一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 六地 · 陽 II · 東急

弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 六地 · 陽 II ① □ 佳 □ □ 一東急 · 斯 I · 道藏 ② □ 佳 □ □ 一宋版

注 1326 不善人之器也一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 道藏 ① □ □ □ □ □ □ □ □ 一斯 II

1327 不當修飾也一活 I · 活 II · 陽 I · 東大 · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 梅沢 ① □ □ □ □ □ □ □ □ 之 一武內 · 東洋 · 斯 I · 宋版 ① □ □ □ □ □ □ □ □ 一慶 I ① □ □ □ □ □ □ □ □ 一東急 · 道藏

53 45 經 1328 物有惡之一活 I · 活 II · 陽 I · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 六地 · 陽 II · 東急 ① □ □ □ □ □ □ □ □ 一武內 · 東大 · 東洋 · 梅沢 · 斯 I · 宋版 · 道藏

注 1329 無有一活 I · 活 II · 慶 II · 弘文 · 足利 · 無窮 · 書陵 · 梅沢 · 東急 · 宋版 · 道藏 ① 无 □ □ □ □ □ □ □ □ 一陽 I · 東大 · 慶 I · 筑波 · 斯 II · 東洋 · 斯 I ② 无 无 一武內

1330 不惡之也一活 I · 活 II · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 梅沢 ① □ □ □ □ □ □ □ □ 者 □ □ □ □ □ □ □ □ 一東洋 · 東急 ① □ □ □ □ □ □ □ □ 一陽 I · 斯 I · 宋版 · 道藏

53 47 注 1331 有道之人一活 I · 活 II · 陽 I · 書陵 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 道藏 ① 言 □ □ □ □ □ □ □ □ 一武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 東洋 · 梅沢

1332 不處其國也一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 ① □ □ □ □ □ □ □ □ 之 一梅沢 ① □ □ □ □ □ □ □ □ 一東急 · 斯 I · 宋版 · 道藏

53 48 經 1333 君子居則貴左一活 I · 活 II · 陽 I · 無窮 · 書陵 · 梅沢 · 六地 · 陽 II · 東急 · 宋版 · 道藏 ① 是以 □ □ □ □ □ □ □ □ 一武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 東洋 · 斯 I ① □ □ □ □ □ □ □ □ 一斯 II

注 1334 貴柔弱也一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 斯 II

弘文 · 足利 · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 道藏 ① □ □ □ □ □ □ □ □ 一斯 II

53 49 注 1335 實剛強也一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 道藏 ① □ □ □ □ □ □ □ □ 一慶 II ① □ □ □ □ □ □ □ □ 一筑波

1336 與君子道反一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版 ① □ □ □ □ □ □ □ □ 之道藏

1337 所貴者異也一活 I · 活 II · 陽 I · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東急 · 斯 I · 宋版 ① □ □ □ □ □ □ □ □ 之 一武內 ① □ □ □ □ □ □ □ □ 之 □ □ □ □ □ □ □ □ 一東大 · 東洋 · 梅沢 ② □ □ □ □ □ □ □ □ 一道藏

53 50 經 1338 故兵者一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 書陵 · 東洋 · 六地 ① □ □ □ □ □ □ □ □ 一東大 · 無窮 · 梅沢 · 陽 II · 東急 · 斯 I · 宋版 · 道藏

注 1339 兵革者一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 治要 ① □ □ □ □ □ □ □ □ 一書陵 ① □ □ □ □ □ □ □ □ 一道藏

1340 不善人之器也一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 斯 I ① □ □ □ □ □ □ □ □ 矣 一東急 ① □ □ □ □ □ □ □ □ 一筑波 · 梅沢 · 宋版 · 治要 ① □ □ □ □ □ □ □ □ 一道藏

53 51 注 1341 君子之一活 I · 活 II · 陽 I · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 ① □ □ □ □ □ □ □ □ 一武內 · 東大 · 筑波 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 道藏 ① □ □ □ □ □ □ □ □ 一治要

1342 所貴重器也一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版 ② □ □ □ □ □ □ □ □ 之道藏 ② □ □ □ □ □ □ □ □ 一治要

53 52 經 1343 而用之一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 六地 · 陽 II · 東急 · 斯 I · 宋版 · 道藏 · 治要 ① □ □ □ □ □ □ □ □ 一慶 II ① □ □ □ □ □ □ □ □ 一斯 II

注 1344 而用之一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 六地 · 陽 II · 東急 · 斯 I · 宋版 · 道藏 · 治要 ① □ □ □ □ □ □ □ □ 一慶 II ① □ □ □ □ □ □ □ □ 一斯 II

53 53 經 1345 而用之一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 六地 · 陽 II · 東急 · 斯 I · 宋版 · 道藏 · 治要 ① □ □ □ □ □ □ □ □ 一慶 II ① □ □ □ □ □ □ □ □ 一斯 II

注 1346 而用之一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 六地 · 陽 II · 東急 · 斯 I · 宋版 · 道藏 · 治要 ① □ □ □ □ □ □ □ □ 一慶 II ① □ □ □ □ □ □ □ □ 一斯 II

53 54 經 1347 而用之一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 六地 · 陽 II · 東急 · 斯 I · 宋版 · 道藏 · 治要 ① □ □ □ □ □ □ □ □ 一慶 II ① □ □ □ □ □ □ □ □ 一斯 II

注 1348 而用之一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 六地 · 陽 II · 東急 · 斯 I · 宋版 · 道藏 · 治要 ① □ □ □ □ □ □ □ □ 一慶 II ① □ □ □ □ □ □ □ □ 一斯 II

注1344 遭衰逢亂一活I・活II・陽I・武內・東大・慶I・慶II・筑波・

弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯I・治要

①□□逆□□一宋版①□□□禍一治要

1345 禍欲加万民一活I・活II・陽I・武內・東大・慶I・慶II・筑波・

弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯I・宋版

①亂□□萬□一治要①

1346 以自守也一活I・活II・陽I・慶I・慶II・弘文・足利・斯II・

無窮・書陵・梅沢・治要①□□□之□一東大・東洋①□□□

之□一武內①□□□一筑波・東急・斯I・宋版②

53 卍經1347 恬憍為上一活I・活II・陽I・慶I・慶II・筑波・弘文・斯II・

無窮・梅沢・六地・陽II・東急①□□□一足利・書陵①□□

恬□□一武內・東大・東洋・斯I・宋版・治要①□□淡□□一治

注1348 不食土地一活I・活II・陽I・武內・慶I・慶II・筑波・弘文・

足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯I・宋版・治要

①□□□一東大①雖得勝一治要

1349 利人財寶也一活I・活II・陽I・武內・慶I・慶II・筑波・

弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東急①不□□□一東

大①□□□之□一梅沢①□□□一斯I・宋

版・治要①□□□之□□□一東洋①不以為美利一治

54 卍經1350 勝而不美一活I・活II・無窮・東洋・梅沢・陽II・東急・斯I・

宋版・道藏・治要①□□□也一陽I・武內・東大・慶I・慶

II・筑波・弘文・足利・斯II・書陵・六地

注1351 不以為利美也一活I・活II・陽I・武內・東大・慶I・慶II・

筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東急①□□□

矣一東洋①□□□一梅沢・治要①而□□□

斯I②而□□□一宋版②□□□美利一治

54 卍經1352 樂殺人也一活I・活II・陽I・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・

斯II・無窮・書陵・梅沢・六地・陽II・東急・治要①致□□一

武內・東大・東洋①□□□一斯I・宋版・道藏

注1353 為喜樂殺人也一活I・活II・陽I・慶I・慶II・筑波・弘文・

足利・斯II・無窮・書陵・梅沢・東急①□□致□□一武內・

東大・東洋①□□□者□一斯I・宋版①樂美□□一

54 卍經1354 樂殺人者一活I・活II・陽I・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・

斯II・無窮・書陵・梅沢・六地・陽II・東急・斯I・宋版・道藏

治要①致□□一武內・東大・東洋

注1355 不可得志於天下矣一活I①□□以□□□一活I・活II・

陽I・武內・東大・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・

梅沢・六地・陽II・東急・斯I・宋版・道藏・治要②□□以□

□□□一東洋

注1356 弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・斯I・治要①為

人君而一東急・宋版・道藏

1357 樂殺人者一活II・陽I・武內・東大・慶I・慶II・筑波・弘文・

足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢①教□□一活I①□

□□一東急・斯I・宋版・道藏①

1358 此不可使得志一活I・活II・陽I・武內・東大・慶I・慶II・

筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯I・

宋版①則□□□一治要

1359 制人命一活I・活II・陽I・武內・東大・慶I・慶II・弘文・

斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯I・宋版①□□人

筑波①制□□一足利①性□一治要

1360 妄行刑誅也一活I・活II・陽I・武內・東大・慶I・慶II・

筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・梅沢①□□□

斯I・宋版①□□誅戮一治要②□□則□□一東急

②□□不□□者□一東洋②

54 71 經1361 吉支上左一活 I · 活 II · 陽 I · 無窮 · 書陵 · 梅沢 · 六地 · 陽 II ·

東急 · 斯 I · 治要 ①故 □ □ □ □ □ □ 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 東洋 ①尚 □ □ □ □ □ □ 宋版 · 道藏 ①

注1362 左生位也一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 道藏

54 72 經1363 凶支上右一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 ·

弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 六地 · 陽 II · 東急 · 斯 I · 治要 ①尚 □ □ □ □ □ □ 宋版 · 道藏 ①

注1364 陰道殺人也一活 I · 活 II · 陽 I · 慶 I · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 ①尚 □ □ □ □ □ □ 是以一慶 II ①言 □ □ □ □ □ □ 東急 · 斯 I · 宋版 ①致 □ □ □ □ □ □ 武內 · 東大 ①言 □ □ □ □ □ □ 治要 ①言 □ □ □ □ □ □ 東急

大 ②致 □ □ □ □ □ □ 東洋 ③主 □ □ □ □ □ □ 道藏 ①致 □ □ □ □ □ □ 武內 · 東大 ①言 □ □ □ □ □ □ 治要 ①言 □ □ □ □ □ □ 東急

54 76 經1365 偏將軍一活 I · 活 II · 陽 I · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 六地 ·

陽 II · 東急 · 宋版 · 道藏 · 治要 ①是以 □ □ □ □ □ □ 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 宋版 ①

注1366 居左一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 六地 · 陽 II · 宋版 ①処 □ □ □ □ □ □ 慶 I · 東急 · 斯 I · 道藏 · 治要 ①

注1367 居左者一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 斯 I ①陽

□ □ □ □ □ □ 宋版 · 治要 ②陽位一道藏 ①弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 宋版 · 道藏 · 治要 ①陽者 □ □ □ □ □ □ 斯 I

1368 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 宋版 · 道藏 · 治要 ①陽者 □ □ □ □ □ □ 斯 I

1369 不專殺也一活 I · 活 II · 陽 I · 慶 I · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 治要 ①致 □ □ □ □ □ □ 武內 · 東大 · 東洋 ①致 □ □ □ □ □ □ 道藏

東洋 ①致 □ □ □ □ □ □ 道藏 ①致 □ □ □ □ □ □ 武內 · 東大 · 東洋 ①致 □ □ □ □ □ □ 道藏

54 77 經1370 上將軍居右一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 ·

弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 六地 · 陽 II · 宋版 ①尚 □ □ □ □ □ □ 東急 · 斯 I · 道藏 · 治要 ①

注1371 尊而一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 道藏 ①專

□ □ □ □ □ □ 筑波 ①尚 □ □ □ □ □ □ 治要 ①

1372 居右者一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版 ①

1373 以其主殺也一活 I · 活 II · 陽 I · 慶 I · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 梅沢 · 斯 I ①尚 □ □ □ □ □ □ 矣一治要 ①

利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 梅沢 · 斯 I ①尚 □ □ □ □ □ □ 矣一治要 ①言 □ □ □ □ □ □ 致 □ □ □ □ □ □ 武內 · 東大 ①言 □ □ □ □ □ □ 治要 ①言 □ □ □ □ □ □ 東急

55 72 注1374 上將軍於右一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版 ①尚 □ □ □ □ □ □ 居一治要 ①

1375 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 治要 ①主喪禮一治要 ①

1376 喪禮上右一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 治要 ①尚 □ □ □ □ □ □ 斯 I · 宋版 · 道藏 ①

1377 死人貴險也一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 道藏 ①

道藏 ①

55 74 經1378 殺人衆一活 I · 活 II · 陽 I · 慶 II · 無窮 · 書陵 · 六地 ①

多一筑波 · 慶 I · 弘文 · 足利 · 斯 II ②致 □ □ □ □ □ □ 東大 ②

1379 以悲哀泣之一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東洋 · 梅沢 · 六地 · 陽 II · 東急 · 宋版 ·

道藏 ①

道藏 ①

道藏・治要①□□□□位□□□□足利①

注1380以道化人一活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・

弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯I・宋版・

治要①□□□□民一道藏

1381害無辜之民也一活I・活II・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・梅

沢・東急①□□□□□□□□□□武内・慶I・慶II・筑波・東洋①

□□□□□□□□□□道藏②□□□□□□□□□□斯I・宋版②□□□□□□

□□□□□□□□□□陽I・東大③□□□□□□□□□□臣一治要

55 10 經1382戰勝以喪禮處之一活I・活II・陽I・武内・東大・慶II・書陵・

東洋・六地・東急・斯I・宋版①□□□□□□□□□□則□□□□□□□□□□慶I・筑

波・弘文・足利・斯II・梅沢・陽II・道藏・治要①□□□□□□□□□□利□□□□

□□□□□□□□□□無窮

注1383居喪主之位一活I・活II・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・斯

II・無窮・書陵・治要①□□□□□□□□□□禮□□□□□□□□□□陽I・武内・東大・東

洋・梅沢・東急・斯I①□□□□□□□□□□禮□□□□□□□□□□宋版・道藏

1384素服而哭之一活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・弘文・

足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯I・宋版・道藏・

治要①□□□□□□□□□□器□□□□□□□□□□筑波

1385誅不祥一活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・

弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯I・宋版・

治要②而□□□□□□□□□□也一道藏

1386比於喪也一活I・活II・武内・東大・慶I・慶II・筑波・弘文・

足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・宋版・道藏・治要

①□□□□□□□□□□一斯I①□□□□□□□□□□陽I

1387慶I・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・

東急・斯I・治要①知後世用兵不已故悲痛之宋版①知

後世用兵不已故悲而痛之矣一道藏

1388聖德第三十二一活I・活II・陽I・斯I・宋版・道藏□□□□

弟卅二一梅沢①□□□□□□□□□□章□卅二一武内・東洋①□□□□

□□□□□□□□□□東大②道常章□□□□□□□□□□慶I②道常

無名章□□□□□□□□□□筑波②道常無名章□卅二一慶II・弘文②

無窮・書陵・六地・陽II・東急

56 12 經1389道常無名一活I・活II・陽I・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・

斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・陽II・東急・斯I・宋版・道藏

①□□□□□□□□□□武内・東大・六地

注1390能張能存一活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・

弘文・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯I・宋版・道藏

①能亡一活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・弘文・

斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯I・宋版・道藏①□□

已一足利

1392無常名也一活I・活II・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・梅沢・

東急・宋版・道藏①□□□□□□□□□□陽I・武内・東大・慶I・慶II・

筑波・東洋・斯I

56 14 經1393樸雖小一活I・活II・陽I・東急・道藏①樸□□□□□□□□□□武内・東大・

慶I・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・

六地・陽II・斯I・宋版

注1394道樸雖小一活I・活II・陽I・東大・筑波・東急・道藏①□□□□

□□□□□□□□□□武内・慶I・慶II・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東洋・

梅沢・斯I・宋版

1395微妙無形一活I・活II・筑波・弘文・足利・無窮・書陵・梅沢・

東急・宋版・道藏①□□□□□□□□□□陽I・武内・東大・慶I・慶II・

斯II・東洋・斯I

1396天下活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・弘文・

足利・斯II・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯I・宋版①

□□□□□□□□□□道藏

1397不敢有臣使道者也一活I・活II・陽I・武内・東大・東洋・慶I・

慶II・筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・梅沢・東急・宋版

①□□□□□□□□□□一斯I・道藏

57 8 經 1398 若能守之—活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 東洋 · 慶 II · 筑波 ·

弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 梅沢 · 六地 · 陽 II · 東急 · 斯 I · 宋版 · 道藏」①□□□□—慶 I」

注 1399 守道無為—活 I · 活 II · 陽 I · 慶 II · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 梅沢 · 東急」①□□□□—武內 · 東大 · 東洋 · 慶 I · 筑波 · 斯 I · 宋版」②□□□□—道藏」

1400 從於德化也—活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東急 · 斯 I」①□□□□者□—東洋」①□□□□也—梅沢」①□□□□—弘文 · 道藏」①□□□□—宋版」

57 9 4 注 1401 与天地相應合—活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 東洋 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 梅沢 · 東急 · 斯 I」

①□□□□—宋版」①□□□□—道藏」

1402 天則—活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 東洋 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 梅沢 · 東急」①□□□□—斯 I」①□□□□—宋版」①則天—道藏」

1403 下甘露善瑞也—活 I · 活 II · 陽 I · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 無窮 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版」①□□□□—足利」①□□□□—書陵」①□□□□—武內 · 東洋」①降□□□□—道藏」

57 9 8 經 1404 民莫之令—活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 東洋 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 六地 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 道藏」①人□□□—梅沢 · 陽 II」

1405 而自均焉—活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 東洋 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 梅沢 · 六地 · 陽 II · 東急」①□□□□—斯 I · 宋版 · 道藏」

注 1406 天降善瑞—活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 東洋 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版」①□□□□—道藏」

1407 莫有教令之者—活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 東洋 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版」①□□□□—道藏」

II · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 道藏」①□□□□—足利」

1408 皆自均調—活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 東洋 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版」①而□□□□—道藏」①□□□□—足利」

1409 若一也—活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 東洋 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版」②如□□—道藏」

58 2 注 1410 有名万物也—活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 東洋 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版」①□□□□—道藏」

1411 道無名—活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 東洋 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 道藏」①□□□□—武內 · 東大 · 東洋 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 斯 II · 斯 I」

1412 制於有名—活 I · 活 II · 陽 I · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 書陵 · 斯 I · 宋版 · 道藏」①□□□□—武內 · 東大 · 東洋 · 無窮 · 梅沢 · 東急」

1413 無形—活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 東洋 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 道藏」①□□□□—武內 · 東大 · 東洋 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 斯 I」

1414 能制有形也—活 I · 活 II · 陽 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 梅沢」①□□□□—武內 · 東大 · 東洋 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版」①□□□□—東急」①□□□□—於

58 3 注 1415 有名之物—活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 東洋 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 道藏」①□□□□—慶 II」

1416 盡有情欲—活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 東洋 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 道藏」①益□□□—筑波」

1417 叛道一活I・活II・陽I・武内・東大・東洋・慶I・筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・梅沢・東急・斯I・宋版・道藏」①類□一慶II

1418 身毀辱也一活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・梅沢・東急・斯I・宋版」①□□一東洋・道藏

58 村注1419 法道行徳一活I・活II・陽I・武内・東大・東洋・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・梅沢・東急・斯I・道藏」①去□□一宋版

1420 将自知之也一活I・活II・東大・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・梅沢」①□□□□者一東洋

58 村注1421 則神靈祐助一活I・活II・陽I・武内・東大・東洋・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・梅沢・東急・斯I・宋版」①□□明□一道藏

1422 不復危殆也一活I・活II・陽I・慶I・弘文・無窮・書陵」(上)欠□一杏雨」①□□□□一武内・東洋・梅沢・斯I・宋版・道藏」①則□□□□一筑波・慶I・足利・斯II

58 引經1423 道之在天下一活I・活II・陽I・武内・東大・東洋・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・梅沢・東急・斯I・宋版・道藏」杏雨」①□□□□一梅沢・陽II・東急

1424 猶川谷之與江海一活I・活II・東洋・慶I・無窮・東急・斯I・宋版・道藏」杏雨」①□□□□也一陽I・武内・慶II・筑波・足利・斯II・書陵・六地」①□□□□一東大」①□□□□一梅沢・陽II」②□□□□於□□也一弘文

注1425 警言一活I・活II・陽I・東大・東洋・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・梅沢・東急・斯I・杏雨」①□□一武内・道藏」①言□一宋版

1426 道之在天下一活I・活II・陽I・武内・東大・東洋・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・梅沢・斯I・宋版・杏雨」①□□□□一東急・道藏

1427 川谷之與江海一活II・筑波・弘文・足利・斯II・無窮・梅沢・東急・杏雨」①□□□□一活I・陽I・武内・東大・東洋・慶I・慶II・書陵・斯I・宋版」②□□□□之一道藏

1428 流相通也一活I・活II・陽I・武内・東大・東洋・慶I・慶II・筑波・弘文・斯II・無窮・書陵・斯I・杏雨」①□□□□之□一梅沢」①□□□□一足利」①□□□□一東急」①相流□□一宋版」②相流□□一道藏

59 村1429 辨徳第三十三一活I・活II・陽I」□□□□弟卅三一梅沢」①辯□□□□一斯I・宋版・道藏」①□□□□章□□□□一東大」①□□□□章□卅三一武内・東洋」②知人□□章□□□□一慶I」②知人□□章□卅三一弘文」②知人者智章□□□□一筑波」②知人者□□章□卅三一足利・斯II・無窮・書陵・杏雨・六地・陽II・東急

59 村注1430 是智也一活I・活II・陽I・武内・東大・東洋・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・梅沢・東急・杏雨」①□□□□一斯I・道藏・治要」②爲□□一宋版

59 村注1431 知賢不肖一活I・活II・陽I・武内・東大・東洋・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・梅沢・東急・宋版・治要」杏雨」①□□□□一斯I・道藏

1432 是爲反一活I・活II・陽I・武内・東大・斯II・無窮・梅沢・東急・斯I・宋版・治要・杏雨」①□□□□外□□一東洋・書陵」①□□□□一弘文」①□□□□反外一足利」①□□□□一慶I・慶II・筑波」①□□□□一道藏

1433 聽無声一活I・活II・足利・無窮・書陵・梅沢・東急・宋版・道藏」杏雨」①□□□□一陽I・武内・東大・東洋・慶I・慶II・筑波・斯II・斯I・治要」①听□□一弘文

1434 内視無形一活I・活II・陽I・足利・斯II・無窮・書陵・梅沢

宋版·道藏·杏雨」①□□无□□武内·東大·東洋·慶I·慶II·筑波·弘文·斯I·治要」①□□□□□東急」

1435 為明也」活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·梅沢·東急·道藏·治要·杏雨」

①□□□□□斯I·宋版」①□□□□者□□東洋」

59 5注1436 不過以力也」活II」①□□□□盛□□□□活I·陽I·慶I·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·杏雨」①□□□□威□□□□武内·東大·東洋·梅沢·東急·斯I·宋版·治要·慶II?」②□□□□威□□□□筑波」③□□□□有威□□□□道藏」

1437 勝己情欲」活I·活II·陽I·武内·東大·東洋·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·梅沢·東急·斯I·宋版·治要·杏雨」①□□除去□□□□道藏」

1438 天下無有」活I·活II·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·梅沢·東急·宋版·道藏·杏雨」①□□□□无□□□□陽I·武内·東大·東洋·慶I·慶II·筑波·斯I·治要」

1439 能與己爭者」活I·活II·陽I·武内·東大·東洋·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·梅沢·東急·斯I·宋版·治要·杏雨」①□□□□□□□□道藏」

1440 為強也」活I·活II·陽I·武内·東大·東洋·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東急·治要」①□□□□矣也」梅沢」①□□□□□□□□杏雨·斯I·宋版」②□□□□□□□□道藏」

60 3注1441 知足」活I·活II·陽I·武内·東大·東洋·慶II·筑波·斯II·無窮·書陵·梅沢·東急·道藏·杏雨」①□□□□之」斯I」①□□□□之為足」慶I·弘文·足利·宋版」①□□□□之為足」治要」

1442 則長保福祿」活I·活II·陽I·武内·東大·東洋·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·梅沢·東急·斯I·宋版·道藏·杏雨」①□□□□□□□□治要」

1443 為富也」活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·

弘文·足利·斯II·無窮·書陵·梅沢·東急·斯I·宋版·治要·杏雨」①□□□□者□□東洋」

弘文·足利·斯II·無窮·書陵·梅沢·東急·斯I·宋版·治要·杏雨」①□□□□者□□東洋」①□□□□□道藏」

60 4注1444 強行者有志」活I·活II·陽I·武内·東大·東洋·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·梅沢·六地·陽II·東急·斯I·宋版·道藏·杏雨」①□□□□則□□□□治要」

注1445 強力行善」活I·活II·陽I·武内·東大·東洋·慶I·慶II·筑波·足利·斯II·無窮·書陵·梅沢·東急·斯I·宋版·治要·杏雨」①□□□□立□□□□道藏」

1446 有意於道」活I·活II·陽I·武内·東大·東洋·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·無窮·書陵·梅沢·東急·斯I·宋版·治要·杏雨」①□□□□斯II」①□□志□□□□道藏」

1447 道亦有意於人也」活I·活II·陽I·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東急·斯I·杏雨」①□□□□□□□□之□□梅沢」①□□□□□□□□□□武内·東大·東洋·宋版」②□□□□志□□□□□□□□道藏」②□□□□□□□□治要」

60 7注1448 其所受天之精氣」活I·活II·陽I·武内·東大·東洋·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·梅沢·東急·斯I·宋版·治要·杏雨」①□□□□□□□□□□東大」①□□□□愛□□□□□□道藏」①□□□□□□□□□□治要」

1449 可以長久也」活I·活II·陽I·武内·東大·東洋·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·梅沢·東急·杏雨」①□□□□□□□□□□治要」②□□□□□□□□□□宋版·道藏」

60 5注1450 不妄者壽」活I·活II·陽I·武内·東大·東洋·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·梅沢·六地·陽II·東急·杏雨」①□□□□□□□□□□宋版·道藏·治要」

60 6注1451 目不妄視」活I·活II·武内·東大·東洋·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·無窮·書陵·梅沢·東急·斯I·宋版·道藏·治要·杏雨」①日□□□□□□□□□□陽I」①自□□□□□□□□□□斯II」

1452 耳不妄聽」活I·活II·陽I·武内·東大·東洋·慶I·慶II·

442 則長保福祿」活I·活II·陽I·武内·東大·東洋·慶I·慶II·筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·梅沢·東急·斯I·宋版·道藏·杏雨」①□□□□□□□□治要」

1443 為富也」活I·活II·陽I·武内·東大·慶I·慶II·筑波·

筑波・足利・斯II・無窮・書陵・梅沢・東急・斯I・宋版・道藏・治要・杏雨」①□□□□听一弘文」

1453 □不妄語一活I・活II・陽I・武内・東大・東洋・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・梅沢・斯I・治要・杏雨」

①□□□□言一東急・宋版・道藏」

1454 無怨惡一活I・活II・筑波・弘文・足利・無窮・書陵・梅沢・東急・道藏・杏雨」①无□□□一陽I・武内・東大・東洋・慶I・慶II・斯II・斯I・宋版・治要」

1455 故長壽也一活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・無窮・書陵・梅沢・東急・治要・杏雨」①□□也矣一斯II」①□□□□者□一東洋」①□□□□一斯I・宋版」①得□□□一道藏」

62 1456 任成第三十四一活I・活II・陽I・斯I・宋版・道藏」□□□□卅四一梅沢」①□□□□章□□□□一東大」①□□□□章□卅四一武内・東洋」②大道章□□□□一慶I」②大道汜章□□□□一筑波」②大道汜章□卅四一慶II」②大道汎章□卅四一弘文」

②□□□□一足利・斯II・無窮・書陵・六地・陽II・東急・杏雨」

62 1457 大道一活I・活II・陽I・武内・東大・東洋・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・書陵・梅沢・六地・陽II・宋版・道藏・杏雨」

①□□□□一無窮・東急・斯I」

1458 汜兮一活I・活II・陽I・武内・東大・東洋・慶I・慶II・筑波・足利・斯II・無窮・書陵・梅沢・六地・陽II・東急・斯I・宋版・杏雨」①汎□一弘文・道藏」

注1459 言大道一活I・活II・陽I・武内・東大・東洋・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・梅沢・東急・宋版・杏雨」

1460 汜々一活I・活II・陽I・武内・東大・東洋・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・梅沢・東急・宋版・杏雨」①□□一斯I」①汎汎一道藏」

62 1461 若浮若沈一活I・活II・陽I・宋版」①沈□浮一武内・東大・東洋・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・梅沢・東急・斯I・道藏・杏雨」

1462 若有若無一活I・活II・陽I・筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・梅沢・東急・宋版・道藏・杏雨」①□□□□无一武内・東大・東洋・慶I・慶II・斯I」

1463 視之不見一活I・活II・陽I・武内・東大・東洋・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・梅沢・東急・斯I・宋版・杏雨」①□□□□有一道藏」

1464 難殊也一活I・活II・陽I・武内・東大・東洋・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・梅沢・東急・杏雨」①□□一斯I・宋版・道藏」

62 1465 可左可右一活I・活II・陽I・武内・東大・東洋・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・梅沢・東急・斯I・道藏・杏雨」①□□□□一宋版」

1466 無所一活I・活II・無窮・書陵・梅沢・東急・道藏・杏雨」①无□一陽I・武内・東大・東洋・慶II・筑波・斯I・宋版」①而□□一弘文・足利・斯II」②而无□一慶I」

1467 不宜也一活I・活II・陽I・武内・東大・東洋・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・梅沢・東急・杏雨」①□□一斯I・宋版・道藏」

62 1468 万物特之一活I・活II・陽I・武内・東大・東洋・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・梅沢・六地・東急・斯I・宋版・道藏・杏雨」①□□特□一筑波」①□□持□一陽II」

1469 而生一活I・活II・陽I・武内・東大・東洋・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・六地・陽II・東急・斯I・宋版・道藏・杏雨」①以□一梅沢」

注1470 待也一活I・活II・陽I・武内・東大・東洋・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・梅沢・東急・斯I・宋版・道藏・杏雨」

①特□□一慶II・筑波」

62 1471 待也一活I・活II・陽I・武内・東大・東洋・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・梅沢・東急・斯I・宋版・道藏・杏雨」

①特□□一慶II・筑波」

62 1472 待也一活I・活II・陽I・武内・東大・東洋・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・梅沢・東急・斯I・宋版・道藏・杏雨」

①特□□一慶II・筑波」

62 1473 待也一活I・活II・陽I・武内・東大・東洋・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・梅沢・東急・斯I・宋版・道藏・杏雨」

①特□□一慶II・筑波」

62 1474 待也一活I・活II・陽I・武内・東大・東洋・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・梅沢・東急・斯I・宋版・道藏・杏雨」

①特□□一慶II・筑波」

62 1475 待也一活I・活II・陽I・武内・東大・東洋・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・梅沢・東急・斯I・宋版・道藏・杏雨」

①特□□一慶II・筑波」

62 1476 待也一活I・活II・陽I・武内・東大・東洋・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・梅沢・東急・斯I・宋版・道藏・杏雨」

①特□□一慶II・筑波」

62 1477 待也一活I・活II・陽I・武内・東大・東洋・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・梅沢・東急・斯I・宋版・道藏・杏雨」

①特□□一慶II・筑波」

62 1478 待也一活I・活II・陽I・武内・東大・東洋・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・梅沢・東急・斯I・宋版・道藏・杏雨」

①特□□一慶II・筑波」

1471 皆待道一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 東洋 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 足利 · 無窮 · 書陵 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 道藏 · 杏雨 ① 得

一弘文 · 斯 II ① 恃 一宋版

1472 而生也一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 無窮 · 書陵 · 東急 ① 者 一東洋 ① 之 一

梅沢 ① 一杏雨 ① 一斯 II · 斯 I · 宋版 · 道藏 ① 不辭謝 一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 東洋 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 書陵 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 道藏 · 杏雨 ① 功 一無窮

1474 而逆止之也一活 I · 活 II · 陽 I · 慶 I · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 杏雨 ① 一慶 II ① 一武內 · 東大 · 東洋 · 斯 I · 宋版 ① 不 一梅沢 ① 一

道藏 ① 一東急 ② 一 一東急 · 道藏 · 杏雨 ① 一斯 I · 宋版 ① 一

63 11 經 1475 功成而不名有 一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 東洋 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 梅沢 · 東急 · 杏雨 ① 有 一斯 I · 宋版 · 道藏 ①

1477 不名有其功也 一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 慶 I · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東急 · 杏雨 ① 一者 一東洋 ① 一也 一梅沢 ① 一筑波 · 慶 II ① 一

其有 ① 一斯 I · 宋版 ② 一其有 ① 一 一道藏 ① 一

63 13 經 1478 愛養万物而不為主 一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 東洋 · 慶 I · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 梅沢 · 六地 · 陽 II · 東急 · 斯 I · 宋版 · 道藏 · 杏雨 ① 一慶 II ① 一

注 1479 不如主人 ① 一 一主人 一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 東洋 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 書陵 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 道藏 · 杏雨 ② 一常人 一無窮

1480 有所收取也 一活 I · 活 II · 筑波 · 足利 · 杏雨 ① 一 一斯

I · 道藏 ① 一聚 一陽 I · 慶 I · 慶 II · 弘文 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東急 ② 一聚 一武內 · 東大 · 東洋 ② 一集 一梅沢 ② 一放 一宋版

63 14 經 1481 常無欲 一活 I · 活 II · 武內 · 東大 · 東洋 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 道藏 · 杏雨 ① 无 一陽 I · 東大 · 慶 I · 六地 · 陽 II ① 一

1482 可名於小矣 一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 東洋 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 梅沢 · 六地 · 陽 II · 東急 · 道藏 · 杏雨 ① 一斯 I · 宋版 ① 一

注 1483 一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 東洋 · 慶 I · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 道藏 · 杏雨 ① 怕然靜形 一慶 II ① 一

1484 道匿德 一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 東洋 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 杏雨 ① 一跡 一 一道藏 ① 一

1485 怕然 一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 東洋 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 梅沢 · 斯 I · 杏雨 ① 泊 一東急 · 道藏 ① 恒 一宋版 ① 一

1486 無為 一活 I · 活 II · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 梅沢 · 東急 · 宋版 · 道藏 · 杏雨 ① 无 一陽 I · 武內 · 東大 · 東洋 · 慶 I · 慶 II · 筑波 · 斯 I ① 一

1487 似若微小也 一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 東洋 · 慶 I · 慶 II · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 東急 · 宋版 · 杏雨 ① 一者 一斯 I ① 一 一少 一筑波 · 梅沢 ① 一 一道藏 ① 一

63 19 經 1488 万物販焉而 一筑波 · 無窮 ① 一歸 一活 I · 活 II · 陽 I · 武內 · 東大 · 東洋 · 慶 I · 弘文 · 足利 · 斯 II · 書陵 · 梅沢 · 六地 · 陽 II · 東急 · 斯 I · 宋版 · 道藏 · 杏雨 ① 一而焉 一慶 II ① 一

注 1489 皆販道 一武內 · 東大 · 東洋 · 慶 I · 慶 II · 筑波 ① 一歸 一活 I · 活 II · 陽 I · 弘文 · 足利 · 斯 II · 無窮 · 書陵 · 梅沢 · 東急 · 斯 I ·

宋版·道藏·杏雨

1490 受氣■一活I·活II·陽I·武內·東大·東洋·慶I·慶II·筑

波·足利·無窮·書陵·梅沢·東急·斯I·宋版·杏雨①□□
也一「道藏」①愛□■一弘文·斯II

1491 道非如一活I·活II·陽I·武內·東大·東洋·慶I·慶II·筑

波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東急·斯I·宋版·道藏·
杏雨①□□■一梅沢

1492 人主有所禁止也一活I·活II·東大·筑波·弘文·足利·無窮·

梅沢·東急·斯I·宋版·杏雨①□□□□■一「道藏」①□□
■□□□□一陽I·武內·東洋·慶I·斯II·書陵①■□□
□□□□一慶II

63 72 經1493 可名為大矣一活I·活II·陽I·武內·東大·東洋·慶I·慶II·

筑波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·梅沢·東急·杏雨①□□
□□□■一斯I·宋版①□□於□□一「道藏」

注1494 使各自在一活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·弘文·

足利·無窮·梅沢·東急·斯I·杏雨①□名□□一東洋·筑波·
斯II·書陵·宋版①各使□□一「道藏」

1495 故可名於大也一活I·活II·陽I·武內·東大·東洋·慶I·慶II·

筑波·足利·斯II·無窮·書陵·梅沢·東急·斯I·道藏·
杏雨①□□□□■一弘文①□不若□□□一宋版

63 74 注1496 不為■滿大■也一活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·

筑波·弘文·足利·斯II·書陵·梅沢·東急①□□■□■
斯I·宋版·道藏①□□■□□者□一東洋①□□百□□■一

無窮

63 77 經1497 故能成其大■一活I·活II·陽I·武內·東大·東洋·筑波·無

窮·梅沢·陽II·東急·斯I·宋版·道藏①□□□□□也一慶
I·慶II·弘文·足利·斯II·書陵·六地

63 78 注1498 以身師導一活I·活II·陽I·武內·東大·東洋·慶II·筑波·

弘文·足利·斯II·書陵·梅沢·東急·斯I·宋版①□□帥□
慶I①□□飯□一無窮②□□率道一「道藏」

1499 故■一活I·活II·陽I·武內·東大·東洋·慶I·慶II·筑波·

弘文·足利·斯II·無窮·書陵·梅沢·東急·斯I①□能一宋
版·道藏

1500 成其大■也一活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑波·

弘文·足利·斯II·無窮·書陵·梅沢·東急①□□者□一東
洋①□□■一斯I·宋版·道藏

64 1 仁德■第三十五一活I·活II·陽I·斯I·宋版·道藏□□
■□卅五一梅沢①□□章□□一東大①□□章□卅

五一武內·東洋②執大象章□□一筑波·慶I②執大象章
□卅五一慶II·弘文②■□■一足利·斯II·無窮·

書陵·六地·陽II·東急

64 12 經1502 執大象■天下往一活I·活II·陽I·武內·東大·慶II·筑波·

弘文·足利·斯II·無窮·書陵·梅沢·六地·陽II·東急·斯I·
宋版·道藏①□□於□□一東洋·慶I

注1503 販往之■一武內·東大·東洋·慶II·筑波·弘文·斯II·無窮

①歸□□一活I·活II·陽I·慶I·足利·書陵·梅沢②歸
□□也一東急·斯I·宋版②歸□■也一「道藏」

64 73 注1504 往來於己■也一活I·活II·陽I·武內·東大·慶I·慶II·筑

波·弘文·足利·斯II·無窮·書陵·東急·斯I·宋版①□□
■□■一梅沢·道藏①□□□者□一東洋

64 74 經1505 安平太一慶I·筑波·弘文·斯II·無窮·梅沢·六地·斯I·宋

版①□□泰一「道藏」①□□大一活I·活II·陽I·武內·東大·
東洋·慶II·足利·書陵·陽II·東急

注1506 萬民一活I·活II·陽I·武內·東大·東洋·慶I·慶II·筑波·

弘文·足利·斯II·無窮·書陵·梅沢·東急①□物一斯I·宋
版·道藏

1507 販往一武內·東大·東洋·慶II·筑波·弘文·無窮①歸□一活

I·活II·陽I·慶I·足利·斯II·書陵·梅沢·東急·斯I·
宋版·道藏

1508 國家安寧一活I·活II·陽I·武內·東大·東洋·慶I·慶II·

筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・道藏
①□安家□—宋版

1509 而太平矣—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・

弘文・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急①□大□—東大・足
利①致□□□—宋版①而致□□□—斯Ⅰ・道藏

1510 身體安—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・梅沢①則□□□—武内・東大・
東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東急・
道藏②則□□□—斯Ⅰ・宋版

1511 大壽也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東大・無窮・斯Ⅰ・宋版①□□
—道藏①□□矣□—東洋①□□之□—梅沢①太□□—
武内・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東急

64 77 經 1512 樂與餌—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東大・東洋・慶Ⅰ・筑波・弘文・足
利・斯Ⅱ・無窮・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道藏

①□□甜—武内・慶Ⅱ・書陵

注 1513 餌美也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東大・東洋・慶Ⅰ・筑波・弘文・足
利・斯Ⅱ・無窮・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道藏①甜□□—武
内・慶Ⅱ・書陵

1514 能—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東大・東洋①人□—武内・慶Ⅰ・慶
Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・
宋版・道藏

1515 則一留止也—者—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・
慶Ⅱ・筑波・弘文・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版①□
□□—也□—足利①□□居□□□—道藏①□□□□□□□□
□—斯Ⅱ

1516 去盈而處虛—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・
筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版

①□□□□□—道藏

1517 忽々—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・
弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版①□
處—道藏

1518 如過客也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・
筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急①□□□□—
斯Ⅰ・宋版・道藏

65 11 經 1519 淡兮—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑
波・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急①□□
乎—斯Ⅰ・宋版・道藏①□々□—弘文

1520 其無味—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・足利・斯Ⅱ・無
窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道藏①□无□—武内・東
大・筑波・六地・陽Ⅱ①□味無—弘文

注 1521 道出入於口—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶
Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・
宋版①□止□□□—道藏

1522 淡々—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・筑波・弘文・
足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版①□—慶
Ⅱ①□然—道藏

1523 有酸鹹甘苦辛也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・斯Ⅰ①□□□□□□—
道藏①□□□苦甘□□—宋版①□□鹹□□□—武内・東大・
東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・
東急

65 16 注 1524 足得也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑
波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・道藏

①□德□—宋版

1525 道無形—活Ⅰ・活Ⅱ・慶Ⅱ・弘文・足利・無窮・書陵・梅沢・東
急・宋版・道藏①□无□—陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・筑
波・斯Ⅱ・斯Ⅰ

1526 有青黃白黑赤—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東洋・慶Ⅰ・筑波・弘文・足
利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ①□□□赤白黑—武
内・東大・慶Ⅱ・宋版・道藏

1527 可得見之也—活Ⅰ・活Ⅱ①□□□□—陽Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・斯
Ⅱ①□□□□—武内・東大・東洋・慶Ⅰ・筑波・足利・無窮

書陵・梅沢・東急・斯I・宋版・道藏

65 71注 1528 有宮商角徵羽一活I・活II・陽I・武内・東洋・慶I・弘文・足

利・斯II・無窮・書陵・梅沢・東急・斯I・宋版・道藏 ①

微一東大・筑波 ②害微一慶II

1529 可得聽聞也一活I・活II・陽I・武内・東大・東洋・慶I・筑

波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・東急・斯I・宋版 ①

之慶II ①之矣一梅沢 ①而道藏

65 72注 1530 一活I・活II・陽I・武内・東大・東洋・慶I・慶II・筑

波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・梅沢・東急・斯I・宋版

①既盡也一道藏

1531 用道一活I・活II・陽I・東大・東洋・慶II・筑波・無窮・

書陵・梅沢・東急・斯I・宋版 ①也一武内・慶I・弘文・

足利・斯II ①謂一道藏

1532 國富民昌一活I・活II・武内・東大・東洋・慶I・慶II・筑波・

斯II・無窮・書陵・梅沢・道藏 ①一陽I・足利・東急

①富民国一弘文 ①安一斯I・宋版

1533 無有一活I・活II・陽I・慶II・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・

梅沢・東急・宋版・道藏 ①无一武内・東大・東洋・慶I・筑

波・斯I

1534 既盡時也一活I・活II・陽I・武内・東大・東洋・慶I・慶II・

筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・梅沢・東急・斯I・宋版

①之

66 61 1535 微明第三十六一活I・活II・陽I・斯I・宋版・道藏

章卅六一武内・梅沢 ①章一東大 ①

章卅六一武内・東洋 ②將欲章一慶I ②將欲

翁章卅六一慶II ②將欲翁之章卅六一弘文 ②將欲翁之章

一足利・斯II・無窮・書

陵・六地・陽II・東急

66 62 經 1536 將欲翁之一東洋・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・無窮・

書陵・梅沢・六地・陽II・道藏 ①一活I・活II・陽I・

武内・東大・東急・斯I・宋版

1537 必固張之一活I・活II・陽I・武内・東大・東洋・慶I・慶II・

筑波・弘文・斯II・無窮・書陵・梅沢・六地・陽II・東急・斯I・

宋版・道藏 ①一恨一足利

66 64 注 1538 先開張之者一活I・活II・陽I・武内・東大・東洋・慶I・慶II・

筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・梅沢・東急・斯I・宋版

①一

1539 極其奢滯也一欲一活I・活II・陽I・武内・東

大・東洋・慶I・慶II・筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・

梅沢 ②欲一東急・斯I・宋版・道藏

66 66 經 1540 將欲弱之一活I・活II・陽I・武内・東大・東洋・慶I・慶II・

筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・梅沢・六地・陽II・東急・

斯I・道藏 ①一使一宋版

1541 必固強之一活I・活II・陽I・武内・東大・東洋・慶I・慶II・

筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・六地・陽II・東急・斯I・

宋版・道藏 ①一梅沢

注 1542 強大之者一活I・活II・陽I・武内・東大・慶I・慶II・筑波・

弘文・足利・斯II・無窮・書陵・梅沢・東急・斯I・宋版 ①

一東洋

1543 欲使遇禍患也一活I・活II・陽I・武内・東大・東洋・慶I・慶II・

II・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・梅沢・東急 ①

一斯I・宋版 ①一筑波 ②一過害一

66 67 經 1544 必固興之一活I・活II・陽I・武内・東大・東洋・慶I・慶II・

弘文・斯II・無窮・六地・陽II・東急・斯I・宋版・道藏 ①

一梅沢 ①一與一書陵 ①一筑波・足利

注 1545 先興之者一活I・活II・陽I・武内・東大・東洋・慶I・慶II・

筑波・弘文・斯II・無窮・梅沢・東急・斯I・宋版・道藏 ①

與一書陵 ①一足利

1546 欲使其驕一危也一活I・活II・陽I・武内・東大・東洋・慶I・

慶II・筑波・弘文・足利・斯II・無窮・書陵・梅沢・東急・斯I・

宋版」②□□□□□奢至□□道藏」

66 13 經 1547 將欲奪之。活 I。活 II。陽 I。武內。東大。東洋。慶 I。慶 II。

筑波。弘文。足利。斯 II。無窮。書陵。梅沢。六地。陽 II。東急。斯 I。

宋版。道藏」①□□□□□弘文」

注 1548 欲使其貪心也。①□□極□□□□□活 I。活 II。陽 I。武內。東

大。東洋。慶 I。慶 II。弘文。足利。斯 II。無窮。書陵。梅沢。

東急。斯 I。宋版」②□□極□□□□□筑波。道藏」

67 11 經 1549 是謂微明。活 I。活 II。陽 I。武內。東大。東洋。慶 I。慶 II。

筑波。弘文。足利。斯 II。無窮。書陵。六地。陽 II。東急。斯 I。

宋版。道藏」①□□徵□□梅沢」

注 1550 其道微。活 I。活 II。陽 I。武內。東大。東洋。慶 I。慶 II。筑

波。弘文。足利。斯 II。無窮。書陵。東急。斯 I。宋版。道藏」

①□□徵□梅沢」

67 13 注 1551 柔弱者長久。①□□□□□久長。活 I。活 II。陽 I。武內。東大。

東洋。慶 I。慶 II。筑波。弘文。足利。斯 II。無窮。書陵。梅沢。

東急。斯 I。宋版。道藏」

1552 先亡也。活 I。活 II。陽 I。武內。東大。東洋。慶 I。慶 II。筑

波。弘文。斯 II。無窮。書陵。梅沢。東急。斯 I。宋版。足利？」

①□□道藏」

67 10 經 1553 魚不可脫。活 I。活 II。①□□□□□於□□陽 I。武內。東大。

東洋。慶 I。慶 II。筑波。弘文。足利。斯 II。無窮。書陵。梅沢。

六地。陽 II。東急。斯 I。宋版」②□□□□□於□□道藏」

注 1554 魚脫入於淵。活 I。活 II。陽 I。武內。東大。東洋。慶 I。慶 II。

筑波。弘文。足利。斯 II。無窮。書陵。梅沢。東急。斯 I。①□□

□□□□□宋版。道藏」

1555 為去剛得柔。活 I。活 II。陽 I。武內。東大。東洋。慶 I。慶 II。

筑波。弘文。足利。斯 II。無窮。書陵。梅沢。東急。斯 I。宋版」

①謂□□□□□道藏」

1556 不可復制也。活 I。活 II。陽 I。武內。東大。慶 I。慶 II。筑

波。弘文。足利。斯 II。無窮。書陵。梅沢。東急。斯 I。宋版。

道藏」①□□□□□者□□東洋」

67 12 注 1557 利器者。活 I。活 II。陽 I。武內。東大。東洋。慶 I。慶 II。筑

波。弘文。足利。斯 II。無窮。書陵。梅沢。東急。道藏」①□□

□□斯 I。宋版」

1558 謂權道也。活 I。活 II。陽 I。武內。東大。東洋。慶 I。慶 II。

筑波。弘文。足利。斯 II。無窮。書陵。梅沢。東急。斯 I。道藏。

杏雨」①□□□□□宋版」

1559 示執吏之臣也。活 I。活 II。陽 I。武內。東大。東洋。慶 I。慶 II。

弘文。足利。斯 II。無窮。書陵。梅沢。東急。斯 I。宋版。道藏。

杏雨」①□□非□□□□□東大。筑波」

67 16 注 1560 治身道者。活 I。活 II。陽 I。慶 II。無窮。書陵。梅沢。東急。

斯 I。宋版。道藏。杏雨」①□□之□□武內。東大。東洋。慶

I。筑波。弘文。足利。斯 II」

1561 示非其人也。活 I。活 II。陽 I。武內。東大。慶 I。慶 II。筑

波。弘文。足利。斯 II。無窮。書陵。梅沢。東急。斯 I。宋版。

道藏。杏雨」①□□□□□者□□東洋」

69 11 1562 為政。第三十七。活 I。活 II。陽 I。斯 I。宋版。道藏」□

□□□□□卅七。梅沢」①□□□□□章□□□□□東大」①□□□□

□□□□□卅七。武內。東洋」②道常無為章□□□□□東大」②道常

無章□□卅七。弘文」②道常無為章□□□□□筑波」②道常無為

章□□卅七。慶 II」②道常無為章□□□□□足利。斯 II。無窮。書

陵。六地。陽 II。東急」

69 12 經 1563 道常無為。活 I。活 II。陽 I。武內。東大。東洋。慶 I。筑波。弘文。

足利。斯 II。無窮。書陵。梅沢。東急。斯 I。宋版。道藏。治要」

①□□無□□東大。慶 I。六地。陽 II」

注 1564 道常無為。活 I。活 II。陽 I。武內。東大。東洋。慶 I。

慶 II。筑波。弘文。足利。斯 II。無窮。書陵。梅沢。東急。斯 I。

道藏。治要」①道以無為為常也。宋版」

經 1565 而無不為。活 I。活 II。東大。東洋。筑波。弘文。足利。斯 II。

無窮。書陵。梅沢。東急。斯 I。宋版。道藏」①□□無□□陽 I。

武内・慶Ⅰ・慶Ⅱ・六地・陽Ⅱ」②■无□□一治要」

注1566 道以無為一活Ⅰ・活Ⅱ・東洋・弘文・足利・無窮・書陵・梅沢・

東急・道藏」①□□无□□一陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・

斯Ⅱ・斯Ⅰ・治要」①■□■□■一宋版」

1567 為常也一活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑

波・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・治要」①□□

■一弘文・道藏」①■□■□■一宋版」

69 71 經1568 侯王若能守之活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶

Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・六地・陽Ⅱ・

東急・道藏」①□□□□□□■一斯Ⅰ・宋版」①□□□□□□一治

要」

注1569 侯王若能守道一活Ⅱ・武内・東大・東洋・筑波・足利・梅沢・東

急・斯Ⅰ・宋版」①□□□□□□一活Ⅰ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ（而

能字間に若字有り、加筆か）・弘文・斯Ⅱ・無窮・書陵・道藏・

治要」

1570 效於己也一活Ⅰ・活Ⅱ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・

足利・斯Ⅱ・無窮・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道藏・治要」①□□

□□■一弘文」①□□■□□一陽Ⅰ」①□□■□□一書陵」

69 74 經1571 以無名之樸一活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東急・道藏」①□□□□□□朴一武

内・東洋・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・

陽Ⅱ・斯Ⅰ・宋版」②□□无□□□□朴一東大・慶Ⅰ・六地」

注1572 吾身也一活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑

波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・斯Ⅰ・宋版・道藏」

①□□□■一東急」

1573 無名之樸一活Ⅰ・活Ⅱ・東急・道藏」①□□□□□□朴一東洋・慶Ⅱ・

弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・斯Ⅰ・宋版」①无□□□□一

陽Ⅰ」②无□□□□朴一武内・東大・慶Ⅰ・筑波」

1574 道也一活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東大・東洋・慶Ⅱ・無窮・書陵・梅

沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道藏」①□□德□□一武内・慶Ⅰ・筑波・弘

文・足利・斯Ⅱ」

1575 万物已化一活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・筑波・

弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ」①□□□■□■一

慶Ⅱ」①□□□□以□□一宋版・道藏」

1576 效己一活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・

筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急」①□□■□也一

宋版」②□□於□也一斯Ⅰ・道藏」

69 76 注1577 效己一活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・斯Ⅰ」①■□■一武内・東大・東洋・慶

Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・

宋版・道藏」

1578 欲作巧偽者一活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・

弘文・斯Ⅱ・無窮・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道藏」①□□□功□□

□一筑波・足利・書陵」

69 77 注1579 侯王一活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東大・斯Ⅰ・宋版」①王侯一武内・東

洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・

東急・道藏」

1580 當身一活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東洋・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・

無窮・書陵・梅沢・斯Ⅰ・宋版」①□□■一武内・東大・慶Ⅰ・東

急・道藏」

1581 鎮撫之一活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑

波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・道藏」①□□□

■一斯Ⅰ・宋版」

1582 以道德也一活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・

筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急」①□□□■□■一

斯Ⅰ・宋版・道藏」

69 78 經1583 無名之樸一活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・道藏」①□□□□□□朴一武内・東大・

東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・

陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版」②无□□□□朴一六地」

注1584 侯王一活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・

弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①王

侯一道藏」

1585 鎮撫之―活 I・活 II・陽 I・慶 I・慶 II・筑波・弘文・足利・斯

II・無窮・書陵・斯 I」①□□□□―武内・東大・東洋・梅沢・東
急・宋版・道蔵」

1586 以道德―活 I・活 II・陽 I・武内・東大・東洋・慶 I・慶 II・

筑波・弘文・足利・斯 II・無窮・書陵・梅沢・東急・斯 I・宋版」
①□□□□化―道蔵」

1587 將不欲改―活 I・活 II・陽 I・武内・東大・東洋・慶 I・慶 II・

筑波・弘文・斯 II・無窮・梅沢・東急・宋版」①□□□□改―斯
I」①□□□□攻―足利」①□□□□故―書陵・道蔵」

1588 當以清静―活 I・活 II・陽 I・東洋・慶 II・筑波・弘文・足利・

斯 II・無窮・書陵・梅沢・宋版・道蔵」①□□□□淨―武内・東大・
慶 I・東急・斯 I」

1589 導化之也―活 I・活 II・陽 I・武内・東大・東洋・慶 I・慶 II・

弘文・足利・梅沢・斯 I・宋版」①□□□□―東急」①道□□□□―
筑波・斯 II・書陵」②道□□□□―無窮」②道□□□□―道蔵」

69 712 經 1590 將自正―活 I・活 II・陽 I・武内・東大・東洋・慶 I・慶 II・筑

波・弘文・足利・斯 II・無窮・書陵・梅沢・六地・陽 II・東急・
斯 I・道蔵」①□□□定―宋版」

注 1591 將自正安定也―活 I・活 II・陽 I・武内・東大・東洋・慶 I・

慶 II・筑波・弘文・足利・斯 II・無窮・書陵・東急・斯 I」①□□
□□□□之―梅沢」①□□□□□□□□―宋版・道蔵」